

We'll advance for 50 years to the next.

YEARBOOK

2023-2024



大会出場前に要チェック!!

競技規定を理解していますか?

SURF TOWN FORUM

全国支部の動向をデータで見る



スポーツ振興くじ助成事業

INTRODUCTION

理事長挨拶



撮影：土屋高弘

一般社団法人 日本サーフィン連盟
理事長 酒井 厚志

一般社団法人 日本サーフィン連盟理事長。17歳よりサーフィンをはじめ、静岡伊豆支部の活動に永きに渡り尽力。その後、NSA ジャッジ委員会、事業広報委員会、広報委員長を経て、2011年より現職。2018年より、ISA (国際サーフィン連盟) のエグゼクティブ・コミッティのメンバーとなり、同年、ASF (アジアサーフィン連盟) を設立させ理事長に就任。

まず初めに、2024年1月1日に起きた能登半島地震は、家屋の崩壊、火災、津波を生み、多くの方々の命を奪いました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

2011年には、石川支部の協力のもと、

石川県羽咋市柴垣海岸で開催大会を開催させていただきました。

東日本大震災後の難しい時期の大会開催でしたが、地元の皆様のご尽力で成功出来たことを覚えています。

全国の皆様から復興も含めた支援として、寄付金をいただきました。お預かりし

た寄付金は、日本サーフィン連盟石川支部にお届けいたしました。多くの支援、誠にありがとうございます。

被害に遭われた方々が、一刻も早く日常を取り戻すように、今後も私どもに出来ることを続けていきたいと思えます。

2024年のシーズンに向けて

昨年までは感染症予防のため要求される規制の中、感染対策に知恵や時間、そして予算を使うことを余儀なくされました。日本サーフィン連盟では、この苦しいマイナスとしか思えない経験を、プラスに変える未来を作り上げていきたいと思えます。今期、マスターズ選手権は地元実行委員会方式を取り入れる計画です。大会システムの見直しと改善は、今後の運営によりよい方法を見つける進歩となることと思えます。

常々私どもが大事にしていることは、次世代育成を通じた心身ともに健全な社会づくりです。トップアスリートとしての技術だけでなく、人として成熟した選手を育成することです。技術の向上を目指すだけでなく、教養を培い、深い知識と思慮のある選手像が求められます。サーフィンは個人スポーツですが、世界大会では「日本チーム」として見られます。サーフィンを通して、日本の素晴らしさを伝えること出来る選手になってください。

オリンピックを通して、より多くの人が

サーフィンを知り、公立の学校でも課外活動や部活にサーフィンを積極的に取り入れるところが多くなりました。サッカーや野球のように、子供たちがサーフィンに触れることは、今後のサーフィン界の希望となります。海の楽しさとともに、海の危険も啓蒙し、世界に羽ばたく選手がたくさん生まれるよう連盟は活動して参ります。

東日本大震災から13年、徐々に記憶が薄れる中、連盟では今後も被害を受けた海岸からの正確な情報を皆様にお伝えし、サーフポイントとしての環境をサポートして参ります。皆様におかれましても現地から発信される情報に耳を傾け、風評被害の払拭にご協力ください。

2021年より、一般社団法人から公益社団法人への移行手続きを進めております。

また、連盟本体が日本スポーツ協会に加盟したことで、都道府県のスポーツ協会への加盟が進んでいます。

神奈川県、静岡県など、現在6県が加盟済みと、申請に向けて幾つかの県も動きだしました。今後、国民スポーツ大会

でのデモンストレーションや公開競技、いずれは正式競技を目指して参ります。

今年はオリンピックイヤーとして4人の日本選手が出場いたします。4年に一度のオリンピックは特別な価値のあるイベントです。日本選手の活躍を是非応援してください。

2026年に愛知ではアジアオリンピックが開催され、サーフィン競技が行われます。既に実行委員会が活動し準備が進められています。日本サーフィン連盟は全面的にサポートし、大会の成功を目指します。

同じく2026年に、日本サーフィン連盟の全日本選手権は60回の記念大会を迎えます。多くの諸先輩方が苦勞して続けた全日本選手権は60年という世界でも類のない歴史ある大会です。私たちにとって最大のイベントを記念大会として特別な価値のあるものとして開催を目指します。

最後になりましたが、日ごろから日本サーフィン連盟の活動にご協力いただいております皆様に、お礼を申し上げます。引き続き、皆様のご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

CONTENTS

NIPPON SURFING ASSOCIATION YEARBOOK 2023-2024

Cover Photo: Takahiro Tsuchiya



INTRODUCTION	理事長挨拶 酒井厚志
005	NSAの活動について
007	2024年度 正会員年齢別クラス
009	FOCUS 坂本應尚
011	FOCUS 松岡亜音
013	REST IN PEACE 川名孝夫
016	大会前に要チェック!! 競技規定を理解していますか?
021	SURF TOWN FORUM 全国支部の動向をデータで見る
024	NSA マイページはあなたのサーフィンライフをサポートします
026	目指せ日本代表! 目指せ世界一! 2024年度波乗りジャパン強化指定選手一覧
028	パリ・オリンピックで勝つために
031	2024年度 NSA 主催大会予定地 ポイント基本情報&各支部からのお願い
036	サーフィン検定にチャレンジ
039	NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT 2023 Presented by ENEOS株式会社 / 日本ウエットスーツ工業会
042	福井支部のビーチクリーン活動が緑綬褒状を受章
050	ウォーター・レスキュー
057	2023年度ポイントランキング結果
072	PLAY BACK 2023 主催大会を振り返る
093	日本サーフィン連盟ガイドンス
	ABOUT NSA
3rd cover	2024 NSA オフィシャルパートナー一覧



海といのちの未来をつくる



海は母だ。いのちの源だ。
わたしたちは、ここから生まれた。

140年以上もの間、海と向きあってきた
マルハニチロだからこそ知っている、
自然の豊かさがある。

食べることは、生きること。
生きることは、つなぐこと。

今日も自然の恵みを、人の営みへ。
生きる自然の活力を、生きる人の力へ。

食を通じて、これからもずっと届けていきます。

サーフィン関連の各団体について 確認してみましょう。

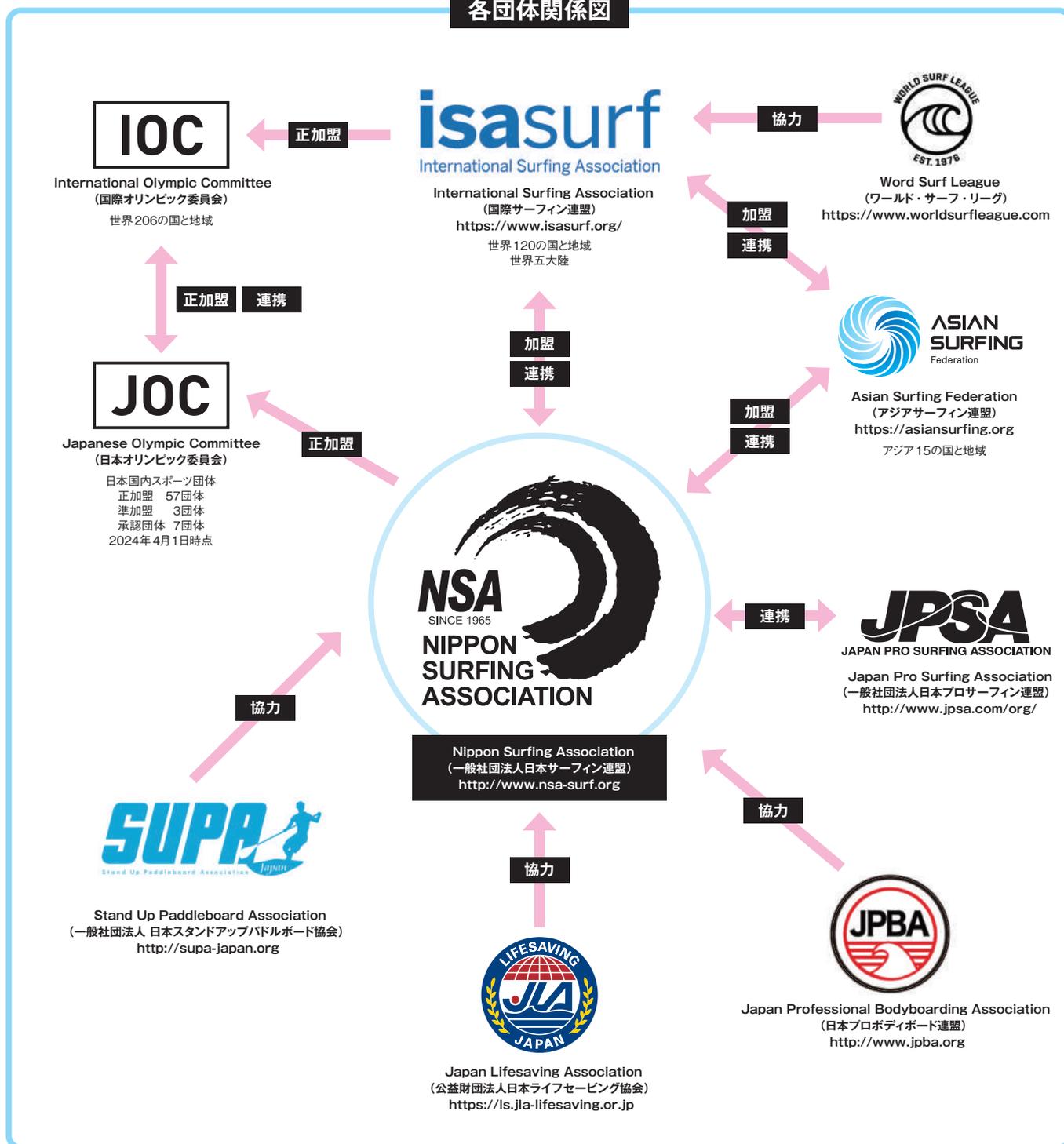
日本サーフィン連盟は、国際サーフィン連盟 (ISA) と連携、協力し、ISA 主催のサーフィン、ロングボード、ボディボード、SUP & パドルボード、パラサーフィンの世界大会への日本代表選手選考及び選手団派遣や、日本国内で開催された世界ジュニア選手権大会、世界サーフィン選手権大会の運営を担い、成功に導いてい

ます。国際サーフィン連盟 (ISA) は、国際オリンピック委員会 (IOC) が承認する世界規模のサーフィン団体です。

また国内においては、日本プロサーフィン連盟 (JPBA) と連携。世界に通用する選手の育成、サーフィンの普及に努めています。そのほか、本連盟が派遣する国際大会で、ボディボ

ードは日本プロボディボード連盟 (JPBA) と協力。SUP & パドルボードに関しても、日本ライフセービング協会 (JLA)、日本スタンドアップパドルボード協会 (SUPA) とも協力し、本連盟から国際大会に選手を派遣しています。

各団体関係図



THE BEST QUALITY



KEITARO FUJINUMA
photo:KENYU

INAPOLI TRADING INC.
3-15-8 INAMURAGASAKI KAMAKURA-CITY KANAGAWA JAPAN
PHONE 0467-23-7373 www.rashwetsuits.com @rash_wetsuits



NAMINORI
JAPAN

RASH WETSUITS はサーフィン日本代表チーム
“波乗りジャパン” を応援しています。

What's NSA value ?

NSAはサーフィンを楽しむ環境を整え あなたの活動の幅を広げる チャンスをつくります

日本サーフィン連盟(NSA)は全国70の支部、900のチーム、そして1万2千人を超える会員が参加して活動を行っている組織です。全国の支部と連携し、日本におけるサーフィン界を代表する機関として、普及、社会貢献活動をはじめ、安全対策、競技スポーツとしてのサーフィンの発展、サーフィンに関わる環境をより良いものとするために様々な活動を行っています。さらに国際サーフィン連盟とも連携し、世界各国のサーフィン界ともネットワークを繋ぎ、より広い視野でサーフィンというスポーツの素晴らしさを体験できる仕組みをつくっています。そう、NSAの会員であるあなたは、自分の経験値や活動の幅を広げていく沢山のチャンスを手握っているとも言えるのです。

普及活動

より良い環境へと向かうために



サーフィンが各地域はもとより、全国規模で盛り上がることで、スポーツとしての認知度がさらに向上し、企業や行政などと様々な連携がとりやすくなり、より良い環境へ向かうことは間違いありません。サーフィンの楽しさを知るには「体験」こそが重要です。NSAでは子供達が対象のサーフィンスクールや、学校訪問プロジェクトなどを実施。またサーファーのレベルアップをサポートする指導員講習会、より質の高い大会運営に直結するジャッジの育成など、サーフィンを取り巻く環境を向上させるためのプログラムもさらに充実させていきます。

社会貢献活動

自然からの恩恵を受けているからこそ



「サーファーが率先してきれいな海を守っていかよう」全国一斉ビーチクリーン活動「ACT」は、各支部が中心となりサーファーの心をつなげる機会として、十数年に渡って継続している活動です。自然からの恩恵を受けているからこそ、次の世代を担う子供達に豊かな自然を残していきたい。今後も各地域でのビーチクリーン活動がより積極的に実施されていこう、NSAではバックアップ体制を強化していきます。

安全啓発活動

海に関わる知識を深め、安全を意識する



海は一步間違ふととても危険なことが起こりうる場所です。サーフィンのルールマナーを啓発し、「安全」への意識を高め、サーフィンによる海浜事故、海での事故の対処法などもしっかりと身につけておくべきです。NSAでは海象、気象、そしてサーフィンの時だけでなく日常でも役立つ、一次救命を学べる救急法短期講習などの学べる機会をより多く作っていきます。

最新情報の提供

競技スポーツとしての取り組み



サーフィンがオリンピック種目となり、選手育成を進める中で、他の競技団体との接点が増えたことで、新たな視点からサーフィンのスキルを上げる方法も見出せる準備が整ってきています。栄養学やフィジカル面からアプローチするスポーツ医学、各種トレーニング方法など、みなさんにも有益となる情報も多く、今後はそういった新しい情報も徐々に共有していく準備を整えていきます。

NSAは現在、日本スポーツ協会(JSPO)において準加盟の団体になっています。各支部の都道府県スポーツ協会への加盟も徐々に進み始めている中、連盟では正加盟の準備を進めています。スポーツ協会の中央競技団体としての加盟はサーフィンの普及活動に良い効果を与え、特に子供達がサーフィンをより楽しめる環

境を構築する上で確かな力となるでしょう。各地域でもサーフィンというスポーツへの理解度が向上することは、良い環境を整えていく推進力にも繋がると考えます。

一方、今後、会員みなさまのメリットになる特典やサービスも増やしていく予定です。関連企業のご協力を得てサーフトリップや大会への

遠征などに役立つ交通機関の割引特典も充実させていきたいと考えております。

これからもNSAは会員のみみなさまに有益となる活動を積極的に展開していきます。みなさんもぜひ諸活動に積極的に参加してみてください。



Photo: tetsuya M

MAXIM

CRAFT SUITS

MORE MOST CO.,LTD.
maxim-craft.com

2024年度 正会員の登録クラスが変更になりました

大会開催の軸となる正会員の年齢別クラスが変更になりました。
 数年前から、皆様からの強いご要望があり、登録年齢の変化などもともなって、
 年齢別クラスの見直しを検討協議してまいりました。
 まだまだ、協議すべきところもございますが、会員の皆様が、より大会に挑戦していただけるように、
 2024年度から変更いたしましたので、より多くの皆様の大会ご参加をお待ちしております。

登録種目	性別	2023年度 会員登録				ランキングおよび大会開催クラス		統合ランキング
		旧クラス名	クラス名	生年月日	2024/12/31時点 で該当する年齢	クラス名 (カナまたはローマ字表記)		統合クラス名
ショートボード	男子	キッズ	SMキッズ	2012年1月1日以降生まれの男子	12以下	SMキッズ	SM KIDS	SHORTBOARD MENS OPEN
		ボーイズ	SMボーイズ	2008年1月1日～2011年12月31日生まれの男子	13-16	SMボーイズ	SM BOYS	
		ジュニア	SMジュニア	2006年1月1日～2007年12月31日生まれの男子	17-18	SMジュニア	SM JUNIOR	
		メン	SMジュニアメン	1999年1月1日～2005年12月31日生まれの男子	19-25	SMジュニアメン	SM JUNIOR MEN	
			SMシニアメン	1990年1月1日～1998年12月31日生まれの男子	26-34	SMシニアメン	SM SENIOR MEN	
		シニア	SMシニア	1980年1月1日～1989年12月31日生まれの男子	35-44	SMシニア	SM SENIOR	
		マスター	SMマスター	1973年1月1日～1979年12月31日生まれの男子	45-51	SMマスター	SM MASTER	
		グランドマスター	SMグランドマスター	1966年1月1日～1972年12月31日生まれの男子	52-58	SMグランドマスター	SM GRAND MASTER	
		カフナ	SMカフナ	1965年12月31日以前生まれの男子	59以上	SMカフナ	SM KAHUNA	
	女子	ガールズ	SWキッズ	2012年1月1日以降生まれの女子	12以下	SWキッズ	SW KIDS	SHORTBOARD WOMENS OPEN
			SWガールズ	2008年1月1日～2011年12月31日生まれの女子	13-16	SWガールズ	SW GIRLS	
			SWジュニア	2006年1月1日～2007年12月31日生まれの女子	17-18	SWジュニア	SW JUNIOR	
		ウイメン	SWジュニアウイメン	1999年1月1日～2005年12月31日生まれの女子	19-25	SWジュニアウイメン	SW JUNIOR WOMEN	
			SWシニアウイメン	1990年1月1日～1998年12月31日生まれの女子	26-34	SWシニアウイメン	SW SENIOR WOMEN	
		シニアウイメン	SWシニア	1980年1月1日～1989年12月31日生まれの女子	35-44	SWシニア	SW SENIOR	
			SWマスター	1973年1月1日～1979年12月31日生まれの女子	45-51	SWマスター	SW MASTER	
			SWグランドマスター	1966年1月1日～1972年12月31日生まれの女子	52-58	SWグランドマスター	SW GRAND MASTER	
		SWカフナ	1965年12月31日以前生まれの女子	59以上				
ロングボード	男子	LBメン	LMキッズ	2012年1月1日以降生まれの男子	12以下	LMメン	LM MEN	LONGBOARD MENS OPEN
			LMボーイズ	2008年1月1日～2011年12月31日生まれの男子	13-16			
			LMジュニア	2006年1月1日～2007年12月31日生まれの男子	17-18			
			LMジュニアメン	1999年1月1日～2005年12月31日生まれの男子	19-25			
			LMシニアメン	1990年1月1日～1998年12月31日生まれの男子	26-34			
			LMシニア	1980年1月1日～1989年12月31日生まれの男子	35-44			
		LBマスター	LMマスター	1973年1月1日～1979年12月31日生まれの男子	45-51	LMマスター	LM MASTER	
			LMグランドマスター	1966年1月1日～1972年12月31日生まれの男子	52-58	LMグランドマスター	LM GRAND MASTER	
			LMカフナ	1965年12月31日以前生まれの男子	59以上	LMカフナ	LM KAHUNA	
	女子	LBウイメン	LWキッズ	2012年1月1日以降生まれの女子	12以下	LWウイメン	LW WOMEN	LONGBOARD WOMENS OPEN
			LWガールズ	2008年1月1日～2011年12月31日生まれの女子	13-16			
			LWジュニア	2006年1月1日～2007年12月31日生まれの女子	17-18			
			LWジュニアウイメン	1999年1月1日～2005年12月31日生まれの女子	19-25			
			LWシニアウイメン	1990年1月1日～1998年12月31日生まれの女子	26-34			
			LWシニア	1980年1月1日～1989年12月31日生まれの女子	35-44			
			LWマスター	1973年1月1日～1979年12月31日生まれの女子	45-51			
			LWグランドマスター	1966年1月1日～1972年12月31日生まれの女子	52-58			
			LWカフナ	1965年12月31日以前生まれの女子	59以上			
ボディボード	男子	BBメン	BMキッズ	2012年1月1日以降生まれの男子	12以下	BMメンシニア	BM MEN SENIOR	BODYBOARD MENS OPEN
			BMボーイズ	2008年1月1日～2011年12月31日生まれの男子	13-16			
			BMジュニア	2006年1月1日～2007年12月31日生まれの男子	17-18			
			BMジュニアメン	1999年1月1日～2005年12月31日生まれの男子	19-25			
			BMシニアメン	1990年1月1日～1998年12月31日生まれの男子	26-34			
			BMシニア	1980年1月1日～1989年12月31日生まれの男子	35-44			
			BMマスター	1973年1月1日～1979年12月31日生まれの男子	45-51			
			BMグランドマスター	1966年1月1日～1972年12月31日生まれの男子	52-58			
			BMカフナ	1965年12月31日以前生まれの男子	59以上			
	女子	BBウイメン	BWキッズ	2012年1月1日以降生まれの女子	12以下	BWウイメン	BW WOMEN	BODYBOARD WOMENS OPEN
			BWガールズ	2008年1月1日～2011年12月31日生まれの女子	13-16			
			BWジュニア	2006年1月1日～2007年12月31日生まれの女子	17-18			
			BWジュニアウイメン	1999年1月1日～2005年12月31日生まれの女子	19-25			
			BWシニアウイメン	1990年1月1日～1998年12月31日生まれの女子	26-34			
			BWシニア	1980年1月1日～1989年12月31日生まれの女子	35-44			
			BWマスター	1973年1月1日～1979年12月31日生まれの女子	45-51			
			BWグランドマスター	1966年1月1日～1972年12月31日生まれの女子	52-58			
			BWカフナ	1965年12月31日以前生まれの女子	59以上			

※大会開催クラスはエントリー人数によって、クラスを統合する可能性があります。



west

Rider Jiei'JAY" Suzuki

www.westsuits-japan.com

with
OCEAN

with Ocean Co.,Ltd. 259-1 Shiba Wada-cho Minamiboso City Chiba Pref. 299-2702 Japan



取材・文：古谷昭弘 撮影：深水敬介

坂本應尚

高得点を目指すスキルは、サーフィンを純粹に楽しむ可能性を広げられるんです。

昨年カフナクラスを制した坂本應尚は全日本優勝歴10回を誇る、スーパーコンペティターだ。05年全日本グランドマスターで優勝して以来10回、無類の強さを発揮する坂本だが、その経歴は異色だ。東京でデザイン会社を経営する傍ら、海に通う週末サーファーである。

「サーフィンするのはだいたい週3回くらいです。いまは会社も軌道に乗って、リモートでも動けるので、かなり時間ができました。鴨川のポイントの前に別荘があるので、金土日はほぼサーフィンできる環境です」

冬はスローで、暖かくなると共に調整をはじめめる。1日1ラウンド、時間にして90分くらいで集中するように心がけているそうだ。鴨川では顔のような存在だが、海の中では謙虚な東京ビジター、ローカルリスペクトを忘れない。本格的にコンテストに注力したのは、35歳から。「大学に入ってサーフィンを始めて、NSSAの優勝が目標だったのですが2位が最高位、その後10年はサーフィンよりプロ社長を目指しました。35歳になって仕事も安定したので、コンペに復活しようと全日本優勝を狙ったものの、4回の本戦はすべていちコケ。グランドマスターにカテゴリーが上がって、初めて優勝したんです。アンチエイジングじゃないですが、年齢の壁も破っていききたいと思ってます」

坂本の過去のヒートを見るとほとんどのヒートを1位で通過。昨年の優勝もすべて1位で勝ち上がる完全優勝だ。

「心がけているのは勝つことより負けたくないこと。

それが秘訣です。優勝までだいたい6回、エクセレントを狙っても、浮き沈みの激しい試合運びをしていると、どこかで負けちゃうんです。なのでスコアをこつこつとビルドアップしていくことが肝心です」

コンテストは進化し、いろいろなカテゴリーの目標が用意されます。

ここ最近NSAもプライオリティールが普及し、より望ましい状況になっていると。

「技術を高めるならプライオリティがあったほうが絶対がいいです。高得点を狙うスキルは、サーフィンを純粹に楽しむ可能性を広げてくれると思うんですよ。サーフィンコンテストはより質のいいものへと進化しています。五輪種目にもなり、マスタースポーツも盛んで、いろいろなカテゴリーの目標と舞台が用意されるようになりました。これはひとえに運営の方々の努力の賜物で、彼らの尽力は敬意に値します」



さかもと・まさひさ ● 株式会社ヘルメス代表取締役。1964年東京都生まれ。大学入学とともにサーフィンを始める。プロトライアルに挑戦するもわずかなところで逃す。91年独立し、デザイン会社を起業。2005年全日本グランドマスタークラス優勝。以来、2023年までの優勝回数は10回。

LIB TECH

SURF SPRING 2024



松岡亜音

ワンターンで点数が出るのがわかっていたので、
気持ちを落ち着かせて待っていました。



取材・文：古谷昭弘 撮影：三浦安間

「終了のホーンが鳴っても、勝ったという実感がなかったんです。チームのみんなが『おめでとう!』と集まって海に沈められて、もう溺れそうで、喜ぶどころじゃなかったです(笑)」

2023年ISA世界ジュニアサーフィン選手権ガールズU18で日本人女子として初めて優勝を果たした松岡亜音。スローなスタートだったファイナルヒートをこう振り返る。

「25分のヒートで15分くらい乗れなかったです。ダメかなと思ったんですが、ワンビッグターンで点数が出るのがわかっていたので、気持ちを落ち着かせて待っていました」

松岡亜音といえば、重厚感のあるバックハンドが売りだ。このファイナルでもインサイドのライトを果敢に攻めた一発で6.17をスコア、勝利を手繰り寄せた。

「試合ではいつも2ビッグターンのエクセレントを狙うようにしています。その先に3発目があればラッキーだし、1発で終わっても6〜7点は狙えるようにと心がけています。最近やっと、相手のことより、乗りたい波とやるべきことだけに集中できるようになりました」

近年、ジャッジの採点基準はフローよりもタ

ーンの難度と質を評価する。つまりリスクの対価として、ポイントがつく傾向にある。

「ワンターンでもエクセレントが出る時代ですから、一発のクオリティを上げることに日々フォーカスしています。攻めることによって新しいことを学びます。CTサーファーと会場で行っていると、みんな際どいところにトライして、練習ではよくこけているんです。だから逆に試合ではメイクできるギリギリを狙えるんでしょうね。試合運びもありますけど、波に乗ってしまえば私だけ、誰もコミットできませんから」

目指すはWCTですが、CSシリーズは波のクオリティが上がるので楽しみです。

2021年はJPSAデビュー1年目でグランドチャンピオン、昨年はISAワールドジュニア、QSシリーズではクルイプロをはじめ2勝し、アジアリージョン2位とチャレンジャーシリーズのクオリファイと快進撃が続く。

「目指すはWCTですが、チャレンジャーシリーズもスナッパー、ジェフリーズと波のクオリティが高いので楽しみ。男子と一緒にだと、練習

ではなかなかいい波に乗れませんが、ヒートになれば貸切なので、むしろ楽しいんです(笑)」



世界ジュニア優勝の金メダル、そしてアロハカップの金、団体戦の銅メダル。



まつおか・あのん ●プロサーファー。2005年千葉県生まれ。サーフショップを営む父の影響で4歳からサーフィンを始め、9歳からNSAの大会に出場。コンペティションで頭角を現し、世界大会への選考対象となる強化指定選手に2019年から6年連続で選出。2021年プロへ転向。2023年ISA世界ジュニアサーフィン選手権ガールズU18優勝。



This Feels Good

アスリートやスポーツする人だけの存在じゃない。
「体を動かすことが好き」な人のために
わたしたちはある。カラダを動かせば、
ココロが震える。その瞬間を感じてほしい。
汗を流すよろこびを、
もっともっと自由に。みんなのものに。
そしてあたりまえのカルチャーに。
そのきっかけになるのが、オッシュマンズです。



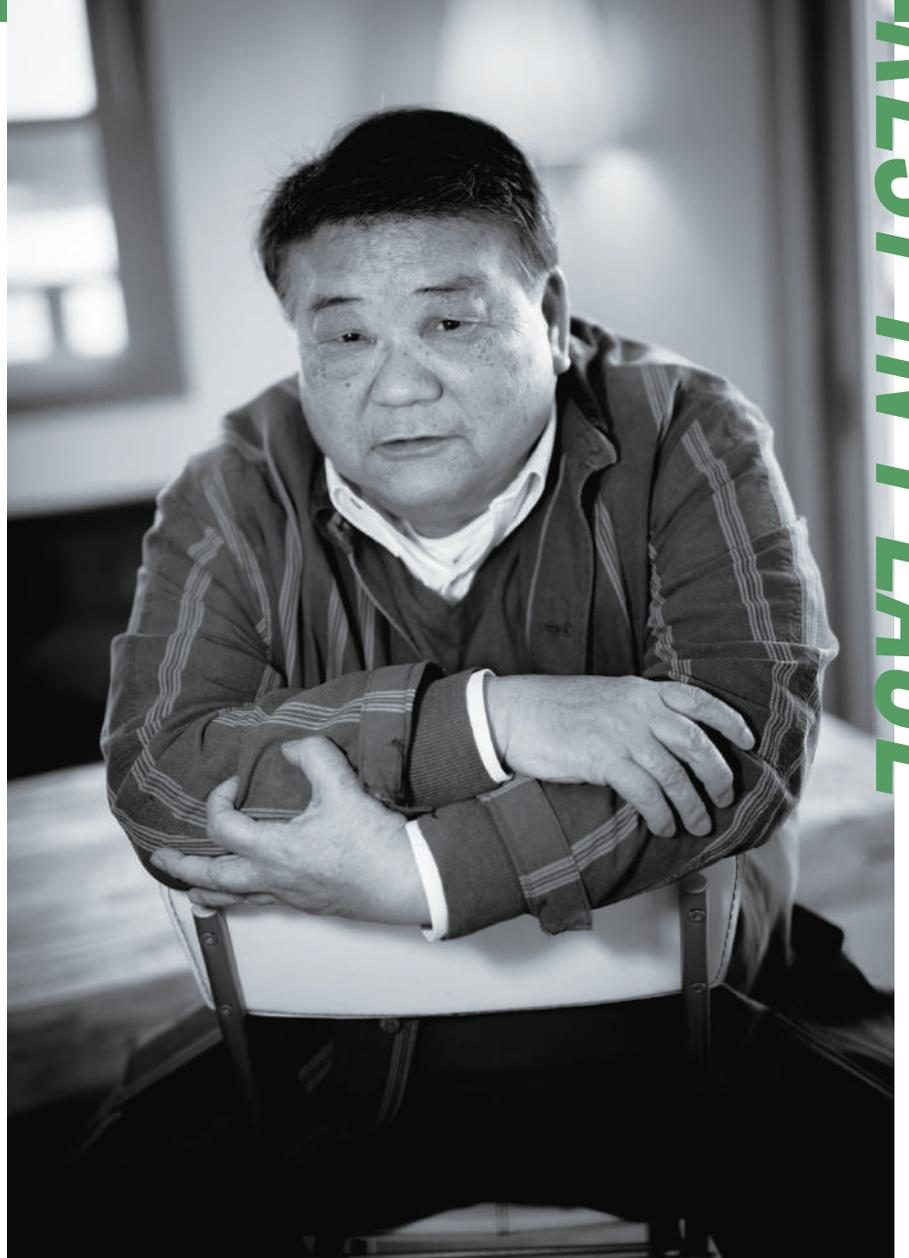
www.oshmans.co.jp

OSHMANS[®]

カラダを動かす。ココロを解き放つ。

故・川名孝夫

連盟の発展に尽力し、
功労者会会長として
現執行部をサポート



取材・文：今井秀武 撮影：横山泰介

まだ連盟の礎が無き時代、 学生服姿で運営に奔走

全国のひとりひとりのサーファーをチーム、支部という地域の基盤で繋ぎ、それを統括する活動をおこない、国内のサーフシーンを活性化させる日本サーフィン連盟。サーフィンの腕を磨き、日本のトップを目指したいと思えば、支部予選から全日本へ。そして現在ではオリンピックへの道筋も出来ている。しかし、サーフィンの黎明期にはもちろんそのような道筋は示されていなかった。それを創り上げるための道を拓いてきた人たち、サーフィン界のレジェンドと称される人たちの努力があってこそ、今日の仕組みが機能している。

Photo: Takao Kawana Archive



1966年の全日本で川名氏が所属する鴨川ドルフィンサーフィンクラブがクラブ優勝。ジュニアで川名氏が5位。川井幹雄氏が優勝した。

その功労者のひとりである川名孝夫氏は1950年に千葉県鴨川市で生まれた。60年代前半、川名氏の少年期はサーフィンが日本で徐々に広まり始めた時代。1965年には日本サーフィン連盟が設立。川名氏はその礎を築いたレジェンドたる人たちの後ろ姿を見ながら、当時はまだ高校生でありながらも連盟の第2期の運営委員を務めたという。もちろん川名氏は最年少で、学生服姿で全日本サーフィン選手権の大会プログラム製作を手伝い、原稿書きやスポンサー集めに奔走したという。当時の連盟は東京池袋の西武百貨店の広報室内にあったが運営資金も乏しく、共に設立メンバーである諸先輩たちはすでにサラリーマンなど社会人として多忙な日々。つまり実際の連盟の活動は、川名氏をはじめとする学生たちが支えていたというのだ。

しかし、熱意ある行動は少しずつ実を結び、大会プログラムに大手飲料メーカーの広告掲載決定や連盟公認グッズ制作販売による公認料収入の獲得など、組織活動に重要な資金を導き出した。同時にジャッジ委員会の原案やクラス認定の原案作りなど、連盟の組織作りにも深く関わっていった。その後川名氏は映像関

係の会社の役員を務められていたこともあり、マスコミやメディア関係に多くのパイプを持ち、大会スポンサーの獲得などで尽力され、常に連盟が良い方向に進むにはどうしたら良いのかを考え、その動きに良い力を与えてきた。

現在、日本サーフィン連盟には功労者会という組織がある。日本サーフィン連盟を補佐する諮問機関的な組織として、連盟設立の礎を築いた方々、理事長や理事として活躍された方が会員として、OBの立場から現執行部にアドバイスやサポートするための組織。川名氏はその功労者会の会長としても長きにわたり務め上げられてきた。日本サーフィン連盟の前進、より堅牢な土台づくりにおいて氏の功労を無くしては語れない。



かわな たかお ●千葉県鴨川のレジェンドサーファー。日本サーフィン連盟創成期の運営現場で活躍。その後連盟のプロモーション面をはじめ、多くの活動に尽力。日本サーフィン連盟功労者会の設立後、会長として連盟執行部へのアドバイスやサポートなどの活動を牽引してきた。2023年9月、永眠された。享年73歳。



© Boris Martinet

KENTA ISHIKAWA



dovewet.com





 **Hydro Flask®**
Let's Go!™

hydroflask.co.jp

[Hydro Flask® 日本総代理店] アルコインターナショナル株式会社

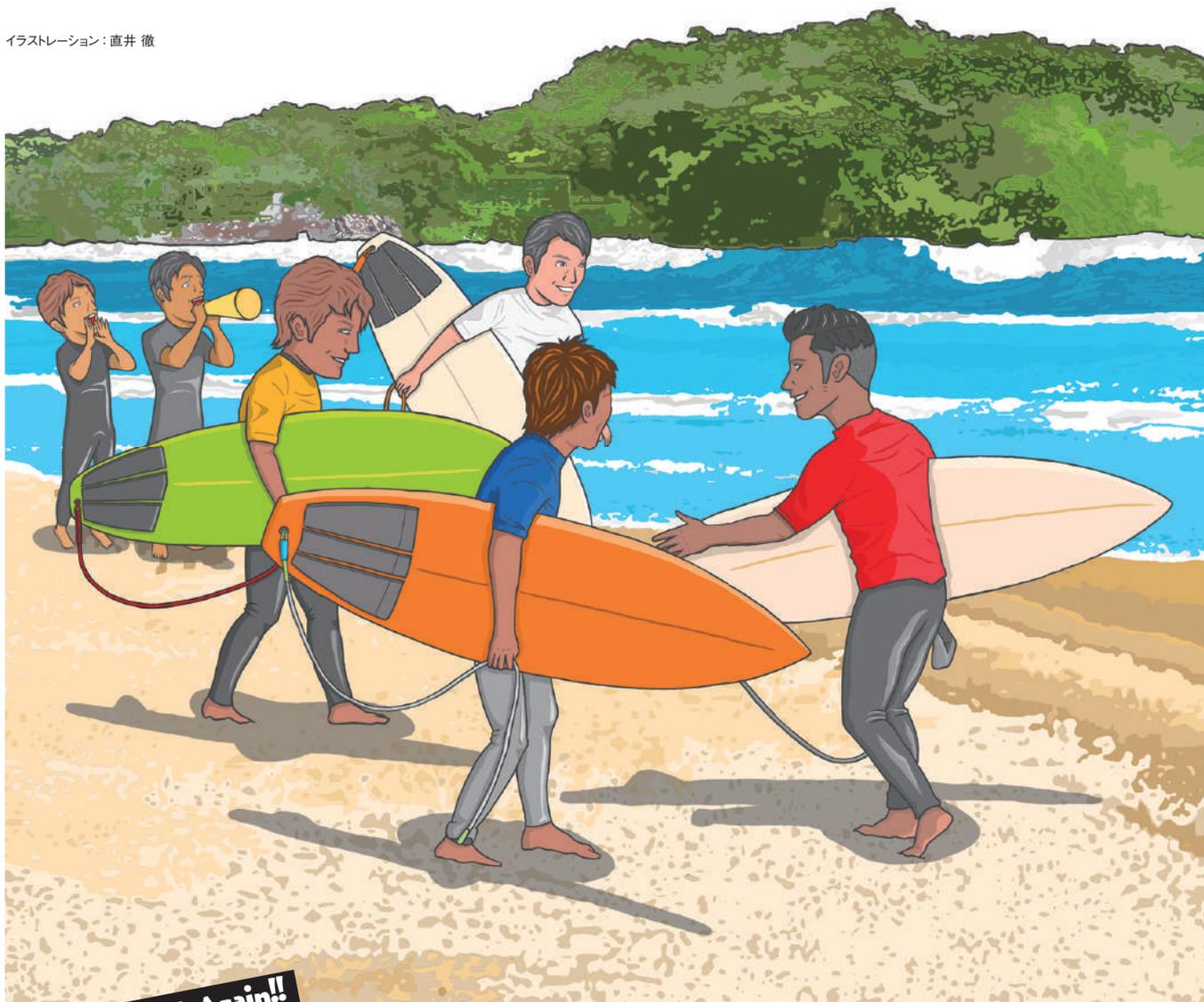


大会出場前に
要チェック!!

Surfing Competition Rules

競技規定を 理解していますか？

イラストレーション：直井 徹



Let's Check Again!!

自分自身のサーフィンのスキルがどこまでレベルアップ出来ているのか？

サーフィンで大会に出場することは、自分の実力でどこまで勝ち上がることができるのかを知ることができる場。せっきくNSAの会員になっているのなら、どんどん大会にチャレンジして、実力アップを目指していきたい。

そこで、大会に出る前にもう一度確認して欲しいことがあります。

大会には競技規定があります。そこには大会をおこなうための基準や、参加選手が守るべきルールがしっかりと明記されています。優先権、インターフェアレンス(妨害)、ペナルティなどちゃんと理解しておかないと、せっきく「勝った」と思ったのに実はヒート中に他の選手のライディングを妨害し、ペナルティを受けて敗退していたということもあり得るのです。

「悔しい思い」や「勘違いをして他人に迷惑をかける」ことのないようにしっかりと競技規定を理解した上で大会に出場しましょう。

競技規定はYEARBOOKにも掲載。特にインターフェアレンスやプライオリティールについては丁寧な解説もあります。大会出場の前にもう一度確認しておくことが、ヒート中に役立つはず。



競技規定がなぜ大切か？

競技規定はNSAのホームページの基礎知識コーナーの中の最初の項目に掲載されていて、誰でもアクセスして見ることができます。大会直前で「?」と思ったことを現場で確認することも可能です。このYEARBOOK(本書)の103p～107p(プライオリティール)までに大会で必要なことは全て明記されています。特に妨害(インターフェアレンス)については、様々な波に対する優先権がどちらにあるかも図解で示されています。大会中、瞬時に自分の今いる位置がどのケースに当てはまるかを判断できるように熟知しておきましょう。競技規定をしっかりと確認しておくことは、思わぬペナルティを課せられてしまうというミスを防ぐにも大切なことです。

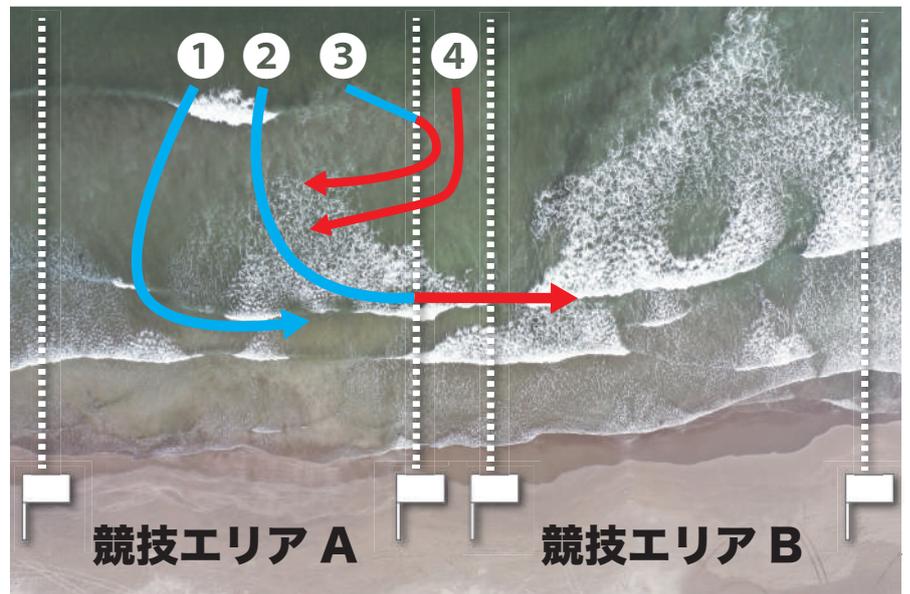
競技エリアとは

大会では当然のことながら競技エリアが定められています。このエリアを外れてライディングしてもジャッジには採点されません。さらに境界線付近でのライディングは「範囲内であるかどうか?」はジャッジが判定します。そして競技エリアは原則ジャッジスタンド前で境界線は両サイドに設置されたフラッグで示されています。

>> 104p第18条『競技エリア』を確認しよう!!

競技エリアに関する判定例

- ①すべてのライディングが採点対象
- ②競技エリア内のライディングのみ採点対象
- ③一度競技エリア外に出るまで採点対象。
エリア外から再びエリアに戻っても採点対象にはならない
- ④競技エリア外からのライディングは採点対象にならない



競技エリア A

競技エリア B



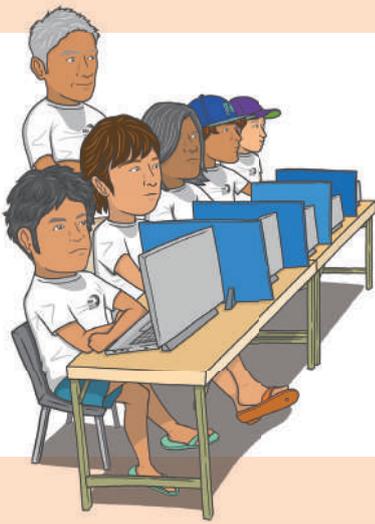
選手ミーティングや放送、インフォメーションボードなどで伝えられることにしっかりと注意しておくことは、とても大切です。

レギュレーションって何だろう？

「レギュレーション」とは、競技の運営にあたるすべてに関わる規定や規則を意味します。大会のレギュレーションは大会ごとにも変わることもあり、コンテストディレクター、またはジャッジ委員長によって決定され、大会前のミーティングや放送、インフォメーションボードへの掲示によって伝えられます。

例えば「マキシマムウェーブ」もその日の波の状況に合わせて変わることがあります。マキシマムウェーブ本数を超えてライディングしても採点なりませんから、選手は競技エリアから離れなければなりません。それを知らずに他人の妨害をしまい、無意味なペナルティを受けたりすることのないように。

>> 103p第15条『レギュレーション』を確認しよう!!



ジャッジ基準とはどんなもの？

公認ジャッジは全てISA・WSLジャッジ基準に基づいて、ショートボードジャッジ基準(NSAではボディボードも同基準で審査)、ロングボードジャッジ基準に掲げられた主要な要素を考慮して採点しています。ジャッジ基準は競技規定の第1条に記述されている競技規定の最重要項目です。あなたがその審査の基準からどのように採点、判断されるかを学ぶには公認ジャッジ講習会に参加してみるのも方法のひとつです。NSA主催講習会、支部主催講習会のそれぞれがあり、選手など一般の人でも講習会に参加が可能です。何も意識せずにライディングするよりも、まず 主要な要素を確認して、それを意識したライディングをすることでポイントアップの可能性は高まるはずですよ。

>> 103p第1条『ジャッジ基準』を確認しよう!!



優先権をしっかりと意識していないと知らぬ間に妨害と見なされ、集計対象ウェブからカットされたり、減点されたり。自分のポジション、プライオリティルールが適応される大会ではそれを考慮しての優先権を確認してライディングする必要があります。

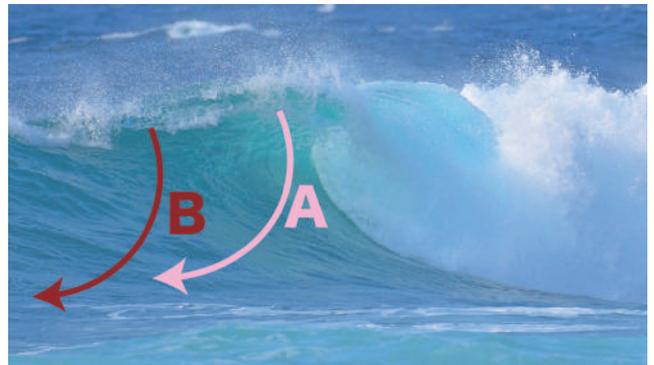
再確認しよう!! インターフェアレンス判定のポイント

- ▶ 優先権は波に対する選手のポジションで決まります。どちらが先にスタンディングしたからというだけで決まるものではありません。
- ▶ 基本的にインサイドポジション(波のピーク側)にいる選手にその波の優先権があります。
- ▶ 妨害はそのときの状況や物理的接触だけでコールはされません。優先権のある選手のスコアリングポテンシャルを妨げたかどうかで判断されます。

インターフェアレンス(妨害)で減点されないために

波には優先権があります。世界共通のゴールデンルールとして、みなさんも知っているようにそれは一つの波には一人のサーファーという原則の上に大会でも優先権が定められています。大会ではどの方向への波かをジャッジが判断した上でインサイド・ポジションの選手が優先となります。優先の選手のライディングを妨害したと判断されれば、ペナルティとして減点されたり、そのライディングのスコアは集計対象から外されることもあります。さらに妨害は「ドロップイン妨害」「スネーキング」「パドリング妨害」ほか、競技規定に定められています。

>> 105 ~ 106p『妨害(インターフェアレンス)について!!』を確認しよう!!



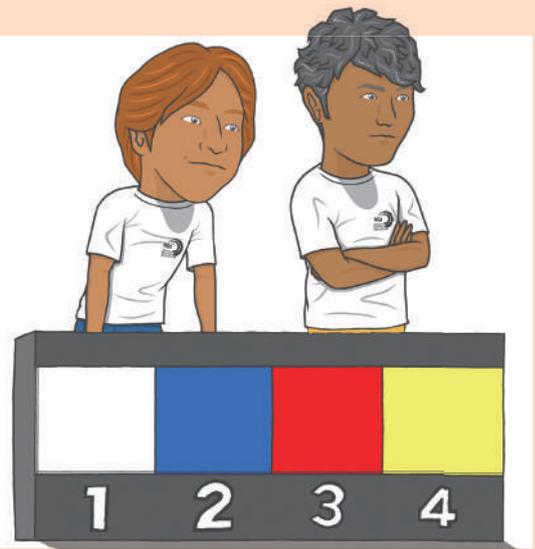
基本的な考え方は波に対するインサイドポジションが優先。この写真では当然Aのポジションからテイクオフする選手がBのポジションの選手に対する優先権があります。

プライオリティ(優先権)で自分のチャンスを最大限にいかそう

ここ最近ではみなさんの中にも「やっと慣れてきた」という人が増えてきたプライオリティルールも大会中にその波に対する優先権があるかどうかを判断する上で知っておくべき知識です。プライオリティルールでは、波に対する選手のポジションに関係なく、順番に波に乗る優先権が回ってきます。ですから自分が1stプライオリティを持っていれば、そのタイミングは最大のチャンスということです。ただし、プライオリティをしっかりと理解していないと、逆にインターフェアレンス行為とみなされるミスにも繋がります。試合中の最大のチャンスを活かすために、ぜひともプライオリティルールをマスターしておくべきです。

>> 107p『最大のチャンスを逃さないために_プライオリティルールとは?』を確認しよう!!

同じ波を他人と競って狙いに行った時は要注意。ヒート中、プライオリティが誰にあるのかを理解していないと思わぬインターフェアレンス行為を侵してしまうこともありえます。



そもそもプロテストの意味を理解している？

「ヒートの結果がどうしても不満」ということがあったとしましょう。そんな時に「プロテスト」という言葉が頭の中に浮かんだ人。ちょっと待ったです。「ヒート結果にオフィシャルコールで確定したもののについて選手は異議を申し立てることはできない」そもそもプロテストとは、スコアに対してではなく大会会場で手続きを経た上でインターフェアレンスの判定などに関する問い合わせができるという権利なのです。そこを誤解している人は意外と多いようです。

>> 104p第21条「プロテスト」を確認しよう!!



プロテストとはインターフェアレンス判定の説明をヘッドジャッジから受けることができる権利であり、異議を申し立てられる権利ではありません。プロテストシートに必要項目を記入し、ビーチマーシャルに提出。大会会場でしか受け付けられません。

プロテストの方法は？

プロテストを行うには、大会会場でプロテストシートに必要項目を記入し、提出するという手続きが必要です。いきなりジャッジ Tent に行って口頭でプロテストを求めても受け入れてもらえません。ビーチマーシャルを通じて、手続きした上でヘッドジャッジから説明を受けられるのはその日の終わりという規定があります。また、大会会場以外でプロテストは受けられないことも認識しておきましょう。

ビーチマーシャルからプロテストシートを受け取り、必要項目を記入。

ビーチマーシャルにプロテストシートを提出。

その日の終わりにヘッドジャッジから30分を限度に説明を受けられる。

※ヘッドジャッジとの話し合いは当事者のみが参加可能。
18歳未満の選手の場合は保護者(1名)の立ち合いが認められる。

プロテストシート

プロテストを行うにはプロテストシートの必要項目をしっかりと記入しましょう。注意すべきは、自分がプロテストを要求するラウンドとヒート番号はもちろんのこと、その時のゼッケンカラーや何本目のライディング (WAVE NUMBER) かをきちんと明記すること。内容に関してもインターフェアレンスに関する場合は、相手のゼッケンカラーを間違わずに記入する必要があります。



PROTEST SHEET

NAME (選手名) : _____
CONTEST NAME (大会名) : _____
DIVISION (クラス) : _____
ROUND (ラウンド) : _____
HEAT NUMBER (ヒート番号) : _____
COLOR (ゼッケンカラー) : _____
WAVE NUMBER (何本目か) : _____

EXPLANATION OF PROTEST (プロテストの内容) :
*インターフェアレンスに関する場合は、相手のゼッケンカラーを明記してください。

FOR HEAD JUDGE'S USE (ヘッドジャッジの見解) :

SIGNATURE (ヘッドジャッジ署名)

これらの競技規則は全ての選手たちが公平に大会に参加し、自分のライディングに対してしっかりとした基準の基にジャッジングを受けられるために存在しています。競技規則をわかっていないと「なんで自分がペナルティを課せられたのか？」ということもすっかり理解できません。

主催大会や公認大会では大会の度にプロテストが申し立てられていますが、その多くが競技規則を読んでいれば申し立てに当てはまらないことが理解できるものです。これから数多くの大会が開催されていきますが、これを機にもう一度競技規則を読んで、頭の中で整理しておきましょう。

BILLABONG



LIFE'S BETTER IN
BOARDSHORTS

 RECYCLER

ALL OF OUR BOARDSHORTS ARE MADE
FROM RECYCLED PET BOTTLES



@Billabong_japan

SURF TOWN FORUM

全国支部の動向をデータで見る

より素晴らしいスポーツとして、サーフィンを楽しむ環境を整えるために、NSAは会員のみなさんと共に前進しています。データの集計により、我々をとりまく環境のことが色々と見えてきます。きっとこの中にあなたの周りのサーフィン環境を活性化させていくヒントがあるはずです。

イラストレーション：直井 徹



支部別正会員数 TOP30

支部名	正会員数	支部名	正会員数
1 千葉東	741	16 静岡3区	220
2 千葉西	584	17 宮崎	217
3 湘南茅ヶ崎	504	18 徳島	205
4 東京	499	19 福島	201
5 湘南藤沢	399	20 京都	178
6 埼玉南	365	21 静岡2区	170
7 大阪	354	22 横浜	161
8 千葉南	292	23 三重	151
9 愛知	284	24 鹿児島	141
10 湘南鎌倉	265	25 茨城北	138
11 福岡	260	26 静岡伊豆	133
12 千葉銚子	242	27 北海道	131
13 宮城仙台	240	28 東京多摩	123
14 湘南西	222	29 埼玉2区	114
15 茨城南	221	30 新潟1区	104

支部別正会員増加数 TOP10

支部名	正会員増加数	支部名	正会員増加数
1 湘南茅ヶ崎	25	7 高知	9
2 福岡	19	8 青森	7
3 宮城仙台	15	8 茨城北	7
3 千葉東	15	10 川崎	6
5 静岡2区	13	10 湘南西	6
6 湘南鎌倉	12	10 大分	6

全国支部の動向

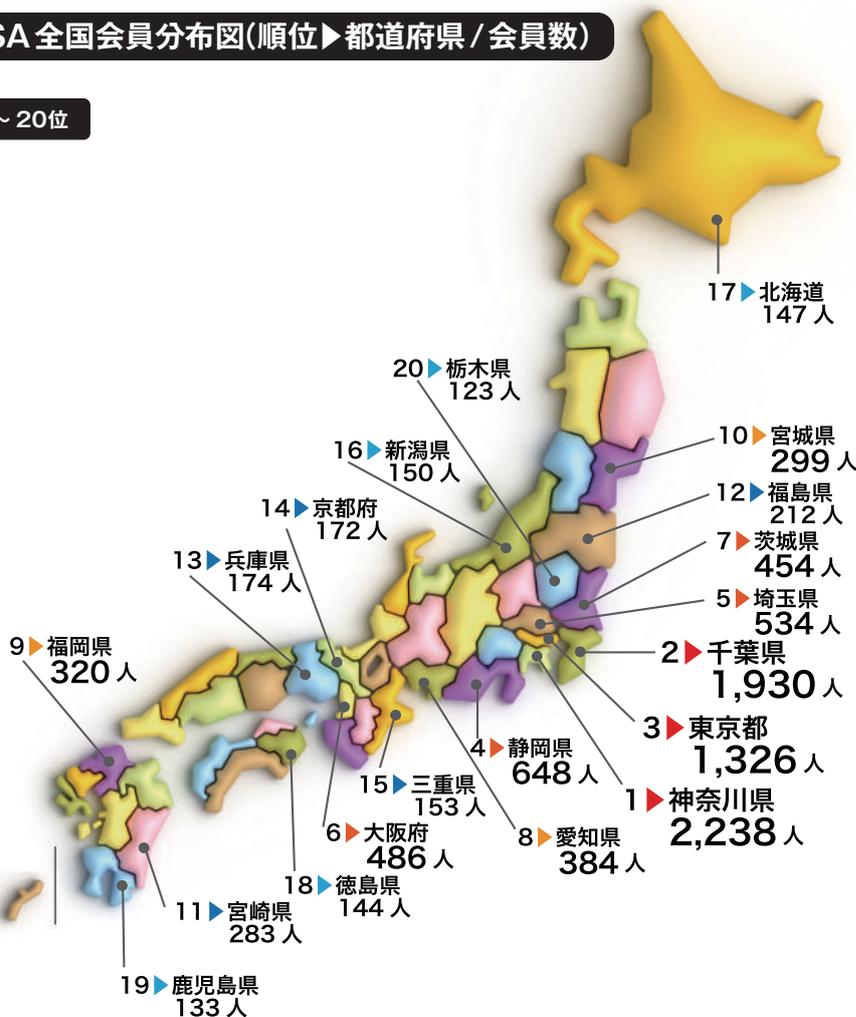
コロナ禍を越えて、支部の本格的活動が戻ってきた

NSA各支部ではその地域ごとの様々な環境のもと、地域にあった活動が展開されています。NSA支部は海のある地域だけではなく、海のない地域でも周辺の支部と連携をとりながら、活動を行なっている支部も多く、コロナ禍ではなかなか活発な活動が行いにくかった支部もありました。しかし、コロナウイルス感染の脅威も落ち着き、支部の活動も再びペースを取り戻しつつあります。今後はさらにサーフィンのより良い環境を維持し、地域を活性化していく活動の展開が期待されています。今年度は湘南茅ヶ崎支部が正会員登録数を伸ばして、TOP3に入ってきました。ジュニア・キッズ世代も伸びているという支部の勢いが感じられます。

※会員数算出基準
正会員=2024年度全日本対象者
オープン会員=2024年3月10日時点の登録者

NSA 全国会員分布図(順位▶都道府県/会員数)

1位～20位



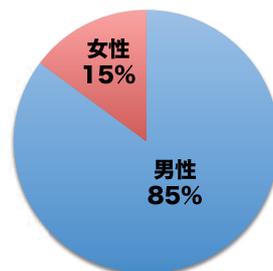
21位～

都道府県	登録数
21	熊本県 87
22	沖縄県 75
22	佐賀県 75
24	岡山県 66
25	長崎県 65
26	奈良県 64
27	長野県 63
28	岩手県 61
29	山梨県 57
30	鳥取県 56
31	高知県 54
32	和歌山県 50
33	滋賀県 45
34	島根県 42
35	青森県 39
36	石川県 38
37	福井県 37
38	群馬県 35
39	広島県 34
39	秋田県 34
41	大分県 24
42	岐阜県 18
42	香川県 18
42	富山県 18
45	山形県 16
46	愛媛県 11
47	山口県 8

オープン会員登録者数 TOP20

都道府県	登録数	都道府県	登録数	都道府県	登録数	都道府県	登録数	都道府県	登録数
1	神奈川県 533	5	大阪府 95	9	茨城県 41	13	京都府 23	17	北海道 14
2	東京都 344	6	静岡県 69	10	兵庫県 40	14	福島県 21	18	岩手県 12
3	千葉県 219	7	愛知県 62	11	宮城県 37	14	奈良県 16	19	鹿児島県 11
4	埼玉県 98	8	福岡県 47	12	宮城県 28	16	三重県 15	20	栃木県 11

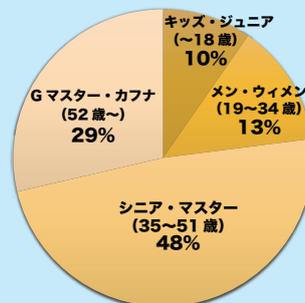
NSA 全国総会員数男女比



年齢層で見る支部別正会員数 TOP10 (登録クラス基準で区分)

1. キッズ・ジュニア (~18歳)			2. メン・ウィメン (19歳~34歳)			3. シニア・マスター (35歳~51歳)			4. Gマスター・カフナ (52歳~)		
支部名	正会員数		支部名	正会員数		支部名	正会員数		支部名	正会員数	
1	湘南茅ヶ崎	106	1	千葉東	119	1	千葉東	330	1	千葉東	215
2	千葉東	77	2	千葉西	90	2	千葉西	308	2	東京	186
3	湘南藤沢	54	3	大阪	60	3	東京	230	3	湘南茅ヶ崎	177
4	宮崎	49	4	湘南藤沢	59	4	埼玉南	193	4	千葉西	147
5	千葉銚子	42	5	東京	58	5	湘南茅ヶ崎	168	5	湘南藤沢	134
6	千葉西	39	6	湘南茅ヶ崎	53	6	愛知	153	6	千葉南	114
7	湘南鎌倉	37	7	埼玉南	52	7	大阪	152	7	湘南鎌倉	111
8	大阪	35	8	愛知	46	7	湘南藤沢	152	8	大阪	107
9	静岡伊豆	34	9	徳島	41	9	福岡	124	9	埼玉南	104
10	静岡3区	33	10	福岡	40	10	宮城仙台	122	10	福岡	76
						10	福島	122			

正会員年齢層分布 (登録クラス基準にて区分)



年齢層で見る地域の動向

10代の勢いを感じる地域、ベテランサーファーがどっしり基盤をつくる地域

ビーチと街が隣接して日常生活でも海が身近な地域。支部の拠点には海がなく、海までは電車や車を使って数時間という環境の地域。全国の支部それぞれが活動している環境は様々だ。そういう環境の影響もあり、支部

によって会員の年齢層に偏りの傾向が見える。ジュニア層が活発なのは海が生活基盤と密接な地域。そんな中でもサーフィンをしに行くのに車や電車移動が必要な大阪支部は、ジュニアも活発。ただし全体的にはシニア以上の世

代が75%以上という現在のNSA。ベテラン層の方々が末長く頑張っているのは嬉しいことだが、各支部でのジュニア発掘、育成に向けての活動の活性化にも期待したいところだ。

クラス別正会員登録数

競技クラス		登録数
SM マスター	S	1,840
SM シニア	S	1,479
SM グランドマスター	S	1,256
SM カフナ	S	735
SM シニアメン	S	619
LM マスター	L	439
LM グランドマスター	L	388
SM ジュニアメン	S	357
SM ボーイズ	S	325

競技クラス		登録数
LM カフナ	L	289
LM シニア	L	265
SW シニア	S	241
SM キッズ	S	229
SW マスター	S	203
LM メン	L	153
BW シニア	B	144
SW グランドマスター	S	126
LW マスター	L	121

競技クラス		登録数
SM ジュニア	S	112
LW シニア	L	106
SW シニアウイメン	S	101
BM マスター	B	97
LW グランドマスター	L	94
SW キッズ	S	93
SW ガールズ	S	93
LW ウイメン	L	64
BW グランドマスター	B	55

競技クラス		登録数
BM メンシニア	B	40
SW ジュニアウイメン	S	39
BW ウイメン	B	34
SW ジュニア	S	27
S計		7,875
L計		1,919
B計		370
合計		10,164

勢いがあるチームには理由アリ

サーフィンのスキルアップ、楽しみ方に寄り添ったチームの存在

支部内にたくさんのチームが存在するケースや、支部のほとんどの会員を占めるチームが存在するケースなど、地域独特の支部のカタチがあります。同様にチームもそれぞれのカラーがあると言えます。それにはそのチーム代表の考え方やチームの運営方法が大きく関わっています。特にTOP3に入っているKMSC ストラディール、MISSION、パースサーフでは、大会に出場していないサーファーも多く正会員登録しています。それはショップをベースに運営されているチームであることも関係していますが、それ以上にチームに入ることによって仲間ができること、サーフィンを安全に楽しめること、サーフィンのスキルアップに繋がること、NSA正会員になる意味を伝えられる雰囲気があり、チーム独自の活動も行われているからという理由があります。いわばサーファーのネットワークとしてのチームの存在。それは支部の活動をさらに活性化させていく大きな力になっていくに違いありません。



チーム別正会員数 TOP25 (登録849チーム)

順位	チーム名	支部名	チーム会員数
1	KMSC ストラディール	京都	135
2	MISSION	福岡	124
3	パースサーフ	埼玉南	103
4	波崎南風	茨城波崎	99
5	サーフクラブ	千葉西	98
6	K.I. SURF	千葉銚子	96
7	水木サーフチーム	茨城北	90
8	現役学生・OB	学連	89
9	GAN☆SURF	埼玉南	77
10	ムラサキスポーツ茅ヶ崎	湘南茅ヶ崎	66
11	ローカルエナジー	徳島	62
12	RADIX 佐倉	千葉西	61
12	SEAMILES	千葉東	61
14	レイトラップ	千葉東	60
15	UZ	千葉東	57
15	トラックス	埼玉南	57
17	サンタートル	湘南茅ヶ崎	52
18	アンフィビアン	山梨	49
18	TEAM DEVICE	栃木	49
18	RAISE SURF	千葉西	49
21	ライズアンドジャン	湘南茅ヶ崎	46
22	鎌倉サーフィンクラブ	湘南鎌倉	44
23	ザザンコースト	千葉南	39
23	ダブニー	茨城南	39
25	J's BOARDRIDERS CLUB	千葉南	38

PRAY for ISHIKAWA

令和6年能登半島地震・災害復興支援の寄付金についてのご報告

令和6年1月1日に発生した能登半島地震によって、被災されたみなさま、そのご家族の方々には心よりお見舞い申し上げます。

日本サーフィン連盟では、被害にあわれた地域及び近隣の方や石川支部長に、被災状況や救援状況等の確認を行い、今後の復興も含めた支援として寄

付金を募らせていただきました。1月15日に受付を開始し、3月4日の期間にて、791,097円という寄付額が受付口座に寄せられました。そしてこのたびはみなさまからお預かりした寄付金を、石川支部にお届けいたしましたことを報告させていただきます。

寄付金をお寄せいただいた方々（敬称略、順不同）

ミヤザキ ユキコ/カナザワ ロイ/オカモト ナル/ナカミナト シンイチ/マセキ ヒデオ/クマクラ ケイタ/オオムラ ナオ/コシゾエ ケン/ナカザワ ジュン/ヤマダ シンヤチーム/ハラダ サトミ/HOTLIP/ナガセ トモユキ/キタガワ マコト/オグラ カオリ/サカイ アツシ/ツバキ サタオ/ナカムラ ユウイチ/サーフショップ リアル/エヌエスエーフクオカシブ/タカヤス ヒロコ/オククラ ケンスケ/カプトムシサーフショップ/ミナミ ケイ アイ/ニホンサーフィンレンメイミヤギセンター/センダイサーフショップユニオン/ニシモリ タマミツ/タクサリ シュンノスケ/イトウ ノブコ/NSAトウキョウシブ/ヤマグチ ミツオ/イシマル コウタロウ/ユ) セインジドウシヤ/ショウナンニシシブ/ハセガワ ヒロアキ/エヌエスエーアイチシブ/コサカ ユイヤ/イワテシブ コイケヤス/ミナミデノブオ/カプトムシ サーフショップ/レイズ サーフ アンド



皆様からの寄付金は、酒井理事長(右)によって水上支部長(左)に届けられました。

石川支部より

「この度発生した石川県能登地方における地震により多大なるご支援、ご協力誠にありがとうございました。今現在、金沢から羽咋柴垣海岸まではサーフィン規制が解除となりサーフィン可能となりました。なお、志賀町から上のエリアにつきましてはサーフィンは控えて頂きますようお願いいたします。(石川支部長 水上 譲 2024年3月18日)」

まだまだ、被災された地域では復興に向け

ての様々な問題を抱えていることとは思いますが、被災地域の観光需要の落ち込みも懸念され、支援策も実施される中、「是非、足を運んで頂きまして違う形での復興支援をお願いできましたら幸いです」とのメッセージもいただきました。被災された皆様の安全と1日でも早く平穏な生活に戻れますことを心よりお祈りし、復興につながる何かのアクションをひとりひとりが実践していけたらと思います。



NSAマイページは あなたのサーフィンライフをサポートします

NSAではあなたのサーフィンのスキルアップ、
充実したサーフィンライフを送るための様々なサポートを実施していきます。
NSAマイページはNSAとあなたをダイレクトに繋ぎ、
スピーディな情報の管理と共に、最新の情報をキャッチできる便利なツールです。
まだ、使い方がわからない人はこのページを見ながら試してみてください！

イラストレーション：直井 徹



様々な情報を一括管理 NSAマイページを使いこなそう!!

マイページのメニュー画面から、会員情報、資格情報、サーフィン検定、大会スケジュールなど、様々な情報を確認できます。さらにサーフスポット情報もぜひ活用してみてください。

NSAマイページの メニュー

マイページ

NSA-ID、競技/クラスとランキングを表示。



スケジュール

大会、サーフィン検定、資格試験&講習のスケジュールをカレンダー表示。



必要なカテゴリーの情報のみを表示させることも可能です。

資格情報

NSAで取得できる資格の中で、自分の保有資格が表示されます。



大会参加履歴

当年度に自分がポイントを獲得した大会の履歴が表示されます。



サーフィン検定

サーフィン検定の自分の取得級が表示されます。



会員情報

WEB会員証を表示。会員番号、所属支部、大会での参加クラス、会員有効期限などの必要情報を確認できます。



スマートフォンがあればすぐに会員証の提示、正会員番号も確認でき、とても便利です。
※マイページの登録や機能についてのさらに詳しい情報は、右上のQRコードから確認できます。

WEB会員証・資格証、 マイページ登録、 あなたは大丈夫ですか？

NSAでは2023年度より環境問題への配慮と共に、会員の皆様へのスピーディかつ円滑な対応を実現するために従来のプラスチックカードを廃止し、WEB会員証・WEB資格証へと切り替えました。まだ、マイページ登録が済んでいない方は、NSAサイト上から本人認証を行い、写真を登録してマイページにWEB会員証・資格証が表示できるように完成させてください。



サーフスポット情報

随時更新される全国のエリア別の波のコンディション情報や、各ポイントごとの波情報を閲覧できます。マイポイントに設定しておけば自分の知りたいポイントの波情報をスピーディに確認でき、とても便利。エリア内での2時間以内のベスト5、本日のベスト5が表示され、どこを選べばより良い波をキャッチできるかを素早く判断できます。

サーフスポット情報
エリア選択
北海道～東北
茨城
千葉
高崎
伊豆
静岡～伊豆海
伊勢～四国
福岡～沖縄
北日本海

サーフスポットTOPではエリアを選択

千歳エリア 概要・中期予報
<p>今後の波 千歳近海 千歳総合サーフ協会</p> <p>【予報】 後半は、風が南へシフトしながら強く吹き荒れウネリも強まり、南側や東側など一部を除いてクローズアウトの厳しいコンディション。</p> <p>明日は、前線を作る低気圧が東海上へ進む予想。波をピークに強く反応する北側～東側ウネリが、多少落ちるにつれて弱くなる。朝は、低気圧の中心となるものの、第一高気圧のポイントが多くがわがで難しいスタートとなるでしょう。日中は北～北東風となるため、一気受けあめ用田などはクローズが続く可能性が高い。土曜日のエクスパートが期待される。</p>

エリア別の概要・中期予報を表示「もっと見る」から、詳細情報を得ることができます。

今日のベスト5	
1 片貝/新境 もも-コシたまにハラ→	30分 3.27
2 東浪原 コシハラ編ムキ→	30分 3.18
3 作田 もも-ハラ→	25分 3.07
4 片貝/新境 もも-コシたまにハラ→	25分 3.03
5 片貝/新境 もも-コシたまにハラ→	25分 3.03

※「マイポイント設定」は3つまで可能
※「マイポイント設定」は1つ目の設定エリアの順

エリア概要の下部には各エリアでのベスト5のポイントが表示されます

志田下
<p>波サイズ 風向き フェイス クローズアウト オアシシ ア ガタガタ</p> <p>水温 39℃ ウェット 3～5mmフル 0色</p> <p>人数</p> <p>コメント：アウトから順番にダブルオーバーのジャンク。波群多くゲットできます。クローズ</p>

波の状態を知りたいポイントを選べば詳しく表示。マイポイントに設定すればスピーディに表示することができます。

会員情報の変更は全てマイページで

「住所」「メールアドレス」など登録情報の変更があった場合は、速やかに全てWEB上にて登録情報を変更してください。例えば、住所変更が行われていないと、このYEARBOOKもお届けできなくなりますのでご注意ください。

各種変更方法

住所や電話番号変更などは「プロフィール情報変更」で



入籍などで氏名変更が必要な場合は、別途メニューの「氏名変更申請」で申請してください。



メールアドレス変更、パスワード変更は「ログイン情報編集」で



メールアドレス変更
現在のメールアドレスが表示されていますので、新しいアドレスを入力してください。



パスワード変更
現在のパスワードを入力後、新パスワードに変更。パスワードは半角英数字を混合させた8文字以上で設定。



注意していただきたいこと

あなたのマイページはひとつだけ、重複してつくらないで

マイページはNSAとあなた本人との永続的な繋がりとなります。例えば会員を一度辞めてしまってもマイページは存続しています。そのため、資格更新のたびに新しいマイページをつくってしまうことのないように注意してください。正会員やオープン会員に再入会したい場合には、今あるマイページからお申込みいただけます。

写真を未登録の人は写真登録を

WEB 会員証には顔写真が必要です。「写真登録」メニューから6ヶ月以内に撮影した新しい顔写真を登録。資格証や大会エントリー用で使用されるものとランキングやイヤーブック掲載用の写真をそれぞれ登録できます。もちろん別々の写真を登録してもOK。写真は規格に合ったものをアップロード可能です。





2024年波乗りジャパン
強化指定選手一覧

目指せ日本代表！ 目指せ世界一！

NSAでは、世界の強豪と戦う日本を代表する選手を選出するため、一般社団法人 日本プロサーフィン連盟 (以下JPSPA)と協議の上、2024年強化指定選手80名を選出いたしました。強化指定選手は強化合宿等を通じてサーフィンの技術向上、日頃の感謝や社会規範の遵守など、日本を代表する選手としての心得を学び、文武両道で日々精進していただきます。

A 指定



五十嵐 カノア 伊東 李安琉 稲葉 玲王 岩見 天獅 大原 洋人 コナー・オレアリー 脇田 泰地 和氣 堆人 J 都筑 有夢路 都築 虹帆

B 指定



野中 美波 前田 マヒナ 松岡 亜音 松田 詩野 脇田 紗良 足立 海世 J 安室 丈 大音 凜太 岡野 漣 J 小野 里弦 J



小濃 来波 佐藤 利希 高井 汰朗 J 田中 大貴 西 慶司郎 渡邊 壱孔 J 池田 美来 J 川合 美乃里 佐藤 李 庄司 莉花 J

C 指定



鈴木 莉珠 J 高橋 花音 J 登坂 祐妃 J 中塩 佳那 秋山 大晴 石川 拳大 大野 修聖 加藤 翔平 川畑 永志 藤本 世音

2024年 サーフィン競技強化指定選手選考基準

- 2024年サーフィン強化指定選手の選考方法 シニア枠
- ① NSA メンクラス・ウィメンクラスランキング上位 2 名
- ② WSL2023 日本人ワールドランキング上位 8 名 (男女) 但し、日本国籍を有し、NSA 及び JOC の規定に準じる CT選手は強化指定選手としていつでも追加し選抜することができます。
- ③ JPSPA 日本ランキング上位 6 名 (男女)
- ④ 強化部推薦 2024 オリンピック バリ大会 (タヒチ) の波に適した選手
- ⑤ 2020 東京オリンピック出場選手
※ ISA 世界選手権代表はナショナルチーム期間として登録年 (参加年) より2年間、強化指定選手として更新することができます。
※ WSLのランキングやスケジュール、怪我などの変更事由に伴い、CS 参戦メンバーに加わった場合、強化指定選手としていつでも追加し選抜することができます。
- ⑥ 2023WSL 「ワールド・ジュニア・チャンピオンシップ (WJC)」出場選手
- ⑦ 2023ANOC 日本代表選出選手、補欠選手

● 2024年サーフィン強化指定選手の選考方法 U18・U18G・U16・U16G

- ① 2023NSA ジュニアクラスランキング上位 8 名
- ② 2023NSA ボイズクラスランキング上位 8 名
- ③ 2023NSA キッズクラスランキング上位 8 名
- ④ 2023NSA ガールズクラスランキング上位 8 名
- ⑤ 強化部推薦 2024・28 オリンピック パリフランス大会 (タヒチ)・ロサンゼルス大会の波に適した選手
- ⑥ 強化部推薦 U18 の選手で海外またはプロで活躍する選手を選抜することができる。
※各ジュニア以下のクラスで対象年齢者が 8 名以下の場合、NSA ランキングより翌年の U18・U16対象クラスに分け計8名をランキングより追加選抜する場合がある。
※ ISA 世界ジュニア選手権代表・補欠選手はナショナルチーム育成期間として登録年 (参加年) と翌年の2年間を強化指定選手として更新する。
- ⑦ 2023WSL 「ワールド・ジュニア・チャンピオンシップ (WJC)」出場選手

● その他

※ジュニア・ガールズクラスの強化指定選手選考者で、シニアクラスに上がる選手はシニアクラスの強化指定選手とする。

2024年 強化指定選手の指定ランク選考基準

A 指定

下記の成績評価基準のいずれかを満たし、次期世界大会において4位以上の成績を収める可能性が高いと認められる選手

- ① 前年度における NSA 主催大会で1位の成績を2回以上収めていること。かつ最終ランキング1位である選手
- ② ISA 世界選手権代表選手 (男女6名) ※ 2023世界選手権代表選手から適用
- ③ ISA 世界ジュニア選手権決勝進出者 (メダル獲得者)
- ④ 前年度のワールドランキングが下記の範囲内であること。
・ WSL-CS ランキング日本人上位3位またはランキング50位以内
- ⑤ CT 選手
- ⑥ 東京 2020 オリンピック出場選手
- ⑦ 日本で最高位を収める可能性が高いと認められる選手

B 指定

下記の成績評価基準のいずれかを満たし、次期世界大会において好成績を収める可能性が高いと認められる選手

- ① ISA 世界ジュニア選手権メンバー
- ② 前年度のワールドランキングが下記の範囲内であること。
・ WSL ランキング選考者



目的

- オリンピックのメダル獲得を目標に、ISA 世界大会やWSLなど国内・国外で活躍が期待できる日本人選手を選抜する。
- 強化指定選手は競技力向上と共に人間力の向上も育成する事を前提とする。
- 2028ロサンゼルス・オリンピックに向けた選手育成も並行して行い、2028年の年齢に適したジュニア選手育成のための選考枠を拡大し強化を実施する。

なお、強化指定選手の選考基準は、第一にオリンピック選手の最終選考とそれに対する育成を目的とする。オリンピック終了後は強化指定選手枠を拡大し、次のオリンピックまでに候補を絞り込み、選手枠を縮小していく。



J=ジュニア指定兼ねる ■五十音順

- ③ JPSA グランドチャンピオン
- ④ 強化コーチ推薦者（世界大会を基準に活動している選手）
- ⑤ 日本で最高位を取める可能性が高いと認められる選手

C 指定

次期世界大会において、好成績を取める可能性が高いと各々が認める選手

- ① A、B 指定以外の選手
 - ② ISA 世界選手権・世界ジュニア選手権補欠メンバー
 - ③ NSA ジュニアオープン優勝者（ISA 同年出場時）、JAPAN OPEN 優勝者（ISA 同年出場時）
- ※ ISA 世界マスター選手権大会の代表選手は、派遣決定後 C 指定選手として登録されます。

JUNIOR 指定

ジュニア枠 - U18・U18G・U16・U16G

- ① NSA ジュニアクラスランキング上位8名
- ② NSA ボーイズクラスランキング上位8名
- ③ NSA キッズクラスランキング上位8名
- ④ NSA ガールズクラスランキング上位8名
- ⑤ 強化部推薦 2028 オリンピック ロス大会の波に適した選手
- ⑥ 強化部推薦 U18の選手で海外またはプロで活躍する選手を選手考することができる。

2025年 サーフィン競技強化指定選手選考基準

● 2025年サーフィン強化指定選手の選考方法 シニア枠

- ① 2024NSA メンクラス・ウィメンクラスランキング上位 2 名
 - ② 2024WSL 日本人ワールドランキング上位 8 名（男女）
- ※ 2024年 12月時点のランキング
- 但し、日本国籍を有し、NSA 及び JOC の規定に準じる CT 選手は強化指定選手としていつでも追加し選抜することができる。
- ③ 2024JPSA 日本ランキング上位 6 名（男女）
 - ※ 2024年 12月時点のランキング
 - ④ 2024ISA 世界選手権代表はナショナルチーム期間として登録年（参加年）より2年間、強化指定選手として更新することができる。
 - ※ WSLのランキングやスケジュール、怪我などの変更事由に伴い、CS 参戦メンバーに加わった場合、強化指定選手としていつでも追加し選抜することができる。
 - ⑤ 2024WSL 「ワールド・ジュニア・チャンピオンシップ (WJC)」出場選手

● 2025年サーフィン強化指定選手の選考方法

U18・U18G・U16・U16G

- ① 2024NSA ショートボード メン JUNIOR ランキング上位 8名

- ② 2024NSA ショートボード メン BOYS ランキング上位 8名
 - ③ 2024NSA ショートボード メン KIDS ランキング上位 6名+推薦枠
 - ④ 2024NSA ショートボードウィメン JUNIOR ランキング上位 4名
 - ⑤ 2024NSA ショートボードウィメン GIRLS ランキング上位 4名
 - ⑥ 2024NSA ショートボードウィメン KIDS ランキング上位 2名+推薦枠
 - ⑦ 強化部推薦 2028 オリンピック ロサンゼルス大会の波に適した選手
 - ⑧ 強化部推薦 U18 の選手で海外またはプロで活躍する選手を選考することができる。
- ※ 各ジュニア以下のクラスで対象年齢が 6 名以下の場合、NSA ランキングより翌年の U18・U16 対象クラスに分け計 6 名をランキングより追加選抜する場合がある。
- ※ ISA 世界ジュニア選手権代表・補欠選手はナショナルチーム育成期間として登録年（参加年）と翌年の2年間を強化指定選手として更新する。
- ⑨ 2024WSL 「ワールド・ジュニア・チャンピオンシップ (WJC)」出場選手
- ※ NSA の認定級 2 級以上保持者に限る。

● その他

※ ジュニア・ガールズクラスの強化指定選手選考者で、シニアクラスに上がる選手はシニアクラスの強化指定選手とする。

Challenge to the
2024 Paris Olympics

パリ2024 オリンピックで 勝つために



パリ五輪への出場枠をかけて、ISA WORLD SURFING GAMES 2024に挑んだ選手とスタッフ。日本チームとして結束力も順調に上昇してきている。ここからさらにどう挑んでいくのか!

2024年パリ五輪サーフィン競技は7月27日から7月30日までの4日間のスケジュールで行われる。開催地はフランス領ポリネシアのタヒチ島南西海岸「チョープー」。天然のリーフパスにエントリーするパワフルなパーフェクトバレルでの最高峰のサーフィン・パフォーマンスの勝負。そんなシーンに今から期待が高まる。オリンピック出場選手の最終選考の場となったISA WORLD SURFING GAMESが終了し、そこで見たこと。オリンピックに向けて、日本がどう挑むのかを日本サーフィン連盟の強化委員長を務める牛越峰統氏にお話を伺った。
(取材：2024年3月11日)

パリ五輪に向けて

日本代表メンバーが挑んだ

ISA WORLD SURFING GAMES

で見えてきたこと

最高のメンバーとスタッフで挑んだ大会でしたが、残念ながら期待通りの結果とはいきませんでした。日本のレベルも上がってきていることは確かと言えます。しかしながら、世界は各国選手がそれを上回る実力をつけてきていて、厳しい見方をするともっと力をつけなければならないと感じています。チームづくりという部分ではとても上手くいっていると思います。しかし、思うような結果を出せなかった。その理由のひとつとしては今回のプエルトリコの波は我々が予想して準備してきた波質と大きく違っていました。世界の強豪選手がひしめく中で日本人選手が試合で勝つためには、どの波でも乗りこなすためのオールラウンドなスキルが求められます。ヒートの時間内に入ってくる波に対してどれだけの実力が出せるか?その部分が今大会では海外の選手が上回っていたと言えます。昨年の大会(2023年WSG:エルサルバドル開催)の時は、波質も良く日本人でも対応できるサイズで、ハイパフォーマンスな技をどんどん仕掛けることができ、ポケットの中に入れていくサーフィンができていました。しかし今回のコンディションというのはひとつの波の中に、例えば3つとか複数のピークができる波でした。いわゆるよじれるような波が多かったん



牛越峰統

1971年10月21日、東京都調布市生まれ。中学生の時にサーフィンを始め、17才でプロテストに合格。国内外のツアー・トーナメントに参加し、JPSA グランドチャンピオンになるなど活躍。2009年に20年の競技歴をもってツアーから引退。その後、プロサーフィン連盟理事長を務めるなどサーフィン界を牽引。日本サーフィン連盟では、オリンピック出場枠獲得に向けて重要な役割でもある強化委員長を務める(2023年5月~2024年3月)。



パリからは15,000km離れた南太平洋のタヒチ島のチョープー。岸からは数百メートルも沖合で生まれるパワフルなリーフブレイク。ただ、ここでも様々な種類の波があり、波に対する経験値が大きく勝敗に影響する

です。ひとつの波のピークを後ろから先のピークに移り変わったところでの技をかけていくような波質、そこで上手く乗り継ぐためのリカバリ力などは、海外の選手がうまかったんです。さらに今回は特にオリンピックの出場権を少しでも多く得るための最後のチャンスで各国選手ともに必死でした。日本選手もちろんそうですが、そこに国を代表する選手たちは責任感も強く感じたでしょうし、緊張感もあった。その中で小さかったり、風が強く吹いていたり、



今回のISA WORLD SURFING GAMESでの経験を活かし、オリンピックに向けて様々なコンディションでの対応力をどこまで上げていくかが課題だという

雨が降るなどいろいろなシチュエーションに遭遇した時でも、海外の選手は120%の力で挑んでいました。その中で日本選手はあともう一歩力が出せればというところでした。

「タヒチ・チョープー」での試合に向けて 日本が準備すべきことは?

パリ五輪の会場となる「タヒチ・チョープー」といえば、多くの人が映像で見ると素晴らしい波をイメージすると思います。実は昨年チョープーで行われた試合を見ると意外とオンショアなんです。そのオンショアのジャンクな波の中でもチューブに入らないと点数が出ない。チューブが足りない中で、下が浅い最後のエンドロールのところまで1発かけてジャッジにアピールする。そんな試合でした。ですから、オフショア、オンショア、良い時と悪い時があるということ意識して準備しておくことこそ結果を大きく左右すると考えています。もちろん大会の中で素晴らしいチューブの時間帯のヒート

はあると思いますが、全部がそれじゃない。最後のオフザリップやローラーコースター、エアリアルも加味して点数になっていくことを想定して戦い方を考えていくことが大切だと思います。それは今回のプエルトリコの大会でも強く感じたところです。自分のヒートの時に入ってきた波に対してどう自分は動くかということをやりしっかりとイメージして、その現場にのぞむということが大切です。ひとつ確実に言えることは、日本人選手はそれに対応できる実力を持っているということです。あとは結果を出すためにどう動くかということなんです。そのためにチーム一丸となって最高の準備を整え、あとはゴールドメダルを狙っていく。現場で選手はいい波を掴むために、テイクオフポジションに1点集中するということです。

日本代表チームの ここまで動きとこれから？

タヒチでのオリンピック開催が決定してからは現場を調査し、現場で毎年1ヶ月間以上におよぶ合宿を重ねてきました。パリ五輪に向けての強化選手として選ばれた選手たちが一定期間参加し、チョープーの波での経験を積んできました。昨年の後半には現地の特別コーチを2週間ほど招いて、チョープーでのテイクオフセクションがどこか、波待ちしてる時にどのうねりがどこにヒットするかでチューブの開き方が変わるとかなど、チューブの攻略法を強化選手たちに伝授してもらいました。今年もオリンピック前には同様に現地での合宿をおこなっていきます。チームジャンプの部屋を用意して、ボートや水上バイクのチームスタッフもスタンバイして、随時チョープーに練習にいける環境を整えます。予定としては7月までに事前の合宿はおよそ2週間ずつ2回、さらに直前合宿を行い、オリンピックの試合に臨むというプランです。残された時間は限られています。ですから現地で優れたコーチを確保して、選手がなるべくチョープーの波に慣れるような導線を作っていきたいと思っています。とにかく限られた合宿の時間内で何十本、何百本でもチョープーの波に乗れる時間を作ってあげたい。ここが勝敗を左右する重要なことだと考えています。チョープーでもいくつか種類の波があります。この合宿の期間でそういう経験を重ねれば、選手もよりリラックスして試合に臨めると思うのです。当然オリンピックという舞台の上で、余裕などはないと思うし、緊張感も大きいのかかるでしょう。しかし、経験があれば冷静に対処できる。そしてエネルギーを必要な

ときに爆発させることができればいいパフォーマンスにつながると考えています。

パリ五輪で日本が 目指している目標は？

もちろんゴールドメダルを狙っています。チャンスがあればゴールドメダルだと思います。試合中は必ずプライオリティルールにより、優先権も巡ってきます。その時に必ずチャンスが来るはずなんです。言い換えれば「ここ1番」っていう波が必ずオートマチックで来るんです。もちろんそこでの波のセレクトもあります。そのために今後の合宿でそういったチャンスをモノにできるような力を磨いてもらいます。チャンスがあったらゴールドメダルをとるという意気込みです。その力を持つ選手を我々は日本代表として選考しています。すでに東京五輪で日本人サーファーがあそこまでやれたということは実証されています。ですから強い気持ちで臨んでいきます。選手たちもうヤル気に溢れています。重圧はあるけれどチャンスをもぎ取るぞという気迫がある。最後は選手全てが同じ土俵にいるんです。国の期待を背負い、結果を出さなくてはいけないという重圧の中での自分とも勝負となる。チャンスを確実に掴んで自分の実力を出しきることに集中できるように我々は全力でサポート、準備していきたいと考えています。



これまで2回のタヒチ合宿を実施（写真は第2回合宿）。さらに大会まで日本チームは数回の合宿をおこなうが、大会当日に選手が全力を出せるようなコンディションづくりには、現地のコーチの人選、ジェットスキー、ボートなどの機材環境、食事、健康管理など、多くの準備を万全に整えることがとても重要だ。

日本代表メンバー (出場枠・男子3名、女子1名を獲得)



五十嵐カノア

2023年WSLランキングにより出場枠を獲得



ISA/Pablo Jimenez



稲葉玲王

2023年のエルサルバドルのISA WORLD SURFING GAMESでアジアランキング男子1位を獲得により内定



ISA/Pablo Jimenez



コナー・オレアリー

今回のプエルトリコの大会結果も踏まえ、日本人代表枠（2022年ワールドゲームズ男子団体優勝により出場枠を獲得）として内定



ISA/Jersson Barboza



松田詩野

2023年のエルサルバドルのISA WORLD SURFING GAMESでアジアランキング女子1位を獲得により内定



ISA/Jersson Barboza

パリ五輪までの日本代表チームの軌跡



気候変動

Risk Diversification

サイバーリスク

健康経営

Diversity and Inclusion

中小企業支援

未来世代への取り組み

AUTONOMOUS VEHICLES

事業継続支援

地方創生

デジタルトランスフォーメーション

環境保全

災害に強い街づくり

人の力

防災・減災

Space Exploration

SDGs

脱炭素

CLOSING THE GENDER GAP

安心・安全

洋上風力

Resilient Society

円安

M&A

資産形成

人生100年時代

再生可能エネルギー

地政学リスク

AI活用

Circular Economy

Smart Mobility

INCLUSIVE SOCIETY

グローバルな

グループ体経営

ヘルスケア

SUSTAINABILITY

グリーントランスフォーメーション

METaverse マングローブ

次の一步の力になる。

変化が早く、リスクが見えにくい不確実な世の中で、次の一步を踏み出そうとする、すべての人々や企業のために。人々の新しい生き方や企業をお支えし、社会の発展を加速させたい。

安心や安全の提供はもちろん、時代とともに変化する社会課題を解決し、今よりも良い明日を作ること。これが創業以来の私たちの存在意義です。

140年以上の歴史に裏付けられた知見と最先端のテクノロジー、全世界に広がるネットワーク、そして自由闊達な企業文化で、お客さまと社会のために力を尽くします。

それが私たち東京海上グループです。

東京海上グループ

To Be a Good Company



東京海上日動

ポイント基本情報 & 各支部からのお願い

2024年 NSA 主催大会が予定されている各開催地のポイント基本情報、ポイント別の攻略法と各開催地の各支部からのお願いです。

※このコーナーは2024年3月に取材編集された記事です。
現地の状況や受け入れ態勢は変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
全国から多くの参加者が一堂に会する大会期間中は、健康管理や他者への配慮を心がけてください。

生見

第32回 ジュニアオープンサーフィン選手権大会 (2024)

開催期日：2024年4月12日(金)～4月14日(日)(開催済み)

開催場所：高知県 東洋町 生見サーフィンビーチ 予定



北泉

第41回 全日本級別サーフィン選手権大会 (2024)

開催期日：2024年7月3日(水)～7月7日(日)

開催場所：福島県 南相馬市 北泉海岸 予定



木崎浜

第58回 全日本サーフィン選手権大会 (2024)

開催期日：2024年9月23日(月)～9月29日(日) 予備日9月30日(月)

開催場所：宮崎県 宮崎市 木崎浜海岸 予定



鵜沼

第20回 マスターズオープンサーフィン選手権大会 (2024)

開催期日：2024年10月11日(金)～10月13日(日)

開催場所：神奈川県 藤沢市 鵜沼海岸 予定





生見

第32回 ジュニアオープンサーフィン選手権大会 (2024)

●開催期日：2024年4月12日(金)～4月14日(日) ●開催場所：高知県 東洋町 生見サーフィンビーチ 予定



取材：米地有理子 撮影：緒形 清



NSA 徳島支部
支部長 一楽弘徳

今年は例年に比べ年明け以降も波があり、
しっかりと砂が付いていて深くならず
にブレイクしています。
うねりの向きによっては速いブレイクとなりますが、
南東うねりが入ると2アクション以上は
出来るブレイクになっています。

NSA 徳島支部からのお願いとお知らせ

- ビーチ左(北)側駐車場内から山側の国道まで上がる避難階段が設置されています。訪れた際は場所だけでも確認して下さい。
- ビーチ左(北)側、中央、ビーチ右(南)側駐車場には、それぞれコインシャワーやトイレが完備され、定期的にトイレ等の施設の清掃も行われています。お互いが気持ちよく使える用に心掛けてきれいに利用して下さい。
- ボトムは基本サンドですが、中央にはリーフがあるので注意して下さい。
- SUPとサーファーの接触事故等を防ぐため、生見海岸を利用する皆様の安全を守るため、以下のSUPのエリア規制についてご理解とご協力をお願い致します。
 - ウェーブSUP、クルージングSUPの方は堤防に記されている「C」より海に向かって右(南)側で行なって下さい。
 - 「C」より右(南)側はSUP専用エリアではありません。サーファー、サーフィンスクールの人も入水しますので、週末や連休など混雑していて安全が確保できない場合はSUPでの入水をご遠慮下さい。
 - サーファーが近くにいる場合は、安全な距離(10mを目安)まで離れて下さい。
 - 多人数で入ったり、人の多い場所から沖に出ないで下さい。
 - 入水も規制エリア内からお願いします。
- ローカルによる自主的なビーチクリーンが行われています。見かけたらぜひ参加して下さい。自分で出したゴミは持ち帰りましょう。

INFORMATION

概要 横に長いビーチのため、左右で波の大きさが変わる。初心者から上級者まで楽しめる。周りのポイントと比較して1年を通して波のあるサーフィン専用のポイント。

ベストなウネリ 東ウネリ

オフショア 北西

ボトム 基本的にサンドだが、中央付近にリーフ有り

駐車場 ○(無料) **トイレ** ○

シャワー ○(有料)

ベストシーズン 台風の影響で9月～11月にクオリティの高い波がブレイク。秋は朝タオフショアになりやすいのでおすすめ。11月は高気圧の張り出しからのウネリも。

生見に来たらこれおすすめ!

▶白浜にある海の駅は地場の物がいろいろ買えますよ!

▶会場の近くのいせや食堂の“牛定”が美味しいです!

▶お土産にはポンカンの加工品をぜひ!

▶NALU cafeは生見ビーチ目の前でご飯を食べながら波チェック可能!!

▶穴喰ビーチのtake sandはオーガニック食材を使ったメニューを楽しめておすすめです!

生見攻略法

4月は比較的サイズが上がるので、
スペアボードを用意しておく事をおすすめします

生見は見た目と違い、
クセのある波である事が多いため、
波の見極めが重要となります。数日前から
現地入りできれば早めに慣れやすいです。

速い波の時は大きな技を入れると
結果に繋がりがりやすいです。



北泉

第41回 全日本級別サーフィン選手権大会 (2024)

●開催期日：2024年7月3日(水)～7月7日(日) ●開催場所：福島県 南相馬市 北泉海岸 予定



取材：米地有理子 撮影：米地有理子



NSA 福島支部
支部長 猪狩優樹

ショートボードからロングボードまで
楽しんで頂けるポイントです。
近くに浴場や宿泊施設もありますので
快適にサーフトリップを楽しめますよ！

NSA 福島支部からのお願いとお知らせ

- NSA 福島支部及び福島サーフィン連盟では毎年3月11日を迎える前に県内で一斉ビーチクリーンを開催しています。
- 県内では行政の水質検査も定期的に行われており、安全面にも注意が払われています。検査結果の数値は福島県や各市のホームページをご覧ください。
- 地域の方々の協力や行政との連携により、四倉、北泉ポイントは駐車場やシャワー施設などが整備されています。皆さんに気持ちよく利用して頂けるようにご協力をお願いします。
- 四倉、北泉ポイントはローカルも入るポイントですが、基本的なルール&マナーを守って頂ける方であればビジター大歓迎です。
- 福島エリアのサーフポイントは、サーフィンがかなり盛り上がっています。行政とサーファーが一体となって、地元へ貢献し、より良いサーフタウンを目指しております。是非ハッピーアイランド福島へお越し下さい。
- 昨年大変盛り上がった北泉サーフィンフェスティバルが今年も開催されます。皆様のお越しをお待ちしております！

INFORMATION

概要 サイズが上がっても風やウネリの向きによっては、ビーチブレイクでもクローズせず、Aフレームの波がブレイクする福島でも屈指のポイント。台風のパックスエルまで敏感に反応。

ベストなウネリ 南～北

オフショア 北～北西

ボトム サンド

駐車場 ○無料

トイレ ○

シャワー ○※海水浴シーズンのみ

ベストシーズン 台風の時期から10月の西風の吹くシーズン

北泉に来たらこれがおすすめ！

▶ビジネスホテル高見は日帰り入浴ができてサーフィン後の疲れを取るのにおすすめです！

▶南相馬市小高交流センター内にある殿様食堂のとり唐揚げ定食はボリューム満点です！

▶福島に来たら、凍天(しみてん)、しらす、メヒカリをぜひ食べてみてください！

北泉攻略法

サイズが上がると
パワーが強烈的なので
長めのボードを！

小波の時は少し速めなので
EPSなど反応の良いボードを
使ってテンポの良いライディング
するのがコツ。

カレントが発生するので
ポジショニングに注意！



木崎浜

第58回 全日本サーフィン選手権大会 (2024)

●開催期日：2024年9月23日(月)～9月29日(日)予備日9月30日(月) ●開催場所：宮崎県 宮崎市 木崎浜海岸 予定



取材：米地有理子 撮影：緒形 清



NSA 宮崎支部
支部長 緒方申八

今、日本中のサーファーから注目されるポイントです！
コンスタントに波もあり、シャワー・トイレ等の
設備も改善され、初心者から上級者まで楽しめます！

SA宮崎支部からのお願いとお知らせ

- 毎月第2日曜日10時からビーチクリーンを行っています。ご協力をお願いします
- どここのポイントでも同じですが、ルールとマナーをしっかりと守って下さい。
- 近年、車上荒らしが報告されていますので、施錠を必ずお願いします。
- 「ソラシドエアサーフィンセンター木崎浜」は県内外のサーファーの皆さんが快適に利用して頂けるように整備されましたが、サーファーだけでなく一般の方にも来訪して頂き、自然や海にふれあい、大いに利用して頂きたいと思えます。自動販売機は防犯の役割も担っており、緊急時用にAEDを備えつけてあります。また、放送設備を利用して津波、地震時には速やかな避難誘導が可能になりました。このセンターをより長く活用できるように私たちサーファーも清掃活動をはじめ、維持管理に努めて参ります。

木崎浜に来たらこれがおススメ！

▶宮崎といえば、チキン南蛮・地鶏・宮崎牛です！木崎浜付近の鬼玉うどん(うどん)・柿の木茶屋 そばの郷(蕎麦)・風来軒(とんこつラーメン)・アクアポット・カピタン(ピスタ・ピザ)、ひで丸(海鮮料理)、ステーキ希海(宮崎牛ステーキ)、青島氷菓店(かき氷)も美味しいですよ！

▶お土産は青島せんべい・チーズ饅頭・マンゴープリンをぜひ！

▶宮崎に来たら、高千穂峡(高千穂町)・飫肥城(日向市)・霧島神社(霧島市)・都井の岬(串間市)などの観光もおススメです！

INFORMATION

概要 広いビーチで、初心者から上級者まで楽しめる。両サイドの河口の地形が決まればロングライド可能なビーチブレイクが出現。北東の強風時やサイズが上がるとカレントが強くなるので注意。

ベストなウネリ 南・東・南東

オフショア 西・南西

ボトム サンド

駐車場 ○無料

トイレ ○

シャワー ○無料のほか、有料温水シャワー及びロッカー有り

ソラシドエアサーフィンセンター木崎浜

木崎浜で開催された「2019年ISAワールドサーフィンゲームス」のレガシーとして整備され、2022年4月にオープン！

・3分200円の温水シャワー、施錠可能なロッカー付き更衣室、自動販売機2台、AED、放送設備有り

・外部に設置してある2ヶ所の無料シャワーはオールシーズン利用可能

・施設横に既設の男女トイレ有り

ベストシーズン オールシーズン

木崎浜攻略法

ビーチに向かって、
加江田川方面はロングボード、
清武川方面はショートボードで！

波はメローで癖のない
とても乗りやすい波です。

ビーチも広いので、
自分の好きなポイントを
ゲットして下さい。



鵠沼

第20回 マスターズオープンサーフィン選手権大会 (2024)

●開催期日：2024年10月11日(金)～10月13日(日) ●開催場所：神奈川県 藤沢市 鵠沼海岸 予定



取材：米地有理子 撮影：佐原健司



NSA 湘南藤沢支部
支部長 田村隆之

年間を通して小波でもサーフィンが出来ます。
大会会場予定のスケートパーク前周辺は
公認大会も毎年行っており、
とてもポピュラーなポイントの一つです！

NSA 湘南藤沢支部からのお知らせ

- 本当に久しぶりに、NSAの主催大会マスターズ選手権大会を湘南・鵠沼海岸で開催することとなりました。開催にあたり、大会実行委員で良い大会にできるように努力して参ります。
- 鵠沼海岸は、砂地なので地形は変わりやすいですが、初心者でも入りやすいです。
- 夏の時期、サーフエリアと海水浴場のエリア規制があります。杭のある区切り付近でのサーフは、特に注意してください。時間規制もありますので必ず確認してください。
- 皆さんもご承知の通り、鵠沼海岸付近はビギナーサーファーも多く訪れます。スクールも多く開催されています。海に慣れていない人やルールやマナーを知らない人がいることも理解して、危険回避にご協力をお願いします。また、地元地域の方や地元サーファーの方への配慮をお願いします。
- 住宅街などのコインパーキングを利用する場合は、近隣住宅への騒音配慮をお願いします。特に早朝は、話し声やワックス塗りの音も響きます。早朝のWAXはビーチでやりましょう!! また、シャンプーなどの排水にも配慮してほしいとされています。
- バイク・スクーター・原チャリの場合、サーフボードキャリアに積むことができるボードの大きさには積載制限が定められているため、必ず事前に確認するようにしましょう。(原付の場合：最大積載量30kg、荷台の幅より左右15cm以内、長さ荷台から30cm以内、高さは地面より2m以内) ※自転車は厳密な規制はありませんが、フィンが外側に向いていると大変危険です。フィンの向きは考えて欲しいと思います。
- 海岸へのバイク・スクーター・原チャリの乗り入れは禁止されています。県や市、行政からの注意も聞いています。

鵠沼攻略法

波の小さな日が多いのですが、サイズが上がり地形が決まれば、
いい波でサーフィンが出来ます。
小波の時は、少し大きめの板があっても良いかもです！

INFORMATION

概要 会場のスケートパーク前は遠浅で初心者でも入りやすいが、ウネリが入り、サイズアップするとエキスパートが待ち望んでいたゲレンデとなる。鵠沼周辺は風波でもサーフィンを楽しめる。

ベストなウネリ 西寄りのウネリ

オフショア 北寄りの風

ボトム サンド

駐車場 ○(有料)

トイレ ○

シャワー ○※場所によって設置されている

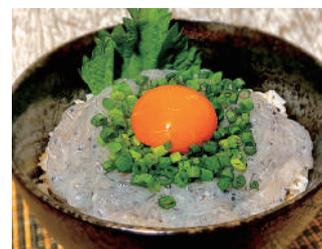
ベストシーズン 台風シーズン。近すぎるとクローズしてハードになる。年間通して低気圧が通過したらいい波が立つ。

鵠沼に来たらこれがおすすめ！

▶江ノ島観光は人気です！

▶江ノ島水族館も家族連れには特におすすめ！

▶生しらすをぜひ食べてみてください！



大会の成績アップに繋がる! 認定級が高いとポイントランキングも有利!

サーフィン検定にチャレンジしよう!

サーフィンの技術を高めていくうえで、様々な壁に直面して、その壁をどう乗り越えて次なるステップに行くかが問題です。「自分の悪いところがわからない」「どうすれば上手になれるのか」「何を練習すればいいのか」なかなか自分自身でそれを的確に見出すことは難しい。そんな局面で解決への道をスパッと切り開いてくれるのが「サーフィン検定」です。さらに、サーフィン検定では、あなたが公認大会に参加した時に自分が保持している級によって獲得できるポイントも変わってくるという仕組みもあります。大会で上位を目指したいという人も、ぜひともチャレンジしてみましょう。検定は全国の支部ごとで実施しています。どの支部の検定にも参加可能なので、チャンスを見つけてどんどんチャレンジして、レベルアップを目指しましょう。

受験するには?

全国の検定スケジュールを確認



写真が必要です

証明写真(縦4cm×横3cm)は事前に用意して会場へ

受験会場へ

サーフィン検定では事前予約は不要。検定はNSAの支部主催で行われるが、支部内の会員でなくても受験可能。検定はNSA正会員、オープン会員でなくても誰でも受験可能。NSA正会員であれば5級受験が免除で、4級からチャレンジできます。

受験票は直接会場でもらう

受験票を記入

日本サーフィン連盟公認サーフィン検定 受験者カード

①枠内の項目をご記入後、受験用証明写真をお貼りください。

フリガナ
氏名 **名前を記入** 男・女
受験用証明写真貼付欄

生年月日記入 西暦 年 月 日 生まれ

NSA-ID(必須) NSAマイページ
ID取得番号 **888888** 4桁×3桁

連絡先 **電話番号記入**

会員番号 会員のみ記入 **正会員・オープン会員の方はその会員番号を明記**

クラス認定番号 S・L・B

所属支部 所属チーム

開催日 月 日 会場

受験する種目に○をつける 受験クラス(○印)

ショートボード ロングボード ボディボード

②受験級を記入後受付に提示し、受験料をお納めください。

受験料 2,000円(各級共通/1回の受験につき)

受験級	ヒート番号	ゼッケン	ジャッジサイン	合否印
級 1回目	1回目	1回目	1回目	1回目
級 2回目	2回目	2回目	2回目	2回目
級 3回目	3回目	3回目	3回目	3回目
級 4回目	4回目	4回目	4回目	4回目

③検定終了後にカードを受付に提示し、合格の場合は認定料をお納めください。

認定料 3,500円(各級共通/1回の合格につき)

1級合格	2級合格	3級合格	4級合格	5級合格
受領印	受領印	受領印	受領印	受領印

本券を所持する方は 月 日 会場で実施されたサーフィン検定に合格し、認定料を納められたことを証明します。

合格者氏名

主催支部長サイン 支部 印

NSA ID って?

会員、非会員ともにNSAホームページで会員(マイページ)登録済みであれば付与されている番号です。今回が初めての受験でマイページの登録がまだの人は、まずこのNSA IDを取得してください。
<https://www.nsa-surf.org/mypage/login/>

写真添付 タテ4cm×ヨコ3cm

受験票が記入できたら各級の受付へ

受験料2,000円お支払いください

さあ受験へ



まずは目指せ!

3級以上!!

認定級のレベルと課題



正会員登録はこちら



5級 NSA正会員は免除される入門級

受験資格: 誰でも受験可能

海でボードを扱う
最低限の技量を確認

課題 ある程度の泳力があり、パドルングをしてゲティングアウトできること。テイクオフしてある程度サーフボードの上に立つ事ができること。ボディボードはキッキングを使ってテイクオフし、ある程度ライディングができること。



テイクオフ

4級 サーフィンの基本をしっかりとマスターする

受験資格: 5級保持者またはNSA正会員

波に乗り、向きを変え
波から降りる動作を確認

課題 5級の能力に加えてテイクオフから確実なターンをし、プルアウト(波の後ろに降りる動作)ができること。



プルアウト

NSA正会員はここから



原則1ヒート15分、6本の試技。ヒート途中でも合格判定されればそこで終了。自分のペースで焦らずにライディングしよう

検定の流れ



マスタージャッジからのガイダンス

決められた時間に集合。検定開始前には受験する級ごとにマスタージャッジから検定クリアのために必要な演技内容、マイナスポイントなどの説明があります。

検定開始

持ち時間15分、最大6本のライディングで合格が決まる

指定されたカラーのゼッケンを着用して海へ。級検定での持ち時間は15分。そのなかで6本の波に乗るまでトライ出来、それぞれの級で定められた基準で評価され、級の合格が判断されます。サーフィン検定はNSA公認ジャッジ3名とマスタージャッジ1名が担当。検定では同じ級を受験する4～5名のメンバーで定められたエリアにゼッケンを付けて海へ。人と競い合うわけではないので、15分という時間内で落ち着いてライディングしよう。

次の級へステップアップを目指そう



NSA公認ジャッジ3名とマスタージャッジ1名が検定を担当

合格発表

ゼッケンを返却、ジャッジより受験者カードを受け取る

合格を確認。合格に関わらず、受付に受験者カードを提示して審査結果を必ず報告します。

合格したら認定料を納めて終了

合格者は合格印の押されたカードを認定受付に提出して認定料3,500円を納めます。検定日から1ヶ月程度で合格認定証が事務局より届くほか、マイページに認定情報が登録され、WEB資格証が有効となります。

当日の再受験は可能？

1回目が不合格でも、2回目の受験が可能な場合もある。ただし、これは当日の受験希望者数やコンディションの状況により、主催者が判断するので会場での情報をチェックしよう。

級別サーフィン選手権に挑戦へ！

NSAが主催する大会の中でも最近注目が集まっているのがこの級別サーフィン選手権大会だ。サーフィン検定級の保持者による大会で、ショートボード、ロングボード、ボディボードで級別にクラス分けが行われ、その中で順位を競い合うという大会。通常の大会とは異なり、実力も近い人同士なので楽しめやすい。サーフィン検定で級認定を受けたら、その先のステップとしてぜひチャレンジを。

上位級を保持していればランキングに大きく有利

公認大会では保持している級によって、獲得できるポイントが大きく変わってくる。AAA、AA、Aとそれぞれ大会で獲得できるポイントなかで、4級と1級では大きく違う。そのポイント差は最大で5倍。つまりランキング上位を目指すなら、上位級を持っている。

AAAランクでの公認大会の獲得ポイント例

順位 / 認定級 (係数)	1級 (1)	2級 (0.8)	3級 (0.4)	4級 (0.2)
1位	6000	4800	2400	1200
2位	4760	3808	1904	952
3位	3840	3072	1536	768
4位	3120	2496	1248	624

その差は5倍

検定の詳細はこちらでチェック！



3級

幅広い波と状況で波乗りが楽しめる中級レベル

受験資格：4級保持者

両サイドのレールを使う動作を確認

課題 テイクオフからレールを使ったターンで加速できる。カットバックもしくはリエントリーができること。ボディボードは上記の技術に加えスピンはエルロ口ができること。ロングボードは上記の技術に加え、ウォーキング・ウォーキングバックができること。
★合格判断基準：その日のコンディションに合わせたアベレージスケールに入るターンができること。



カットバック



ドルフィンスルー

2級

大波にも挑戦できるカッコイイ上級サーファー

受験資格：3級保持者

フリーサーフの中で総合的な技量を確認

課題 フリーライディングで、スピード、パワー、フロー、コントロールなどをジャッジクライテリアに沿って審査。
★合格判断基準：その日のコンディションに合わせたグッドスケールに入るライディングができること。



ハングファイブ



スピン

1級

誰もが憧れるトップアマチュアサーファー

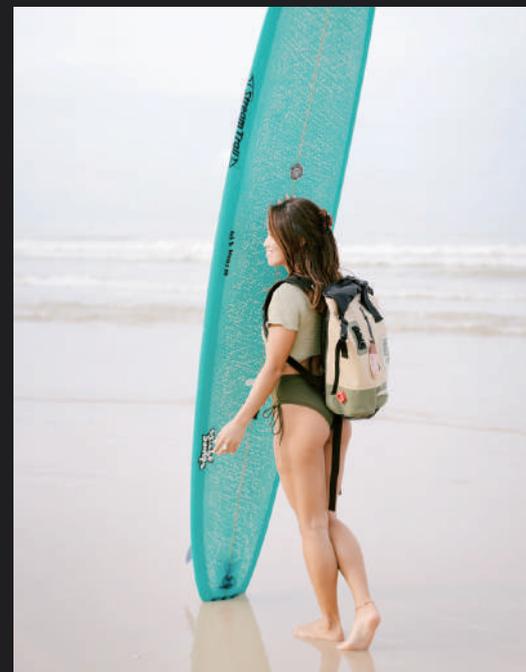
受験資格：2級保持者

波の選択やポジションから高度な総合技量を確認

課題 フリーライディングで、スピード、パワー、フロー、コントロールなどをジャッジクライテリアに沿って審査。2級以上の積極性、波を見る能力、ポジショニングなども審査の対象となる。
★合格判断基準：その日のコンディションに合わせたエクセレントスケールに入るライディングができること。



リエントリー



www.stpx.jp



www.streamtrail.tokyo

国内最大級

サーファーによる全国一斉ビーチクリーン活動

NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT 2023

presented by ENEOS株式会社・日本ウエットスーツ工業会



開催日：2023年9月3日（日）または9月10日（日）
開催地：全国のサーフポイント約70ヶ所
参加者数：約4,500名

サーファーはこの海を守る！キレイな海は私達が守る！

海は我々サーファーにとって、サーフィンという素晴らしい体験を存分に楽しむ場所。そして世界の人々の生活においても生物が育つための大切な場所。我々は日頃から海の恩恵を受け、生活しているのです。

しかし、その大切な海がゴミの不法投棄によって汚れている現状があります。海洋汚染にはいくつかのケースがありますが、人間が投棄したゴミによる汚染は日々深刻化していると言われています。特にプラスチックのようなゴミは海の浄化作用によっても分解されることなく、マイクロプラスチックとなり永遠に海を彷徨うことになります。そしてそれを食べてしまう魚や、それを食べる人間にも大きな悪影響を与えることも確認されています。

こういった海のゴミ問題が少しでも解消されるように我々サーファーは積極的に動くべきと考えます。

毎年、日本サーフィン連盟では各支部が中心となって「NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT」を開催し、ゴミのないビーチ・ゴミを捨てないビーチの働きかけと、私たちにとって大事な海・すばらしい大自然を再認識する機会を設けています。

新型コロナウイルス感染症の脅威からも落ち着きを取り戻した2023年度においては、全国一斉のビーチクリーン「ACT」は70ヶ所を超える多くの場所で、約4,500名という多くのサーファーの参加により行われました。これまでコロナ禍では延期や中止を強いられてきましたが、活動もやっと勢いを取り戻してきました。

我々の積極的な活動は、きっと多くの人の気持ちを動かし、地域での意識を変えていくことに繋がると考えます。そして次の時代を担う子供たちが良い環境で思い切りサーフィンを楽しめるように『サーファーはこの海を守る！キ

レイな海は私達が守る！』という気持ちを込めて「NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT」をより拡大していきたいと考えています。

サーファーとして、同じ海・同じ時間を共有する仲間として、少しの手助けが海の未来を変えたと信じ、この活動を進めていきたいと思っています。

ハンディーサイズのゴミ袋

2023年度はENEOS 株式会社様、日本ウエットスーツ工業会様のサポートのもと製作した小さなゴミ袋が全国のビーチクリーン活動で大活躍。本活動を円滑に行うためのアイテムとして、子供から大人まで大好評でした。



北海道 ▶ 浜厚真海浜公園



岩手 ▶ 浪板海岸



宮城北 ▶ お伊勢浜



宮城仙台 ▶ 菖蒲田浜



宮城北 ▶ 小金沢ポイント



宮城北 ▶ 大谷ポイント



宮城北 ▶ 小泉河口



宮城北 ▶ 渡波海水浴場



宮城北 ▶ 登米沢ポイント



茨城北 ▶ 河原北浜



千葉銚子 ▶ 野手浜海岸



千葉銚子 ▶ 旧かんぼポイント



東京 ▶ 花籠ポイント(千葉県南房総市)



東京多摩 ▶ 静岡 伊豆白浜海岸



東京多摩 ▶ 東条海岸



湘南鎌倉 ▶ 由比ガ浜～坂ノ下



湘南鎌倉 ▶ 材木座海岸



川崎 ▶ 鶴沼海岸



横浜 ▶ 花籠ポイント(千葉県南房総市)



湘南藤沢 ▶ 鶴沼海岸



湘南鎌倉 ▶ 稲村ヶ崎海岸



湘南鎌倉 ▶ 七里ヶ浜海岸



静岡伊豆 ▶ 宇佐美海岸



湘南西 ▶ 馬入ポイント



静岡伊豆 ▶ 多々戸浜海岸



静岡伊豆 ▶ 大浜海岸



静岡1区 ▶ 興津川河口



静岡1区 ▶ 富士川河口



静岡2区 ▶ しずなみ海水浴場



静岡2区 ▶ 御前崎海岸



山梨 ▶ 本須賀海水浴場(千葉県山武市)



静岡2区 ▶ 須々木海岸



群馬 ▶ 滝浜海岸(茨城県鉾田市)



長野 ▶ 百川海岸から藤崎海岸(新潟県糸魚川市)



新潟1区 ▶ 五十嵐浜海岸



新潟1区 ▶ 網代浜海岸



石川 ▶ 柴垣海岸



福井 ▶ 三国サンセットビーチ



石川 ▶ 大浜海岸



愛知 ▶ ロングビーチ 大石海岸



大阪 ▶ 国府の浜(三重県志摩市)



福岡 ▶ 野北ポイント



佐賀 ▶ 立神ポイント



長崎 ▶ 黒崎ポイント



長崎 ▶ 雪の浦ポイント



長崎 ▶ 大崎ポイント



長崎 ▶ 江の浦ポイント



大分 ▶ 塩屋海岸



熊本 ▶ 折ロポイント(鹿児島県阿久根市)



熊本 ▶ 天草KDDポイント周辺



宮崎 ▶ 木崎浜海岸



鹿児島 ▶ 鬼口前原海岸



鹿児島 ▶ 恋が浦ビーチ



鹿児島 ▶ ボンタンポイント



学連 ▶ 和田浦海岸(千葉県南房総市)



学連 ▶ マルキポイント(千葉県鴨川市)



鹿児島 ▶ 江口浜



徳フ ▶ 鹿島ポイント(静岡県牧之原市)

NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT 2024

■開催日：2024年9月1日(日)または、9月8日(日)

■開催地：日本各地のサーフポイント

※詳細はNSA オフィシャルサイトをチェック!

<https://www.nsa-surf.org>

福井支部のビーチクリーン活動が

緑綬褒状を受章

「海で流れ着いたゴミを見つけたら、海を綺麗にするチャンスだと思ってゴミを拾う」
力強く活動を牽引してきた大井支部長に受章に至る経緯についてお話を伺った



ローカルサーファーたちが作り上げた ビーチクリーン活動の基盤

地域のビーチクリーンの基盤は、三国サンセットビーチ(多くの支部員さんが集まっているホームビーチ)で始まったローカルサーファーによる活動です。福井支部ができる前、40年以上前から行われ、ステッカーやTシャツをつくったりして活動を活性化させようという動きがありました。

そして1997年1月にロシアタンカー「ナホトカ号」の事故がありました。沖でタンカーが沈み重油が海に流出され、このビーチ付近にも流れついたんです。そこで福井支部が中心となり、独自のボランティア本部を設置。サーファーと地元の海女(アマ)さん、たくさんのボランティアの方と重油の回収作業を始めたんです。冬の海で作業するために着用可能な中古のウエットスーツを多くの方々から送っていただきました。春には重油は減りましたが、重油付きのゴミは相変わらず漂着し、汚れた海を綺麗にするまで約半年かかりました。これもきっかけとなり、ビーチクリーン活動が定着していきました。

正会員数は50人弱でも、 ビーチクリーンにはさらに 多くの人が集まる理由

福井支部は正会員数が50人にも満たない支部ですが、ビーチクリーンには200人近い人が集まっています。情報発信すると支部員だけでなく、ビジターでサーフィンに来る人も積極的に参加してくれて、サーファー以外も集まっています。過去には活動中なのに無視して海に入っているような人に



(上) 福井支部がSNSで情報を発信するとローカルサーファーのみならず、海を綺麗にしたいという気持ちを持つ地域の人が集まってくる
(左) こんな漁網もビーチには流れ着く



ここでプラスチックゴミを回収しなければ、マイクロプラスチックとなって永久的に海を彷徨うことになってしまいます。また、太平洋では日本のゴミが遠くハワイやアメリカに漂着しているという事実も我々は認識すべきだ

「海から上がって手伝って」と働きかけたことでもあります。活動を続けているうちに自主的に参加してくれるようになってきました。

過去の重油事故の経験を経て、行政との繋がりが出来てきて、今もしっかりと活動を連携して行っています。行政のバックアップもあり、拾ったゴミをどう処分するかまで段取りが出来ています。漁網のほかに、日本海側では対岸の大陸からの漂着物も多く流れ着くのです。行政の協力でゴミの処分費まで我々が負担することなく、集めれば大丈夫という仕組みが出来ています。



ゴミ拾いをして、どこかにまとめて置いておくとか、そこまで終わってしまうケースも多いのではないのでしょうか? 最終的にゴミをどう処分するか、処分費のことまで対処しておくことが必要です。環境課や観光課など、行政に働きかけ、支部で連絡係を決めておく。そういう仕組みをつくるのが大切です。我々も重油の件があったから、今もおのずと続いているということではなく、毎回ビーチクリーンの度に連絡しているから、連携出来ているのです。他の支部でも連携が出来ていないところは、ぜひ真似していただけたらと思います。

緑綬褒状への経緯

今回福井支部は日本政府から緑綬褒状をいただきました。ビーチクリーン活動でのこ

ういった行政とのやりとりは国交省の担当者の方が注目してくれて、3年ほど前に国交省の大臣表彰を受け、その後もこの活動を続けてきた経緯で、緑綬褒状をいただけることになりました。私が代表として皇居にお邪魔して、陛下にもお目にかけられました。すべてのみなさんの協力があったものです。みなさんの海を愛する心が届いて、本当によかったと思います。



緑綬褒状の伝達式は皇居の春秋の間で、その後南溜(みなみだまり)という場所で受章者の記念撮影が行われた(中央は大井支部長)

流れ着いたゴミを拾う、 それは海を綺麗に出来る チャンスです

私はいつも海でゴミを見つけると「チャンスだ」と思って拾っています。特にプラスチックのゴミは、海から陸に打ち上げられた時に拾わないと、また海に戻り、細かいマイクロプラスチックとなり永久的に海を漂ってしまうのです。活動に参加した子供たちにもそれを教えてあげています。すると「どうしたらそのプラスチックのゴミを減らせるのか? 自分たちが減らす努力をしなければ」と子供たちの間で議論が始まる。子供たちからそういう言葉が聞けるのはとても嬉しく、私の励みになっています。また、ビーチクリーンを通じて、地元の他の団体の人も繋がりが出来て、地域の交流の場にもなっています。

海はサーフィンを楽しむ場でもあり、私たちが美味しくいただいている海の生物も育つ場です。だからこそ大切にする気持ちを持たないといけない。せっかく綺麗にしても海は次の時化(シケ)が来たらゴミだらけになってしまうのですが、また綺麗にしてあげてを繰り返す。私は海を綺麗にするひたむきな意識の大切さを伝え続けていきたいと思っています。



「私1人では絶対にできないこと。みなさんの海を愛する心が伝わりました」
大井支部長

我々サーファーが強く持つべきSDGs (持続可能な開発目標)への意識

今意識すべきこと、行動すべきこと

SDGs(Sustainable Development Goals)とは2015年9月の国連サミットにおいて、193の全加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で採択された国際目標です。

ここには2030年までに我々が達成すべき経済や社会、地球環境、人権など多岐にわたる17の目標と169のターゲットが明示されています。

中でも目標14には「海の豊かさを守ろう」と、我々サーファーにとって最も密接な海に関わる問題が提起されています。

14 海の豊かさを守ろう



SDGs目標14 「海の豊かさを守ろう」

海を漂うゴミは、どこから来るのか？



世界経済フォーラムが2016年に発表した報告書によると、海の中には総計1億5000万トン以上のプラスチックが存在し、毎年800万トン以上が新たに流れてきていると推定され、2050年には海にいる魚の総重量を上回ると言われてしています。

みなさんもサーフィンを楽しむために海を訪れた時、ビーチ、あるいは海上でペットボトルやレジ袋をはじめ、様々な容器などのプラスチックゴミを目にしていると思います。ビーチクリーン活動でも触れましたが、プラスチックゴミは塩水や紫外線に長時間さらされることで劣化が進み強度を失い、砂浜に打ち上げられるなどで砕け、細かくなり、いずれ5mm以下の

マイクロプラスチックとなります。そして風で飛ばされ再び海中へと戻って浮遊を続け、魚が誤飲するなどその生態系も脅かします。我々人間が放棄したゴミが海を汚し、生態系に影響を与えているのです。

実は海でみかけるゴミは、海で投棄されたものばかりではありません。

街中の道端に投棄されたゴミが風や雨により川や水路に流れ出し、さまよって最終的には海へと辿り着いているのです。例えば自販機のペットボトルのゴミ箱が溢れていたり、道路の路肩に何気なく投棄されているゴミ、街での

ゴミ問題から海の汚染が始まっているということで、知らないうちに海を汚す原因を生み出してしまっているのです。

我々サーファーにとって海は必要不可欠な場所であり、誰もが綺麗な海でサーフィンを楽しみ、食事でも海の美味しい恵みを味わいたいという気持ちを持っているはずです。だからこそ、まずは今一度この問題を強く意識していきましょう。

ゴミが海を汚すことのないように適切に処分すること。出来る限りゴミを出さない生活を心がけること。数十年先でも綺麗な海で、私たち、そして子供たちがその恵みを受けられるように、この問題に積極的に取り込んでいきましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 1. 貧困をなくそう
「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」
- 2. 飢餓をゼロに
「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」
- 3. すべての人に健康と福祉を
「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」
- 4. 質の高い教育をみんなに
「すべての人々へ包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」
- 6. 安全な水とトイレを世界中に
「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」

- 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
- 8. 働きがいも経済成長も
「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
「強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び技術革新の推進を図る」
- 10. 人や国の不平等をなくそう
「各国内及び各国間の不平等を是正する」
- 11. 住み続けられるまちづくりを
「包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」
- 12. つくる責任つかう責任
「持続可能な生産消費形態を確保する」
- 13. 気候変動に具体的な対策を
「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」
- 14. 海の豊かさを守ろう
「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」
- 15. 陸の豊かさを守ろう
「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」
- 16. 平和と公正をすべての人に
「持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する」
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう
「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」

参考資料：令和4年版 環境白書（環境省）、WWFジャパンWEBサイト「海洋プラスチック問題について」



CHANNEL ISLANDS SURFBOARDS

Maneuverline, Inc.

TOKYO : 03.5245.3113 KANAGAWA : 0467.72.6226 OSAKA : 06.6609.0035 www.cisurfboards.jp



@cijpn



@cisurfboards_japan

SHUN MURAKAMI

PHOTO: KENYU

GO WITH
FULLON

Fullon

EYEWEAR

www.fullon-sg.com

フロンアイウェア GUMP CO., LTD. 03 3407 0609 info@gump.cc



サーフィンのルール&マナー 10 か条

楽しく安全に波乗りを楽しむための基礎知識

海の上には独自のルールとマナーがあります。それは自然を相手にするスポーツだから。特に初心者の方は知らないことも多く不安があるかもしれません。しかし、基本的なルールはシンプルです。波乗りに関する基本的な10か条、ビギナーの方はもちろん、上級者の方も今一度ご確認を!

1 サーマーは自分自身に責任を

サーフィンの事故が増加しています。そのいくつかは裁判になるほど深刻な事故となっています。しかしほとんどの事故は未然に防げたものや、また相手がいる場合は、どちらか一方に100%過失があると言いたいものが多いようです。自分自身の行動に責任を持って、だれにも迷惑をかけないハッピーサーフィンを目指しましょう。



2 ピーク優先

サーフィンには「ピーク優先」というゴールデンルールがあります。これは世界中どのサーフポイントでも共通のルールで、ピーク(*1)に最も近いサーファーが波に乗る優先権があるということです。

*1_ 岸に向かって来たウネリが最初に崩れ始めるところ

ルールとマナーを守って安全に楽しくサーフィン!

日本サーフィン連盟では、より多くの方々に安全にサーフィンを楽しんでいただくためにNSA会員の方にはもちろん、一般サーファーの皆さんにも本連盟監修の『サーファーズ ルール&マナー』ブックを無料配布しています。本連盟の協力店やイベント会場などで見つけたら是非、手に取ってみてください。安全で楽しいサーフィンライフに役立つルールとマナーの情報が詰まっています。



<p>事故を防ぐためのヒント</p> <p>サーフィンの前に足から膝までチェックするのは、サーファーの常識です。でもそれだけでなく、身体全体をしっかりとチェックすると怪我防止に役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 天候や波況確認。これから波がどのように入ってくるのかを確認しておくこと。 ● 車の乗りや、シート（一部は脚裏で乗せるもの）がどのくらい綺麗かを確認しておくこと。 ● 海の中のサーファーがどこから入るのか、どこから離れていくのかチェック。 ● ライディングしているサーファーが、どの方向に向かっているのかチェック。 ● もし自分が押されてサーフボードが渡されたときは、どのようにして受け止めるかをチェック。 	<p>● 長時間乗った場合は、ボードに慣れないなり風や水で体温を下さないようにする。</p> <p>渡された人を見かけたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事故の発生を回避・軽減する。 ● 事故の発生を回避・軽減する。 <p>海難事故は119番(海上保安庁)に連絡しましょう。</p>
<p>事故が発生した場合の対処</p> <p>もし事故に巻き込まれたり、見かけたりした場合はすぐに助けましょう。</p> <p>もし自分がレトリートに渡された時は</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サーフボードを握って泳ぐ方法は無い。 ● レトリートの流れにできるだけ沿って泳ぎ、遠くまで泳いで助けを求めます。 ● もし、溺れ、救助を求めた場合に両手を握って泳いで泳ぎ続ける。これは救助隊員の救助待ちです。 	<p>方々の救助と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● もし自分がサーフボードを渡したときは、つぎのように対応しましょう。 ● 海の中からは救助に協力します。 ● もし、溺れ、救助を求めた場合は、なるべく早く救助隊に連絡し、救助の要を求めましょう。 ● 自分が救助により怪我や健康被害の発生を避けましょう。 <p>あなたや助けた人、または救助を受けた人にお礼をするのが常識です。今後のサーフと、地元住民や漁業関係者との健全な関係を築くのに必要となります。</p> <p>※本誌はNSA(日本サーフィン連盟)発行の「サーフィンのルール&マナー」の一部を掲載しています。</p>

3 ドロップインはルール違反

サーファーがすでにライディング(*2)している波に同じ方向へテイクオフしてしまうことを、悪意があるないに関わらずドロップインと呼びます。これはルール違反だけでなく危険な行為です。もしドロップインしてしまったときはすぐに相手に謝るのがマナーです。サーファーはレギュラー(*3)、グーフィー(*4)の波の崩れる方向に合わせてライディングしてきます。あるサーファーがすでにライディングしている場合、そのサーファーの進路上からテイクオフしてはいけません。

- *2_ 波に乗っている状態
- *3_ 岸から見て左方向に崩れる波
- *4_ 岸から見て右方向に崩れる波



4 サーマーの真後ろでパドルしない

パドル(*5)して沖に向かうことをゲットアウト(*6_※以下ゲット)と言いますが、そのときは同じようにゲットしているサーファーの真後ろについてはいけません。そのサーファーが波に押し戻されてあなたにぶつかり、ケガをする可能性が高いからです。

- *5_ 手で漕ぐこと
- *6_ 沖へ向かうこと



5 ライディングエリアでは要注意

ゲットしているときはライディングしているサーファーと接近することがよくあります。ライディングエリアはサーフポイントによってさまざまですが、もしライディングエリアをさけてゲットできるならそのルートで沖に向かいましょう。もしそれが無理ならば、よく注意してすみやかにそのエリアを通過し、サーファーの邪魔をしないように沖に出ましょう。





6 テイクオフ優先

ゲットしているときにテイクオフするサーファーとニアミスしそうな場合、そのサーファーの進行方向とは逆方向にパドルするか、早めにダイブ(ドルフィンスルー)し、回避する必要があります。



7 声を出す

ゲット中に、ライディングしているサーファーがあなたに気付かずに接近してきたら、“Hey!”など、声を出して注意をうながしましょう。太陽の光などであなたが見えにくいときがあります。



8 いつも予測しよう

小さな波でサーフィンをしようとインサイド(*7)で波を待つと、他のサーファーのライディングを妨害してしまうことがあります。もし波がブレイクしたらサーファーたちがどの方向に進むか、予測をたてて邪魔にならないように心がけましょう。またサーファーが乗ってきたら、そのサーファーよりもアウトサイド(*8)に向かい、そのサーファーの集中をさまたげないようにしましょう。

*7_岸側 *8_沖側

9 プルアウトはお早めに

もしあなたがもう十分にサーフィンができる実力があつたら次のお願いがあります。ビギナーはあなたの邪魔をするつもりなんてないのです。ニアミスしそうなときは早めにプルアウト(*9)して、やさしく指導してあげてください。

*9_ライディングを自分の意志でコントロールしながら終了するテクニック

10 彼女、彼氏がいても両手を振るな

世界のライフセービングには共通のサインがあります。そのひとつは両手を大きく振ること。これは助けを求めるサインです。オーストラリアでは日本人サーファーが、彼女がビデオを撮っているので両手を振ったらライフセーバーがやってきたという笑えないお話があります。

Warning

Caution

Accident

【衝突事故に注意!】 Collision alert

主な事故例

CASE 1

ドルフィンスルー(崩れようとする波の直前でボードと共に潜り波をやり過ごす方法)をしていたAのサーフボードが、ライディング中のBの顔面に激突し右目下を直撃。

CASE 2

沖に向かってパドルしているAとライディング中のBが接触。AのボードがBの顔面にあたり鼓膜が破裂。

CASE 3

AとBが同じ波に別の方向から向かい衝突しそうになった。二人はプルアウトしたが、その時にBのサーフボードがAの胸に当たり肋骨骨折。



海の中でヒヤッとしたことはありませんか？

サーフボードは、浮力で海の中から飛び出すことがあります。海の中ではしっかりと両手でコントロールしましょう。

混雑しているときは、特に注意が必要です。安全を確保しながら、無理なテイクオフなどは絶対にやめましょう。



Seth Moniz



Eweleiula Wong



Cole Houshmand



Erin Brooks



Minori Kawai



Jackson Doria



Mick Fanning



Jackson Bunch



REO Inaba

vertra



VERTRAJAPAN

ONE WORLD LTD. 1world.co.jp



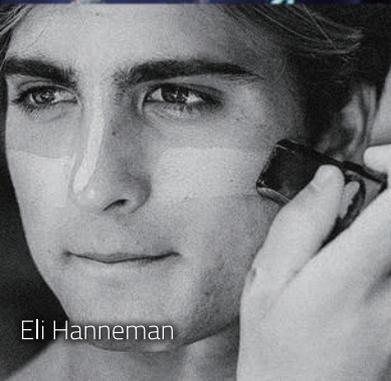
Shane Dorian



Anon Matsuoka



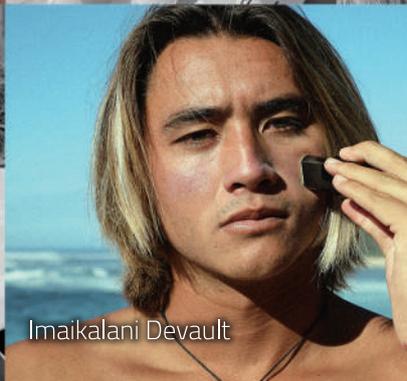
Brisa Henessy



Eli Hanneman



Gabriela Bryan



Imaikalani Devault

2024 SPRING|SUMMER

BEWET

Performer : Shun Murakami / Photo : Hajime Aoki



TOKYO
PRIDE
www.bpd21.com/bewet/

WEB SITEを
CHECK!!



ウォーター・レスキュー

サーファーとして知っておきたい海の危険とその対応

「海」の特性からみる危険についてや、もし万一が事故に遭遇した場合の対処法、また、「レスキュースレッドの乗り方」も確認しておきましょう！

海の「もしも」は118番

海上保安庁は、海上における事件・事故の緊急通報用の電話番号として警察の110番や消防の119番のように局番なしの「118」番を設定していますので、緊急の場合は、以下の事項を守って対応してください。

要救助者を発見した場合の対応

1

周りの人に声を掛けて協力者を確保してください。

▽

2

まず、1名は118番に通報します。

▽

3

要救助者への対応は、単独では行わない。

【セルフディフェンス・まず、自分自身の安全の確保を】

体調管理をする

- ・風邪気味などの時は、海に入るのをやめてください。
- ・サーフィンハードなスポーツです。十分な体力と万全な体調で臨むのがベスト。
- ・十分な睡眠をとり、前日の深酒やサーフィン前の飲酒は禁物です。
- ・海に入る前に自分の体調を冷静に判断するようにしましょう。
- ・体調がすぐれない時は、サーフィンを見合わせる勇気を持ちましょう。

機材の劣化及び不備をチェックする

海に入る時は、リーシュコードやカップ、カップとリーシュをつなぐヒモを確認し、新しいコードや波に合ったボードを使用する等の注意が必要です。

危険生物を知っておきましょう

日本でも、アカエイや、カツオノエボシ等の毒を持った海の危険生物によるサーファーの被害が多数発生していますので注意してください。

海のコンディションと海の危険因子を知る

- ・陸上の目標物を定め、流されているかどうか知るのの基本ですが、一緒に来た友人のポジションも常に気をつける必要があります。
- ・切迫した危険な状態以外は、浮力を確保するサーフボードを捨てずに、早めに救助を求めることが重要です。
- ・長時間漂流した時の保温対策として、ウエットスーツの着用はかせませません。

!!!重要!!! 要救助者を発見し、その対応をする場合、絶対に一人で行わないでください。1名は通報にまわり、複数で要救助者に対応してください。そして、その対応に直接かわらない観察役の人もつけてください。



【事故発生時の対応・自身の身の安全が絶対条件】

初心者サーファーが流されていたり、溺水の状態等に遭遇した場合、救助は確かに大事ですが、あくまでも、自身が二次災害に巻き込まれないことがなによりも重要です。実務の水難救助は、海上保安官や消防官が行います。我々は、その事故に対する初動対応をできる範囲で行うことを十分に理解してください。

以下に挙げる各種の手法は、基本的には訓練が必要です。知っているとしても大きな違いがありますので、あくまでもできる範囲で対応いただくようお願いいたします。

サーフボードは要救助者の浮力体として利用する

Case 1 意識のある要救助者

まず、要救助者に接近した際パニックで飛び掛られる恐れがないことを確認し、落ち着くように話しかけ安全な方向に誘導してあげましょう。離岸流（沖に流される潮流）を逆行して岸に帰ろうとし、帰れなくなり体力を消耗し流されている場合が多いです。パドルリングの体力が残っていない場合は、自分のリーシュ

をつかませて引っ張ってあげても良いですが、後ろから来た波に押され要救助者が自分に衝突する可能性もありますので、十分に注意しましょう。引っ張って帰るのは、相当な体力を消耗します。やはり、交代も考え監視役と合わせて複数で対応するようにしましょう。



1 要救助者のボードを要救助者の頭の方向にノーズがくように裏返しにします。

2 レールを要救助者の脇にはさみ、ボードを反転させると簡単にボードの上に乗せることができます。

3 搬送方法は、岸から近い場合は、そのまま要救助者をボードと一緒に横からかかえる様に保持し、泳いで岸に帰ります。

4 自身のボードは、足に付いているリーシュでそのまま引っ張って帰っても大丈夫ですが要救助者の浮力体として使った要救助者のボードの下に重ね、一緒に抱えて泳いでも結構です。

Case 2 意識の無い要救助者

要救助者が意識の無いように見えても、近づいた時に急に飛び掛られることも考えられます。前記のように要救助者に近づくときは、十分に気を付けてください。



1 要救助者を確保し、自分の足の方に移動させます。

2 要救助者の脇の下から足を入れ、要救助者が仰向けになるように挟み込む。



4 自分の両足を要救助者の脇の下から通し要救助者の胸のあたりで足を閉じ固定する。

5 自らそのままパドルリングで搬送を開始する。

ロングボード編

要救助者をボードに乗せる方法は同じです。ただ、搬送方法は、自分がボードと一緒に乗り込みパドリングで移送します。少しテクニックは要りますが、9フ

ートのボードで男性を同方法で搬送した実績はあります。もし、難しいようでしたら、リーシュを利用して牽引してください。



1 要救助者のボードを要救助者の頭の方向にノーズがくるように裏返しにします。

2 レールを要救助者の脇にはさみ、ボードを反転させると簡単にボードの上に 乗せることができます。

3 要救助者をボードの上に乗せ、落ちないようにバランスをとる。

4 要救助者の後ろに乗りこみパドリングで移送します。

レスキュー・スレッドへの乗込み方について

選手が競技中に体調の急変悪化(怪我含)、急な気象悪化(波高含)、ボード折れ、リーシュ切れ、危険生物等の様々な要因により救助や非難の必要が発生した場合、海上にて安全管理に就いている水上オートバイがレスキューピックアップを

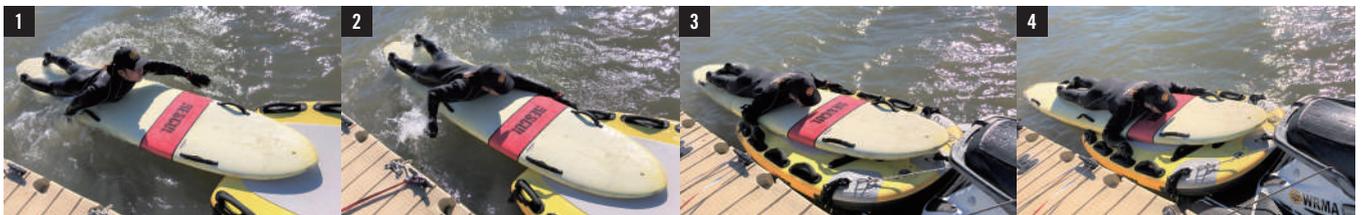
行います。その際に水上オートバイの後部に装着されている「レスキュー・スレッド」(以下RSと略)に乗込む必要があります。その乗込み方について以下に解説いたします。

Case 1 自力でパドリングができる場合は、パドリングの姿勢のままRSに乗込みます。

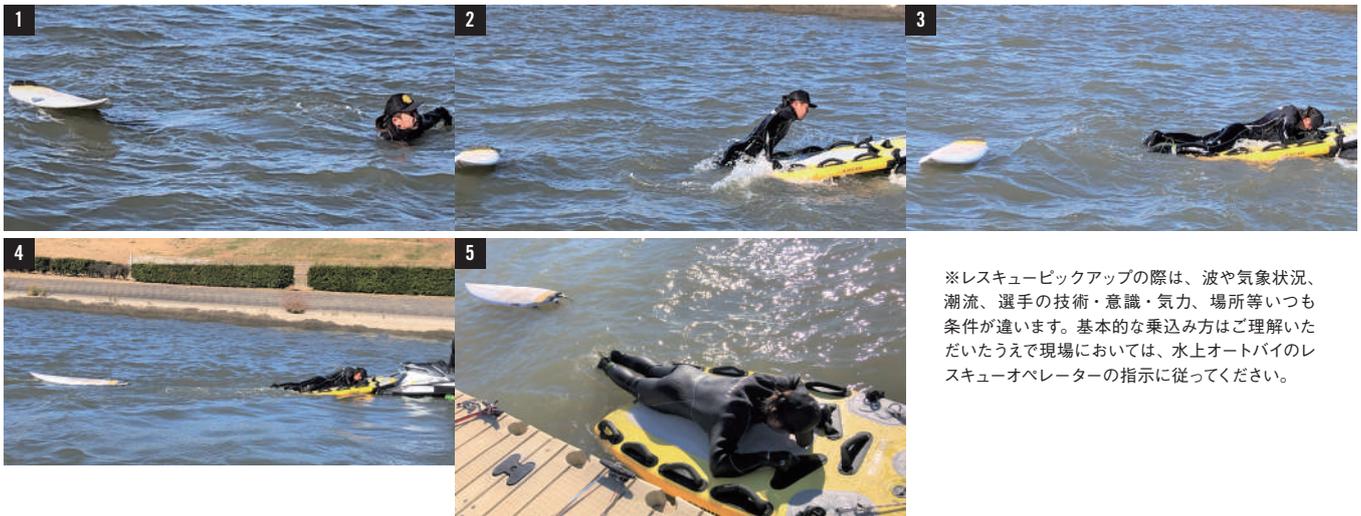
ショートボード



ロングボード



Case 2 自力でパドリングが出来ない場合や、波のブレイクポイントでボードと共に乗り込む時間が無く、早急にその場を離れなければいけない時などは、体だけでRSに乗込みます。ボードは、そのまま引きずるようになりますが、ブレイクポイント等の危険な場所から回避出来た後に、ボードを回収します。また、移動時の水圧でリーシュが切れた場合でも別の水上オートバイが回収します。まずは、体の安全を最優先にして下さい。



※レスキューピックアップの際は、波や気象状況、潮流、選手の技術・意識・気力、場所等いつも条件が違います。基本的な乗込み方はご理解いただいたうえで現場においては、水上オートバイのレスキューオペレーターの指示に従ってください。

【心肺蘇生】について

搬送したら次に心肺蘇生を行います。現在、世界的心肺蘇生のガイドラインが5年ごとに変更になっており一般市民向けには人工呼吸を行うよりも胸骨圧迫を優先して行うようになっています。ただ、これは街中(陸上)用の考え方であるこ

と。正確な人工呼吸が難しいのでその人工呼吸に手間取るよりも胸骨圧迫を行った方が良いとの考えからなっています。しかし、溺水の場合は、できれば人工呼吸を行った方が良いとされています。



!!!重要!!! 人工呼吸の場合、画像にあるような感染防止器具が必要。もし、持っていない場合や人工呼吸法に自信がない場合は、胸骨圧迫のみを行ってください。感染防止器具には、画像のようなものの他にコンパクトな携帯用のものもあります。



1 気道の確保 ※注 すでに海上で意識なし及び心肺停止状態の場合



2 胸骨圧迫 ※胸の真ん中 ※真上から垂直に押さえる

- ・強く(胸が少なくとも5センチ沈むまで)
- ・速く(1分間に100～120回のテンポで)

※30回 但し、胸骨圧迫だけの場合は、蘇生するまで継続・絶え間なく



3 吹き込み2回

(空気が正確に入っているかは要救助者の胸の動きで判断します)

★上記を繰り返す心肺蘇生は、救急隊に引き継ぐかAEDの指示があるまで、あるいは要救助者が動き出すまで続けます。もちろん、救急車の要請と近くにあるAEDは別の人が手配をしてください。

※AEDはスイッチを入れると自動音声で使い方がガイドされますので、その指示にしたがってください。ただ、溺水の場合は体が濡れているので要救助者も自分もよく水分を拭き取ることを忘れないように注意してください。

【裂傷等の対応】

直接圧迫止血法

直接圧迫止血法は、一般市民ができる止血法です。間接圧迫止血法等は、一定の知識が必要になります。また、血液に触れる可能性がありますので、感染症を防止するために、手当を実施する人はビニールやゴムの手袋を着用するなどして、直接、血液に触れないようにします。飛び散った血液が、身体に付着しないように注意して行います。止血や出血している創傷の手当を行った時は、速やかに石鹸等を用いて流水により手を洗います。

①出血部位を押さえるために用いるガーゼや布は清潔であり、厚みのあるものであること。出血部位を十分に覆うことのできる大きさがあること。

②圧迫の要領として、片手で圧迫しても止血できない時は、両手で圧迫したり、体重をかけて圧迫し、止血をします。

※注 画像では素手で実施しておりますが、実際には塩ビ手袋等を着用します



!!!救急箱は常に積んでおきましょう!!!



■ご紹介させていただいたのは、頁スペースの都合上、一部になります。さらに詳しいことや実際に練習してみたい方がいらっしゃいましたら、NSA主催大会にて我々、一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会が大会ライフガードに入らせていただいておりますので、お気軽にライフガードテナントにお越しいただければ、各種対応の練習や救急法をお話させていただきます。

■一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会
〒105-6027 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー 27階
TEL: 03-5403-3488
<https://pwcr-wrma.org/>





We build all the control technology with the evolution.



Craft Work

<http://www.craftwork-co.com/>

rider: Haine Hata

The Hybrid Life.

CLEAR VISION, NEAR & FAR.

DONT PANIC

pot12

dontpanic.tokyo





beach combing
mobile and magazine

ONE STROKE ONE BCM



THERE IS NOTHING LIKE SCORING A WAITED SWELL.
YOU'LL KNOW THE TRUE MEANING OF RIDING THROUGH THE SWELL THROUGH SURFING.



無料トライアル有り!

アプリも、Webも、波情報BCM

『年次コース』の登録なら年間特典をご自宅に無料進呈!

🔍 波情報 BCM 検索

🍏 App Store からダウンロード

🌐 Google Play で手に入れよう



熾烈な戦いを繰り広げた選手たち。

最も活躍した選手は誰?

2023年度 ポイントランキング結果

全国的に新型コロナウイルス感染症の防止策が解除された2023年。
選手、役員もすべて個人の判断で感染症対策を講じ、主催大会4戦、
公認大会21戦、全25戦が開催された

2023年度

統合ポイントランキングトップ100&50

MENS OPEN



1

和氣 堆人

湘南茅ヶ崎支部
キッズクラス
52,760pt



2

坂本 應尚

千葉南支部
カフナクラス
49,260pt



3

磯部 康典

湘南西支部
Gマスタークラス
47,330pt

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
4	浜矢 凧	大分	ジュニア	45,590
5	友重 達郎	千葉東	マスター	44,000
6	高井 悠二郎	湘南西	キッズ	43,200
7	古川 光彦	千葉東	シニア	40,280
8	高井 汰朗	湘南西	ボーイズ	37,920
9	藤本 世音	学連	メン	37,687
10	石川 拳大	学連	メン	36,640
11	金沢 太規	徳島	ジュニア	36,570
12	米山 珠波瑠	鹿児島	ボーイズ	35,750
13	鈴木 耀竣	湘南藤沢	メン	35,670
14	菊地 一汰	宮城仙台	ボーイズ	33,830
15	永谷 オダイ	宮崎	ボーイズ	33,644
16	久野 孝	徳島	カフナ	32,420
17	小野 誠	茨城波崎	シニア	31,890
18	高橋 誠	宮城仙台	カフナ	31,090
19	中村 直樹	茨城波崎	マスター	30,290
20	斎藤 真一	大分	マスター	30,230
21	飯田 翔斗	千葉銚子	キッズ	29,750
22	足立 海世	静岡伊豆	ボーイズ	29,500
23	宗政 利夫	湘南西	マスター	29,400
24	石山 汰一	千葉東	ボーイズ	29,316
25	佐藤 頼斗	千葉東	ボーイズ	29,190
26	安部 互	茨城南	シニア	28,860
27	西野 龍成	大阪	ジュニア	28,634
28	小林 建一郎	東京	Gマスター	27,873
29	平野 太郎	湘南鎌倉	カフナ	27,690
30	志村 仁	千葉西	カフナ	27,570
31	加計 正成	湘南藤沢	メン	24,986
32	大塚 昂摩	千葉西	キッズ	24,696
33	都築 然	愛知	ジュニア	24,510
34	戸戸 健太	福島	マスター	24,393
35	安室 弦	徳島	メン	24,364
36	本田 匡世	湘南西	メン	24,350
37	橋本 太陽	湘南西	ジュニア	24,217
38	都築 成海	湘南西	キッズ	24,048
39	鈴木 慈英	千葉南	ボーイズ	24,000
40	小松 濃輝	横浜	メン	23,760
41	田邊 大成	千葉東	キッズ	23,574
42	豊田 泰史	千葉西	Gマスター	23,390
43	西野 孝史	徳島	ジュニア	23,373
44	五来 潤	茨城北	マスター	23,190
45	原 安澄	静岡伊豆	Gマスター	23,150
46	中村 善浩	宮崎	カフナ	22,610
47	島田 稔也	宮崎	マスター	21,730
48	小笹 雅也	千葉西	シニア	21,650
49	村上 英令	宮城仙台	マスター	21,623
50	宇野 雅志	宮崎	ボーイズ	21,600
51	石田 佳央	横浜	マスター	21,123
52	持齋 心	千葉東	メン	20,924

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
53	大江 陽一郎	千葉西	マスター	20,850
54	友重 リキ	千葉東	ボーイズ	20,332
55	秋山 大晴	湘南茅ヶ崎	ジュニア	19,649
56	川畑 永芯	宮崎	ジュニア	19,584
57	田鎖 俊之介	宮城仙台	キッズ	19,492
57	吉野 祐生	静岡3区	シニア	19,492
59	阿部 淳	湘南鎌倉	Gマスター	19,444
60	和氣 陸人	湘南茅ヶ崎	ジュニア	19,424
61	野中 秀馬	湘南西	キッズ	19,280
62	西田 陽登	宮崎	ジュニア	19,160
63	松倉 円	北海道	シニア	18,873
64	緒方 申八	宮崎	Gマスター	18,536
65	野中 深佑	高知	メン	18,470
66	木村 美海	茨城南	メン	18,416
67	酒井 正洋	千葉東	シニア	18,330
67	三木 望木	宮崎	ボーイズ	18,330
69	水上 寛斗	静岡伊豆	ボーイズ	18,160
70	大住 唯斗	大阪	ジュニア	18,152
71	窪田 海琉	横浜	キッズ	17,896
72	小野 里弦	静岡伊豆	ボーイズ	17,857
73	石井 芯磨	千葉南	キッズ	17,756
74	寺田 文太	千葉東	ジュニア	17,340
75	舟野 認	宮城仙台	シニア	16,835
76	中野 茂	福岡	Gマスター	16,820
77	小嶋 大地	宮城仙台	シニア	16,811
78	白柏 歎大	湘南茅ヶ崎	ジュニア	16,188
79	石塚 樹	千葉東	キッズ	16,156
80	吉野 大郎	山梨	キッズ	15,792
81	木村 圭佑	福島	シニア	15,787
82	伊藤 健汰	千葉西	メン	15,416
83	小杉 究	湘南藤沢	メン	15,125
84	富塚 俊介	湘南藤沢	シニア	15,000
85	森永 健太郎	徳島	マスター	14,588
86	大石 唯楓	静岡3区	メン	14,404
87	井出 牧雄	静岡伊豆	マスター	14,368
88	石橋 雅史	千葉南	シニア	14,312
89	原田 光	宮崎	シニア	14,310
90	強矢 凜太郎	群馬	ボーイズ	14,150
91	今福 カレン	横浜	ボーイズ	14,050
92	数内 大河	愛知	メン	13,947
93	飯田 夕輝	千葉銚子	キッズ	13,680
94	浦崎 陽平	三重	キッズ	13,440
95	栗本 和宏	大阪	マスター	13,428
96	宇野 雅晴	宮崎	キッズ	12,924
97	宮澤 輝	千葉東	ジュニア	12,768
98	菊地 汰士	宮城仙台	ボーイズ	12,737
99	武田 生央	茨城南	ボーイズ	12,722
100	三木 正行	宮崎	マスター	12,584

WOMENS OPEN



1
石井 有沙
千葉南支部
ガールズクラス
44,960pt



2
清水 ひなた
横浜支部
ガールズクラス
44,390pt



3
清水 ひなの
横浜支部
ガールズクラス
40,430pt

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
4	清永 亜希子	湘南茅ヶ崎	Sウイメン	39,770
5	大江 なぎさ	千葉西	Sウイメン	38,950
6	田上 さくら	愛知	Sウイメン	36,040
7	荻原 浩子	千葉西	Sウイメン	34,770
8	鈴木 莉珠	千葉南	ガールズ	33,460
9	大庭 風美	福岡	ウイメン	31,910
10	登坂 祐妃	湘南藤沢	ガールズ	31,170
11	菱沼 富美	千葉南	Sウイメン	29,570
12	馬場 心	静岡伊豆	ガールズ	28,170
13	平田 咲帆	宮崎	ガールズ	27,390
14	高橋 莉衣奈	千葉銚子	ガールズ	27,090
15	高橋 結奈	千葉銚子	ガールズ	25,650
16	草深 心虹	三重	ガールズ	20,499
17	上門 涼風	徳島	ウイメン	19,507
18	澤田 七奈緒	湘南茅ヶ崎	ウイメン	18,970
19	山田 麻由美	静岡伊豆	Sウイメン	18,620
20	山本 優香	愛知	ウイメン	18,594
21	窪田 怜	川崎	ガールズ	18,287
22	八尋 彩子	大阪	ウイメン	18,215
23	菅谷 帆那	湘南藤沢	ウイメン	17,641
24	日比野 リナ	大阪	ガールズ	16,276
25	小田 唯鈴	湘南西	ガールズ	15,767
26	森 舞果	静岡3区	ガールズ	15,707
27	飯塚 美空	湘南茅ヶ崎	ガールズ	15,549

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
28	石井 友香里	宮崎	Sウイメン	15,000
29	中泉 亜紀	千葉東	Sウイメン	14,944
30	山田 菜	福島	ウイメン	14,450
31	神谷 真理子	愛知	Sウイメン	14,172
32	湯川 順子	湘南西	Sウイメン	13,913
33	長崎 来海	島根	ガールズ	13,896
34	清水 心香	熊本	ガールズ	13,607
35	李谷 莉央	静岡3区	ガールズ	13,328
36	松本 望	佐賀	ウイメン	12,776
37	小川 斐菜乃	静岡伊豆	ガールズ	12,732
38	KIMVIJU	宮崎	ガールズ	11,689
39	中原 由未	愛知	Sウイメン	10,972
40	飯塚 麻以	千葉銚子	Sウイメン	10,964
41	木津 優芽	千葉東	ガールズ	10,956
42	田中 亜弥	徳島	Sウイメン	10,901
43	花井 澄香	三重	ガールズ	10,148
44	平井 こいまり	湘南鎌倉	ガールズ	10,048
45	荒井 美佳子	鹿児島	Sウイメン	9,600
46	百合草 綾	宮崎	Sウイメン	9,420
47	竹原 由佳	千葉南	Sウイメン	9,265
48	田部井 加菜子	千葉西	Sウイメン	9,090
49	伊波 優月	湘南藤沢	ガールズ	8,890
50	石田 海夏	千葉西	ガールズ	8,610

LONGBOARD MENS OPEN



1
渡辺 真通
湘南藤沢支部
LBマスタークラス
57,210pt



2
北村 健一
千葉銚子支部
LBメンクラス
48,920pt



3
小林 寛
東京支部
LBマスタークラス
42,730pt

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
4	土屋 貴洋	湘南藤沢	LBメン	40,267
5	今井 康平	湘南藤沢	LBメン	37,443
6	佐藤 雄亮	湘南藤沢	LBメン	35,874
7	藤原 健	湘南藤沢	LBマスター	26,460
8	武田 真一	宮城仙台	LBメン	26,270
9	小崎 宗大	湘南茅ヶ崎	LBマスター	22,190
10	大池 義博	埼玉南	LBマスター	20,150
11	黒野 崇	湘南藤沢	LBマスター	18,720
12	市原 由大	湘南藤沢	LBメン	18,500
13	秦野 真一	湘南藤沢	LBマスター	15,910
14	小山 俊樹	千葉西	LBマスター	15,737
15	野口 泰男	千葉銚子	LBマスター	14,593
16	上田 真司	湘南藤沢	LBメン	14,530
17	高岡 潤史	福島	LBメン	14,456
18	鬼塚 秀之	湘南茅ヶ崎	LBマスター	14,261
19	村山 聖	相模原	LBメン	13,500
20	横手 倫太郎	湘南茅ヶ崎	LBメン	13,494
21	佐野 十志哉	福井	LBマスター	13,118
22	中山 智賢	徳島	LBマスター	13,070
23	鈴木 精聡	宮城仙台	LBマスター	12,643
24	杉江 彰規	湘南西	LBメン	12,617
25	大坪 宣明	佐賀	LBマスター	12,392
26	桑野 正明	茨城南	LBマスター	12,210
27	久保 健一	湘南茅ヶ崎	LBマスター	11,940

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
28	高橋 立太	新潟1区	LBマスター	11,905
29	釣田 克則	岡山	LBマスター	11,810
30	大森 伸悟	湘南藤沢	LBマスター	11,444
31	鯨岡 誠	湘南鎌倉	LBマスター	11,436
32	森 睦巨	静岡3区	LBマスター	11,396
33	森山 貴幸	栃木	LBメン	10,874
34	林 淳一	横浜	LBマスター	10,860
35	井口 総一郎	静岡3区	LBマスター	10,670
36	酒井 達矢	静岡3区	LBメン	10,584
37	野地 洋孝	埼玉南	LBマスター	10,494
38	尾崎 賢	三重	LBマスター	9,836
39	星 雅就	福島	LBメン	9,620
40	大山 弘晃	湘南茅ヶ崎	LBマスター	9,407
41	杉本 裕樹	埼玉南	LBマスター	9,164
42	中野 宏己	湘南藤沢	LBメン	8,968
43	阿部 龍亮	宮城仙台	LBメン	8,841
44	井上 誠	宮崎	LBマスター	8,772
45	岩田 信彦	東京	LBマスター	8,120
46	和田橋 潤	千葉西	LBメン	7,950
47	戸井田 雅秋	横浜	LBマスター	7,877
48	伊藤 竜彦	福島	LBメン	7,827
49	朝本 純功	湘南茅ヶ崎	LBマスター	7,800
50	加藤 和紀	徳島	LBメン	7,666

2023年度

クラス別ポイントランキング

ショート、ロング、ボディボード、合計16クラスの年間ランキングが決定。
ここでは、2023年度の上位30名を発表。世界で活躍する事を視野に入れた、
成長が著しい将来有望な子供達から経験豊富なベテランサーファーまで、多彩な顔ぶれをチェックしよう。

※アンケートの質問内容 1. 出身地 2. ホームポイント 3. サーフィン歴 4. 2024年の目標

KIDS CLASS

1 和氣 堆人



湘南茅ヶ崎支部
52,760pt

1. 神奈川県茅ヶ崎市 2. 茅ヶ崎チサン、パーク 3. 7年 4. ジュニアオープンで優勝して、U16のISAワールドジュニアに出場して優勝すること。ポイズ年間ランキング1位になること

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	大塚 昂摩	千葉西	24,696
5	部築 成海	湘南西	24,048
6	田邊 大成	千葉東	23,574
7	田鎖 俊之介	宮城仙台	19,492
8	野中 秀馬	湘南西	19,280
9	窪田 海琉	横浜	17,896
10	石井 芯磨	千葉南	17,756
11	石塚 樹	千葉東	16,156
12	吉野 大郎	山梨	15,792

2 高井 悠二郎



湘南西支部
43,200pt

1. 神奈川県 2. 平塚・生コン 3. 5年 4. サーフィンをもっと楽しみたい。いろいろな場所に行き、上手な人たちと一緒にサーフィンをして、上手くなること。今年から中学生になるので、勉強もサーフィンも頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	飯田 夕暉	千葉銚子	13,680
14	浦崎 陽平	三重	13,440
15	宇野 雅晴	宮崎	12,924
16	中鉢 晴心	湘南茅ヶ崎	11,960
17	伊波 洋介	湘南藤沢	8,740
18	村上 慶砥	北海道	6,880
19	齊藤 魁一	宮崎	5,968
20	桑原 叶夢	千葉西	5,668
21	安藤 蓮空	湘南藤沢	5,104

3 飯田 翔斗



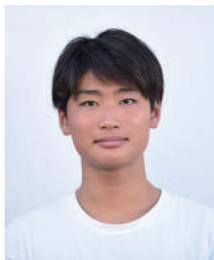
千葉銚子支部
29,750pt

1. 千葉県 2. 千葉北・きゅうかん 3. 6年 4. 全日本優勝。全米チャンピオン

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	比嘉 秀太郎	沖縄	4,904
23	原田 海真	千葉東	4,880
24	加藤 琉碧	湘南茅ヶ崎	4,873
25	多田 七海	湘南茅ヶ崎	4,861
26	杉崎 海太	湘南藤沢	4,721
27	小笹 樹八	宮崎	4,532
28	前田 珀	湘南西	4,448
29	馬原 永年	宮崎	4,432
30	岡本 幸真	大阪	4,196

BOYS CLASS

1 高井 汰朗



湘南西支部
37,920pt

1. 神奈川県 2. 平塚 生コン 3. 8年 4. ポイズクラスではレベルがどんどん上がっており、2023年はポイズで1番になりました。しかし今年からまた、どんどんレベルが上がっていくと思うので、その中で今年もランキング1番になりたいです。また、去年出場したISA世界ジュニア選手権大会ではメダルを取ることができなかったため、今年のISA世界ジュニア選手権大会の舞台にリベンジして、メダルを取ることが目標に今年1年がんばります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	永谷 オダイ	宮崎	33,644
5	足立 海世	静岡伊豆	29,500
6	石山 汰一	千葉東	29,316
7	佐藤 頼斗	千葉東	29,190
8	鈴木 慈英	千葉南	24,000
9	宇野 雅志	宮崎	21,600
10	友重 リキ	千葉東	20,332
11	三木 望未	宮崎	18,330
12	水上 寛斗	静岡伊豆	18,160

2 米山 珠波瑠



鹿児島支部
35,750pt

1. 鹿児島県 2. 鹿児島 南薩 額姪エリア 3. 5年 4. 世界に通用するサーフィンを目指して実力を伸ばしていきける様に頑張りたいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	小野 里弦	静岡伊豆	17,857
14	強矢 凜太郎	群馬	14,150
15	今福 カレン	横浜	14,050
16	菊地 汰士	宮城仙台	12,737
17	武田 生央	茨城南	12,722
18	吉田 琥太郎	湘南茅ヶ崎	11,927
19	藤原 大	湘南藤沢	11,890
20	佐藤 友	千葉東	11,310
21	鳥養 快斗	湘南茅ヶ崎	11,238

3 菊地 一汰



宮城仙台支部
33,830pt

1. 宮城県多賀城市 2. 仙台新港 3. 7年 4. ポイントランキング1位、プロ、格好いいサーフィンをする。ワールドジュニアチャンピオンになる

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	国重 波音	湘南藤沢	10,910
23	小西 一粹	千葉銚子	10,788
24	藤谷 日向	湘南茅ヶ崎	10,400
25	小林 浩太郎	宮崎	10,332
26	久保池 大和	静岡3区	10,124
27	湯之前 匠	大阪	9,840
28	中鉢 心人	湘南茅ヶ崎	9,358
29	田中 志門	千葉東	9,247
30	松野 太郎	千葉東	8,857

JUNIOR CLASS

1 浜矢 凧



大分支部
45,590pt

1. 大分県 2. 大分、宮崎 3. 10年 4. サーフィンの質を上げる

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
4	都築 然	愛知	24,510
5	橋本 太陽	湘南西	24,217
6	西野 拳史	徳島	23,373
7	秋山 大晴	湘南茅ヶ崎	19,649
8	川畑 永芯	宮崎	19,584
9	和氣 陸人	湘南茅ヶ崎	19,424
10	西田 陽登	宮崎	19,160
11	大住 唯斗	大阪	18,152
12	寺田 文太	千葉東	17,340

2 金沢 太規



徳島支部
36,570pt

1. 高知県 2. 生見、海部 3. 10年 4. 学業とサーフィンを両立して頑張ります

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
13	白柏 歎大	湘南茅ヶ崎	16,188
14	宮澤 輝	千葉東	12,768
15	相川 伊吹	千葉南	10,549
16	宮沢 琉久	東京	9,008
17	藤井 拓斗	千葉東	7,640
18	相原 鼓太	千葉銚子	7,420
19	中出 陽	石川	7,072
20	早坂 健汰	宮城仙台	6,603
21	浮本 海希	大阪	6,452

3 西野 龍成



大阪支部
28,634pt

1. 大阪府 2. 鳥取、生見 3. 6年 4. ジュニアオープンで優勝して日本代表になって世界戦で優勝すること

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
22	布方 勇海	湘南藤沢	6,432
23	真栄城 桜斗	沖縄	5,980
24	高島 一吹	宮崎	5,763
25	濱崎 翔太	静岡2区	5,700
26	高木 虹陽	湘南茅ヶ崎	5,372
27	水嶋 克海	愛知	5,212
28	岩崎 弘樹	湘南西	4,728
29	酒井 仙太郎	湘南藤沢	4,680
30	池田 壮太郎	大阪	4,513

MEN CLASS

1 藤本 世音



学連支部
37,687pt

1. 徳島県 2. 生見海岸 3. 12年 4. 2024年度から国際基督教大学の4年生になります。まずは大学卒業を第一目標とし、サーフィンでは積極的にコンテストなどに出場しながら良い映像を残し、学生サーファーとしての確立を目指していきます

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
4	加計 正成	湘南藤沢	24,986
5	安室 弦	徳島	24,364
6	本田 匡世	湘南西	24,350
7	小松 濃輝	横浜	23,760
8	持齋 心	千葉東	20,924
9	野中 溪佑	高知	18,470
10	木村 美海	茨城南	18,416
11	伊藤 健汰	千葉西	15,416
12	小杉 究	湘南藤沢	15,125

2 石川 拳大



学連支部
36,640pt

1. 神奈川県 2. 湘南 3. 25年 4. 2024年もランキングトップを目指し、良いパフォーマンスができるように頑張ります。応援よろしくお願いたします

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
13	大石 唯楓	静岡3区	14,404
14	藪内 大河	愛知	13,947
15	吉野 菜	学連	11,466
16	築島 拓海	千葉西	11,449
17	山口 大介	千葉銚子	10,291
18	末崎 晃太	東京	10,110
19	窪田 菜太	東京	9,953
20	岩本 功太	千葉東	9,720
21	藤井 徳大	宮崎	7,866

3 鈴木 耀峻



湘南藤沢支部
35,670pt

1. 神奈川県 鶴沼 2. 鶴沼 3. 15年 4. 驚きのある面白いサーフィンをする

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
22	大橋 茅人	湘南茅ヶ崎	7,770
23	秋友 滯	大阪	6,734
24	山田 琉太	福岡	6,208
25	諸戸 英雄	宮崎	6,014
26	熊谷 航	宮城仙台	5,933
27	木原 一真	千葉西	5,652
28	笹田 十夢	大阪	5,383
29	田口 祐也	千葉南	5,326
30	竹花 莉央	湘南西	5,261

SENIOR CLASS

1 古川 光彦



千葉東支部
40,280pt

1. 千葉県片貝 2. 片貝中央 3. 30年ぐらゐ 4. 全日本優勝

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
4	小笹 雅也	千葉西	21,650
5	吉野 祐生	静岡3区	19,492
6	松倉 円	北海道	18,873
7	酒井 正洋	千葉東	18,330
8	舟野 認	宮城仙台	16,835
9	小嶋 大地	宮城仙台	16,811
10	木村 圭佑	福島	15,787
11	富塚 俊介	湘南藤沢	15,000
12	石橋 雅史	千葉南	14,312

2 小野 誠



茨城波崎支部
31,890pt

1. 千葉県 2. 波崎 3. 24年 4. 全日本優勝

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
13	原田 光	宮崎	14,310
14	山中 峰喬	静岡伊豆	12,334
15	三好 全	茨城波崎	11,064
16	小幡 政吾	湘南西	10,200
17	松本 信吾	千葉南	10,014
18	仲村 一智	三重	9,600
19	田村 和巳	千葉東	9,223
20	真木 健一	愛知	8,896
21	梅原 利亮	静岡伊豆	8,576

3 安部 互



茨城南支部
28,860pt

1. 茨城県 2. 茨城鹿嶋24下 3. 26年 4. 自分にとって最後のシニアクラスとなるため、悔いのないよう初心の気持ちを忘れずチャレンジ精神のもと、全日本サーフィン選手権大会優勝を目指し全力で頑張ります

レイトイング	氏名	支部名	ポイント
22	下田 泰成	三重	8,570
23	山田 豊	静岡伊豆	8,328
24	永井 耕介	愛知	8,252
25	西村 和洋	横浜	7,921
26	宮本 樹	愛知	7,849
27	大江 良太	茨城北	7,800
27	山田 桂司	静岡3区	7,800
29	菅原 卓也	宮崎	7,552
30	大瀧 忍	福島	6,883

MASTER CLASS

1 友重 達郎



千葉東支部
44,000pt

1. 東京都 2. いすみポイント 3. 30年 4. ハードな波をメイクできるように身体をしっかりとキープしていきたい

レイトング	氏名	支部名	ポイント
4	宗政 利夫	湘南西	29,400
5	尖戸 健太	福島	24,393
6	五来 潤	茨城北	23,190
7	島田 稔也	宮崎	21,730
8	村上 英令	宮城仙台	21,623
9	石田 佳央	横浜	21,123
10	大江 陽一郎	千葉西	20,850
11	森永 健太郎	徳島	14,588
12	井出 牧雄	静岡伊豆	14,368

2 中村 直樹



茨城波崎支部
30,290pt

1. 埼玉県新座市 2. 波崎 3. 32年 4. 怪我なく、今より上手くなる。いい波をつかむ。楽しままくる。三連勝!

レイトング	氏名	支部名	ポイント
13	栗本 和宏	大阪	13,428
14	三木 正行	宮崎	12,584
15	佐藤 弘一朗	宮城仙台	12,550
16	朝日 公也	高知	11,900
17	東峰 正樹	湘南西	10,600
18	櫻井 一成	静岡2区	9,484
19	中根 健一	愛知	9,248
20	曾根 敬一郎	静岡2区	8,756
21	金沢 直一	徳島	8,203

3 斎藤 真一



大分支部
30,230pt

1. 神奈川県茅ヶ崎市 2. 私の住んでいる大分市周辺にはサーフィンが出る場所は一切ありません。その為、15年以上ホームポイントはありません 3. 30年 4. サーフポイントの近くに住んでいる選手には技術力も体力も絶対に勝てないので気持ちでは負けない様な選手でいたいです

レイトング	氏名	支部名	ポイント
22	鈴木 克己	湘南茅ヶ崎	8,172
23	猪狩 優樹	福島	8,095
24	須山 賢一	大阪	7,960
25	小崎 宗大	湘南茅ヶ崎	7,798
26	伊藤 昭	千葉西	7,778
27	強矢 典男	群馬	7,692
28	野口 明弘	京都	7,410
29	庄司 喜幸	湘南西	6,092
30	宮脇 雅志	大阪	5,949

GRAND MASTER CLASS

1 磯部 康典



湘南西支部
47,330pt

1. 神奈川県平塚市 2. 花水川河口 3. 38年 4. 公認大会のエントリーが素早く出来るようにスマホの練習をします。笑笑

レイトング	氏名	支部名	ポイント
4	原 安澄	静岡伊豆	23,150
5	阿部 淳	湘南鎌倉	19,444
6	緒方 申八	宮崎	18,536
7	中野 茂	福岡	16,820
8	堀江 勝	湘南西	12,096
9	松尾 潤	千葉西	11,412
10	市川 義章	千葉銚子	11,302
11	桑原 芳浩	千葉南	11,049
12	小栗 大士	千葉南	10,828

2 小林 建一郎



東京支部
27,873pt

1. 東京都 2. 千葉南、大会会場 3. 40年 4. NSA主催大会での優勝!! 健康でサーフィンを楽しみたいです

レイトング	氏名	支部名	ポイント
13	伊熊 哲也	静岡3区	10,650
14	梅津 直貴	湘南西	10,468
15	崎村 公彦	宮崎	10,400
16	江澤 通伸	東京多摩	10,320
17	青山 雄一	千葉南	9,900
18	菅原 剛	東京	9,600
19	小野澤 正樹	千葉東	8,872
20	平田 輝志	湘南茅ヶ崎	8,500
21	谷口 弘和	湘南西	8,036

3 豊田 泰史



千葉西支部
23,390pt

1. 千葉県市川市 2. 志田下、片貝、九十九里 3. 44年 4. 今年からカフナクラスです。心を整え、技術を磨いて、体調と向き合いながら少しでも良い成績を残せるよう努力します

レイトング	氏名	支部名	ポイント
22	奥田 修嗣	湘南鎌倉	7,800
23	大田 達三	宮崎	7,568
24	中村 哲也	千葉西	7,340
25	松尾 俊彦	福岡	7,220
26	石川 秀樹	千葉東	7,140
27	関根 一男	東京	6,940
28	辻本 義松	湘南茅ヶ崎	6,648
29	中港 信一	千葉西	6,464
30	近藤 一祐	宮崎	6,300

KAHUNA CLASS

1 坂本 應尚



千葉南支部
49,260pt

1. 東京都 2. 鴨川、Ala Moana Park 3. 42年 4. 11度目の全日本優勝を目指して、青春します!

レイトング	氏名	支部名	ポイント
4	平野 太郎	湘南鎌倉	27,690
5	志村 仁	千葉西	27,570
6	中村 義浩	宮崎	22,610
7	小谷 和宏	大阪	11,764
8	田村 彰	東京	11,560
9	三輪 真一	静岡2区	11,490
10	佐藤 秀男	湘南藤沢	8,796
11	石丸 義孝	千葉東	8,268
12	真田 啓	湘南鎌倉	5,800

2 久野 孝



徳島支部
32,420pt

1. 徳島県 2. 小松 3. 46年 4. 全日本サーフィン選手権大会優勝

レイトング	氏名	支部名	ポイント
13	久保田 晃弘	学連	5,684
14	小林 夏樹	東京	5,636
15	時田 一央	東京	5,340
16	白波瀬 靖	千葉西	5,108
17	平野 武	石川	5,000
18	中泉 菊弘	千葉東	4,885
19	城田 孝昭	千葉西	4,144
20	鈴木 弘章	愛知	3,900
20	大西 明弘	徳島	3,900

3 高橋 誠



宮城仙台支部
31,090pt

1. 宮城県仙台市 2. 仙台新港 3. 47年 4. 全日本優勝! グランドチャンピオン!

レイトング	氏名	支部名	ポイント
22	仙波 幸男	宮崎	3,696
23	石川 達雄	湘南鎌倉	3,604
24	小林 敏博	福岡	3,316
25	伊藤 義隆	福島	3,100
25	松田 千寿	静岡3区	3,100
25	関野 光延	湘南鎌倉	3,100
28	島貞 勝利	湘南藤沢	2,868
29	佐々木 清治	青森	2,616
30	佐加 良一	大阪	2,512

GIRLS CLASS

1 石井 有沙



千葉南支部
44,960pt

1. 千葉県 2. 和田 白渚 3. 6年
4. 全日本優勝、年間ランキング2
連覇。1つ1つの試合で最高のハフ
ォーマンスをして、Good Wavesに
乗って Good Scoreを出す!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	鈴木 莉珠	千葉南	33,460
5	登坂 祐妃	湘南藤沢	31,170
6	馬場 心	静岡伊豆	28,170
7	平田 咲帆	宮崎	27,390
8	高橋 莉衣奈	千葉銚子	27,090
9	高橋 結奈	千葉銚子	25,650
10	草深 心虹	三重	20,499
11	窪田 怜	川崎	18,287
12	日比野 リナ	大阪	16,276
13	小田 唯鈴	湘南西	15,767

2 清水 ひなた



横浜支部
44,390pt

1. 神奈川県川崎市 2. 特になし
3. 6年 4. ISA世界ジュニア戦に出
場して優勝を目指します。それ
とJPSAでプロ資格を取ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
14	森 舞果	静岡3区	15,707
15	飯塚 美空	湘南茅ヶ崎	15,549
16	長崎 来海	鳥根	13,896
17	清水 心春	熊本	13,607
18	奈谷 莉央	静岡3区	13,328
19	小川 斐菜乃	静岡伊豆	12,732
20	KIMVIJU	宮崎	11,689
21	木津 優芽	千葉東	10,956
22	花井 澄香	三重	10,148
23	平井 こいまり	湘南鎌倉	10,048

3 清水 ひなの



横浜支部
40,430pt

1. 神奈川県川崎市 2. 特になし
3. 6年 4. ISA世界ジュニア戦に出
場することとJPSAでルーキーを取ることで
す

レイティング	氏名	支部名	ポイント
24	伊波 優月	湘南藤沢	8,890
25	石田 海夏	千葉西	8,610
26	川瀬 煌渚	三重	8,524
27	渡邊 ルアナ	茨城南	8,244
28	小林 咲喜	茨城南	7,880
29	伊東 葵	岩手	7,864
30	大江 こなみ	千葉西	6,776
30	古橋 乙都	静岡3区	6,776

WOMEN CLASS

1 大庭 風美



福岡支部
31,910pt

1. 福岡県 2. 野北 3. 11年 4.
全日本2連覇とグランドチャンピオ
ンです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	山本 優香	愛知	18,594
5	八尋 彩子	大阪	18,215
6	菅谷 帆那	湘南藤沢	17,641
7	山田 菜	福島	14,450
8	松本 望	佐賀	12,776
9	井内 愛理	千葉西	8,484
10	伊藤 ゆりあ	東京多摩	6,359
11	小城 綾之	宮崎	6,167
12	柿本 美紅	千葉南	6,162

2 上門 涼風



徳島支部
19,507pt

1. 沖縄 2. 生見 3. 8年 4. プ
ロ、海外

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	木村 愛里	千葉東	4,810
13	久保 杏奈	茨城南	4,810
15	原田 葵	学連	4,717
16	片倉 妃紗	横浜	4,146
17	田中 江梨奈	横浜	4,051
18	相澤 花佳	湘南西	3,962
19	三留 咲子	千葉東	3,794
20	池上 凧	千葉東	3,527
21	谷川 琴音	茨城南	3,494

3 澤田 七奈緒



湘南茅ヶ崎支部
18,970pt

1. 神奈川県茅ヶ崎市 2. パーク、チ
ザン 3. 10年 4. プロトライアル
合格

レイティング	氏名	支部名	ポイント
21	後藤 夏子	東京	3,494
21	林崎 のあ	鹿児島	3,494
24	奥山 恵依	湘南藤沢	2,872
25	渡邊 朋美	栃木	2,837
25	久保 葉奈	横浜	2,837
25	古家 宏美	千葉東	2,837
25	田中 魅夢	千葉南	2,837
29	伊東 悠理	千葉銚子	2,796
30	高瀬 かなみ	熊本	2,314

SENIOR WOMEN CLASS

1 清永 亜希子



湘南茅ヶ崎支部
39,770pt

1. 大阪府 2. 茅ヶ崎 3. 26年
4. 応援してくださる方に感謝し、最
高のライバルと切磋琢磨しながら今ま
で以上に、日々精進して参りたいと
思います。そして8度目の全日本優
勝目指します!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	荻原 浩子	千葉西	34,770
5	菱沼 富美	千葉南	29,570
6	山田 麻由美	静岡伊豆	18,620
7	石井 友香里	宮崎	15,000
8	中泉 亜紀	千葉東	14,944
9	神谷 真理子	愛知	14,172
10	湯川 順子	湘南西	13,913
11	中原 由未	愛知	10,972
12	飯塚 麻以	千葉銚子	10,964

2 大江 なぎさ



千葉西支部
38,950pt

1. 千葉北 3. 31年 4. ー

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	田中 亜弥	徳島	10,901
14	荒井 美佳子	鹿児島	9,600
15	百合草 綾	宮崎	9,420
16	竹原 由佳	千葉南	9,265
17	田部井 加菜子	千葉西	9,090
18	真田 美聖	茨城波崎	8,084
19	田中 順子	京都	8,000
20	木村 愛美	福島	7,380
21	五味 雅恵	茨城南	7,360

3 田上 さくら



愛知支部
36,040pt

1. 愛知県一宮市 2. 伊良湖新日
本 3. 18年 4. レベルアップし
てサーフィンを楽しむこと

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	原 摂子	山梨	7,225
23	倉持 恵	茨城南	7,152
24	七海 裕子	石川	6,624
25	水野 千郷	岩手	5,976
26	石田 真子	千葉西	5,647
27	田中 愛子	千葉西	5,129
28	古賀 恵	福岡	5,052
29	小岩 あかり	新潟2区	5,000
30	小林 久美子	宮城仙台	4,836

LONGBOARD MEN CLASS

1 北村 健一



千葉銚子支部
48,920pt

1. 千葉県旭市 2. 旭 3. 23年
4. 自分に負けず自分に勝つ!!

レイトング	氏名	支部名	ポイント
4	佐藤 雄亮	湘南藤沢	35,874
5	武田 真一	宮城仙台	26,270
6	市原 由大	湘南藤沢	18,500
7	上田 真司	湘南藤沢	14,530
8	高岡 潤史	福島	14,456
9	村山 聖	相模原	13,500
10	横手 倫太郎	湘南茅ヶ崎	13,494
11	杉江 彰規	湘南西	12,617
12	森山 貴幸	栃木	10,874

2 土屋 貴洋



湘南藤沢支部
40,267pt

1. 神奈川県藤沢市鶴沼 2. 鶴沼海岸 3. 14年 4. NSAでのランキング1位。出場する試合でエッセントの点数をコンスタントに出すこと

レイトング	氏名	支部名	ポイント
13	酒井 達矢	静岡3区	10,584
14	星 雅就	福島	9,620
15	中野 宏己	湘南藤沢	8,968
16	阿部 龍亮	宮城仙台	8,841
17	和田橋 潤	千葉西	7,950
18	伊藤 竜彦	福島	7,827
19	加藤 和紀	徳島	7,666
20	寺田 翔太郎	鹿児島	7,300
21	坂巻 春輔	千葉東	6,683

3 今井 康平



湘南藤沢支部
37,443pt

1. 神奈川県藤沢市 2. 鶴沼海岸 3. 15年 4. 去年以上の成績を残したい

レイトング	氏名	支部名	ポイント
22	西川 仁朗	湘南藤沢	6,578
23	本宮 世雅	湘南藤沢	6,467
24	田中 勇吉	東京	6,431
25	池谷 京将	千葉東	6,288
26	五十鈴川 駿	宮城北	5,706
27	村山 綾	湘南西	4,976
28	西野 龍成	大阪	4,810
29	井上 修太郎	埼玉南	4,710
30	吉田 祐治	湘南藤沢	4,470

LONGBOARD MASTER CLASS

1 渡辺 真通



湘南藤沢支部
57,210pt

1. 埼玉県 2. 湘南鶴沼 3. 31年 4. 健康に留意して、家庭・仕事・サーフィン・趣味、全部楽しんで、充実した生活を送りたい。昨年は自分でも信じられないくらいの素晴らしい結果を残すことが出来ましたが、慢心せず、いつでも自分が挑戦者という気持ちで、出場する試合の1ヒート、1ヒートに集中し、臨んでいきたいと思います

レイトング	氏名	支部名	ポイント
4	小崎 宗大	湘南茅ヶ崎	22,190
5	大池 義博	埼玉南	20,150
6	黒野 崇	湘南藤沢	18,720
7	秦野 真一	湘南藤沢	15,910
8	小山 俊樹	千葉西	15,737
9	野口 泰男	千葉銚子	14,593
10	鬼塚 秀之	湘南茅ヶ崎	14,261
11	佐野 十志哉	福井	13,118
12	中山 智資	徳島	13,070

2 小林 寛



東京支部
42,730pt

1. 東京都 2. 千葉北 3. 32年 4. 全日本優勝・GRAND CHAMPION

レイトング	氏名	支部名	ポイント
13	鈴木 頼聰	宮城仙台	12,643
14	大坪 宣明	佐賀	12,392
15	桑野 正明	茨城南	12,210
16	久保 健一	湘南茅ヶ崎	11,940
17	高橋 立太	新潟1区	11,905
18	釣田 克則	岡山	11,810
19	大森 伸悟	湘南藤沢	11,444
20	鯨岡 誠	湘南鎌倉	11,436
21	森 睦巨	静岡3区	11,396

3 藤原 健



湘南藤沢支部
26,460pt

1. 神奈川県横浜市 2. 江の島東浜 3. 25年 4. 1年間ケガなく健康に楽しくサーフィンしたいです

レイトング	氏名	支部名	ポイント
22	林 淳一	横浜	10,860
23	井口 総一郎	静岡3区	10,670
24	野地 洋孝	埼玉南	10,494
25	尾崎 賢	三重	9,836
26	大山 弘晃	湘南茅ヶ崎	9,407
27	杉本 裕樹	埼玉南	9,164
28	井上 誠	宮崎	8,772
29	岩田 信彦	東京	8,120
30	戸井田 雅秋	横浜	7,877

LONGBOARD WOMEN CLASS

1 多田 友祈子



湘南鎌倉支部
43,397pt

1. 神奈川県鎌倉市 2. 鎌高前 3. 13年 4. 自分らしく楽しみながらもっともっと成長したいです!

レイトング	氏名	支部名	ポイント
4	石井 志延	静岡2区	27,917
5	原田 来愛	千葉東	26,081
6	北村 亜希子	千葉銚子	18,430
7	田中 綾帆	湘南藤沢	17,170
8	深澤 のり子	静岡伊豆	16,780
9	唐木 麻貴	千葉南	15,126
10	梶沢 実里	湘南藤沢	13,053
11	鈴木 明子	千葉東	12,914
12	山口 晴菜	愛知	11,748

2 田村 聡美



湘南茅ヶ崎支部
31,776pt

1. 神奈川県 2. 鶴沼 3. 17年 4. 自分のペースでグラチャン目指して頑張ります

レイトング	氏名	支部名	ポイント
13	長谷川 愛	湘南藤沢	10,438
14	河合 妃富美	湘南藤沢	9,961
15	塚本 ゆり子	東京	9,620
16	川崎 智子	静岡3区	9,533
17	小林 理砂	東京	9,203
18	玉熊 祐美江	湘南藤沢	9,139
19	間瀬 侑良夏	川崎	8,706
20	渡邊 佐登美	宮城仙台	7,710
21	市川 恵里香	静岡3区	7,631

3 大石 梨花



静岡3区支部
28,539pt

1. 静岡県袋井市 2. 豊浜海岸 3. 12年 4. 今年こそグラチャンチャンピオンを取る。いい波にたくさん乗って、笑顔でサーフィンを楽しむ

レイトング	氏名	支部名	ポイント
22	渡邊 久美	茨城南	7,053
23	内田 早穂子	湘南藤沢	6,838
24	田原 ありい	湘南西	6,480
25	米川 なずな	茨城南	6,055
26	大塚 海音	千葉東	5,613
27	関口 紗稀	千葉東	5,327
28	松本 華	山口	4,810
28	神本 愛	大阪	4,810
30	磯部 有紀	静岡3区	4,538

BODYBOARD MEN CLASS

1 榎戸 崇人



千葉東支部
31,500pt

1. 千葉県 2. 大原馬小屋 3. 22年 4. ワールドツアー優勝!!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	三木 吾郎	宮崎	14,677
5	田岡 和也	徳島	13,750
6	鍵和田 福司	湘南茅ヶ崎	13,230
7	村上 栄治	湘南藤沢	12,170
8	渡邊 大輔	静岡伊豆	10,000
9	杉澤 嘉洋	湘南藤沢	9,547
10	佐山 直樹	千葉西	8,297
11	渡辺 康弘	湘南西	7,800
12	穂積 隆昭	徳島	7,656

2 遠山 純



東京支部
19,933pt

1. 東京都 2. 志田下 3. 24年 4. ボディボードの発展に貢献すること

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	木下 陸雄	千葉東	7,187
14	加藤 修一	湘南茅ヶ崎	5,586
15	渡邊 秀憲	横浜	5,210
16	中村 公	横浜	5,023
17	久保 厚	東京	4,810
18	栗本 裕史	大阪	3,823
19	遠藤 慎也	徳島	2,837
19	平野 恵之	兵庫	2,837
19	広瀬 昌志	千葉東	2,837

3 飯高 大輔



千葉東支部
15,220pt

1. 千葉県大網白里市 2. 白里 3. 25年 4. 技に磨きをかけます

レイティング	氏名	支部名	ポイント
19	西留 裕司	福井	2,837
19	足立 丈哉	横浜	2,837
19	中田 大	福岡	2,837
19	齊藤 章	茨城南	2,837
26	宇野 誠則	茨城南	2,377
27	宮崎 大嗣	湘南茅ヶ崎	2,220
28	仲内 孝一	湘南茅ヶ崎	252
28	川口 純司	湘南茅ヶ崎	252

BODYBOARD WOMEN CLASS

1 鶴澤 百亜菜



千葉東支部
30,390pt

1. 千葉県 2. サンライズ、豊海、片貝 3. 6年 4. 自分が納得できるライティングをし、試合に勝つ。全日本3連覇をして今年もグランドチャンピオンになる

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	鈴木 知子	千葉西	17,780
5	岡澤 未来	鹿児島	14,677
6	的場 有美	千葉東	14,205
7	我孫子 牧美	湘南西	12,880
8	大木 咲桜	湘南鎌倉	12,870
9	宮沢 恵美	東京	12,740
10	瀬田 七海	千葉東	12,526
11	小松崎 鈴	千葉東	11,869
12	谷川 純子	大阪	11,583

2 吉川 萌



宮崎支部
29,340pt

1. 宮崎県 2. 木崎浜 3. 23年 4. 地元とボディボード業界を盛り上げていくこと。ボディボード人口の増加と若手の育成

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	原 砂織	愛知	10,528
14	村主 香織	宮城仙台	10,313
15	宇井 愛花	千葉東	7,897
16	荒井 あぐり	埼玉南	7,896
17	川島 真紀	湘南茅ヶ崎	7,830
18	日高 若菜	宮崎	7,770
19	阿部 三緒里	福岡	7,187
20	藤岡 海莉	湘南鎌倉	6,540
21	伊藤 愛	北海道	6,127

3 下地 ケイト



湘南藤沢支部
18,910pt

1. 神奈川県藤沢市 2. 湘南鶴沼 3. 約10年 4. 今年も試合にたくさん出て頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	國武 寧々花	愛知	6,089
23	中山 響子	千葉東	6,070
24	今井 かおり	静岡伊豆	5,460
25	須郷 恵美	埼玉南	5,210
26	陣 真夏海	宮崎	4,810
27	田中 綾子	埼玉2区	4,593
28	小山田 早希	千葉東	4,373
29	小野 波音	宮城仙台	4,074
30	田内 くるみ	東京	4,052



ポイントランキング制度とは？

年間獲得ポイントの合計でグランドチャンプが決まる!!

NSA 主催大会および公認大会に出場し、
ポイントを獲得してグランドチャンプを目指そう!

2007年度から導入された「ポイントランキング制度」。これは、NSA 主催大会および公認大会を対象としたもので、年間を通して各大会・クラスごとの成績にポイントをつけていくというシステムです。獲得ポイントについてはNSA ホームページで大会終了後に発表、年度末に発表の年間ランキング1位(グランドチャンピオン)になれば、名前入りのメダルが授与されます!



①ポイントランキングの基本概要

- NSA 主催大会の参加者で大会出場時にNSA 正会員、またはNSA 公認大会(ポイント対象大会)の参加者で、大会出場時にNSA 正会員(級検定4級以上保持者)にポイントが付与し、年間のアマチュアチャンプを決定します。
※オープン会員・一般の方はポイント付与対象外です。
- ポイントの集計は、日本サーフィン連盟が行います。
- ポイントの集計は、日本サーフィン連盟が定める年齢別クラスの「クラス別ポイントランキング」と統合クラスの「統合ポイントランキング」に反映されます。
- 2024年度ランキングカウントの対象試合数は8試合とします。(9試合以上出場した選手は高得点を獲得した上位8試合で算出する。)
- ポイントランキング対象期間は2023年10月7日から2024年9月30日(もしくはNSA 主催大会最終戦まで※延期日程によりそれ以降の大会開催があった場合は、当該大会までとする)とし、その期間の集計で年間年齢別クラス毎の「クラス別ポイントランキング」チャンプを決定します。さらに、統合クラス毎の「統合ポイントランキング」チャンプを決定します。開催数上限に達しなかった場合でも、ポイントランキング成立と致します。

②統合ポイントランキング

- 統合ポイントランキングとは、各年齢別クラス・カテゴリを統合したランキングです。このランキングによって最もポイントが高い選手が決まります。
※2024年度大会開催クラス改訂により下記のように変更されました。
「ショートボードメンズオープンクラス」(SM全クラス)
「ショートボードウィメンズオープンクラス」(SW全クラス)
「ロングボードメンズオープンクラス」(LM全クラス)
「ロングボードウィメンズオープンクラス」(LW全クラス)
「ポディボードメンズオープンクラス」(BM全クラス)
「ポディボードウィメンズオープンクラス」(BW全クラス)
- 統合ポイントランキングのクラス認定級の昇級資格については、統合ポイントランキング上位者に保持級を問わず、サーフィン検定1級に昇級する資格を与えます。(後日手続きが必要です)
※上位者数については、現在協議中です。決定次第オフィシャルサイトで発表します。

③NSA 主催大会

- 全日本級別サーフィン選手権大会のポイントに関しては、開催クラスに関係なく、参加者の保持級(開催45日前のもの)により決定する。

④NSA 公認大会

- AAAランク、AAランク、Aランクの大会とし、付与するポイントが相違する(別表参照)
- 参加者(正会員)のサーフィン検定保持級により付与するポイントを決定する。(ただし、5級は対象外)
- ポイント算出対象の保持級は大会開催日の45日前(予備日等は考慮しない)までに取得した級とする。
- 種目別、男女別、年齢別(正会員年齢別クラス)で複数のクラスがある場合は、その最上位クラスのみポイントを付与する。
※詳細についてはオフィシャルサイトをご確認ください。

2024年度 NSA ポイント表

2024年度 正会員年齢別クラスについては、P.7をご参照ください。

主催大会

全日本サーフィン選手権大会

順位	右記以外のクラス	LMメン・LWウィメン・BMメシニア・BWウィメン
1位	15,000	18,500
2位	11,900	14,677
3位	9,600	11,840
4位	7,800	9,620
5位・6位	6,300	7,770
7位・8位	5,000	6,167
9位~12位	3,900	4,810
13位~16位	3,100	3,823
17位~24位	2,300	2,837
25位~32位	1,800	2,220
33位~48位	1,300	1,603
49位~64位	1,000	1,233
65位~96位	700	863
97位~128位	500	617
129位~192位	300	370
193位~256位	150	185
257位~	50	62

全日本級別サーフィン選手権大会

(右記以外のクラス)

順位/クラス(係数)	1st (1)	2nd (0.8)	3rd (0.5)	4th (0.3)	5th (0.1)
1位	12,000	9,600	6,000	3,600	1,200
2位	9,520	7,616	4,760	2,856	952
3位	7,680	6,144	3,840	2,304	768
4位	6,240	4,992	3,120	1,872	624
5位・6位	5,040	4,032	2,520	1,512	504
7位・8位	4,000	3,200	2,000	1,200	400
9位~12位	3,120	2,496	1,560	936	312
13位~16位	2,480	1,984	1,240	744	248
17位~24位	1,840	1,472	920	552	184
25位~32位	1,440	1,152	720	432	144
33位~48位	1,040	832	520	312	104
49位~64位	800	640	400	240	80
65位~96位	560	448	280	168	56
97位~128位	400	320	200	120	40
129位~192位	240	192	120	72	24
193位~256位	120	96	60	36	12
257位~	40	32	20	12	4

(LMメン・LWウィメン・BMメシニア・BWウィメン)

順位/クラス	1st	2nd	3rd	4th	5th
1位	13,000	11,500	9,700	8,200	1,300
2位	10,313	9,123	7,695	6,505	1,031
3位	8,320	7,360	6,208	5,248	832
4位	6,760	5,980	5,044	4,264	676
5位・6位	5,460	4,830	4,074	3,444	546
7位・8位	4,333	3,833	3,233	2,733	433
9位~12位	3,380	2,990	2,522	2,132	338
13位~16位	2,687	2,377	2,005	1,695	269
17位~24位	1,993	1,763	1,487	1,257	199
25位~32位	1,560	1,380	1,164	984	156
33位~48位	1,127	997	841	711	113
49位~64位	867	767	647	547	87
65位~96位	607	537	453	383	61
97位~128位	433	383	323	273	43
129位~192位	260	230	194	164	26
193位~256位	130	115	97	82	13
257位~	43	38	32	27	4

ジュニアオープン

サーフィン選手権大会

順位	ポイント
1位	9,000
2位	7,140
3位	5,760
4位	4,680
5位・6位	3,780
7位・8位	3,000
9位~12位	2,340
13位~16位	1,860
17位~24位	1,380
25位~32位	1,080
33位~48位	780
49位~64位	600
65位~96位	420
97位~128位	300
129位~192位	180
193位~256位	90
257位~	30

マスターズオープン

サーフィン選手権大会

順位	ポイント
1位	9,000
2位	7,140
3位	5,760
4位	4,680
5位・6位	3,780
7位・8位	3,000
9位~12位	2,340
13位~16位	1,860
17位~24位	1,380
25位~32位	1,080
33位~48位	780
49位~64位	600
65位~96位	420
97位~128位	300
129位~192位	180
193位~256位	90
257位~	30

公認大会

AAAランク

順位/認定級(係数)	1級(1)	2級(0.8)	3級(0.4)	4級(0.2)
1位	6,000	4,800	2,400	1,200
2位	4,760	3,808	1,904	952
3位	3,840	3,072	1,536	768
4位	3,120	2,496	1,248	624
5位・6位	2,520	2,016	1,008	504
7位・8位	2,000	1,600	800	400
9位~12位	1,560	1,248	624	312
13位~16位	1,240	992	496	248
17位~24位	920	736	368	184
25位~32位	720	576	288	144
33位~48位	520	416	208	104
49位~64位	400	320	160	80
65位~96位	280	224	112	56
97位~128位	200	160	80	40
129位~192位	120	96	48	24
193位~256位	60	48	24	12
257位~	20	16	8	4

AAランク

順位/認定級(係数)	1級(1)	2級(0.8)	3級(0.4)	4級(0.2)
1位	4,500	3,600	1,800	900
2位	3,570	2,856	1,428	714
3位	2,880	2,304	1,152	576
4位	2,340	1,872	936	468
5位・6位	1,890	1,512	756	378
7位・8位	1,500	1,200	600	300
9位~12位	1,170	936	468	234
13位~16位	930	744	372	186
17位~24位	690	552	276	138
25位~32位	540	432	216	108
33位~48位	390	312	156	78
49位~64位	300	240	120	60
65位~96位	210	168	84	42
97位~128位	150	120	60	30
129位~192位	90	72	36	18
193位~256位	45	36	18	9
257位~	15	12	6	3

Aランク

順位/認定級(係数)	1級(1)	2級(0.8)	3級(0.4)	4級(0.2)
1位	3,000	2,400	1,200	600
2位	2,380	1,904	952	476
3位	1,920	1,536	768	384
4位	1,560	1,248	624	312
5位・6位	1,260	1,008	504	252
7位・8位	1,000	800	400	200
9位~12位	780	624	312	156
13位~16位	620	496	248	124
17位~24位	460	368	184	92
25位~32位	360	288	144	72
33位~48位	260	208	104	52
49位~64位	200	160	80	40
65位~96位	140	112	56	28
97位~128位	100	80	40	20
129位~192位	60	48	24	12
193位~256位	30	24	12	6
257位~	10	8	4	2

※開催ヒート数により、上記表内順位とならない場合は、変則ポイントでの付与となります。

主催大会について

※開催ヒート数により、上記表内順位とならない場合は、変則ポイントでの付与となります。

※ジュニア・マスターズの大会開催クラスに変更があった場合は、全日本・級別大会の獲得ポイントの変更があります。



AIRWALK®





grand champion moana



*enhancement designated
player kouma*



3rd place prize.takeshi

LATEWRAP.COM

SERENDIPITY

SURF BOARD



Serendipity is the wonderful coincidence of encountering a good wave or discovering an unexpected surfboard or point. Also, when you are looking for something, you accidentally find something of value that is different from what you are looking for.





OP[®]

OP
ocean pacific



RENEWAL

LIQUID & GEL AIR FRESHENER

GONESH®



gonesh.jp



Instagram



YouTube



ペイズ・アルムスの地元の遊び場は、そこらのより(おそらく)やばい。Photo: Erik Aeder © 2024 Patagonia, Inc.

次世代のユーレックス・レギュレーター・ウェットスーツ登場。



パタゴニアのウェットスーツは、今シーズン、柔軟性と伸縮性と耐久性がさらに向上しました。ウェットスーツのリペアチームとデザインチームが情報を交換し、テンションが大きくかかる部分の継ぎ目を除去し、よく修理が必要になる箇所を改良しました。まったく新しいユーレックス・レギュレーターは、ユーレックス天然ラバー*はそのままに、シルクのようにソフトなリサイクル・ナイロン混紡素材を新たにライナーに採用しています。

*ユーレックス天然ラバー 85%/合成ラバー 15%(ポリマー含量)。天然ラバーの供給元はレインフォレスト・アライアンスによるFSC®(森林管理協議会)認証済み。

古いスーツのパネルを交換するため新しいユーレックスの生地を切り取る、ウェットスーツ修理技師のパディ・ベンダーガスト。Photo: Tim Davis © 2024 Patagonia, Inc.

patagonia®

PLAY BACK 2023

新型コロナの感染が落ち着きを見せた2023年は各人が感染対策を行いながら、コロナ禍以前の大会様式に戻して大会を開催し、各選手、各支部がのびのびと試合に臨み、盛り上がりを取り戻すことができたのではないだろうか。

最終の全日本選手権での支部一丸となったパドルレースの盛り上がりも圧巻だった。

また今年は世界戦も見据えて第1回全日本パラサーフィン選手権大会も開催。

開催日順に、ジュニアオープン選手権、級別選手権、マスターズオープン選手権、SUP&Paddleboard選手権、全日本パラサーフィン選手権、そして全日本選手権の主催6大会をプレイバックする。

第31回

ジュニアオープンサーフィン選手権大会 (2023)

more info



開催場所：高知県東洋町生見サーフィンビーチ 開催期間：2023年4月15日(土)～16日(日)

「ジュニアサーフィン選手権大会」とは？ キッズ、ボーイズ、ジュニア、ガールズの4つのカテゴリーに分けられ、ジュニア世代の競技力向上を目的とし、ISA(国際サーフィン連盟)主催の世界ジュニアサーフィン選手権の日本代表を選考する大会でもある。



写真：日本サーフィン連盟

世界を目指すジュニアたちがサイズのある波で高得点のライディングを続出

コロナの感染が落ち着きを見せた今年は昨年までの大会会場での感染対策は実施せず、各人の判断で感染対策を行う中での開催となった。

本大会はボーイズ、ジュニア、ガールズのカテゴリーにおいて世界ジュニアサーフィン選手権の日本代表を選出する大会でもあるため、参加選手220名のうちJPSA公認プロ15名も参加し、白熱したヒートが繰り広げられた。

初日は雨から曇りに天気が回復、低気圧の影響により朝は波が腹～胸サイズであったのが、10時前後から波のサイズが頭から頭オーバーまで上がった。ボーイズ、ガールズ、キッズ、ジュニアのヒート順にスタートしたが、波のサイズが上がったためガールズクラスは20分ヒートにして行った。最終日は前日より少しサイズダウンし、セット頭のクリーンなコンディションでスタート。終日申し分のないコンディションで熱い戦いが続き、高得点が出るファイナルデイとなった。ボーイズ、ジュニア、ガールズクラスの優勝者、小野里弦、岩見天獅、松岡

亜音が世界ジュニアサーフィン選手権の日本代表に決定した。



技のバリエーションもある小野里弦がボーイズクラス優勝



強化PROの岩見天獅が先手必勝の戦術でジュニアクラスを連覇



力強いライディングで強化PROの松岡亜音がガールズクラスを制した



キッズクラスとはいえ他のクラスに負けないライディングを見せた和氣推人



KIDS CLASS
優勝 和氣 堆人 湘南茅ヶ崎
2位 浦崎 陽平 三重
3位 高井 悠二朗 湘南西
4位 飯田 翔斗 千葉銚子



BOYS CLASS
優勝 小野 里弦 静岡伊豆
2位 岡野 漣 PRO
3位 鈴木 慈英 千葉南
4位 石山 汰一 千葉東



JUNIOR CLASS
優勝 岩見 天獅 強化プロ
2位 渡邊 壱孔 強化プロ
3位 佐藤 利希 強化プロ
4位 酒井 仙太郎 湘南藤沢



GIRLS CLASS
優勝 松岡 亜音 強化プロ
2位 松野 杏莉 PRO
3位 池田 美来 強化プロ
4位 登坂 祐妃 湘南藤沢

特別賞

ベストライディング賞

小野 里弦 静岡伊豆支部 BOYS CLASS

敢闘賞

和氣 堆人 湘南茅ヶ崎支部 KIDS CLASS

東洋町長賞

岩見天獅 強化プロ JUNIOR CLASS
松岡亜音 強化プロ GIRLS CLASS



第40回 全日本級別サーフィン選手権大会(2023)

開催場所：福島県いわき市四倉海岸 開催期間：2023年6月21日(水)～24日(土)

「全日本級別サーフィン選手権大会」とは？ NSAサーフィン検定で認定された級を持つ選手がその級と種目ごとに年齢を問わず競い合う大会。男女共にショートボード、ロングボード、ボディボードの各級のクラスに分かれ、幅広いサーファーが集結する。



写真：日本サーフィン連盟

十分なサイズのベストコンディションで開催された級別選手権

本大会もジュニアオープン選手権同様に、感染対策等に関して選手並びに役員全てにおいて自己判断で行い、中止にしていた開会式をコロナ禍後初めて開催した。エントリー数は過去最多の620名、当初の予定よりボディウム数を増やして初日、2日目は3ボディウムで行った。

初日から波のコンディションは、腹から胸、セットで肩、風もサイドオフと申し分なく、ボディボード各クラス、ショートボードガールズウィメン3,4,5級のファイナルまでと、ロングボード各クラスの予選が行われ、ハイスコアも続出した。

2日目は、朝から雨であったが、波は初日と

変わらないコンディションで、ショートボードメンマスター3,4,5級、ショートボードメン1,2級、ロングメン1,2級、ロングウィメン、ロングマスター1,2級、3,4,5級の категорияが行われ、この日もハイスコアの白熱したヒートが繰り返された。3日目はコンディションがよく、波のサイズが少し上がり、肩から時折頭ぐらいのセットも入り、前日のカテゴリーに加えてショートボードマスター1,2級の熱いヒートが行われた。各選手ともに数多くの本数を乗り、バリエーションのあるライディングが見られた。最終日も朝からクリーンなコンディションで波のクオリティも十分

な中でスタート。ショートボードガールズ、ウィメン1,2級、ロングメン1,2級、その他5つのカテゴリーのファイナルヒートが行われ、各選手がハイスコアを出すヒートが数多くあり、会場を沸かせた。注目のヒートを展開するショートボードメンマスター1,2級クラスは湘南西支部の高井汰朗が、ショートボードガールズ1,2級は千葉南支部の石井有沙が制した。



ショートボードメンマスター1,2級クラス優勝の高井汰朗に市長賞が贈られた



ベストライディング賞も獲得した、ショートボードメンマスター3級クラス優勝の久保池大和



- MEN 1st 2nd CLASS**
- 優勝 高井 汰朗 湘南西
 - 2位 浜矢 風 大分
 - 3位 西野 龍成 大阪
 - 4位 佐藤 頼斗 千葉東



- MASTER 1st 2nd CLASS**
- 優勝 古川 光彦 千葉東
 - 2位 木村 圭佑 福島
 - 3位 穴戸 健太 福島
 - 4位 小林 賢和 福島



- MEN MASTER 3rd CLASS**
- 優勝 久保池 大和 静岡3区
 - 2位 末崎 晃太 東京
 - 3位 山田 琉太 福岡
 - 4位 具志堅 然 湘南茅ヶ崎



- MEN MASTER 4th 5th CLASS**
- 優勝 岩崎 蒼汰 湘南西
 - 2位 岩本 功太 千葉東
 - 3位 箱谷 拓人 静岡2区
 - 4位 嵐澤 雄哉 宮城仙台



- GIRLS 1st 2nd CLASS**
- 優勝 石井 有沙 千葉南
 - 2位 鈴木 莉珠 千葉南
 - 3位 清水 ひなた 横浜
 - 4位 高橋 結奈 千葉銚子



- WOMEN 1st 2nd CLASS**
- 優勝 山本 優香 愛知
 - 2位 大江 なぎさ 千葉西
 - 3位 澤田 七奈緒 湘南茅ヶ崎
 - 4位 大庭 風美 福岡



- GIRLS WOMEN 3rd CLASS**
- 優勝 KIM VIJU 宮崎
 - 2位 菅谷 帆那 湘南藤沢
 - 3位 川瀬 煌渚 三重
 - 4位 古橋 乙都 静岡3区



- GIRLS WOMEN 4th 5th CLASS**
- 優勝 嘉手納 美羽 沖縄
 - 2位 武藤 琉夏 湘南茅ヶ崎
 - 3位 中川 莉呂 沖縄
 - 4位 木村 咲葵 湘南西



- LONGBOARD MEN 1st 2nd CLASS**
- 優勝 佐藤 雄亮 湘南藤沢
 - 2位 今井 康平 湘南藤沢
 - 3位 北村 健一 千葉銚子
 - 4位 上田 真司 湘南藤沢



- LONGBOARD MASTER 1st 2nd CLASS**
- 優勝 渡辺 真通 湘南藤沢
 - 2位 森 陸巨 静岡3区
 - 3位 井口 総一郎 静岡3区
 - 4位 大池 義博 埼玉南



- LONGBOARD MEN 3rd 4th 5th CLASS**
- 優勝 横手 倫太郎 湘南茅ヶ崎
 - 2位 森山 貴幸 栃木
 - 3位 中野 道明 福島
 - 4位 中野 宏己 湘南藤沢



- LONGBOARD MASTER 3rd 4th 5th CLASS**
- 優勝 野地 洋孝 埼玉南
 - 2位 桑野 正明 茨城南
 - 3位 小林 涉 新潟2区
 - 4位 田本 圭 埼玉南



- LONGBOARD WOMEN CLASS**
- 優勝 原田 来愛 千葉東
 - 2位 大石 梨花 静岡3区
 - 3位 田村 聡美 湘南茅ヶ崎
 - 4位 深澤 のり子 静岡伊豆



- BB MEN 1st 2nd CLASS**
- 優勝 榎戸 崇人 千葉東
 - 2位 遠山 純 東京
 - 3位 村上 栄治 湘南藤沢
 - 4位 田岡 和也 徳島



- BB WOMEN 1st 2nd CLASS**
- 優勝 吉川 萌 宮崎
 - 2位 村主 香織 宮城仙台
 - 3位 鷗澤 百亜菜 千葉東
 - 4位 宮沢 恵美 東京



- BB WOMEN 3rd 4th 5th CLASS**
- 優勝 的場 有美 千葉東
 - 2位 瀬田 七海 千葉東
 - 3位 原 砂織 愛知
 - 4位 谷川 純子 大阪

特別賞

ベストライディング賞
久保池 大和 静岡3区支部 BOYS CLASS

敢闘賞
石井 有沙 千葉南支部 GIRLS CLASS

市長賞
高井 汰朗 湘南西支部 BOYS CLASS





第19回 マスターズオープンサーフィン選手権大会(2023)

開催場所：千葉県白子町刺金海岸 開催期間：2023年9月1日(金)～9月3日(日)

「マスターズオープンサーフィン選手権大会」とは？ NSA正会員の35歳以上のサーファーがショートボード、ロングボードの種目を年齢ごとのクラス分けによって、熟練の技量を競い合う大会。



写真：日本サーフィン連盟

初めての大会会場のサイズのある波で熟練のパフォーマンスが光った

今大会は35歳以上のポイント付与のあるシニアマスター、シニアウィメン、グランドマスターカフナ、ロングボードマスタークラスとポイント付与のないロングボードシニアマスター、ロングボードシニアウィメン、ロングボードグランドマスターカフナクラスの7カテゴリーに分けて競技を開催。364名の選手がエントリーし、3ポディウムで行われた。予想をしていた台風の影響もなく、大会初日は胸から肩の波でコンテストには十分なコンディションとなった。大会

会場の刺金海岸は、ハイトイド時はインサイド寄りですら、レフト共に腹から胸、肩サイズのポテンシャルのある波がブレイクし、ロータイトになるとアウトサイドでサイズのある波がブレイク。選手もインサイドを狙う選手、アウトサイドを狙う選手と時間帯によって分かれた。インサイドのクリティカルセクションを攻める選手、アウトサイドの大きなフェイスに攻める選手共にグッドライディングを見せ、エクセレントスコアも出た。大会初日はグランドマスターカフナ、シニアマスターのヒートが3ポディウムで進行。2日目は少しサイズダウンしたもののポテンシャルのある波が入る中、シニアマスター、グラン

ドマスターカフナのファイナル、ロングマスター、シニアウィメンのラウンド1からファイナルが行われた。ロングボードクラスのヒートは朝のハイトイド時はインサイドの速いブレイクに苦戦していたが、ロータイトでアウトサイドがブレイクするとしっかりロングボードらしいマニューバーが見られた。3日目はポイント付与のないロングボードグランドマスターカフナ、ロングシニアマスター、ロングシニアウィメンのラウンド1からファイナルが行われ、全てのカテゴリーの勝者が決定した。ポジションを見極める必要があるものの十分なサイズの波で3日間、ベテランの熱いライディングが披露された大会となった。



グランドマスターカフナクラス優勝の青山雄一



ロングボードグランドマスターカフナ優勝の永井孝秀



ロングボードシニアマスタークラス優勝の渡辺真通



ロングボードシニアウィメン優勝の松原純恵



ロングボードマスタークラス優勝の小林寛



シニアマスタークラスの酒井正洋はベストライディング賞も受賞



シニアウィメンクラス連覇の大江なぎさは敢闘賞



選手宣誓も行われた



- SENIOR MASTER CLASS**
- 優勝 酒井 正洋 千葉東
 - 2位 田村 和巳 千葉東
 - 3位 友重 達郎 千葉東
 - 4位 大江 良太 茨城北



- GRAND MASTER KAHUNA CLASS**
- 優勝 青山 雄一 千葉南
 - 2位 石川 秀樹 千葉東
 - 3位 坂本 應尚 千葉南
 - 4位 大塚 泰仁 東京



- SENIOR WOMEN CLASS**
- 優勝 大江 なぎさ 千葉西
 - 2位 清永 亜希子 湘南茅ヶ崎
 - 3位 田中 亜弥 徳島
 - 4位 菱沼 富美 千葉南



- LB MASTER CLASS**
- 優勝 小林 寛 東京
 - 2位 渡辺 真通 湘南藤沢
 - 3位 山口 勇気 静岡3区
 - 4位 佐藤 友彦 静岡3区



- LB SENIOR MASTER CLASS**
- 優勝 渡辺 真通 湘南藤沢
 - 2位 古賀 義孝 千葉東
 - 3位 佐藤 友彦 静岡3区
 - 4位 阿部 龍亮 宮城仙台



- LB GRAND MASTER CLASS**
- 優勝 永井 孝秀 愛知
 - 2位 野口 泰男 千葉銚子
 - 3位 大池 義博 埼玉南
 - 4位 戸井田 雅秋 横浜



- LB SENIOR WOMEN CLASS**
- 優勝 松原 純恵 静岡3区
 - 2位 鈴木 明子 千葉東
 - 3位 田村 聡美 湘南茅ヶ崎
 - 4位 多田 友祈子 湘南鎌倉

特別賞

ベストライディング賞
酒井 正洋 千葉東支部
SENIOR CLASS

敢闘賞
大江 なぎさ 千葉西支部
SENIOR WOMEN CLASS

第1回全日本パラサーフィン選手権大会

開催場所：千葉県白子町刺金海岸 開催日：2023年9月3日(日)

more info



「全日本パラサーフィン選手権」とは？ NSAパラサーフィン会員登録者で選手を持つ障害によって9つのクラスに分かれ、ISAパラサーフィン世界選手権に派遣する日本代表の選考基準となる大会。

写真：日本サーフィン連盟

NSA 全日本パラサーフィン選手権及びISAパラサーフィン世界選手権は国際クラス分け専門医等による診断が必要であるため、7月に「NSA パラサーフィン・クラシフィケーション」で直接診断を受けクラス分けを行い、今大会は26名の参加となった。

当日は波のサイズもあり、波数も多いハードなコンディションの中でのヒートとなったが、各選手が波に挑み、サポーターと共に苦楽を分かち合う姿は多くの観客に感動を与えてくれた。

STAND 1 MEN CLASS	STAND 1 WOMEN CLASS	STAND 2 MEN CLASS	PRONE 1 MEN CLASS	PRONE 2 MEN CLASS
 優勝 加藤 真吾 2位 近藤 健太郎 3位 鳥川 幹生 4位 鳥立 和英	 優勝 池上 凜 2位 高尾 千香子	 優勝 山本 晴一 2位 小磯 孝章 3位 阿部 寛之	 優勝 西山 健悟 2位 小島 好宏	 優勝 藤原 智貴 2位 安田 京弘 3位 山本 晃嗣 4位 生方 亮馬
NEEL MEN CLASS	VII&2 MEN CLASS	OPEN CLASS		
 優勝 泰 秀名 2位 高山 剛 3位 井上 英彦 4位 釣井 景介	 優勝 藤崎 滋 2位 草野 健二	 優勝 石原 望 2位 森山 知義	<div data-bbox="829 779 1412 945" data-label="Complex-Block"> <p>NSA パラサーフィン会員登録について</p> <p>日本国内でNFであるNSAは「ISAパラサーフィン世界選手権大会」へ6年連続で日本チームを派遣しており、世界戦のみならずパラサーフィンの普及発展に向け活動の幅を広げていく取り組みを行なっています。</p> </div>	

第2回 JSUPPC 「SUP&Paddleboard 選手権大会」

(SUPサーフィン日本代表選考会)

開催場所：千葉県白子町刺金海岸 開催日：2023年9月3日(日)

more info



「SUPサーフィン日本代表選考会」とは？ 「ISA WORLD SUP & PADDLEBOARD CHAMPIONSHIP」に派遣するスタンドアップパドルボード(SUP)によるサーフィン競技の日本代表を選考するための大会。

写真：日本サーフィン連盟

今大会はマスターズオープン選手権と同時開催された。十分なサイズの波が押し寄せる中、各選手が素晴らしいテクニックで、エクセレントスコアも出る白熱したヒートを展開した。今大会の結果をもとに、SUPサーフィン男子は野村颯、福田カボノ隼介、SUPサーフィン女子は横山貴代、百合草綾が日本代表に選ばれた。

SUP SURFIN MEN CLASS	SUP SURFIN WOMEN CLASS
 優勝 野村 颯 2位 福田 カボノ隼介 3位 町田 汐音 4位 市川 朝陽	 優勝 横山 貴代 2位 百合草 綾

静岡スバル 第2回 JSUPPC 「SUP&Paddleboard 選手権大会」

(ディスタンス・テクニカル・スプリント・ジュニア)

開催場所：静岡県下田市柿崎・外浦海岸 / 静岡県下田市・白浜 大浜 / 静岡県賀茂郡東伊豆町・稲取港

開催日：2023年5月20日(土)～5月21日(日)

more info



ISA主催のWSUPPCに向けた日本代表選手選考対象の大会が、「東伊豆チャレンジオーシャンパドルングレース#005」と同時開催された。

SUP					SUP				
	優勝	2位	3位	4位		優勝	2位	3位	4位
ディスタンス 男子	荒木 珠里	田口 頼	荒木 汰久治	兵後 有亮	Jr.テクニカル 男子	島津 成彰	宮平 琥太郎	平田 凪人	小澤 良奈
ディスタンス 女子	奥秋 李果	馬場 なつみ	水谷 凜香	横山 貴代	Jr.テクニカル 女子	水谷 凜香	植村 琴子	中野 紗希	
テクニカル 男子	田口 頼	荒木 珠里	杉山 友厚	山本 隼人	スプリント 男子	荒木 珠里	島津 成彰	宮平 琥太郎	菊池 創太郎
テクニカル 女子	奥秋 李果	横山 貴代	米村 夢春		スプリント 女子	奥秋 李果	横山 貴代	水谷 凜香	米村 夢春

Paddleboard					Paddleboard				
	優勝	2位	3位			優勝	2位		
ディスタンス 男子	堀部 雄大	野村 颯	本間 春翔		スプリント 男子	野村 颯	堀部 雄大		
ディスタンス 女子	堀部 結里花	塚越 心			スプリント 女子	堀部 結里花	塚越 心		
テクニカル 男子	堀部 雄大	野村 颯	本間 春翔						
テクニカル 女子	堀部 結里花	塚越 心							



第57回全日本サーフィン選手権大会(2023)

presented by Solaseed Air

開催場所：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 開催期間：2023年9月30日(土)～10月6日(金)

「全日本サーフィン選手権大会」とは？ ショートボード、ロングボード、ボディボードの年齢別の各クラスで全国70支部の予選を突破し、支部の代表となった選手がアマチュア日本一をかけて競う大会。選手は千人規模が集い、国内最大級のサーフィンコンテスト。各ポイントの合計により団体の総合順位も競う。



スポーツ振興基金助成事業
全日本サーフィン選手権大会

写真：日本サーフィン連盟

パドルレースも勝利した 湘南藤沢支部が団体優勝

本大会は全国70支部で開催される支部予選大会(年齢別クラス毎)で選抜された代表選手が参加する選手権大会であり、今年度は前年度よりも多く1,335名が木崎浜海岸に集った。また今年度の最終戦となり、クラス別ポイントランキング、総合ポイントランキングも同時に決定するという事で選手たちも気合十分に悔いなく思いきり戦いに挑んでいた。台風シーズンでもあり、大会期間中台風が接近してくる予報もあったが、台風の進路が良い波をもたらす方向を取り、サイズもあり、グッドコンディションの波が押し寄せヒートが進行した。キッズクラスは前年度3位だった湘南茅ヶ崎支部の和氣堆人が実力を磨き優勝、ボーイズクラスも前年度4位だった宮崎支部の永谷オダイが優勝を果たした。白熱したヒートを展開するジュニアクラスは千葉東支部の寺田文太が制し、メンクラスは学連支部の石川拳大が連覇。マスタークラスは調子上げている千葉東支部の友重達郎が、グラッドマスターは昨年2位の實力者、湘南西支部の磯部康典が全日本優勝を決めた。ガールズクラスは、横浜支部の清水ひなの、ひなた姉妹が1位3位と頭角を現し、2位には千葉南支部の石井有沙、前年度優勝の千葉南支部の鈴木莉珠は惜しくも4位であったが、2支部の熱い戦いとなった。ロングボードメンクラスは湘南藤沢支部の市原由大が優勝、



キッズクラス優勝は成長著しい湘南茅ヶ崎支部の和氣堆人

前年度の覇者である土屋貴洋が2位と湘南藤沢支部が強さを見せた。ロングボードマスタークラスも湘南藤沢支部の渡辺真通が級別選手権やマスターズオープン選手権に続いて優勝。ボディボードメンクラス、ボディボードウィメンクラスは前年度に続いて千葉東支部の榎戸崇人、鵜澤百亜菜が連覇した。声援も一際大きい支部長クラスは、次々にグッドライディングを見せた茨城北支部の五来潤支部長が優勝。全日本選手権恒例のパドルレースは支部の盛り

上がり最高潮にし、各支部が戦略を立てて選手を選び、一丸となって勝利を目指してサーフボードをリレーした。結果、湘南藤沢支部が追ってきた千葉東支部を振り切り、パドルレースを制した。また、団体戦も湘南藤沢が前年度覇者の宮崎支部を破り優勝を手に。大会期間中天候に恵まれ、波もコンスタントにある中で、選手たちは日頃の練習の成果を發揮しながら全国の代表選手と交流し、今年度の有終の美を飾る熱く素晴らしい大会となった。



マスタークラスを制したのは千葉東支部の友重達郎



宮崎支部の永谷オダイが勢いのあるライディングでボーイズクラス優勝



千葉東支部の榎戸崇人が2022年に続きボディボードメンクラス連覇



ジュニアクラスは千葉東支部の寺田文太が優勝を手にした



ガールズクラスは横浜支部の清水ひなのが良い波を掴んで優勝



湘南藤沢支部の市原由大がスタイルのあるパフォーマンスでロングボードメンクラス優勝

KIDS CLASS



優勝 和氣 堆人 湘南茅ヶ崎
2位 大塚 昂摩 千葉西
3位 高井 悠二郎 湘南西
4位 都築 成海 湘南西

BOYS CLASS



優勝 永谷 オダイ 宮崎
2位 米山 珠波瑠 鹿児島
3位 宇野 雅志 宮崎
4位 菊地 一汰 宮城仙台

JUNIOR CLASS



優勝 寺田 文太 千葉東
2位 浜矢 風 大分
3位 川畑 永芯 宮崎
4位 金沢 太規 徳島

MEN CLASS



優勝 石川 拳大 学連
2位 藤本 世音 学連
3位 野中 溪佑 高知
4位 本田 匡世 湘南西

SENIOR CLASS



優勝 富塚 俊介 湘南藤沢
2位 吉野 祐生 静岡3区
3位 仲村 一智 三重
4位 山田 桂司 静岡3区

MASTER CLASS



優勝 友重 達郎 千葉東
2位 朝日 公也 高知
3位 斎藤 真一 大分
4位 宗政 利夫 湘南西

GRAND MASTER CLASS



優勝 磯部 康典 湘南西
2位 緒方 申八 宮崎
3位 菅原 剛 東京
4位 奥田 修嗣 湘南鎌倉

KAHUNA CLASS



優勝 坂本 應尚 千葉南
2位 久野 孝 徳島
3位 三輪 真一 静岡2区
4位 石丸 義孝 千葉東

GIRLS CLASS



優勝 清水 ひなの 横浜
2位 石井 有沙 千葉南
3位 清水 ひなた 横浜
4位 鈴木 莉珠 千葉南

WOMEN CLASS



優勝 大庭 風美 福岡
2位 上門 涼風 徳島
3位 松本 望 佐賀
4位 山田 葵 福島

SENIOR WOMEN CLASS



優勝 石井 友香里 宮崎
2位 山田 麻由美 静岡伊豆
3位 荒井 美佳子 鹿児島
4位 田上 さくら 愛知

LONGBOARD MEN CLASS



優勝 市原 由大 湘南藤沢
2位 土屋 貴洋 湘南藤沢
3位 北村 健一 千葉銚子
4位 星 雅就 福島

LONGBOARD MASTER CLASS



優勝 渡辺 真通 湘南藤沢
2位 小林 寛 東京
3位 久保 健一 湘南茅ヶ崎
4位 朝本 純功 湘南茅ヶ崎

LONGBOARD WOMEN CLASS



優勝 多田 友祈子 湘南鎌倉
2位 原田 来愛 千葉東
3位 田村 聡美 湘南茅ヶ崎
4位 塚本 ゆり子 東京

BODYBOARD MEN CLASS



優勝 榎戸 崇人 千葉東
2位 三木 吾郎 宮崎
3位 飯高 大輔 千葉東
4位 遠山 純 東京

BODYBOARD WOMEN CLASS



優勝 鷗澤 百華菜 千葉東
2位 岡澤 未来 鹿児島
3位 吉川 萌 宮崎
4位 下地 ケイト 湘南藤沢

支部長 CLASS



優勝 五来 潤 茨城北
2位 小野 誠 茨城波崎
3位 増田 大樹 高知
4位 森 匠平 鹿児島

ROYAL CLASS



優勝 福田 京一郎
2位 三股 信夫
3位 江口 真治
4位 山崎 信男

パドルレース



1位 湘南藤沢
2位 千葉東
3位 湘南西
4位 東京
5位 茨城南

団体戦



優勝 湘南藤沢 185ポイント
2位 千葉東 180ポイント
3位 湘南西 160ポイント
4位 宮崎 155ポイント

特別賞

ベストライディング賞
土屋 貴洋 湘南藤沢支部 LONGBOARD MEN CLASS
敢闘賞
川畑 永芯 宮崎支部 JUNIOR CLASS
宮崎県知事賞
石井 友香里 宮崎支部 SENIOR WOMEN CLASS
宮崎市長賞
野中 溪佑 高知支部 MEN CLASS





THE ORIGINAL BOARDSHORT COMPANY

QUIKSILVER



IT'S TIME TO FLY.

プロスケートボーダー
西矢 栞

プロBMXライダー
中村 輪夢

プロスケートボーダー
中山 楓奈

TEAM RIDERS

一羽ばたけ世界へ。

プロスケートボーダー
堀米 雄斗

プロスケートボーダー
白井 空良

プロスケートボーダー
織田 夢海

フレイクダンサー
菱川 一心



ムラサキスポーツはアクションスポーツを応援しています。

波乗りジャパン

チームジャパン

目指せ世界一!

世界大会ダイジェスト

2023年の国際大会への派遣は5月のISA 世界ロングからスタート。
ISA 世界戦、アジア選手権、ISA 世界 SUP&パドルボード選手権、ISA 世界パラと続き、
11月のISA 世界ジュニアまで6大会に選手を派遣し、
選手たちは記憶に残る素晴らしい活躍を見せてくれた。

2019年以来4年ぶりにISAロングが復活。
32の国と地域計118名出場とコンテストは過去最大規模に

JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター
「競技力向上事業」

2023 ISA World Longboard Championship Surf City El Salvador

日時：2023年5月7日(日)～5月13日(土) 開催国：エルサルバドル共和国 エル・スンザル 参加国：32の国と地域

写真：ISA 国際サーフィン連盟

善戦した選手たち、国別では 前回よりランクを上げ6位入賞

2019年にフランス・ビアリッツ以来4年ぶりに復活したISAロングボードチャンピオンシップ。会場は、近年多くのISAメジャーコンテストが開催されているサーフシティ エルサルバドルとなった。またISAが2028年ロサンゼルス

オリンピック競技にロングボードを正式エントリーしたこともあり、過去最大の盛り上がりを見せた。そんな中、日本代表は前年の男女JPSAチャンピオン、浜瀬海、吉川広夏、男女NSAランキングトップの北村健一、北村亜希子の最強の布陣で念願の金メダル獲得に挑んだ。コンテスト期間中は最低でもオーバーヘッド、時にはダブルという普段の日本とは異なる

ハードなコンディションだったが、選手達は早々にリパチャージを強いられるも果敢にチャレンジし、結果、浜瀬と吉川が「BALI 2023 ANOC World Beach Games 2023」の出場権を獲得する7位に入賞、また国別ランキングでは前大会よりワンランクアップの6位となった。今後のさらなる飛躍に期待したい。

ISA/Pablo Jimenez



浜瀬海はセクションを見つけてはスタイリッシュなハングファイブを披露

ISA/Jersson Barboza



吉川広夏はビッグ&ハードコンディションながらもさすがのライディング

ISA/Pablo Franco



JPSA&NSAのチャンピオンチームで挑んだ波乗りジャパン



浜瀬 海
MEN 7位



北村 健一
MEN 29位



吉川 広夏
WOMEN 7位



北村 亜希子
WOMEN 33位

MEN

- 1st Antoine Delpero (FRA)
- 2nd Carlos Bahia (BRA)
- 3rd Edouard Delpero (FRA)
- 4th Rogelio Esquiviel Jr. (PHI)
- 7th 浜瀬海 (JPN)
- 29th 北村健一 (JPN)

WOMEN

- 1st Alice Le Moigne (FRA)
- 2nd Maria Fernanda Reyes (PER)
- 3rd Chloe Calmon (BRA)
- 4th Zoe Grospron (FRA)
- 7th 吉川広夏 (JPN)
- 33rd 北村亜希子 (JPN)

大会名称：

2023 ISA WORLD LONGBOARD CHAMPIONSHIP SURF CITY EL SALVADOR

2023 ISA ワールド ロングボードサーフィン選手権 サーフシティ エルサルバドル

主催：

International Surfing Association (国際サーフィン連盟)

参加選手：106名

日本代表選手：4名

参加役員：

監督 宗像富次郎 スタッフ 大石純也

男女4名、計8名が2024年パリ大会への出場権を獲得できる重要な試合 /

Surf City El Salvador ISA World Surfing Games 2023

日時：2023年5月30日(火)～6月7日(水) 開催国：エルサルバドル共和国 エル・スンザル 参加国：63の国と地域

写真：ISA 国際サーフィン連盟

最強の布陣で オリンピック出場枠を狙う

今大会は男女計8名が2024パリオリンピックへの出場権を獲得できる大会ということもあり、63の国と地域計297名の選手が出場する過去最大規模に。前年カリフォルニア・ハンティントン大会で男子国別1位となり既に出場枠を得ている日本であるが、男女共にさらなる出場枠獲得を狙うべく最強のメンバーで大会に臨んだ。2020東京五輪で銀メダル、2022 ISAでは金メダルの五十嵐カノア、同じく東京五輪銅メダルの都筑有夢路を筆頭に代表選手選考のJAPAN OPENを勝ち抜いた、稲葉玲王、脇田泰地、松田詩野、前田マヒナ、そしてコーチに大野修聖、田中樹を迎え万全の体制が整った。



スタッフも万全の体制で挑んだ波乗りジャパン。ISA会長フェルナンド氏と

数々の波乱が起こる中、 順調に勝ち上がる波乗りジャパン

今回は男女別に2ポイントに分かれて試合が進行、両ポイントとも素晴らしいコンディションの中、ISA出場経験者、また実力者揃いの日本代表選手は全員がスタートラウンドを勝ち上げる好発進を見せた。しかしこのWSGは出場選手の多くが普段戦っているヒート形式や時間のフォーマットとは異なることや、思いもよらない国やエリアから才能ある選手が出場することもあり、波乱が起こりやすい。また一度



アジアトップとなり、パリ五輪の切符を手にした五十嵐カノア

敗退し、リバチャージラウンドに回ってしまうとファイナルラウンドに進むまで過酷なヒート数を戦わなければならないため、メインラウンドを勝ち上がる事が重要だ。オリンピック出場選手やWSL CT選手がこのリバチャージに回るといふ波乱が起こる中、日本代表全員は順調にラウンド3まで進出を果たした。

松田詩野が日本初の パリ五輪出場権獲得

大会日程も中盤に差し掛かり、実力者はひしめき合い、ヒートはよりハードになっていく。R4では前田マヒナ、都筑有夢路が惜しくもリバチャージへ回ること。一方男子はR3で同ヒートとなった稲葉玲王と脇田泰地がワンツーを決めラウンドアップ。前大会金メダリストの五十嵐カノア、経験豊富な松田



強いハートで挑んだ松田詩野。チームで最初のパリ五輪出場決定



その実力を世界に示したパリ五輪候補の稲葉玲王

詩野もR4へと進出していく。大会5日目のR4では脇田と松田がリバチャージへ回ってしまうが、松田はリバチャージ6を勝ち進む。そしてこの時点でチームメイトを含め他のアジア選手たちが敗退していたこともあり、今大会での個人アジア1位が確定、ここで日本人初のパリ五輪出場枠を獲得した。



国別では4位に入賞

日本男子アジア1位確定、 パリ五輪への切符を獲得

大会も大詰めを迎えた6月7日。オリンピックアジア枠を競う3選手、五十嵐カノア、稲葉玲王、和井田リオ(INA)の3名が勝ち残っている。この中で最高位となった1名にオリンピック出場権が与えられる。そして男子R5H1では稲葉と和井田が同じヒートに。スコアできる波を待ってしっかり乗り切った稲葉が和井田を抑えラウンドアップし、この結果によりアジアの枠は日本になる事が決定した。最終日まで駒を進めたのは五十嵐と稲葉。この二人のうち上位の1名がアジア枠での出場権獲得者となる。これまで、大会を通してハイパフォーマンスを披露していた稲葉だったが、最終日の最初のヒートで惜しくも敗退。ここで、五十嵐のパリ五輪条件付き出場権が決定した。その後五十嵐はファイナルまで進出するが、2大会連続の金メダルとはならず4位でフィニッシュした。大会全日程が終了し、日本は国別で4位となったが各選手の頑張りにより、男女ともオリンピック出場枠獲得という目標であった結果を手に入れた。



五十嵐 カノア
OPEN MEN 4位



稲葉 玲王
OPEN MEN 8位



脇田 泰地
OPEN MEN 22位



松田 詩野
OPEN WOMEN 13位



前田 マヒナ
OPEN WOMEN 31位



都筑 有夢路
OPEN WOMEN 37位

OPEN MEN

1st	Alan Cleland	(MEX)
2nd	Lucca Mesinas	(PER)
3rd	Muguel Tudela	(PER)
4th	五十嵐カノア	(JPN)
8th	稲葉玲王	(JPN)
22nd	脇田泰地	(JPN)

OPEN WOMEN

1st	Tati Weston Webb	(BRA)
2nd	Erin Brooks	(CAN)
3rd	Johanne Defay	(FRA)
4th	Vahiné Fierro	(FRA)
13th	松田詩野	(JPN)
31st	前田マヒナ	(JPN)
37th	都筑有夢路	(JPN)

国別順位

1st	PERU
2nd	FRANCE
3rd	BRAZIL
4th	JAPAN
5th	AUSTRALIA

■大会名称：
SURF CITY EL SALVADOR ISA WORLD SURFING GAMES 2023
サーフシティエルサルバドル ISA ワールドサーフィンゲームス 2023
■主催：International Surfing Association (国際サーフィン連盟)
■参加選手：298名 ■日本代表選手：6名
■参加役員：監督 宗像富次郎 通訳・マネジメント 大石純也 マネジメント 道幸もも
コーチ 大野修聖、田中樹 管理栄養士 松本 恵

圧倒的強さの日本代表、個人合計11個のメダルを獲得

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター
「競技力向上事業」

ASF Asian Surfing Championship 2023

日時：2023年7月8日(土)～7月17日(月) 開催国：モルディブ共和国 コークスポイント 18の国と地域

写真：アジアサーフィン連盟



全員が18歳以下で挑んだ今回の波乗りジャパン



才能が一気に覚醒、W優勝を果たした佐藤李

コロナ禍を経て 開催された2回目の大会

2019年に創設されたASF(アジアサーフィン連盟)の2回目の大会がクラシックブレイクのモルディブ・コークスポイントで開催された。ASFはISAより承認を受けており、将来的にアジアオリンピックの選考大会になる可能性もある大会だ。今回開催されたクラスは男女共にOPENとU18。日本代表は次世代を見据え、全員18歳以下の選手を派遣した。

佐藤李がU18、 OPENとダブル優勝

アジアエリアにおいて他の参加国より選手たちの実力が頭一つ抜き出ている日本。WOMENのOPENは選手達が順調にラウンドアップを進める中、佐藤李と池田美来の2名がファイナルに進出。4名ヒートではあるが、実力的には佐藤と池田の一騎打ちの様相、お互いがエクセレントライドを繰り返すクロスヒートであったが、佐藤がトータル17.83をスコアして優勝した。GIRLS U18ファイナルは佐藤李、池田美来、高橋花音に加え注目選手である14歳、中国のルーサー・ヤン選手が進出。高橋がヒート序盤をリードするが、他選手

も追撃しハードなトップ争いが繰り返されるが、OPENでの優勝で勢いに乗る佐藤が安定感のあるパフォーマンスで最終的には他選手を圧倒し、僅か2本のライディングで勝利を収め、OPEN、U18の2クラス制覇となった。また池田美来も両クラスともにファイナルまで進出し、OPEN2位、U18 3位となりメダルを獲得した。

オールジャパニーズファイナルと なったU18は渡邊壱孔が優勝

OPENそしてBOYS U18でも日本の強さは止まらない。OPENではファイナルまで2本のパーフェクト10をスコアしたチームキャプテン渡邊壱孔とリパチャージを強いられるものの、勝ち上がった佐藤利希がファイナル進出、モルディブのフセイン・アリーフ、インドネシアのダニー・ウィディアントと優勝を競った。ヒートはダニー選手がヒートスタートからスコアブルな確かな波をチョイス、2つのエクセレントポイントを叩き出し、他選手を追い込み圧勝した。佐藤は攻め続け後半には7ポイントをスコアするが、惜しくも追いつかず2位。一方それまで絶好調だった渡邊は良い波を待ちつづけるが、それまでのエクセレントライドを見せることができず4位となった。U18リパチャージ

をそれぞれ勝ち上がった足立海世と高井汰朗、そしてメインから上がってきた渡邊壱孔、佐藤利希、この4名によりオールジャパニーズファイナルが実現した。佐藤が6.50をスコアしてヒートをリードするが、渡邊も追撃開始。最初のビッグセットでワイブアウトしてしまうが、その後ハードに攻め、8.00、8.83とエクセレントをスコアし、OPENファイナルで実力を出しきれなかった悔しさを払拭し、見事優勝を果たした。

個人メダル獲得数は合計11 国別団体でも優勝

チーム戦で挑んだアロハカップでは中国に敗れ、惜しくも2位となったが、男女OPEN、U18ともに日本サーフィンの実力をいかに発揮し、全てのファイナルまで進出した選手たちの活躍によって、国別ランキングで1位を獲得し、アジアにおいて、日本の圧倒的な強さを見せつけた大会となった。また今回の代表選手たちは全員18歳以下で構成されており、今回の経験をともにこれからの国際舞台でのさらなる活躍を期待したい。



OPENでは2本のパーフェクト10をスコアしたチームリーダー渡邊壱孔



渡邊 壱孔

BOYS U18 1位
MEN OPEN 4位



佐藤 利希

BOYS U18 2位
MEN OPEN 2位



高井 汰朗

BOYS U18 3位
MEN OPEN 5位



足立 海世

BOYS U18 4位
MEN OPEN 6位



佐藤 李

GIRLS U18 1位
WOMEN OPEN 1位



池田 美来

GIRLS U18 3位
WOMEN OPEN 2位



高橋 花音

GIRLS U18 4位
WOMEN OPEN 6位



庄司 莉花

GIRLS U18 8位
WOMEN OPEN 11位

MEN OPEN

- 1st Dhany Widiyanto (INA)
- 2nd 佐藤利希 (JPN)
- 3rd Hussain Areef (MDV)
- 4th 渡邊壱孔 (JPN)
- 5th 高井汰朗 (JPN)
- 6th 足立海世 (JPN)

GIRLS U18

- 1st 佐藤李 (JPN)
- 2nd Sigi Yang (CHN)
- 3rd 池田美来 (JPN)
- 4th 高橋花音 (JPN)
- 8th 庄司莉花 (JPN)

国別順位

ALOHA CIP (TEAM RELAY)

- 1st CHINA
- 2nd JAPAN
- 3rd MALDIVES
- 4th LEBANON

BOYS U18

- 1st 渡邊壱孔 (JPN)
- 2nd 佐藤利希 (JPN)
- 3rd 高井汰朗 (JPN)
- 4th 足立海世 (JPN)

国別順位

MEN-BOYS

- 1st JAPAN
- 2nd MALDIVES
- 3rd INDIA
- 4th SRI LANKA

WOMEN OPEN

- 1st 佐藤李 (JPN)
- 2nd 池田美来 (JPN)
- 3rd Dhea Natasya (INA)
- 4th Isabel Faye Higgs (THA)
- 6th 高橋花音 (JPN)
- 11th 庄司莉花 (JPN)

国別順位

WOMEN-GIRLS

- 1st JAPAN
- 2nd CHINA
- 3rd THAILAND
- 4th SINGAPORE

大会名称：2023 ASF ASIAN SURFING CHAMPIONSHIP
アジアサーフィン選手権 2023

主催：Asian Surfing Federation (アジアサーフィン連盟)

参加選手：120名 ■日本代表選手：8名

参加役員：チームマネージャー 大石純也 コーチ 大村泰央

日本代表、9個のメダルを獲得し総合3位にランクイン

2023 ISA World SUP & Paddleboard Championship

日時：9月24日(日)～10月1日(日) 開催国：フランス サール＝ドロンヌ 参加国：30の国と地域

写真：ISA 国際サーフィン連盟

荒木珠里が2年連続 2カテゴリー制覇の快挙達成

2023 ISA World SUP and Paddleboard ChampionshipはSUPサーフィンがフランス西部のビスケー湾に面した“ブージュ・デュ・タンシェ”、SUPレースとパドルボードは西側のバレアス海に面したレ・サール＝ドロンヌの“ラ・グランド・ブージュ”を会場にして開催された。カテゴリーが多く、前回まで2年連続団体総合の金メダルを獲得しているSUP&パドルの強豪国フランスの地元開催ということもあり、大会は多に盛り上がった。その中で特筆すべき活躍を見せたのが、SUPテクニカルレース、ディスタンスレースの2カテゴリーにエントリーしていた17歳の荒木珠里。前回大会でもこの2カテゴリーを史上最年少で金メダルを獲得している荒木は、過去の金メダリストが参加する強豪揃いの中、脅威的な体力と卓越した技術を発揮しレースを連覇した。またこの2カテゴリーでは田口類も銅メダルを獲得するなど大健闘を見せている。

ISA/Sean Evans



荒木珠里、2年連続2カテゴリー2連覇の偉業達成

堀部結里花も 2年連続金メダルを獲得

もう一人連覇の快挙を達成したのはパドルボード・ブローンディスタンスレースの堀部結



ISA/Pablo Franco

ライバルに囲まれ優勝を喜ぶ堀部結里花

里花。スペインのフーディット・ベルヘス、イタリアのコレネリア・リガッティそして堀部と過去3回このメンバーで争われたレースは、堀部がスタートからリードし好敵手相手に3分以上の差をつけ圧勝。見事金メダルを獲得した。また他にメンズパドルテクニカルで堀部雄大が4位、ジュニアSUPテクニカルで島津成彰が3位、リレーレースで国別3位でメダルを獲得するなどして、国別団体総合3位と前回より1ランクアップし、強豪国の仲間入りを果たした。今後もさらなる飛躍に期待したい。

ISA/Pablo Franco



日本代表は前大会より順位を一つ上げ団体で銅メダル獲得

-  **島津 成彰**
SUP JUNIOR TECHNICAL RACE BOYS 3位
-  **水谷 凜香**
SUP JUNIOR TECHNICAL RACE GIRLS 8位
-  **荒木 珠里**
SUP DISTANCE RACE MEN 1位
SUP TECHNICAL RACE MEN 1位
SUP SPRINT RACE MEN 9位
TEAM RELAY 3位
-  **田口 類**
SUP DISTANCE RACE MEN 3位
SUP TECHNICAL RACE MEN 3位
-  **奥秋 李果**
SUP DISTANCE RACE WOMEN 10位
SUP TECHNICAL RACE WOMEN 7位
SUP SPRINT RACE WOMEN 9位
TEAM RELAY 3位
-  **馬場 なつみ**
SUP DISTANCE RACE WOMEN 5位
-  **野村 颯**
SUP SURF MEN 13位
-  **福田 カボノ達介**
SUP SURF MEN 9位
-  **横山 貴代**
SUP SURF WOMEN 15位
SUP TECHNICAL RACE WOMEN 17位
-  **百合草 綾**
SUP SURF WOMEN 15位
-  **堀部 雄大**
PRONE DISTANCE RACE MEN 5位
PRONE TECHNICAL RACE MEN 4位
TEAM RELAY 3位
-  **堀部 結里香**
PADDLEBOARD DISTANCE RACE WOMEN 1位
PRONE TECHNICAL RACE WOMEN 5位
TEAM RELAY 3位

SUP SURF MEN	SUP SURF WOMEN	SUP DISTANCE RACE MEN	SUP DISTANCE RACE WOMEN	SUP TECHNICAL RACE MEN	SUP TECHNICAL RACE WOMEN
1st Max Torres (PUR)	1st Cosoleto (ARG)	1st 荒木珠里 (JPN)	1st Esperanza Barreras (ESP)	1st 荒木珠里 (JPN)	1st Esperanza Barreras (ESP)
2nd Wes Fry (AUS)	2nd Aline Adisaka (BRA)	2nd Titouan Puyo (FRA)	2nd Duna Gordillo (ESP)	2nd Noic Garioud (FRA)	2nd Melanie Lafenetre (FRA)
3rd Benoit Carpentier (FRA)	3rd Billie Scott (NZL)	3rd 田口類 (JPN)	3rd Mariecarmen Rivera (PUR)	3rd 田口類 (JPN)	3rd Mariecarmen Rivera (PUR)
4th Kai Bates (AUS)	4th Justine Dupont (FRA)	4th Aaron Sanchez (ESP)	4th Anna Tschirky (SUI)	4th Titouan Puyo (FRA)	4th Alba Frey (ESP)
9th 福田カボノ達介 (JPN)	15th 横山貴代 (JPN)		5th 馬場なつみ (JPN)		7th 奥秋季果 (JPN)
13th 野村颯 (JPN)	15th 百合草綾 (JPN)		10th 奥秋季果 (JPN)		17th 横山貴代 (JPN)

SUP JUNIOR TECHNICAL RACE BOYS	SUP JUNIOR TECHNICAL RACE GIRLS	SUP SPRINT RACE MEN	SUP SPRINT RACE WOMEN	PRONE DISTANCE RACE MEN	PRONE DISTANCE RACE WOMEN
1st Vaic Garioud (FRA)	1st Cecilia Pampinella (ITA)	1st Noic Garioud (FRA)	1st Melanie Lafenetre (FRA)	1st David Buil (ESP)	1st 堀部結里花 (JPN)
2nd Donato Freens (NED)	2nd Soryn Preston (USA)	2nd Ollie Houghton (NZL)	2nd Mariecarmen Rivera (PUR)	2nd Andrew Byatt (ENG)	2nd Judit Verges (ESP)
3rd 島津成彰 (JPN)	3rd Elene Etxeberria (ESP)	3rd Claudio Nika (ITA)	3rd Tarryn King (RSA)	3rd Julen Marticoarena (FRA)	3rd Cornelia Rigatti (ITA)
4th Campbell Carter (USA)	4th Rebeka Klotz (BRA)	4th Aaron Sanchez (ESP)	4th Cecilia Pampinella (ITA)	4th Donald Miralle (USA)	4th Jessica Georgelin (ENG)
	8th 水谷凜香 (JPN)	9th 荒木珠里 (JPN)	9th 奥秋季果 (JPN)	5th 堀部雄大 (JPN)	

PRONE TECHNICAL RACE MEN	PRONE TECHNICAL RACE WOMEN	国別順位	TEAM RELAY
1st Julen Marticoarena (FRA)	1st Judit Verge (ESP)	1st FRANCE	1st FRANCE
2nd Andrew Byatt (ENG)	2nd Cornelia Rigatti (ITA)	2nd SPAIN	2nd ITALY
3rd Carlos Alonso (ESP)	3rd Molly Roodhouse(ENG)	3rd JAPAN	3rd JAPAN
4th 堀部雄大 (JPN)	4th Susette Velez (PUR)	4th ITALY	4th SPAIN
	5th 堀部結里花 (JPN)		

■大会名称：2023 ISA World SUP & Paddleboard Championship
 2023 ISA ワールドサップアンドパドルボードチャンピオンシップ
 ■主催：International Surfing Association (国際サーフィン連盟)
 ■参加選手：200名 ■日本代表選手：12名
 ■参加役員：スタッフ 鈴木衛司、横山岳男

バラサーフィン世界大会初開催のハンティントンで日本選手メダルラッシュ /

2023 ISA World Para Surfing Championship

Presented by Visit HUNTINGTON BEACH

日時：2023年11月5日(日)～11月11日(土) 開催地：アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ハンティントンビーチ 参加国：27の国と地域

写真：ISA 国際サーフィン連盟

初出場の2名の選手が、 金、銀メダル獲得

今回で8回目となるパラサーフィン世界選手権(WPSC)はカリフォルニア・ハンティントンで開催された。これまでISAやWSLなど多数のコンテスト会場として使用されてきた歴史を持つハンティントンだが、WPSCは初めての開催となった。世界27の国と地域より184名の選手が参加し、各カテゴリーでの優勝を目指した。前年度4つのメダルを獲得した日本からは10名が参加した。何と言っても今回のトピックスは池上風の初出場ながら金メダル獲得の快挙。この勝利に日本代表はもちろん、会場も湧いたのは言うまでもない。他にも加藤真吾がこちらも初出場で銀、藤原智樹が銅、伊藤建史郎、勝倉直道、高尾千香子がそれぞれ銅と個人成績で次々とメダル獲得が続いた。これらの結果もあり国別では総合7位と健闘した。



ISA/Pablo Franco

会場はカリフォルニアサーフィンのメッカ、ハンティントン



ISA/Jerson Barboza

世界27カ国より184名の選手が参加



ISA/Sean Davis

開催されたのは10カテゴリー。MEN KNEELの小林征郁



加藤 真吾

MEN STAND 1 2位



近藤 健太郎

MEN STAND 1 7位



伊藤 建史郎

MEN STAND 2 4位



勝倉 直道

MEN STAND 3 4位



池上 風

WOMEN STAND 1 1位



高尾 千香子

WOMEN STAND 1 4位



小林 征郁

MEN KNEEL 5位



西山 健悟

MEN PRONE 1 16位



藤原 智樹

MEN PRONE 2 3位



生方 亮馬

MEN PRONE 2 22位

国別順位

1st	FRANCE
2nd	USA
3rd	BRAZIL
4th	ENGLAND
8th	JAPAN

- 大会名称：2023 ISA WORLD PARA SURFING CHAMPIONSHIP PRESENTED BY VISIT HUNTINGTON BEACH
- 2023 ISA ワールドパラサーフィン選手権 プレゼンティッドバイビジットハンティントンビーチ
- 主催：International Surfing Association (国際サーフィン連盟)
- 参加選手：184名 ■日本代表選手：11名
- 参加役員：チームマネージャー 小川文夫、大石純也

CLOSE UP

障害があることを言い訳にせずにチャレンジ

取材・撮影：米地有理化

池上 風



世界戦に出場してどうでしたか？

サーフボードを海外に持って行くのも、海外でサーフィンをするのも初めてで。全日本選手権に出て健常者と戦っていたので、メダルを取って当たり前というプレッシャーもありました。最初のヒートはすごく流れもあって頭ぐらいの波が次々に入ってきましたが、練習を重ねてきたので、躊躇せずにチャレンジできたかなと思います。でも自分のやりたいライディングはできませんでした。金メダ

ルは獲れましたが、まだやれると思うので、もう少し波を楽しめるように、またチャレンジしていきたいです。

今後の目標とメッセージをお願いします。

目標は基本的には決めないのですが、強いて言えば、健常者の出場する全日本選手権での優勝とパラサーフィンの世界戦での優勝です。私からのメッセージは、何か辛い思いをしている人ほど海に触れて、海を楽しんで、地球を味わってほしい、おすすめです！

いけがみ・なぎさ●1991年生まれ。交通事故で右腕を損傷し障害を持つ。2021年から3年連続全日本選手権に出演。2023年第1回パラサーフィン全日本選手権、ISA世界パラサーフィン選手権のWOMEN STAND1クラスで優勝。



ISA/Pablo Franco

日本人女子二人目の金メダリストとなった

WJSCラストイヤーの松岡亜音が日本人女子初の金メダル獲得、団体は3位に

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター
「競技力向上事業」

2023 ISA World Junior Surfing Championship

日時：2023年11月24日(金)～12/3(日) 開催国：ブラジル連邦共和国 リオ・デ・ジャネイロ 参加国：46の国と地域

写真：ISA 国際サーフィン連盟

開催規模は過去最大、次世代サーファー365名が集結

2023年のISAワールドジュニアはブラジル・リオデジャネイロで開催。現地には世界中より次世代のサーフィン界を担うであろうトップクラスの実力を持つジュニアサーファー365名が集結。大会前に行われる恒例のオープングレイドは選手に加え、200名を超える各国のチーム関係者も参加し、過去最大規模となった。今大会はチェコ、ハンガリー、ウクライナ、ルーマニアなどサーフィンでは馴染の薄い国々が初参加するなど、東京五輪以降サーフィンがワールドワイドスポーツへ向け確実にスケールアップしている印象だ。また参加選手の半数近くが女子選手となっていた。

ISA/Pablo Franco



日本人女子史上初の金メダル獲得

ISA/Jerson Barboza



大会を通して力強いバックハンドが冴えわたった松岡亜音



ISA/Pablo Franco

チームキャプテンの岩見天獅は銅メダル

レギュレーション変更で負けれないハードな戦いに

コンテスト会場はプライア・ダ・マクンバビーチ。初日は安定した3～4フィートのスウェルが届く中、2つのポディウムを使用してコンテストはスタートした。波乗り日本はBOYS U16の高井汰朗、小野里弦、岡野漣が順調にラウンドアップ、GIRLS U16の登坂祐妃、鈴木莉珠、池田美来もこれに続きラウンドアップした。また大会2日目のスタートとなったU18でも男女全員がラウンドアップ。中でも今大会でジュニアラストになる松岡亜音は9.33をスコアし、大会初のエクセレントヒートスコアをマークした。

波乗りジャパン好発達、全員ラウンドアップ

通常ISAのコンテストでは一度敗退しても敗者復活のリバチャージに周り、そこから再び上位を狙えるが、今回スウェルがあまり見込めないことから、リバチャージはラウンド2で終了の決定が大会4日目になされ、以降メインラウンド＝エリミネーションラウンドとなり、敗者復活のチャンスがなくなった。そんなプレッシャーのかかる中、U16の岡野漣、高井汰朗、登

坂祐妃、鈴木莉珠が最後のリバチャージを勝ち上がり望みを繋いだ。

5名の選手がファイナルデイ進出、松岡亜音が金メダル獲得

メインラウンドのみになって以降、残念ながら敗退する選手も出てきたが、波乗り日本はBOYS U18の岩見天獅、渡邊杏孔、GIRLS U18の松岡亜音、BOYS U16の岡野漣、小野里弦がファイナルデイまで勝ち上がった。この時点で国別順位は暫定6位。BOYS U16では岡野がセミまで進むが5位フィニッシュ、渡邊と岩見もセミまで進むが、二人同じヒートとなり渡邊は惜しくも敗れ5位フィニッシュ、岩見はファイナルに進出するが、本来のサーフィンを見せられず4位フィニッシュ、しかし銅メダルを獲得した。大会初日からハイスコアをマークし、順調に勝ち進んできた松岡亜音はファイナルに進出。ヒート中盤まで4位を強いられる厳しい戦いであったが、後半まで波をじっくり待ちビッグターンで6.17をスコアし、4位から一躍トップに躍り出る大逆転勝利を収め、念願の金メダルを獲得した。また出場選手全員の奮闘により、国別の最終順位は3位となり銅メダルを獲得、さらに閉会式前に行われた恒例のアロハカップではチームワークの良さを生かし見事金メダルを獲得した。

ISA / Jerson Barboza



アロハカップ優勝、国別3位銅メダルと大健闘の波乗りジャパン

 岩見 天獅 BOYS U18 4位	 渡邊 杏孔 BOYS U18 5位	 小濃 来波 BOYS U18 33位	 松岡 亜音 GIRLS U18 1位
 佐藤 李 GIRLS U18 19位	 庄司 莉花 GIRLS U18 37位	 岡野 漣 BOYS U16 5位	 小野 里弦 BOYS U16 13位
 高井 汰朗 BOYS U16 25位	 池田 美来 GIRLS U16 13位	 鈴木 莉珠 GIRLS U16 19位	 登坂 祐妃 GIRLS U16 37位

BOYS U18 1st Ryan Kainalo (BRA) 2nd Francisco Ordonhas (POR) 3rd Kai Odriozola (ESP) 4th 岩見天獅 (JPN) 5th 渡邊杏孔 (JPN) 33rd 小濃来波 (JPN)	BOYS U16 1st Hans Odriozola (ESP) 2nd Lukas Skinner (ENG) 3rd Guilherme Lemos (BRA) 4th Ryan Coelho (BRA) 5th 岡野漣 (JPN) 13th 小野里弦 (JPN) 25th 高井汰朗 (JPN)	GIRLS U18 1st 松岡亜音 (JPN) 2nd Kohai Fierro (TAH) 3rd Candelaria Resano (NCA) 4th Zoe Chait (USA) 19th 佐藤李 (JPN) 37th 庄司莉花 (JPN)
GIRLS U16 1st Sierra Kerr (AUS) 2nd Lanea Mons (USA) 3rd Eden Walla (USA) 4th Clemence Schorsch (FRA) 13th 池田美来 (JPN) 19th 鈴木莉珠 (JPN) 37th 登坂祐妃 (JPN)	国別順位 1st BRAZIL 2nd USA 3rd JAPAN 4th AUSTRALIA	ALOHA CUP (TEAM RELAY) 1st JAPAN 2nd HAWAII 3rd SPAIN 4th USA

■大会名称：2023 ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP
2023 ISA ワールドジュニアサーフィン選手権
■主催：International Surfing Association (国際サーフィン連盟)
■参加選手：365名 ■日本代表選手：12名
■参加役員：監督代理 大石純也 コーチ 田中樹、岡島宏盛 アドバイザー ビクター・リーバス マネジメント 道幸もも 管理栄養士 松本恵、梶田光里 看護師 湯澤恵美子 トレーナー 前原優湖



なみある?



なみある?LINE波情報

「お友だち登録」で波情報をチェック!



ID:@namiaru

- ✓ 全国826箇所の波情報
- ✓ 528箇所の17日間波風予測
- ✓ 40箇所の24時間ライブ映像
- ✓ PCもタブレットも対応

※波情報ページのデザインは4月後半以降にリリース予定です。
※デザインや仕様は変更になる可能性があります。



BODY GLOVE



DO YOU KNOW E-ZUP?



株式会社来夢は、今年も日本サーフィン連盟を応援します!

お問合せ先

イージーアップ・テント日本総輸入元 株式会社 来夢

〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町 7669-44 TEL 050-8882-5767

<http://www.ezup.co.jp> raimu@ezup.co.jp





FLEXFIT®

YUPOONG



@flexfit_jp

それはひっそりとあった
百二十余年つづく
老舗の旅館『茅ヶ崎館』
その日本庭園にベンチとして
ひっそりと休んでいた。
あるときは巨匠と呼ばれた
監督の思案に付き添い、
ある時は旅人の思い出に
ひとコマを添えた。
ある日ベンチは
日本最古の
サーフボードと讃えられ
長いベンチの役割を終えた。



湘南名物 江の島タコせんべい

湘南ちがさき屋

十大

協力：茅ヶ崎館 五代目 森氏

その昔 異国の故郷をあとにして
この茅ヶ崎にやってきた時
その役割は波乗り板であった。
時の赴くままに
腰掛けとして姿を変えたが
彼は老いてもレールを守り抜いた。
新しい板が生まれてくる世を
老木はひっそりと
その変遷を見てきたに違いない。
彼は忘れずにいるだろう。
波のり文化のなかった時代の日本で
はじめて茅ヶ崎の波を
味わった時のことを…
そう…今から九十年近く前のことを。

<https://www.chigasakiya.co.jp>



☎ 0120(82)6708

有限会社 湘南ちがさき屋十大
神奈川県茅ヶ崎市浜見平17-11



INVERTED

BODYBOARDING

SUNSHINE COAST

Mooloolaba

+61 (07) 5477 7899

sunnycoast@inverted.com.au

GOLD COAST

Coolangatta

+61 (07) 5536 4150

goldcoast@inverted.com.au

JAPAN

Chiba

+81 0475-36-7870

japan@inverted.com.au

Shop Online 24/7 | www.bodyboardshop.com



<https://www.whitebuffalo.jp>

[whitebuffalo_official](#)

Surfer's Goods & Indian Jewelry

 **whitebuffalo**®

ABOUT NSA

Nippon Surfing Association

日本サーフィン連盟ガイドランス

サーフィン検定や公認サーフィンスクール、
歴代の優勝者を記したコンテストアーカイブ、競技規定ほか、各種資格の取得方法など。
必ず覚えなければならない情報や知っておきたいNSAに関する基本的な情報が満載！

CONTENTS

094

NSA 会員について

095

NSA オフィシャル・サイト活用術

096

NSA FAQ

097

サーフィン検定とは

098

公認サーフィンスクール

099

目指せ公認指導員・海上安全指導員

100

公認ジャッジを取得するには？

101

ISA 国際ジャッジライセンスについて

102

ISA コーチング&インストラクティングプログラム

103

競技規定

107

プライオリティルール

戦略的に試合を運ぶための必須意識

108

公認ジャッジ一覧

111

コンテスト・アーカイブ



NSA会員について

NSAに登録して、安心して波乗りを楽しもう!

日本サーフィン連盟の会員に登録して、より充実したサーフィンライフを送りませんか?

各支部ではビーチクリーンやコンテストをはじめ、様々な活動をしています。

また、『YEARBOOK』やメンバー向けの無料波情報から、さらにサーフィン賠償責任保険まで、特典が満載です。

入会方法

NSA会員には「正会員」と「オープン会員」の2種類があります。コンペティターとして腕を磨きたいなら正会員、ライフスタイルの一部としてマイペースにサーフィンを楽しみたいならオープン会員というように、スタイルに合わせて選んでください。

1

正会員

■NSA主催大会への出場を目的とされる方向け

年会費 一般：5,000円(2008年1月1日以降の生年月日の方：3,000円)

登録種目 ショートボード/ボディボード/ロングボード(各クラス)

※重複登録には1クラスにつき別途1,000円がかかります。

入会方法 NSA公式サイトにて、マイページ登録がまだの方は、新規マイページ登録を行い、新規正会員登録を行って下さい。(カード決済、コンビニ決済等をご利用いただけます。)

※その際、事前にチームの許可が必要です。

※支部長の許可を得て、5人以上で新規チームの発足も可能です。

※会員更新は、マイページまたはチームからの登録が可能です。

正会員の特典

特典 正会員なら各大会に参加出来ます!

①【NSA主催大会】・級別選手権大会・ジュニアオープン選手権大会・全日本選手権大会・マスターズオープン選手権大会

②【NSA支部予選大会】

③【NSA公認大会】

主催大会は4戦。バリエーション豊かな大会にご参加ください。全日本選手権大会は支部予選を勝ち抜いた精鋭選手が出場する歴史ある大会。(2023年度およそ1300名出場)

※各大会の詳細・出場資格・エントリー方法は大会毎に異なりますので、NSA公式サイトをご確認ください。

※各大会で獲得したポイントによって、NSA公式サイト上のポイントランキングにお名前が掲載されます。



特典 サーフィン検定が4級から受験可能!

サーフィンの技量をチェックできる、サーフィン検定。1級～5級までのレベル別になっていて、正会員の方は5級受験免除で4級から受験ができます

2

オープン会員

■初心者～ベテランまで、海で安心してサーフィンを楽しみたい方向け

年会費 一般：3,500円

入会方法 1.NSA公式サイトより登録

※NSA公式サイトにて、マイページ登録がまだの方は、新規マイページ登録を行い、新規オープン会員登録を行って下さい。(カード決済、コンビニ決済等をご利用いただけます。)

2.協力店の店頭で登録

※NSA公式サイトにてマイページ登録がまだの方は、新規マイページ登録を行い、協力店にて会費の支払い、新規会員申し込みを行ってください。

オープン会員の特典

特典 級別選手権大会に参加出来ます!

①【NSA主催大会】・級別選手権大会

②【NSA公認大会】

級別選手権大会は、年齢の枠を超えた保持級別の大会です。サーフィン検定で合格された次に目指すのは『級別選手権大会!』

あなたのエントリーをお待ちしています。

※各大会の詳細・出場資格・エントリー方法は大会毎に異なりますので、NSA公式サイトをご確認ください



会員共通の特典

特典 波情報が無料!

NSAマイページで波情報を無料配信しています。

北海道～九州までの国内主要サーフポイントの波情報が無料でご覧いただけます。波情報をチェックして、サーフィンに出かけよう!利用方法は右記QRコード、またはNSA公式サイト「会員案内」をご確認ください。



波情報利用方法ページ
QRコード

特典 サーフィン賠償責任保険が自動付帯!

(団体総合生活補償保険個胎型)

NSA会員は全員、自動加入です。

補償内容は対人・対物が3,000万円限度

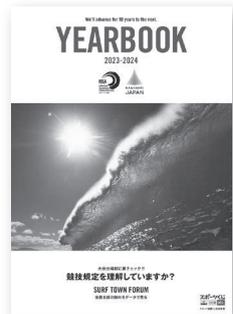


特典 年間誌『YEARBOOK』をお届けします! (年1回発行)

大会情報やトップコンペティターインタビュー、サーフィンに役立つ情報が満載です。

他にも……

・東海汽船10%割引



いつもこころに"one man one wave"で、安全なサーフィンライフを送りましょう!

※2024年4月1日現在



NSA オフィシャル・サイト活用術

オフィシャル・サイトでは全国のNSA会員の皆様に向けて、大会&イベント、資格・検定など、サーフィンにまつわる様々な役立つ情報を常時発信しています。

大会の様子を動画で視聴したり、基礎知識から、競技規定、様々な資格取得の方法などサーフィンのスキルアップに役立つ情報も充実しています。

さらに全国の支部、チーム、協力店の確認もできます。

マイページを登録することで、自分の情報を管理、NSAからのお知らせもスピーディにキャッチできます。まだ登録していないという方は、早めに登録を済ませて、オフィシャル・サイトをどんどん活用していきましょう。



サイトマップ	
ニュース	
大会	スケジュール
	ランキング
	強化指定選手
	各種大会について
資格・検定	スケジュール
	サーフィン検定
	ジャッジ
	ISA ジャッジ
	ISA コーチング
活動	スクール指導員
会員案内	ビーチクリーン
	スクール
会員案内	会員とは
	正会員
会員案内	オープン会員
基礎知識	競技規定
	安全対策
	ルール&マナー
	基本用語
	サーフィンの歴史
NSA について	NSA について
	支部長一覧
	チーム一覧
	協力店一覧
	各種申請
ALOHA STORE	ALOHA STORE

Check!

ニュース
スケジュール変更など特に会員の皆様にお知らせしたい情報を随時発信。ニュースページは「すべて」「大会」「サーフィン検定」「資格」「会員お知らせ」「日本代表」「オリンピック関連」「お知らせ」「ショップ」と9つのカテゴリーに分かれています。カテゴリーを絞ると、必要情報を素早く確認できます。

大会
主催大会、公認大会、派遣大会のスケジュールが確認でき、各大会スケジュールから詳細ページへリンク。大会に出場している選手のポイントランキングや強化指定選手の確認ができます。

資格・検定
サーフィン検定や各種資格の試験・講習会の今後のスケジュール、また詳細情報、取得方法を確認。資格保有者の一覧も。

NSA について
NSAの団体概要をはじめ、各支部長、チーム、協力店の確認ができます。

各種申請
会員の変更届など各種届出書類、支部予選の結果報告書、チームや協力店の登録内容変更届などがダウンロードできます。また大会開催時に役立つ各種ツールも格納されています。

ALOHA STORE
大会Tシャツ、大会に必要なジャッジペーパー、ホーン、ゼッケンのほか、NAMINORI JAPANグッズ、NSA オリジナルグッズなどが購入できます。

Check! こちらもチェック!

Facebook, Instagram, X, YouTube icons.

マイページの登録は済みましたか?

正会員の方のマイページ機能

- ・大会参加履歴や自分のランキングが分かる
- ・スケジュール管理ができる
- ・波情報が見られる
- ・自身の資格情報が分かる
- ・会員証、資格認定証が見られる
- ・連絡先の変更がいつでも可能
- ・更新、申込や、その支払い状況が確認できる
- ・NSAからのお知らせなどが確認できる

オープン会員、資格、級検定のみお持ちの方それぞれのマイページ機能を利用可能

こんなページもあります!

波乗りジャパン オフィシャルサイト
波乗りジャパンサイトにリンクしています。

フォトギャラリー
主催大会やイベントごとの写真が一覧できます

FAQ
わからないこと、気になることがあったら、まずはここをチェック。今後もさらに内容を充実させていく予定です。

プライバシーポリシー
個人情報の取り扱いについての詳細を記載しています。

お問い合わせ
FAQを確認してもわからないことがあれば、ここからお問い合わせフォームに記入し、NSA事務局へ送信することができます。



NSA FAQ

会員・チーム登録やサーフィン検定、保険など、各種手続き関係のこと、よくある疑問を一挙解説！
まずはこのページ内容を要チェック!! さらにNSAオフィシャル・サイトにある情報も確認、あなたもNSAマスターに!

会員・チーム登録について

Q 現在、オープン会員です。
途中で正会員に登録できますか?

A できます。全国各地のNSAチームから登録するか、新規チームを作って登録(チーム員を5名以上集め、支部長の許可が必要)することが可能です(会員種別の移行ではなく、新規正会員登録になります)。

Q チームってどんな活動をすればいいの?

A 所属支部の支部活動に参加、正会員の受付、チーム員の取りまとめなどをさせていただきます。

Q チームを作るには?

A チーム員を5名以上集めて、チーム代表者(登録する支部エリア内に現住所を置いている必要があります)が、支部長が所有している「新規チーム申請書」に支部長の署名・捺印をもらい、NSA事務局に提出して下さい。また、支部活動に積極的に参加できることが必要です。

Q 現在所属しているチームから他のチームへ移りたいのですが?

A チームを移籍する場合は、移籍前後の両チーム代表者に申し出て「移籍届(※1)」を事務局に提出して下さい(支部変更を伴う場合は、支部長の了承が必要で、移籍時期が限定されます)。

Q チームと協力店の違いは?

A チームは正会員、協力店はオープン会員の窓口です。

保険について

Q 会員になりたいのですが、自宅のある場所と同じ支部でないと登録できませんか?

A ご自宅と所属するチーム(支部)が、異なるエリアでも登録できます。

Q NSAの保険とは?

A NSA正会員、オープン会員に付帯する「サーフィン賠償責任保険(団体総合生活補償保険個賠型)」です。詳細は、オフィシャル・サイトをご参照下さい。

Q サーフィン賠償保険の補償開始はいつからですか?

A サーフィン賠償保険は入金日の翌日から補償開始となります。

サーフィン検定について

Q 現在NSA会員でなくても、サーフィン検定は受験できますか?

A できます。正会員の方は5級受験が免除となり、4級から受験できます。受験方法についてはp.36-37、p.97をご覧ください。

Q 会員登録をやめると、取得した検定の認定級は取り消されてしまうのですか?

A 一度取得された認定級は、退会されても失効することはありません。保持している認定カードや認定証があれば、次級を受験することができます。

Q 事故が起きてしまいました。保険を利用する場合はどうすればいいですか?

A NSAオフィシャル・サイトにある「サーフィン事故連絡票(※1)」に事故内容をご記入の上、NSA事務局へFAXして下さい。保険会社より連絡がいきます。

その他のFAQはこちらから
オフィシャルサイトをチェック! ▶▶▶



オフィシャルサイトでは、よくある質問をカテゴリ別にまとめ、随時アップデートしています。お問い合わせの前にも、こちらをチェックしてみましょう。

(※1) NSAオフィシャル・サイトの「NSAIについて」⇒「各種申請」ページをご確認ください。





サーフィン検定とは？

スキルアップにもつながる! 技量を試す認定テスト

技術に応じて1～5級までの級を取得できるサーフィン検定。
大会を目指す方はもちろん、今の自分の技量を試してみたい方にもお勧めです。
合格者には、認定証が発行され、NSAマイページに表示されます。

自分のサーフィンのレベルを試してみよう!

サーフィン検定は、NSA各支部主催で春・秋季を中心に全国で開催されています。正会員、オープン会員、一般の方、どなたでも受験可能です。合格者にはNSAより認定証を発行。あなたも挑戦してみませんか?開催場所や日程など詳細については、NSAオフィシャル・サイト「サーフィン検定スケジュール」ページをご覧ください。



サーフィン検定の流れ

1 受験受付・受験料支払い

会場にある受験者カードにNSA-ID、氏名、級認定No.など必要事項を記入し、受験級ごとに受付を済ませます。受験料2,000円と証明写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を忘れずに。4級以上を受験する際は、認定No.の提示も必要です(正会員は特典で5級試験免除)。記入した受験者カードと受験料2,000円を受付にお持ちいただき、受験級、ヒート番号、ゼッケンカラーを記入してもらい、それらを受け取り自分のヒートになるまで待機します。

2 テスト開始

初めにマスタージャッジから各級の合格基準の説明を受けます。自分のヒート前に、受験者カードをマスタージャッジに渡し、受験者は各自指示された受験級、ヒート番号、ゼッケンカラーを再確認し、マスタージャッジの指示に従い、いよいよ試験スタート!審査はNSA公認ジャッジ3名とマスタージャッジ1名にて行われます。受験者は1ヒート15分間(原則として)、6本のライディングが与えられ、合格と認められた時点で試験は終了。その後、マスタージャッジの指示で海から上がります。

3 可否の確認&認定手続き

試験終了後、ゼッケンを戻す際にマスタージャッジから可否の記入された受験者カードを受け取ります。その際、可否を問わずマスタージャッジから審査結果や演技の内容についてアドバイスを受けることができます。合格した場合、必ずその日のうちに合格印の押された受験者カードを受付に提出。そして認定料の3,500円(消費税込)(一律)を支払い、合格認定証(兼領収証)を受け取ります。

4 認定証の発行

受験日から約1ヶ月後、合格者には認定証が事務局より自宅に送付されます。合格すると、自分の名前入りの認定証が送られてきます。また、NSAマイページ資格情報に取得級情報が表示されます。



審査基準、合格基準がよりわかりやすく!

サーフィン検定1、2級審査方法の見直し

1、2級の審査基準、合格基準をわかりやすくするために、その年のジャッジクライテリア(基準)と採点スケールを導入して審査を実施します。審査はフリーライディングを行い、マキシマムウェーブの中で規定科目技量に達するライディングができれば合格とします。

【補足】以前の検定と比べて合格基準に変更はありません。採点スケール、ジャッジクライテリア(基準)はこれまでの合格基準をわかりやすく表現するための指標と考えてください。

■ロングボード、ボディボードについて

これまでロングボードではノーズライディング(ハンクファイブ、ハンクテン)、ボディボードはエルロロとフェイスでのフォワード、リバーススピンを取り入れることが1級または2級の合格条件となってきましたが、これらは必須ではなくなります。しかしながら、これらのメジャーマニューバーを取り入れて演技することがグッドスケール(2級)、エクセレントスケール(1級)に入るポイントを出すための“近道”といえます。その日のコンディションで合格するにはどのようなライディングが求められるか?マスタージャッジのアドバイスをよく確認して、検定に臨んで下さい。

サーフィン検定 規定科目技量・受験資格

級	要求される技術	受験資格
5級	<ul style="list-style-type: none"> ある程度の泳力があること パドルングしてゲッティングアウトできること テイクオフしてある程度サーフボードの上に立つことができること ボディボードはキッキングを使ってテイクオフし、ある程度ライディングができること 	どなたでも受験できます
4級	<ul style="list-style-type: none"> 5級の能力に加えてテイクオフから確実なターンをし、プルアウトできること テイクオフからレールを使ったターンで加速できること ショートボードは、カットバックもしくはリエントリーができること 	5級取得者またはNSA正会員(5級試験免除者)
3級	<ul style="list-style-type: none"> ボディボードは、スピンまたはエルロロができること ロングボードは、ウォーキング、ウォーキングバックができること ※3級以上にはボードコントロールが要求される。 	4級取得者
2級	<ul style="list-style-type: none"> その日のコンディションに合わせたグッドスケールに入るライディングができることが合格の判断基準となる。 フリーライディングで、スピード、パワー、フロー、コントロールなどをジャッジクライテリアに沿って審査する 	3級取得者
1級	<ul style="list-style-type: none"> その日のコンディションに合わせたエクセレントスケールに入るライディングができることが合格の判断基準となる。 フリーライディングで、スピード、パワー、コントロールなどをジャッジクライテリアに沿って審査する 2級以上の積極性、波を見る能力、ポジショニングなども審査の対象となる 	2級取得者

Check! サーフィンスクールでも検定にチャレンジできます!(4級、5級対象)

スクール審査員が開催するNSA公認スクールでも、サーフィン検定を受験できます。公認スクールで腕を磨いて、どんどん検定に挑戦しましょう。詳しくはNSAオフィシャル・サイト「サーフィンスクール一覧」をご覧ください。 <https://www.nsa-surf.org/school/list/>



公認サーフィンスクール

全国各地で開催。初心者は特におすすめ!

日本サーフィン連盟の公認スクールは、海の知識と経験が豊富な、公認指導員資格を持ったインストラクターが親切丁寧に指導します。保険も適用されるため、安心して参加することができます。特に初心者の方におすすめです。

資格保持者が指導するから、安全で的確!

日本サーフィン連盟では、より多くの人にサーフィンを安全に楽しんでもらえるように、海におけるルールやマナーの普及に努めています。その一環として、“公認指導員”の講習会を毎年実施し、サーフィンインストラクターを養成、認定しています。インストラクターは、“海上安全指導員”の資格も取得しているため、海での安全に対する知識が豊富な点も重要なポイントになります。現在、日本全国に約550名の資格保持者がおり、NSA公認スクールのインストラクターとして活躍しています。なお、スクールの開催日程、場所などの詳細についてはNSA オフィシャルサイト、<https://www.nsa-surf.org/school/>をご覧ください。



公認スクールには、たくさんのメリットがあります!

其の1 “公認指導員”が丁寧に教えてくれる!!

インストラクターは、日本サーフィン連盟が開催する講習、資格試験を受けた公認指導員で、わかりやすく丁寧な指導方法や、海に特化した人命救助を学んでいます。初めてサーフィンをする方は、海でのルールやマナー、パドルング・スタンディングの方法などをじっくり学ぶことができます。サーフィンの技術をさらに高めたい方、改めて学びたい方にも、初級者・中級者・上級者向けのスクールが実施されています。



其の2 保険が適用される!!

NSA公認スクールでは、スクール中の万一の事故に備えて、スクール受講者に対し傷害・対人対物の保険に加入しています。保険が付いてくことも、安心して受講できる嬉しいポイントですね。



其の3 “海上安全指導員”の資格も取得している!

(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会が行う「海上安全指導員講習会」で気象や海象に関する知識も修得しているため、海の知識と経験を備えたインストラクターが指導してくれますので、安心・安全です。



其の4 全国各地で開催!

NSA公認スクールは日本全国各地、約50か所で行われています。お近くのスクールでお気軽にご参加ください。

其の5 WEBで日時、会場を簡単に検索!

NSA オフィシャルサイト (<https://www.nsa-surf.org/school/list>) にNSA公認サーフィンスクールの一覧を掲載しています。開催エリアで検索可能です!

主催サーフィンスクール&プールのスクール

子供たちの笑顔あふれるサーフィン体験教室!お気軽にご相談ください!

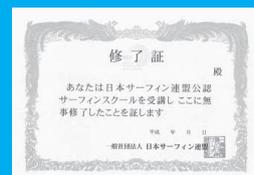
日本サーフィン連盟では、各自治体と協力しながら「主催サーフィンスクール」や、小学校などのプールを利用して授業の一環として「プールでサーフィン体験会」などを開催しています。

NSA公認指導員や支部の皆さまが中心となり、サーフィンを安全に、そしてプールではより身近に、楽しみながら普及させる注目のプログラムです。支部や自治体の皆さまのご要望がございましたら、お気軽にNSA事務局の企画委員会までお問い合わせください。



其の6 “スクール修了証”がもらえる!

NSA公認スクールに参加した後は、修了証が授与されます。是非、皆さん参加してみてくださいね!



其の7 “サーフィン検定”にチャレンジできる!

スクール審査員がいる公認スクールでは、サーフィン検定の受験ができます(4級、5級対象)。開催されているスクールや受験条件など、詳しくはNSA オフィシャルサイトのサーフィンスクールページをご覧ください。



目指せ公認指導員・海上安全指導員

“海のエキスパート”を目指してみませんか？

自然をフィールドとするサーフィンにおいては、様々な知識や経験が非常に大きなウェイトを占めます。だからこそ、常に学び続けることが重要です。サーフィンという素晴らしさをもっと多くの人たちに知ってもらうためにも、“海のエキスパート”を目指してみませんか？

海やサーフィンについての知識を深めよう！

サーフィンを楽しむために、初級者、上級者を問わずにたくさんの方が海に集まります。ひとつの海を皆で共有し、安全にサーフィンを楽しむためにはどうしたらいいでしょうか……？ 日本サーフィン連盟が毎年行う“海上安全指導員および公認指導員講習会”では、サーフィンの技術、知識、マナーの向上だけでなく、海象、気象や人命救助など、海に関わる様々な知識を習得することができます。サーフィンの知識をいま以上に広げたい、波乗りを楽しむための技術やマナーを正確かつ安全に指導したい、海に関わる様々な知識を習得したい、そんな方にもおすすめです。少しでも興味のある方は、是非とも講習会に参加してみたいはいかがでしょうか。



■公認指導員・サーフィン海上安全指導員 受験要項

	公認指導員	海上安全指導員
開催時期	年1回、おおむね2～3月に開催 ※NSA公式サイト等で告知予定	
受験資格	25歳以上で、以下のいずれかに該当する者 なお、受講にあたってはサーフィン海上安全指導員講習会の受講・登録を条件とします（既に有効な同資格を所持する方は除きます） ・支部長経験者 ・前年度全日本サーフィン選手権大会出場者 ・NSAサーフィン検定3級以上 ・JPSA・JPBA公認プロ ・支部長もしくは理事の推薦を受けた者（書類審査有） ※サーフィン海上安全指導員とNSA公認指導員は同時に取得可能です	25歳以上で、以下のいずれかに該当する者 ・サーフィン活動経験が3年を超える者 ・一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が適当と認めた者 ※サーフィン海上安全指導員の認定は、一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が行います
必要書類	・公認指導員講習会申込書および海上安全指導員講習会申込書（申込書はWEB入力の場合があります。詳細はNSA公式サイトにてご確認ください。） ・写真（タテ4cm×ヨコ3cm）1枚 ※3か月以内の撮影で無帽、本人単身	
学科試験の内容	サーフィンに関する技術知識 サーフィンに関する一般常識 ルール&マナー 初心者への指導技法 救急法	海上安全指導員の制度、業務、心得について サーフィン事故の実態および対策について 日本付近の気象について 日本沿岸の海象について 救急法
実技講習の内容	救急法、人命救助について	救急法、人命救助について
取得後の活用先	NSA公認スクールの実施 初心者へのサーフィン技術およびマナーの指導	一般サーファーに対する事故防止およびマナーの指導
受験費用	受講料 8,000円＋消費税 認定料 5,000円＋消費税 更新料 3,000円＋消費税（3年間有効）	受講料 2,000円 認定料 3,000円 更新料 5,000円（3年間有効）
申し込み方法	詳細はNSA公式サイトをご確認ください	
問い合わせ先および更新手続き先	一般社団法人 日本サーフィン連盟 事務局 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10F ☎ 03-6434-7341 FAX 03-6434-7795 E-mail: info@nsa-surf.org	一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会 安全事業部 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLACE馬車道9F ☎ 045-228-3066

「公認指導員一覧」はNSA公式サイトに掲載しています

こちらをご覧ください ▶▶ NSA TOP > 資格・検定 > 指導員 <https://www.nsa-surf.org/license/instructor/>



公認ジャッジ資格を取得するには？

ジャッジとして大会運営に参加しスキルアップを目指そう！

各支部の大会はもちろん、NSAの主催大会でジャッジを経験することで、選手として、勝つためのスキルを会得するキーポイントを見つけることができます。まずは講習会に参加して、審査基準などジャッジの基礎を学んでみましょう。

ジャッジとして大会で活躍してみよう！

選手たちが日頃の成果を競い合うサーフコンテスト。そんな真剣勝負の舞台で重要な役割を担うのがジャッジ。競技ルールを熟知して、どのサーファーに対しても平等な判定を行うことが求められる立場です。NSA主催の公認ジャッジ講習会では、日々変化するサーフィンの傾向、ヒートでの審査基準、優先権や妨害に関する細かいルールまで、実際の大会現場で撮影された映像を交えながら解説しています。また講習会では、勝敗を左右するキーとなる要素から、ベーシックな質問などにもお答えします。NSAの公認ジャッジ資格はA、B、C、Dの4段階に分かれており、満20歳以上のサーフィン、またはボディボード経験者ならば、どなたでもチャレンジできます。



■公認ジャッジ講習会・資格試験 受験方法

開催日時	秋季講習会 / 資格試験 2024年12月8日(日)会場：東京、大阪予定(日程、会場含め調整中) 春季講習会(試験なし、秋季に受験・受講できなかった公認ジャッジの方や選手や一般の方の学習のために開催しています)2025年2月～3月予定 ※詳細は決定次第NSA オフィシャル・サイトに掲載します			
受験資格	A級ジャッジ	B級ジャッジ	C級ジャッジ	D級ジャッジ
	B級ジャッジ保持者	C級ジャッジ保持者級	D級ジャッジ保持者	受験日までに満20歳以上であるサーフィン及びボディボード経験者
	C級以上の受験は所属支部長またはNSAジャッジ委員の推薦が必要			
必要書類	詳細は決定次第 NSA オフィシャル・サイトに掲載します			
学科試験の内容	映像問題、筆記問題、集計問題			
取得後の活用先	NSA主催大会、NSA支部大会、NSA公認大会、サーフィン検定など			
受験費用	受講料(講習のみ)3,000円+消費税 / 受験料(講習+受験)6,000円+消費税 合格認定料 5,000円+消費税(合格時に納入) ※資格試験のみの参加はできません			
申し込み方法	詳細はNSA オフィシャルサイトに掲載しますのでご確認ください			
問い合わせ先	一般社団法人 日本サーフィン連盟 事務局 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10F ☎ 03-6434-7341 FAX 03-6434-7795 E-mail: info@nsa-surf.org			
更新について	【更新資格】 ジャッジ資格の維持には、資格を取得または更新後3年間(有効期限内)に下記いずれかを済ませることが必要です。 1. 公認ジャッジ講習会を受講する 2. ジャッジ資格試験を受験する(可否は問いません) 3. NSA主催大会のジャッジを務める ※次回更新を迎えるのは、資格有効期限が2025年3月31日の方です。 【更新方法】 事務局からお届けするメールもしくは郵便の更新案内に沿ってお手続きください。 ※お手元にご案内が届いていない場合でも、更新案内はNSA オフィシャル・サイトでご確認ください。 有効期間 / 3年 資格更新料 / 3,000円+消費税			

「資格詳細」「公認ジャッジー覧」はNSA オフィシャルサイトに掲載しています
 こちらをご覧ください ▶▶ NSA TOP > 資格 > ジャッジ <https://www.nsa-surf.org/license/judge/>



ISA 国際ジャッジライセンスについて

世界を見据えた国際ジャッジを目指そう

サーフィンのジャッジングは国際基準で統一されています。

ISA 国際ジャッジライセンスの資格を取得すれば、国際基準のジャッジとして海外、そして国際大会でジャッジとして活躍できる可能性が広がります。資格の取得は英語が堪能であればISAへ直接申し込むことも可能。NSAでは日本語に翻訳したカリキュラムを用いてNSA公認ジャッジからISA 国際ジャッジライセンスへのステップアップをサポートしています。

■ ISA 国際ジャッジ資格取得への道

ISA 国際ジャッジには5つのレベルがあります。

まずはオンラインでeラーニングを受講し、その後、LEVEL 1からジャッジ経験のレポートを提出し、ステップアップしていきます。

※プログラムの詳細はISA オフィシャルサイトでご確認いただけます。

※直接ISAで資格取得された際は、NSAでの管理、サポートはございません。

ISA オフィシャルサイトプログラムページ



ISA ジャッジ認定レベルの概要

	取得資格	取得方法
ステップ1	E ラーニング 修了証明書	ISA E ラーニング ジャッジ コースを修了
LEVEL 1	LEVEL 1 ジャッジ認定	ISA E ラーニングジャッジコースを完了し、 ISA ジャッジ認定コースに参加する
LEVEL 2	LEVEL 2 ジャッジ認定	レベル 1 認定資格を取得 + 50 時間のジャッジ経験を記録し、 ヘッドジャッジによって承認されたものを提出
LEVEL 3	LEVEL 3 ジャッジ認定	レベル 2 認定資格を取得 + 100 時間のジャッジ経験を記録し、 ヘッドジャッジによって承認されたものを提出
LEVEL 4	LEVEL 4 ジャッジ認定	レベル 3 認定資格を取得 + 400 時間の国内・国際ジャッジ経験を記録し、 ヘッドジャッジによって承認されたものを提出、 加えて 国内連盟からの推薦状を提出
LEVEL 5	LEVEL 5 ジャッジ認定	現在ISA 世界選手権のパネルに座っている ジャッジ向けに予定されています。

■ NSAによるISA 国際ジャッジ資格取得のサポート

NSAではISA ジャッジ資格を得るために日本語に翻訳した講習を実施し、取得のサポート、管理をしています。

講習内容

(最新のジャッジング及びプライオリティールール)

- マニユーパーの定義
- ジャッジ 基準
- ジャッジング - 採点方法
- ジャッジの構成
- ロングボードのジャッジング
- 競技会の規定
- インターフェアレンス規定
- プライオリティ (優先順位)
- 競技結果の集計
- ジャッジングミス
- ジャッジングをするときの要点とチップ
- 審判論理規約
- 大会運営スタッフの説明
- プログラムおよび認定資格について



資格取得講習について

受講資格及び受講料	ISAのプログラム変更に伴い、NSAでのサポート内容を協議中です。 詳細決定次第、NSA オフィシャルサイトにて発表いたします。
申込方法	
資格更新手続き	



ISA 国際ジャッジ資格保持者 (NSA主催・管理)

LEVEL3

宇田大地・立山勝己・登俊裕・牧裕亮・渡辺勝幸・渡辺学

LEVEL2

飯森和雅・伊藤裕一・井本公文・内海義彦・岡島宏盛・小川文夫・加藤正光・清國友美・光菅敦司・古賀政信・鈴木和幸・滝川直人・釣田克則・萩原秀秋・長谷川由美・廣田健志

藤間弘樹・舟瀬正満・松橋正幸・武良多恵子・室原真二・吉富亮介

LEVEL1

青木優之・浅井賢治・安部彩子・一色剛彦・大井七世美・大山和幸・小川征男・加藤弘一・金田竜・菅野琢弥・菊地信次・菊地雪秀・窪田成・小林賢治・佐藤弘一朗・佐藤信行・佐藤満・佐川幸男・島田仁史・鈴木一隆・高橋幸

田川剛・武知実波・谷本国弘・田村健二・寺門剛・中村康宏・長岡新一郎・西川貴宏・平本利明・藤井孝之・藤島宏幸・平藤賢治・祝田健一・細田壽久・細田智康・松永哲也・松永直美・松本多恵子・水上隆晴・水元勇樹・宮崎郁美・谷田部由佳

敬称略・2024年4月現在



ISA コーチング & インストラクティングプログラム

国際レベルのサーフィンコーチを目指そう

NSAではISAが認定する国際指導員認定資格取得プログラムを実施。
 様々な最新の指導方法や安全対策、コーチの法的管理責任など、実習を交えて学ぶことが可能です。
 合格するとISAが発行するサーフィン・ボディボードなどの国際コーチ免許を取得することができます。
 NSA公認指導員からさらにステップアップして国際レベルのサーフィンコーチを目指してみたいかをご紹介します。

LEVEL 1 (インストラクター)

初心者レッスンを含めた基本的なコーチング技術を学ぶプログラム

- 参加資格：NSA 公認指導員資格保持者
- 受講料：決定次第、NSA オフィシャルサイトにて発表
 ※参考：2020年度 77,000円(未開催)
- 合格時の取得資格：ISA レベル1 サーフィン・ボディボード
 インストラクター国際免許、認定証
- 所要時間：講義2日間&コーチ実習(計20時間)

2日間の講義内容

- ・コーチのルール
- ・コーチングの方法について
- ・技術のデモンストレーション
- ・怪我/緊急処置方法
- ・技術向上方法
- ・選手の体のコンディションについて
- ・技術レベルの確認
- ・ボードとアクセサリーについて
- ・コーチプランの作成方法
- ・運動心理学について
- ・安全について
- ・サーフィンコンテストについて
- ・筆記テスト

お申込み方法やその他詳細は、
NSAオフィシャルサイトをご確認ください。



LEVEL 2 (コーチ)

中・上級レベルのサーファーとボディボーダーにおける技術の向上と育成を目的とした資格プログラム。基礎知識、大会、チームの管理知識、個人、アスリートの育成等について学びます。

- 参加資格：ISA コーチング&インストラクティングプログラム
 「レベル1」の資格を有する者
- 受講料：決定次第、NSA オフィシャルサイトにて発表
 ※参考：2020年度 88,000円(未開催)
- 合格時の取得資格：ISA レベル2 サーフィン・ボディボード
 インストラクター国際免許、認定証
- 所要時間：講義3日間&コーチ実習(計40時間)

3日間の講義内容

- ・サーフトレーニング 方法の全体論
- ・プランニング
- ・ジャッジ基準の理解
- ・リスクマネジメント
- ・トレーニングの原則
- ・フィットネストレーニングの要素
- ・成長と熟成
- ・スポーツと怪我
- ・健康な生活と栄養学
- ・スポーツ心理学
- ・力とバランス
- ・基本的なマニューバー
- ・より難易度の高いマニューバーの動作分析
- ・初歩的なミス
- ・初心者サーファーの基礎技術
- ・サーフコーチのための技術分析
- ・シミュレーショントレーニング
- ・ビデオコーチング
- ・資格認可のプロセス

国際指導員認定資格者 (NSA 主催・管理)

LEVEL2

浅井賢治・井本公文・岩田充・内海義彦・岡島宏盛・小川文夫・金子隆祐・久保英明・熊谷英明・古賀政信・佐藤弘一朗・島田仁史・鈴木藍策・鈴木一隆・鈴木和幸・滝川直人・釣田克則・豊田力・廣田健志・前田淳・松橋正幸・目黒健一・森宣仁・山口広晃

LEVEL1

岡村達也・木村愛美・小嶋恵・小林弘幸・島村重徳・鈴木弘徳・田中樹・谷本国弘・玉手博之・千葉歩実・安田誠・吉富亮介

敬称略・2024年4月現在





競技規定

シーズン直前、サーフィン競技規定をチェックしよう!

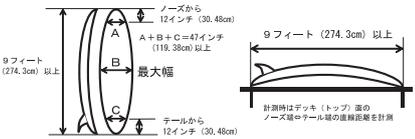
コンテストシーズンで活躍するには、ジャッジ基準や優先権、妨害(インターフェア)のルールなど、様々な競技規定を知っておくことが重要です。しっかりと目を通しておくことをおすすめします。

第1条 ジャッジ基準

審査は、ISA・WSLジャッジライテリア(基準)で行う。
 ①ショートボードジャッジ基準 (NSAではボディボードも同じジャッジ基準で審査する)
 サーファーが高得点を獲得するためには「ISA(WSL) Judging Key Elements」に従った演技をしなくてはならない。ジャッジは次にあげる主要な要素を考慮し採点する。
 a) 積極性および最高難度 b) マニューバーの革新性と進歩性 c) メジャーマニューバーの結合性 d) マニューバーの種類や豊かさ e) スピード、パワーそして流れ (注意) 開催地やその日の状況、同様に1日を通して変化するコンディションの中で、これらの要素の何に重点を置くかは極めて重要となる。
 ②ロングボードジャッジ基準
 サーファーは波のクリティカルなセクションをコントロールされたマニューバーでボード全体と波を利用した伝統的なロングボードサーフィンをするのが求められる。難易度が高く、スタイル、流れ、優雅さを伴うライディングをしたサーファーは高得点を得ることができる。
 a) ノーズライディングとレールサーフィン b) 波のクリティカルセクション c) パラエディ d) スピードとパワー e) コメントメント f) コントロール g) フットワーク
 ③今後ジャッジ基準の改正があった場合は、原則その年の最新の基準で審査を行う。

第2条 ボードの規定

①ボディボード
 長さ5フィート(152.4cm)以下。材質は表面の大部分がソフトかつ柔軟性のあるものとする。
 ②ロングボード
 a) ボードの長さはデッキ上で最低9フィート、幅の合計が47インチ以上の長さでなければならない。幅の合計とは、最大幅とテールから12インチ、ノーズから12インチの各幅の合計である。 b) ライディンギョナルマリブシェイプのロングボードを使用し、マルチフィンやチャンネルがあってもかまわない。



第3条 妨害=インターフェアランス

妨害は下記ルールに則り判断する。
 ①ドロップイン妨害
 その波の優先権がある選手に対し、他の選手はその選手と同じ波の前方でテイクオフし、進路を妨げなければならない。
 ②スネーキング
 テイクオフできる波のインサイドで、その波の優先権がある選手に対し、他の選手がその選手の後ろでテイクオフすること。
 a) テイクオフできる最もインサイドのポジションで、波の優先権を確立した選手にその波でライディングを続ける権利がある。これは他の選手がより奥から続いてテイクオフした場合でも変わることはない。また、最初に優先権を得た選手が他の選手の前に行っている時でも優先権があるため、妨害とはならない。 b) 後からテイクオフした選手が優先権のある選手を妨害せずにライディングした場合は、妨害のペナルティは科さず、両方の選手のライディングについて得点を与える。 c) ジャッジの判断により、後続の選手(スネーキング選手)が優先権を持つ選手にプルアウトさせたり、その波に乗せなかったりした場合には、たとえペナルティが科せられた時点で優先権を持つ選手の後方にはその選手が移動していたとしても、後続の選手に対し妨害がコールされる。
 ③バドリング妨害
 バドリングをしている選手は、同じ波のインサイドにいる選手を妨げなければならない。また選手がゲティングアウト中に他の選手のライディングを妨げた場合、これが故意か否かは大多数のジャッジにより判断される。下記の場合、インサイドの選手のスコアリングポテンシャルを妨げるとジャッジの判断により妨害がコールされる。
 a) 物理的接触/インサイドにいる選手がバドリングをしている最中に接触したとき。ただし、波の状況によって接触があってもインターフェアランスにならない場合もある。(例) イーブンチュエーションで定まったピークのない波の場合) b) バドリングラインの変更/インサイドにいる選手の位置を変えさせたとき。 c) セクションのプレイングダウン/インサイド側にいる選手の前で波を崩したとき。
 d) 前のヒート終了後の選手が競技中の選手の妨げになったとき。
 e) 次のヒートの選手が競技中の選手の妨げになったとき。
 ④ダブルインターフェアランス
 下記の場合、ジャッジはその状況を判断しダブルインターフェアランスをコールする可能性がある。 a) シングルピークでの同時テイクオフ/互いに積極的に接触を回避しない場合。 b) マルチ・ピークレイクでの同時テイクオフ/どちらにも優先権がない状況で互いに向かって進み、積極的に接触を回避しない場合。 c) バドリング時の過度のハスリング。
 ⑤マキマムオーバー時に発生した妨害
 マキマムオーバーによる競技スコアの減点ペナルティは科さないが、マキマムオーバーに達した選手は速やかに競技エリアから離れなければならない。ただし、マキマムオーバーに達した選手が競技エリアに留まり下記行為を行った場合、ジャッジは妨害をコールする。 a) 明らかに他の選手の乗る波を奪った場合。 b) バドリングやポジショ

ニングなどで他の選手のスコアリングポテンシャルを妨げた場合。

第4条 優先権

優先権は各会場の波の状況により決定され、以下のカテゴリに分類される。また、優先権の選択は、そのヒートを担当するジャッジの大多数で決定される。基本的にはジャッジがその波をライティングからレフトウェーブのかを見極め、どの選手がインサイド・ポジションにいるかを判断する。
 ジャッジは入ってきた波の形を見て、スコアリングポテンシャルは(得点の可能性があるのは)ライトまたはレフトのどちらへ向かった方がより高得点を得る可能性があるのかを考慮しレイクの方向を判断する。また、優先権は波の形とその波に対しての選手のポジションで決定される。
 もしテイクオフする時点で波がライトかレフトかはっきりせずピークのない波の場合、最初に明確な進行方向へターンした選手がその波の優先権を得る。
 ①ポイントブレイク
 波が一方向にしかブレイクしない場合は、インサイドにいる選手がその波の優先権を得る。
 ②シングルピークブレイク
 a) ライトとレフト両方向にブレイクする完全なピークが1つある場合、テイクオフする選手のポジションにより優先権が決定される。 b) 2人以上の選手が同じ方向にライディングした場合、その波のインサイドポジションにいる選手が優先権を得る。
 ③マルチ・ピークブレイク
 a) 1つのうねりで互いに十分に離れたところにある2つのピークが、後からどこかのポイントで1つに交わってしまう場合がある。2人の選手が別々のピークの各インサイドポジションにいる時は、最初にテイクオフした選手がその波の優先権を得る。続いてテイクオフした選手は、最初の選手を妨げる前にカットバックやプルアウト等で進路を譲らなければならない。 b) 2人の選手が別々のピークが同時にテイクオフした場合→b1: 双方の選手がライディングをやめた場合は、妨害にはならない。 b2: 互いの進行方向を横切ったり衝突した場合、危険回避を怠った選手に対し妨害をコールする。 b3: 互いにライディングをやめずに危険回避を怠った場合には、双方の選手に対してダブルインターフェアランスがコールされる場合がある。

第5条 妨害の成立要件

妨害は競技規定に則りそのヒートを担当したジャッジの大多数の判断でコールされる。ここで大多数とは、そのヒートを担当する過半数のジャッジが妨害をコールしている場合を指す。また、同数で妨害の見解が割れた場合は、ヘッドジャッジを含めた過半数の判断が優先される。

第6条 妨害のペナルティ

①妨害が大多数のジャッジの判断でコールされた場合、妨害をしたライディングのスコアは集計対象ウェーブから除外される。(バドリングインターフェアランスをしてそのままライドした場合も同様)
 ②妨害をした選手のヒートの得点は、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを減点して集計される。
 ③同じヒートで妨害を回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければならない。

第7条 ジャッジシートでの妨害の表記

ジャッジは妨害があったとみなした時、妨害を犯した選手のライディングは通常通り採点し、そのスコアを△で囲む。そして、矢印でどの選手に対して妨害したかを示す。
 ①ライディング中に妨害を犯した場合は対象スコアを△で囲み記入する。
 ②バドリング妨害を犯してそのままライドした場合も対象スコアを△で囲み記入する。
 ③ライドのないバドリング妨害は、2つのライドのライン上に を記入する。
 ④次のヒートの選手がゲティングアウト中、競技中の選手の妨げになっていた場合、0本目のスペースに△を記入する。
 ⑤ヒート終了後の選手が競技中の選手の妨げになった場合、余白に△を記入する。

第8条 エクストラウェーブ

マキマムウェーブを採用したヒートでは、妨害はジャッジにより判断され、妨害を受けた選手には定められた競技時間内であればエクストラウェーブが与えられる。ただし、ダブルインターフェアランスの場合を除く。(水中カメラマン、その他外部からの妨害にも適用される)

第9条 タクティカルバドリングインターフェアランス=TP1

本来ヒート順位は選手のライディングの結果で決まらるべきであり、ヒートでの波の取り合いなどの激しい駆け引きは選手のパフォーマンスに影響する。明らかに波に乗るための駆け引きは良いが、相手を妨害するために波に乗るような行為については、TP1のペナルティを科す場合がある。
 「アンスポーティングなバドリング戦略(=TP1)は以下の状態を指す。[自身がテイクオフの優先権を持っているにも関わらず、相手にテイクオフをさせないために意図的にテイクオフを途中でやめた場合。] ジャッジはTP1行為を認めた場合、下記の順序でコールする。

- 一度目のTP1行為については、ジャッジはその選手の動きやTP1の兆候をチェックする。
- 二度目のTP1行為を行った場合は、その選手にアナウンスとその選手のゼッケンカラーを表示して警告する。(この時点では警告のみであり、インターフェアランスは記録されない)
- 三度目のTP1行為を行った場合は、二度のインターフェアランスとしてコールされる。その選手は直ちに競技エリアから離れなければならない。

第10条 妨害が適用される範囲

- ヒート中は妨害をした場所が他の競技エリアであっても、エリア内と同様に妨害をコールする。
- 次のヒートの選手が競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジはその選手に妨害をコールする。
- ヒート終了後の選手が競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジはその選手に妨害をコールする。

第11条 ヒートの構成人数

ヒートの構成人数は2人から5人とする。また、少なくともヒートに出場した選手の3分の1以上は次のラウンドに進出するものとする。ただし、ノーライドだった場合は次のラウンドに進出できない。

第12条 ヒート時間

- 1ヒートの競技時間は12分以上とする。
- 一度ヒートが開始された後はどのような事情があろうともそのヒートの時間が延長されることはない。ヒートの進行が何らかの理由で妨害された場合は、ヘッドジャッジの判断でそのヒートは中断される。その後、すべての選手ができる限りそのままのポジションにライティングした状態でヒートは再開され、中断時からの残り時間で競技を進行する。ただし、中断時に残り時間が3分を切っていた場合はこの限りではない。
- ヘッドジャッジが適任者と話し合い、ヒートが中断された時点でどの選手も使用についておらず、また後の状況が最初に行われたヒートと同基準でジャッジすることが困難だと判断できる場合は、そのヒートは新たに行われる。
- 上記3と同様にヒートスタート後、定められた競技時間の半分を経過した時点で選手が誰も波に乗っていない場合は、そのヒートはキャンセルされ、リスタートされる。ただし、その判断はヘッドジャッジが行う。

第13条 競技開始、終了の合図

- ヒートは1回のホーンによって開始され、2回のホーンによって終了とする。
- ヒート中はフラッグで競技の状況を選手に示す。緑が競技中、黄が終了3分前、赤は終了を表すものとする。(何らかの理由でホーンが使用できない場合は、フラッグまたはフラッグの代用品を使用しても良い)

第14条 ビーチアナウンス

- 競技中は放送で時間の経過を選手に知らせ、カウントダウンによって競技開始/終了を知らせる。
- 選手は放送でコールされたボディウムがPCの入力ミスなどで誤りがあっても、異議を申し立てることはできない。
- 選手は、ヒート中に水の中から情報が必要な場合、次にあげるハンドサインを使用する。
 a) 残り時間: 頭の上で片方の手をもう一方の手で触る。(腕時計を伝える合図) b) ウェーブカウント: 片腕を水平に出す。(マキマムウェーブを採用したヒートで選手が必要として伝える合図) c) スコア: 両手を頭上にあげる。(シチュエーションコール、得点などを聞く合図) d) ウェーブカウント: 片腕を水面方向水平に出す。

第15条 レギュレーション

大会レギュレーションは基本的にコンテストディレクターまたはジャッジ委員長によって決定され、大会前の役員ミーティングや放送、掲示などで周知される。
 ①ベスト2ウェーブ
 ベスト2ウェーブとは選手のライディングのスコアから最高点と次点の2本のことを指す。大会特別ルールがある場合を除き、コンテストではベスト2ウェーブで実施される。ベスト2ウェーブの合計がその選手のヒートでの獲得点数となり、点数の高い選手からヒート順位が決定する。
 ②マキマムウェーブ
 a) マキマムウェーブはそのヒートでのライディング本数を制限することを指す。通常は波の状況により、8〜10本に設定される。 b) マキマムウェーブは選手自身が管理するものとする。また、状況が許す限りその時のライディング本数を放送で選手に伝える。 c) マキマムオーバーによる競技スコアの減点ペナルティは科さないが、マキマムウェーブに達した選手は競技エリアから速やかに離れなければならない。
 ③ゲティングアウト
 波の状況により、ウォータースタート(ビーチスタート)が選択される。また、ウォータースタートの場合、次のヒートの選手は競技中の選手の妨げにならないように沖へ向かわなければならない。競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジはその選手に妨害をコールする可能性がある。

第16条 テイクオフ

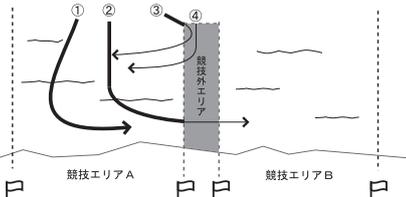
テイクオフの時点は、サーフボード（ショートボード、ロングボード）がその波を越えてライドする意思（ハンドオフ）があるとジャッジが判断した時とする。ボディボードの場合はボードが波より早く進んだ時、ライディングする意思があると判断した時とする。1本の波の中でスタンドオフ、再度スタンドアップしても1本の波とカウントする。

第17条 採点の対象時間

- ① ヒート開始を示すホーンが鳴る前のテイクオフは採点されない。鳴り始めた時点のテイクオフから採点の対象とする。
- ② ヒート終了を示すホーン鳴り始めてからのライディングは採点されない。鳴り始めた時点でのライディングは採点の対象となる。
- ③ ヒート時間外のライディングは採点の対象にはならない。インアーリー、アップアフターについて競技スコアの減点ペナルティは科さないが、ヒート終了後はライディングをせず、腹ばいでビーチに戻るなど。
- ④ 上記3についてジャッジ、ビーチマージャーの警告に従わない場合、競技スコアの減点以外のペナルティが科される場合がある。

第18条 競技エリア

- ① 競技エリアは原則ジャッジスタンド前とし、競技エリアの両サイドにエリア外との境界を示すフラッグを設置し選手に示す。また、大会前の選手ミーティングや掲示で選手に周知する。（可能であればフラッグと平行線上の沖に旗を設置する。）
- ② ダブルバック（2ボディム）以上の場合はバンク間に十分な間隔の競技エリアを設け、ライディングの交差などを防ぐよう努める。また、競技エリアを設けることが困難な場合は、ビーチに設置するフラッグ、沖に設置する旗、放送などでエリアの境界線を選手に示す。
- ③ 採点の対象となるのは競技エリア内でのライディングとする。（エリア外でのライディングは採点されない。）また、競技エリアの境界線付近のライディングについて、それがエリアに入っているかはジャッジによって判断される。判定が困難な場合はバンク間（ポイント）の境界線にラインスマンを配置し、ライディングの判定に当たる。
- ④ 競技エリア外からテイクオフしたライディングは採点されないが、ライディングしたウェーブの1本としてカウントされる。



（競技エリアに関する判定例）

- ① すべてのライディングが得点対象となります。
- ② 競技エリア内のライディングのみ得点対象になります。
- ③ 上記②と同じ。エリア外から再び競技エリア内に戻ってもその分は得点対象になりません。
- ④ 競技エリア外からのライディングは得点になりません。

- ⑤ 試合開始5分前にそのヒートに出場しない選手は競技エリアから離れるよう放送でアナウンスする。
- ⑥ 1分前には再度注意され、その時点でバドリングを始める努力をしていない選手には、競技スコアの減点以外のペナルティを科す場合がある。
- ⑦ 競技進行中にヒートに出場しない選手が競技エリア内に入ってきた場合、その選手はヘッドジャッジのコールで失格となる。また、当該選手の権利はく奪などのペナルティを科す場合がある。ただし、次のヒートの選手がゲティングアウトする場合を除く。

第19条 ゼッケン

- ① ビーチマージャーは正しいカラーのゼッケンを選手に渡さなければならない。
- ② ゼッケンの受け取り、返却は選手本人が行わなければならない。（代理人への受け渡しは不可）
- ③ 選手はゼッケンをゼッケンカウンターで着用し、ゼッケンカウンターで返却するまで脱がないこと。（ヒート終了後にビーチなどでは脱がない）
- ④ ヒートへのエントリー確認はゼッケンチェックインをもって行う。（チェックイン後、海に入らなくてもヒート結果ではノーライドとして扱う）
- ⑤ 選手がヒートスタートに遅刻した場合は競技時間内であればゼッケンチェックインはできる。
- ⑥ ゼッケンの取り扱いでジャッジ、ビーチマージャーの警告に従わない場合、競技スコアの減点以外のペナルティを科す場合がある。

第20条 ビーチマージャー

- ビーチマージャーはコンテストで以下の役割を担う。
- ① レギュレーションを把握し、選手、ジャッジに周知する。
 - ② ゼッケンカウンターの運営
 - ③ ヒート時間、タイムアラック、ホーン、エリアフラッグの管理
 - ④ ジャッジスタンドの回収
 - ⑤ プロテストの受付
 - ⑥ オフィシャルコールの周知、掲示
 - ⑦ ヒート結果の掲示
 - ⑧ その他大会運営に関する活動

第21条 プロテスト

ヒート結果はオフィシャルコールで確定したのについて選手は異議を申し立てることはできない。ただし、インターフェアランスの判定に関する問い合わせなどについてはプロテストの手続きを取ることでヘッドジャッジに対し説明を求める権利を有する。プロテストの手続きは下記手順によって行うものとする。

- <プロテストの流れ>
- ① ビーチマージャーからプロテストシートを受け取り必要項目を記入する。（口頭でのプロテストは受け付けない。必ず所定の手続きを取る）

- ② 記入したプロテストシートはビーチマージャーに渡す。
- ③ ビーチマージャーはそれをヘッドジャッジに渡し、ヘッドジャッジは選手に対してその日の終わりに30分を限度に話を進める。（ヘッドジャッジが対応可能な場合はこの限りではない）
- ④ 大会会場以外でプロテストすることはできない。
- ⑤ ヘッドジャッジとの話し合いは当事者のみが参加できる。また、18歳未満の選手の場合は保護者等の立ち会いを認める。

第22条 アン스포ーツマンシップ

- 大会期間中に本連盟の登録選手及び本連盟の事業に関するジャッジ、役員、その他関係者に対し社会道徳上スポーツマンとしてあるまじき行為を行った選手に対しては、その行為の内容に応じてペナルティを科す。禁止行為の内容については下記の通りとする。
- ① インアーリー、アップアフター、マキシムオーバー、ゼッケンの不着用、過度なバドリングマークなど競技規定に定められた反則行為をジャッジ、ビーチマージャーの再三の警告に従わず続けた場合
 - ② 暴力行為、破壊行為、威嚇や侮辱行為、暴言行為
 - ③ 大会やサーフィンのイメージダウンなどに繋がる不適切な行動
 - ④ スポーツ選手として不適切な行為
 - ⑤ 薬物検査を正当な理由なく拒否した場合

第23条 アン스포ーツマンシップ行為に対するペナルティ

- 大会期間中、アン스포ーツマンシップ行為を行った選手にはその行為に応じて下記の処分を科す。
- ① 罰告（厳重注意）
 - ② 1試合出場停止（当該試合の権利はく奪を含む）
 - ③ 年間全試合出場停止
- なお、その行為に対する処分が上記では適当ではない場合は、日本サーフィン連盟審査会で追加処分を科される。

第24条 異議申し立て

大会期間中に科された処分に対して選手は日本サーフィン連盟審査会に対し異議申し立てをする権利を有する。

第25条 集計時の確認項目

- 集計係は集計作業に入る前に次の事項を確認すること。
- ① 全てのジャッジシートが回収されたか。
 - ② 各ジャッジシートのジャッジサイン、クラス、ヒート番号、ウェーブカウントが揃っているか。
 - ③ 妨害が記録されているか。

第26条 集計方法

- ① 集計は専用の集計用紙またはPCのソフトを用いて行う。
- ② 妨害が成立したライディングには横線を引く。（集計対象ウェーブから除外されるため平均点の計算は必要ない）
- ③ 各ライディングの最高点と最低点の点数をカットする。
 - <重要>
- ④ 各ライディングの平均点を算出する。（小数点第二位まで算出した小数点第三位を四捨五入する）
 - ・5人ジャッジ：最高点と最低点の点数をカットした後、残り3人の点数の合計を3で割る。
 - ・4人ジャッジ：最高点と最低点の点数をカットした後、残り2人の点数の合計を2で割る。
 - ・3人ジャッジ：そのまま3人の点数の合計を3で割る。
- ⑤ 各選手の平均点の点数からベスト2ウェーブ（最高点と次点の2本の点数）を抜き出す。妨害成立の場合、その選手のベスト2ウェーブの2番目の点数は1/2減点される。（ノンブレイクあり）
- ⑥ 各選手のベスト2ウェーブの点数の合計を算出する。
- ⑦ ベスト2ウェーブの合計点の高い順に順位を記入する。（=ヒート結果となる）
- ⑧ 妨害が成立したライディングがある場合、妨害欄に△を押し、対象ウェーブに矢印を記入する。
 - <バドリング妨害の場合>
 - ・ライドありでは、妨害をしたライディングの妨害欄に△を記入し対象ウェーブに向けて矢印を引く。
 - ・ライドなしでは、妨害をしたライディング間のライン上の妨害欄に△を記入し対象ウェーブに向けて矢印を引く。
- ⑨ 集計が終わったら、集計担当者のサインを記入し集計責任者のチェックを受ける。集計チェックで問題がなければ集計責任者のサインを記入する。

第27条 同点の場合の順位決定方法

- ① 同点の選手の最高点（ベスト2ウェーブの高い方の点数）からカウントバック（点数の比較）を行う。1本目が同点の場合は差がつくまで繰り下げ、差がついた時点で高いポイントの選手が上位となる。（比較したポイントに○・×を記入する）
- ② 同点のまま比較するライディングが繰り下がり、結果ライディング本数が差が出た場合ライディング本数が多い方が上位となる。
- ③ カウントバック、ライディング本数が差がつかない場合はそのヒートを担当したジャッジの協議で順位を決定する。
- ④ ノーライドで同点の場合は同一順位とし、そのヒートの最下位とする。また、ラウンド2以降の途中棄権も同様とする。（例：4人ヒートで2人がノーライドだった場合は同一4位とする）

第28条 ヒート結果の確定・掲示

ヒート終了後、集計係によって集計された順位は集計責任者の確認を経て放送でコールし確定する。放送後、速やかにヒート結果を掲示する。

第29条 イベント役員の職務と内容

※ ISA RULEBOOK & CONTEST ADMINISTRATION MANUAL (June, 2021) 参照

1. テクニカルディレクター：ISA 技術委員会（NSA ジャッジ委員会）によって任命され、ビーチでのプレゼンテーションやイベントの他の側面を管理します。TDは、ISA(NSA) 事務局長に報告します。

TDは最高のイベントオフィシャルです。TDは、ISA (NSA) イベントでのルールブックまたは状況の不明確な解釈を変更または定義する場合があります。

TDは、コンテストディレクターと緊密に連携して、イベントの配信を毎日管理します。コンテストディレクターと他のすべてのイベント関係者は、テクニカルディレクターに報告します。テクニカルディレクターとコンテストディレクターのポジションは、ISA 技術委員会（NSA ジャッジ委員会）の裁量によりISA (NSA) イベントで組合わせることができます。

2. コンテストディレクター：プロフェッショナル、インターナショナルおよび国内の基準に基づいてISA 技術委員会（NSA ジャッジ委員会）によって選出されます。
 - a. イベントの運営のあらゆる面でヘッドジャッジと協力すること（ヘッドジャッジの義務とコンテスト管理規則を参照）。
 - b. セクション2および3（ISA ルールブックP9～P49の全て）に規定されている協議規則を適用するため。
 - c. これらの規則に従ってイベントに参加する選手にリードを与えること。
 - d. 実行委員会によって決定されたコンテスト形式を適用するため。
 - e. 毎日更新されるチームポイントの合計を維持し、それをすべてのチームマネージャー、ISA 役員、およびメディアに競技の各日の終わりの20:00までに配布するため。

第30条 コンテストディレクター

- ① 海という自然の中で行う競技では、コンテストを開催する上で突風・豪雨・雷等の危険に対して一時中断の判断や、台風、大きな低気圧の接近が予想される場合は事前中止の判断も必要である。競技続行が危険な場合は大会会長、運営委員長、ジャッジ委員長と対応を協議の上、決定する役割を担う。
- ② 大会の現場責任者として各関係団体との調整、スケジュール管理等、イベント全体を統括する。

第31条 運営委員長

ビーチマージャーを統括し、スケジュールがスムーズに進行するように管理する。また、イベントを円滑に運営する上で、コンテストディレクターの補佐役を担う。

第32条 ジャッジ委員長

- ① 大会前にジャッジミーティングを行い、レギュレーション、競技ルールを選手に周知する。
- ② 各ジャッジの間で判断が違ったりジャッジや運営に支障があるジャッジを注意し、場合によっては職権で解任することができる。
- ③ 波が少ない場合、競技時間の変更等はコンテストディレクター、運営委員長と協議の上決定することができる。

第33条 ヘッドジャッジ

- ① ヘッドジャッジは各ヒートに必ず1名以上いなければならない。
- ② 競技時間内に著しく採点が違ったりジャッジには修正を指示することができる。
- ③ ヒート中妨害があったと思われる場合にテイクオフの状況をパネルジャッジが説明し、見解を取りまとめる。妨害が成立した場合はインターフェアランスコールをする。
- ④ 競技中にアン스포ーツマンシップ行為をした選手（2回の妨害をした場合など）に対し、競技エリアからの退場をコールする。
- ⑤ 選手からのプロテストに対応する役割を担う。
- ⑥ 集計の結果、同点の場合や順位が判断できない場合はヘッドジャッジはそのヒートの担当ジャッジと協議の上、総合評価で順位を決定する。

第34条 ジャッジ

- ① 日本サーフィン連盟主催大会は日本サーフィン連盟公認ジャッジの審査でを行う。
- ② ヒートの審査は1ヒート3～5名のパネルジャッジとヘッドジャッジ1名で行う。
- ③ ジャッジは全ての選手の全てのライディングを採点しなければならない。
- ④ ライディングの採点は0.1～10.0のスコアを使用する。
- ⑤ ライディングの一部でも見逃した場合はヘッドジャッジの指示を仰ぎ、得点を記入する。
- ⑥ ジャッジは波の状況を見て競技時間の変更をヘッドジャッジに言うことができる。
- ⑦ ヒート終了後ジャッジは速やかにビーチマージャーに提出する。

第35条 スポッター

選手のテイクオフする前の状況を常にコールしジャッジに対してスコアリングに集中させる重要な役目である。

第36条 異常事態

- ① ヒート進行中に異常事態が発生した場合、ホーンの断続音と放送によってその旨を告げ、同時に旗による掲示を行なっている場合は赤旗を掲げる。その際、選手は直ちに競技を中止して陸に戻らなければならない。ただし、試合を中断した時点で、すでにヒート終了3分前（イエローフラッグ）を経過している場合、そのヒートは成立する。
- ② ヒート進行中に異常事態が発生し、選手がウォーターバトロールに救助を要した場合は、そのまでのスコアは反映されるが、競技を続行することは出来ない。

第37条 ダブルエントリー

ダブルエントリーされた選手で出場クラスのヒートが重なった場合は、ヒートをウエイティングする事はない。ただし、決勝ヒートに関しては大会ディレクター（主催者）により、ウエイティングを設定する事もある。



妨害 (インターフェアレンス) について!

波のインサイドポジションを獲得したサーファーはその波を乗り終るまで、絶対的な優先権を得ることになります。この時、対戦相手のサーファーが、優先権を持つサーファーの得点の可能性を妨げたとき、ジャッジが判断した場合、インターフェアレンス(妨害)がコールされます。

A 妨害を判断するにあたっての基本的な姿勢

- ①妨害に関するルールは、正当な権利を持つ選手を保護するためにあり、妨害を科すためのルールではありません。
- ②ジャッジはルールを良く理解し、全ての選手に対して公平な判断をしましょう。
- ③なんらかの妨害に関わるような行為があった場合、それが成立するか否かを必ず判断しなければなりません。

B 妨害を判定する基準及び順序

- ①どのような波か?
(ライト、レフト、方向がはっきりせず定まったピークのない波など)
 - ②どの選手に優先権があるのか? (ノンプライオリティ or プライオリティ)
 - ③スコアリングポテンシャルを妨げたか否か?
 - ④どの妨害のルールに当てはまるのか?
- ※以上の順番で妨害の判断をしてください。

重要!

1. 優先権を決定しているのは、あくまでも選手の波に対するポジションであって、どちらが先にスタンディングしたのではありません。
2. 基本的にインサイドポジション(波のピーク側)にいる選手にその波の優先権があります。
3. 妨害は状況や物理的接触だけではコールされません。あくまでも優先権がある選手のスコアリングポテンシャルを妨げたどうかで判断します。

C 優先権について

●優先権は各会場の波の状況により決定され、次のカテゴリーに当てはめられます。また、優先基準の選択は、そのヒートを担当するジャッジの大多数で決定されます。基本的にはジャッジがその波をライトウェーブかレフトウェーブなのかを見極め、どの選手がインサイド・ポジションにいるかを判断します。

●ジャッジはブレイクの方向を判断するにあたり、入ってきた波の形を見て、スコアリングポテンシャルは(得点の可能性が高いのは)ライトまたはレフトのどちらへ向かった方がよりハイポイントを得る可能性があるのかで決めます。また、優先権は波の形とその波に対しての選手のポジションで決定されます。

●もしテイクオフする時点で波がライトかレフトかはっきりせず、ピークのない波の場合、最初に明確な進行方向へターンをした選手がその波の優先権を得ます。

[各ブレイクによる基本的な優先権の考え方]

a) ポイントブレイク

波が一方向にしかブレイクしない場合は、インサイドにいる選手がその波の優先権を得ます。

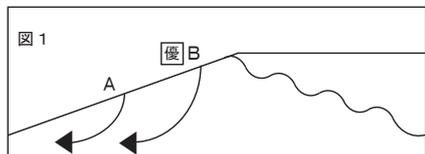


図1 (1) テイクオフやターンをした時点にかかわらず、インサイドにいるB選手が優先権を得ます(図1)。

b) シングルピークブレイク

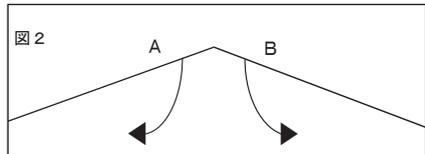


図2 (1) ライトとレフト両方向にブレイクする完全なピークが1つある場合、テイクオフする選手のポジションにより優先権が決定されます(図2)。

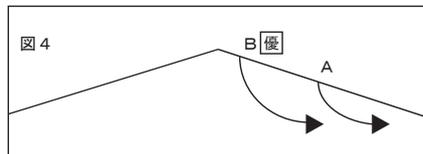
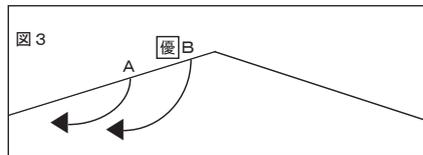


図3 (2) 同じ方向にライディングをした場合、その波のインサイドのポジションにいるB選手が優先権を得ます(図3、図4)。

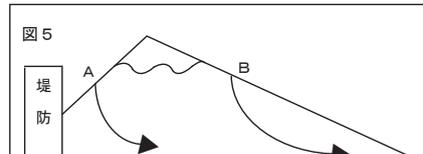
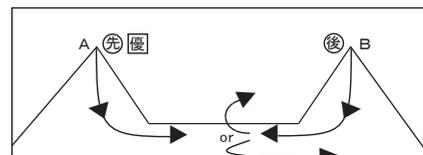


図5 (3) ライトにスコアリングポテンシャルがない場合、A選手が優先権を得る場合があります(図5)。

c) マルチ・ピークブレイク

ひとつのうねりで互いに十分に離れたところにある2つのピークが、結局はどこかのポイントで1つに交わってしまう場合、2人の選手が別々のピークの各インサイドポジションにいる時は、最初にテイクオフした選手がその波の優先権を得ます。続いてテイクオフした選手は、最初の選手を妨げる前にカットバックやキックアウト等で進路を譲らなければなりません。



2人の選手が別々のピークから同時にテイクオフした場合、双方の選手がライディングをやめた場合は、妨害にはなりません。互いの進行方向を横切ったり、衝突した場合、危険回避を怠った選手に対し妨害をコールします。互いにライディングをやめずに危険回避を怠った場合には、双方の選手に対してダブルインターフェアレンスがコールされることがあります。ライディング中に波が途中で1つになり、2人の選手で追いつける形になった場合、波の方向性によって選手の優先権が決まります。

D プライオリティルール

- ①優先権を持った選手は、自分が選択しようとするすべての波を得る方法であり無条件でその権利を有することとする。
- ②プライオリティを持っている選手を妨げない場合のみ、同じヒートの別の選手はパドル、及び、同じ波をキャッチすることができる。
- ③プライオリティを持った選手は一度、波に乗るまたは、乗る姿勢を取ってパドルして失敗した場合でもプライオリティを失う。また、別の選手が波を捉えた場合、先にテイクオフゾーンに戻った選手がプライオリティを得る事となる。
- ④そのプライオリティが発生する前は従来のNSAルールが適応される。
- ⑤ジャッジは、プライオリティが施行されている際に選手が着用しているゼッケンカラーに対応したカラー表示システムを使って海の中にいる選手に優先順位を伝える。

- ⑥波に乗る、またはテイクオフするためのパドルングをして失敗した場合、直ちに持っている優先権を失う。
- ⑦プライオリティルールが施行されているヒートでは、選手自身が責任を背負ってシステムの表示及び状況を確認すること。
- ⑧プライオリティルールで生じた誤りによる問題は、ジャッジ委員長、ヘッドジャッジ、プライオリティジャッジの間で協議する。
- ⑨選手たちが同時にラインアップに到達するように見える場合には、そこにいたるまでに最後の優先順位を持っていなかった選手に与えられる。
- ⑩ヒートが終了した時点ですべての優先権が消滅する。
- ⑪ワンオンワンプライオリティルールを採用する試合に

おいては、マキシマムウェーブの上限は10本とする。

○プライオリティインターフェアレンスに関するペナルティ

- ①プライオリティインターフェアレンスをしたライディングは集計対象ウェーブからカットされます。また、その選手の得点はベスト2ウェーブから2番目のスコアを全てカットして集計されます。
- ②プライオリティが発生していない場合は従来のルールを適応し、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを1/2減点して集計される。
- ③同じヒートでインターフェアレンスを2回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければならない。

E 妨害に関するペナルティ

- ①インターフェアレンスの判断は、ヘッドジャッジを含めたそのヒートを担当するジャッジの大多数で決定されます。
- ②インターフェアレンスをしたライディングは集計対象ウェーブからカットされます。また、その選手の得点は、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを1/2減点して集計されます。(ノンプライオリティ)

- ※例外：インターフェアレンスをして、他に1本しかライディングしていない(そのヒートでインターフェアをしたライディングを含めて2本しか乗っていない)場合、その1本(その選手のベストウェーブ)のスコアを1/2減点して集計されます。
- ③妨害を受けた選手は定められた競技時間内であれば、マキシマムウェーブに追加してエクストラウェーブが与えられます。ただし、ダブルインターフェアレンスの場合を除きます。
 - ④同じヒートでインターフェアレンスを2回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければなりません。
- ※但し、エリアから離れない選手に対しては、競技規定第23条に基づきペナルティを与える。

F 妨害のルール

●ドロップイン妨害

その波の優先権がある選手に対し、他の選手はその選手と同じ波の前方でテイクオフし、進路を妨げてはいけません。

●スネーキング

テイクオフできる波のインサイドで、その波の優先権がある選手に対し、他の選手がその選手の後方でテイクオフすること。

1. テイクオフできる最もインサイドのポジションで、波の優先権を確立した選手にその波でのライディングを継続する権利があります。これは他の選手がより奥から続いてテイクオフした場合も変わることはありません。その場合、最初に優先権を得た選手が他の選手の前にいる時でも優先権があるため、妨害とはなりません。
2. 後からテイクオフした選手が優先権のある選手を妨害せずにライディングした場合は、妨害のペナルティは科さず、両方の選手のライディングについて得点を与えます。

●パドリング妨害

パドリングをしている選手は、同じ波のインサイドにいる選手を妨げてはいけません。また選手がゲティングアウト中に他の選手のライディングを妨げた場合、これが故意か否かは各ジャッジにより判断されます。

<パドリング妨害の事例>

1. 物理的接触

インサイドにいる選手がパドリングをしている最中に接触したとき。ただし、波の状況によって接触があってもインターフェアレンスにならない場合もあります(イープンシチュエーションでピークのない波の場合など)。

2. パドリングラインの変更

インサイドにいる選手の位置を変えさせたとき。

3. セクションのプレイキングダウン

インサイド側にいる選手の前で波を崩したとき。

4. 次のヒートの選手がゲティングアウト時に競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジは

その選手に妨害をコールする。

●ダブルインターフェアレンス

下記の場合、ジャッジはその状況を判断しダブルインターフェアレンスをコールする場合があります。

1. シングルピークでの同時テイクオフお互いに積極的に接触を回避しない場合。
2. マルチ・ピークブレイクでの同時テイクオフどちらにも優先権がない状況で互いに向き合って進み、積極的に接触を回避しない場合。
3. パドリング時の過度のハスリング

●マキシマムオーバー時に起こりうる妨害

マキシマムウェーブに達した選手は速やかに競技エリアから離れなければなりません。競技エリアに留まり下記行為を行った場合、ジャッジは妨害をコールします。

1. 明らかに他の選手の乗る波を奪った場合。
2. パドリングやポジショニングなどで他の選手のスコアリングポテンシャルを妨げた場合。

【各ブレイクによる基本的なノンプライオリティ妨害の事例】

a. シングルピーク

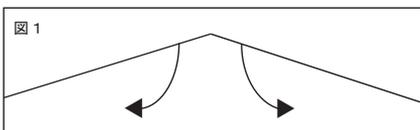


図1 (1)2人の選手が互いに反対方向へ進んだ場合は妨害とはなりません(図1)。

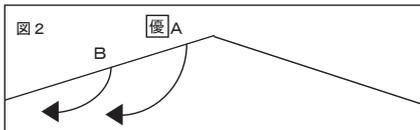


図2 (2)テイクオフの先、後にかかわらず波のインサイド側のA選手に優先権があります。ただしB選手がライディングを中止し、A選手のライディングに支障がなければ妨害とはなりません(図2)。

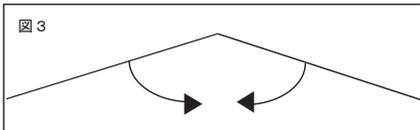


図3 (3)2人の選手が同時にテイクオフした場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手(危険回避行動の義務違反)は妨害となる場合があります(図3)。

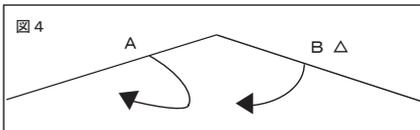


図4 (4)2人の選手が同時にテイクオフし、A選手はライディングを中止したが、B選手がA選手の方向にライディングを続行した場合、B選手は妨害となる場合があります(図4)。

b. ポイントブレイク

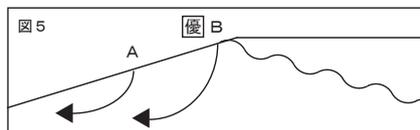


図5 波のインサイド側のB選手に優先権があり、A選手のライディングがB選手のライディングに支障があればA選手は妨害となる場合があります(図5)。

c. マルチ・ピークブレイク

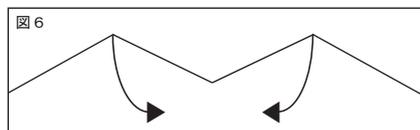


図6 (1)2つのピークのある波で、それぞれのピークから2人の選手がテイクオフし、互いの方向に向かって進んだ場合、先にテイクオフした選手が優先権を得ます。ただし、先にテイクオフした選手のライディングに支障がなければ妨害とはなりません(図6)。

(2)2人の選手が同時にテイクオフした場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手は妨害となる場合があります。ただし、双方の選手が接触を避ける為にライディングを中止した場合、どちらか一方あるいは双方がワイプアウトしても妨害とはなりません。

(3)2人の選手が同時にテイクオフした場合、A選手は接触を避ける為に真下に入ったのに対し、B選手がそのままライディングを続行した結果、ラインがクロスするかまたは接触があればB選手の妨害となる場合があります。

d. オープンブレイク

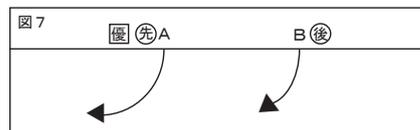


図7 波がライトカレフトかはっきりせずピークのない波の場合、先にテイクオフした選手が明確な進行方向へターンをした時点で優先権を得ます。同一方向へ2人の選手がテイクオフした場合、先に進行方向にターンしたA選手が優先権を得ます。B選手のライディングがA選手のライディングに支障があれば、B選手は妨害となる場合があります。また、2人の選手が同時にテイクオフし、互いに相手に向かって進んで行った場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手は妨害となる場合があります(図7)。



プライオリティルールを活かして戦略的に試合を運ぶ

プライオリティルールとは？

通常のサーフィンの試合では波の奥側を確保した選手にその波に乗る権利が与えられていますが、これに対して選手のポジションに関係なく、順番に波に乗る優先権を与えようというのがプライオリティルールです。このルールが適応されることで、選手同士の波の取り合いがなくなり、優先権を手に入れた選手は、自分の好きな波を、好きな場所からテイクオフでき、チャンスを最大限に活かして高ポイントを掴むこともできるのです。逆に優先順位を把握せずに波に乗ると高い優先順位を持っている選手に対する妨害とみなされ、ペナルティとしてポイントがカットされることがあります。選手はこのルールをよく理解し、ヒート中は他選手の動きと共に優先権の移動に注意することが必要です。



インターフェアレンスが勝敗の分け目になることもある

【プライオリティ妨害】

- 高い優先順位を持っている選手に対して妨害した場合、ベスト2ウェイブの2ndベストウェイブを全てカットされ、ベスト1ウェイブのみのカウントとなる(プライオリティインターフェアレンス)
- プライオリティを持たない選手同士および同等のプライオリティを持った選手同士で妨害が発生した場合、従来通りベスト2ウェイブの2ndベストウェイブが1/2となりカウントされる。(ノンプライオリティインターフェアレンス)
- 妨害された選手はヒート時間内にエクストラウェイブが与えられる。(マキシムウェイブの設定があるときに限る)
- ダブルインターフェアレンスの場合、エクストラウェイブは与えられない

4メンプライオリティシステムの一例

①ヒートスタート時

まだ誰もプライオリティを持っていないので、通常の4マンヒートと同じように選手は自由にパドルすることができます。この時点でプライオリティパネルは左記のようになっています。

×	×	×	×
1	2	3	4

②最初にレッドの選手が波をつかまえ、ライディングをしたとします。

レッドに4thプライオリティが与えられ、パネルはこのように変わります。(実際にはレッドがライディング後、沖のPTZへ戻った段階でプライオリティが与えられます) ホワイト、イエロー、ブルーの各選手は互いに優先権はありませんが、この3選手はレッドに対してだけ優先権を持っていて、この段階ではその優先権を失うことなく自由にパドルすることができます。

×	×	×	■
1	2	3	4

③次にホワイトの選手がテイクオフしたとします。

ホワイトがライディングしたので、ホワイトの選手に4番目の優先権が与えられ、そしてレッドの優先権は一つ上がり、3rdプライオリティに変わります。レッドはホワイトに対してだけ優先権を持っていますが、もしレッドがパドルして波に乗り損なうとホワイトと優先権が入れ替わり、4番目に落ちてしまうこととなります。この段階でもイエロー、ブルーの2選手は波をつかまえるため自由にパドルすることができます。そして2選手間では優先関係はありませんが、レッドとホワイトに対しては優先権を持っています。

×	×	■	□
1	2	3	4

④3番目にイエローの選手がテイクオフしたとします。

3番目の選手が波に乗った時点で、最後まで沖に残ったブルーの選手が自動的に1stプライオリティを得ることになります。パネルが左記のようになり、ここから正式な4メンプライオリティがスタートします。

■	■	□	■
1	2	3	4

自分のプライオリティを理解して試合運びを考える

【プライオリティ】

1	ヒート開始後、プライマリテイクオフゾーン (PTZ) に到着した時点では、プライオリティは発生しない。
2	PTZとは、波がブレイクするテイクオフゾーンであり、プライオリティジャッジが目視で確認し、設定される。一日を通して、潮の干満などにより、波がブレイクする場所が変化する場合は、状況に合わせて、プライオリティジャッジにより、PTZが移動される。
3	プライオリティジャッジは、プライオリティが施行されている間に、選手が着用しているゼッケンカラーに対応した、カラー表示システムを使って、海の中に居る選手に優先順位を示すよう、判定を行う。
4	ヒート開始後、誰もライディングを行っていない、プライオリティが発生していない状態(ノンプライオリティシチュエーション)の場合、従来のインターフェアレンスルールが適応される。
5	プライオリティルールが施行されている状況下では、選手自身が責任を持って、システムの表示、及び状況を確認する義務がある。
6	選手がライディング終了後、PTZに戻った順番で高い優先権が得られる。
7	プライオリティジャッジは、どの選手が先にPTZに戻ったのかを判断する。
8	二人の選手が同時にPTZに戻った場合、先にプライオリティを失った選手に上のプライオリティが与えられる。(先にテイクオフ又はライディングした場合)

※このプライオリティは、ISA RULE BOOK を抜粋して訳したものです。NSAの試合運営上で不足している部分があった場合、オリジナルのISA RULE BOOKを参照し、NSAルールに従い、プライオリティジャッジの見解によって判断されます。どのような状況においても、もしプライオリティシステムが機能していない事によって議論が起きた場合は、NSAルールに従い、ヘッドジャッジ、コンテストディレクターにより仲裁されます。

4メンプライオリティの基本ルール

ヒート開始後、ノンプライオリティシチュエーション時には従来通り波の進行方向に対してインサイドポジション(ピーク寄り)の選手に優先権が与えられる。その優先権を持つ選手がショルダー側にいる選手に対して故意に波に乗せないようにするためにパドルをし、波に乗せなかった場合「ブロッキング」とみなされ4thプライオリティとなる。

1st プライオリティを持った選手は他のすべての選手に対して優先権を持ちます。

2nd プライオリティを持った選手は3rd、4th プライオリティの選手に対して優先権を持ちます。

3rd プライオリティを持った選手は4th プライオリティの選手にだけ優先権を持ちます。

すべての選手は波に乗るためにパドルをしたり、テイクオフした時点で優先権が無くなります。

プライオリティを無くした選手は、沖のPTZに戻った時点で4th プライオリティを手に入れることができます。

ヒート開始前にテイクオフした選手は4th プライオリティが与えられます。

ヒート終了と同時にすべての選手は優先権を失います。

菊地 信次	高瀬 俊明	林 啓美	荒井 信好	小野 貴史	佐藤 秀男	館 亜矢美	樋口 一馬
岸野 佐知子	高瀬 嘉則	原田 義隆	新井 将和	小野田 政宏	真田 昌彦	立石 毅	七海 裕子
貴志 昌生	高橋 麻子	原 雅毅	新川 正治	か	佐野 十志哉	田中 順子	平川 義宏
氣仙 大樹	高橋 康国	平田 栄治	荒木 諭	河西 孝	志手 貴典	田中 利明	平野 暁
北川 裕輔	高場 大亮	廣内 祐介	杏岐 聡美	勝連 邦雄	四戸 達訓	田中 直也	平山 直人
北村 健一	瀧口 孝平	福世 一市	池田 泰平	加藤 真弓	柴田 優拓	田中 英男	深井 隆史
鬼頭 達也	滝口 英顕	藤島 宏幸	池田 弘	金子 智一	柴田 学	田辺 絵里葉	福澤 拓磨
木村 圭佑	滝沢 勝見	藤原 奈奈子	石井 忠宏	金子 有一	渋谷 真紀子	谷 健太郎	福田 京平
工藤 俊勝	瀧澤 圭司	船橋 信昭	石井 秀明	河邊 伸二	島田 稔也	谷 昌樹	福田 昌弘
郡司 路也	田口 和哉	ま	石川 潤一	神谷 真理子	島田 伸一	地原 誠	福田 まゆみ
小城 芳江	武田 哲也	牧尾 淳	和泉 博己	河合 雅人	島村 重徳	千葉 瑠美子	富士田 善之
後藤 英正	多田 憲由	牧野 直	井芹 謙勝	河合 隆宏	清水 智子	塚本 なおみ	藤原 智貴
小林 敏博	多々良 剛	増田 章司	出井 歩	川口 一樹	珠久 真純	槻木 香	舟部 賢一
小林 正樹	館上 典寛	松浦 巧樹	伊東 勝彦	川瀬 文也	珠久 泰樹	辻 範也	平藤 賢治
小林 真由美	立山 晃一	松尾 英次	伊藤 健一郎	河野 達也	白川 真	弦田 勢	星 智
小山 哲治	田中 大輔	松岡 英行	伊藤 秀幸	川辺 浩	白岩 智広	出口 忠生	星 青児
五来 潤	谷本 国弘	松岡 宏信	井上 淳	川村 幸信	白水 義人	寺田 隆夫	細川 博之
紺野 紀義	種谷 涉	松岡 隆司	今川 彰	木内 秀明	新川 健二	時吉 聡子	堀井 哲
さ	田原 貞博	松永 直美	今野 友香子	菊田 淳一	菅原 利美	富岡 展央	本間 格
七種 和彦	玉手 博之	三浦 美友紀	Wu Chia Ju	菊田 雅彦	杉澤 嘉洋	富澤 進	本間 元
斎藤 新一	田村 聡美	水野 広二	上野 譲二	木太久 要	杉村 涼子	雷永 祥太	ま
齊藤 裕	田村 智和	溝上 晋三	上野 丈二	木村 尚希	杉本 裕樹	豊田 力	増岡 政彦
酒井 佳苗	塚本 久美子	溝田 幸作	上原 健太郎	木村 愛美	杉本 浩	な	益田 和俊
坂田 淳司	土屋 治雄	三井 清美	内田 由紀子	清川 太郎	杉本 昌満	長岡 新一郎	増淵 貴志
坂本 一実	釣田 克則	南出 繁郎	宇野 雅之	国広 計年	杉山 経太	中里 美和	増山 茂一
坂本 博之	出川 郁雄	宮沢 恵美	宇野 誠則	久保木 克也	杉山 圭子	中里 義雄	松浦 美沙
櫻井 亮太	遠山 智喜	宮下 桂	宇野山 達也	久保 憲司	杉山 雅紀	長沢 依子	松下 和徳
佐藤 晃子	遠山 唯	向井 徹	梅津 直貴	窪田 成	鈴木 衛司	中島 大吾郎	松本 学
佐藤 亜海	時田 一央	森 匠平	浦野 秀隼	熊谷 聡朝	鈴木 一也	中島 健	松本 貴志
佐藤 公一	年永 賢司	森 珠実	瓜生 隆太郎	工門 真二郎	鈴木 敏幸	中島 幸乃	松本 望希
佐藤 信行	友重 達郎	森 泰人	榎戸 崇人	栗田 勝弘	鈴木 直子	中新 茂	松本 雄一
佐藤 裕之	豊島 博基	森谷 健一	江端 幸男	栗田 早苗	鈴木 寛之	中田 大	松本 良洋
佐藤 満	な	や	恵本 真也	栗田 成実	鈴木 文男	中津川 雄一	三浦 勝己
佐藤 康成	猶原 拓也	矢吹 和明	遠藤 清治	栗原 一明	鈴木 賢一	中根 佑介	三浦 史博
佐藤 義美	中井 敏也	山岸 秀彰	遠藤 司	栗本 和宏	瀬川 美枝子	中野 宏己	三木 剛彦
佐野 泰弘	永井 恵	山口 靖	及川 貴史	黒川 豪	関口 治彦	仲野 芳孝	右松 義康
三中西 聡	永江 亨	山崎 雄仁	大石 悟嗣	黒宮 康志	関根 康丘	中畑 貴博	水澤 雅人
島津 一美	中川 晃一	山田 尚子	大木 幸子	小袖 伸也	関 宏	長浜谷 力丸	水谷 浩市
志村 実	長嶋 徹	山中 守	大沢 一喜	後藤 敏裕	草原 美紀	中村 貴光	水元 勇樹
下田 泰成	長濱 健治	山元 智博	大塚 健司	小林 奈美	染谷 竜一	中村 直樹	道倉 昭敏
十文字 智恵	中原 彰二	吉田 昭	大月 久	小林 涉	た	中森 和美	三石 京
白井 豪	中溝 朋延	吉田 憲正	大島 正彦	小柳 伸一	高井 亜矢子	中山 英樹	三井 輝彦
新屋 明宏	中村 志保	吉永 充甫	大山 弘晃	是永 妙香	高木 亜希子	新谷 信行	宮阪 晴夫
菅原 勇一	中村 康宏	芳村 美香	岡 邦宏	さ	高杉 秀樹	西村 博之	宮崎 有一
杉村 竜一	夏目 崇史	米山 実乗	小笠原 早苗	齋藤 史朗	高野 和男	西本 裕美	宮沢 晴久
須郷 武史	名取 剛	わ	緒方 申八	齋藤 智	高野 親一	布目 純	宮下 賢治
鈴木 敦	名波 茜	若杉 和将	岡田 浩司	斉藤 房子	高橋 健太	野澤 幸太	宮島 良太
鈴木 一隆	縄田 英樹	若松 成樹	岡田 伸雄	斉藤 麻貴	高橋 哲	は	宮本 俊夫
鈴木 和由	西川 貴宏	渡辺 和也	岡野 克彦	酒井 勝也	高橋 誠	萩原 かおり	村上 悠紀
鈴木 太一	西川 まな美	渡辺 真通	岡安 淳	坂本 彰	高松 登志男	橋本 元気	村田 義篤
鈴木 孝宏	西澤 慎也	薬科 剛	小川 武秀	坂本 久美	田川 剛	橋本 英宏	持井 勝
鈴木 智哉	西田 好潔	C級	小川 征男	佐久間 由佳	瀧野 岳	畑中 孝昭	森田 光明
鈴木 秀雄	西村 明	あ	沖本 潤	佐々木 憲司	田口 秀樹	秦野 尚之	森 正利
須藤 浩二	は	青柳 剛基	荻原 弘章	佐々木 健浩	田口 美加	濱野 義仁	諸星 輝光
瀬川 俊輔	橋本 淑希	浅野 豊喜	小黒 操	佐々木 正人	竹内 弘之	林 昭男	や
関口 嘉雄	長谷山 裕明	安達 新一郎	小崎 宗大	佐々木 美菜子	竹内 洋輔	林 淳一	八島 淳
染川 廣	馬場 直	阿部 三緒里	尾崎 賢	佐々木 律子	武田 晃	林 俊行	安井 祐介
た	浜口 伸晃	安部 互	小澤 隆幸	佐藤 修	武知 虎南	原田 尚一	山岡 剛久
多賀 勝宏	濱野 良		小嶋 啓之	佐藤 伸哉	武山 靖	比嘉 恵美子	山賀 幸一郎

山岸 邦司
山口 友香
山坂 信尚
山崎 邦弘
山崎 智恵美
山崎 朋哉
山崎 秀幸
山田 信
山田 智子
山中 海翔
山本 真来央
山本 重一
横田 衛
吉田 勝利
吉田 健太郎
吉田 英樹
吉田 幸弘
吉田 芳隆
米田 彰博
わ
若林 隆幸
和田 尚記
渡辺 陽子

D級

あ

会田 和希
相田 伸平
青木 航洋
青木 大幸
青木 潤也
青木 末利
青田 秀人
青柳 和宏
赤井 道信
赤堀 温知
秋田 憲幸
秋山 弘之
浅井 政吉
阿部 広行
阿部 道
阿部 徹
阿部 博敏
新井 勇
荒井 正義
有村 洋伸
安地 正人
安藤 勝教
飯高 大輔
飯田 亘
家竹 貴士
井川 洋平
井口 晃一
池田 直樹
池ノ谷 亨
石川 達雄
石川 真利佳
石田 昌彦
石田 佳央

石橋 克弘
泉谷 幸子
伊勢 久乃
磯 明男
磯崎 直子
一ノ瀬 さゆり
市村 沙友理
一楽 弘徳
伊藤 愛
伊東 和幸
伊藤 哲朗
伊藤 雅基
伊藤 悠貴
伊藤 陽介
糸川 友規
稲葉 進
稲村 亜紀
井上 泰典
庵原 美穂
今井 康平
今井 宏樹
今給黎 政幸
井本 勝也
岩田 正義
岩本 雄基
岩本 龍太
上田 真司
上野 貴雄
宇田 大地
内田 亮次
浦谷 秀彦
榎戸 輝
江野澤 剛
遠藤 佳子
大賀 義昭
大川 浩一
大久保 暁子
大沢 康
太田 健一
太田 修
大槻 文彦
大西 麻美
大庭 哲浩
大貫 誠一
大野 晴英
大野 和也
大平 新
大淵 義洋
大森 輝明
岡崎 大悟
小笠原 貢
岡田 哲章
岡田 洋樹
岡田 馨太郎
尾形 昌義
岡林 良太
岡部 文大
岡本 奈緒子
興津 誠

荻野 今日子
荻野 勉
奥永 浩仁
小林 浩一郎
小嶋 海生
小嶋 翼
小高 洋平
小幡 直矢
か
甲斐 公祐
垣田 哲也
鍵山 伸宏
梶岡 博樹
加島 依久子
加藤 崇士
加藤 匠
加藤 昌也
香取 修一
金井 敏通
金子 可住子
金子 智佳
金子 久男
金子 雄哉
金子 大輔
金田 裕子
兼松 稔
鎌田 出
神谷 高志
亀井 裕之
亀山 仁
川合 昌司
河相 安彦
川崎 吉浩
川戸 正浩
川畑 衛
川原 弘子
河本 政男
木川 一輝
菊地 一乃
菊地 大輔
菊地 泰博
北田 隆大
喜田 裕二
木内 美和
木下 正樹
久木山 泰
鯨岡 誠
楠山 憲道
工藤 善市
久野 孝
久保田 晃弘
久保田 栄
熊倉 一真
栗原 崇
栗本 裕史
黒川 二三子
小池 康之
後石原 靖
小浦 修

郡山 馨
古賀 義孝
後藤 毅
五島 牧子
小林 功
小林 章子
小林 徹
小林 理砂
小濑 佳奈
小松 由起子
小松 菜美子
小水内 健
五領田 稔
近藤 義忠
さ
斎藤 秀彦
坂上 周一朗
榊原 史也
坂田 信之
阪田 晴夫
坂森 健一
佐川 美幸
櫻田 友明
佐古 高晴
佐々木 茜
佐々木 豊
佐々木 康太
佐々木 成輝
佐々木 英之
佐々木 康直
指原 裕也
佐多 澄久
佐藤 綾乃
佐藤 秀貴
佐藤 真紀子
佐藤 亜矢子
佐藤 健人
佐藤 哲弥
佐藤 久展
佐藤 正麗穂
眞田 久美子
眞田 美聖
澤田 陽子
椎名 真己
志田 雄也
篠木 美德
柴谷 大介
清水 裕之
下田 秀一
社本 博行
荘司 尚美
庄司 隆晴
白石 亘
白岩 正行
進士 吉廣
菅崎 銅一
菅谷 洋
杉野 裕雄
鈴木 うるる

鈴木 圭介
鈴木 秀紀
鈴木 裕美
鈴木 祐介
鈴木 国雄
鈴木 久恵
鈴木 秀和
砂地 祐哉
諏訪 優輝
清宮 麻紀
関口 真央
曾根 敬一郎
た
高木 良樹
多賀 健司
高津 一利
高野 峻弘
高橋 博規
高橋 郁也
高橋 平
高橋 俊雄
高見 智也
田上 さくら
高山 佳大
瀧沢 智司
田口 康平
武石 優子
武石 泰幸
武田 芳実
武田 訓明
武田 まゆみ
竹原 由佳
宮崎 友祈子
立花 正憲
辰巳 典夫
立野 幹夫
田中 千春
田中 真
田中 勇吉
田中 京子
田中 浩司
田中 大介
田中 宏昌
田中 政広
田中 瑞木
田中 弥寿雄
田辺 祐二
谷井 大文
玉山 聖将
田村 和巳
田村 健二
田村 亮
千野 高夫
千葉 隆生
千葉 拓磨
鎌田 和仁
柄本 海
塚本 竹美
塚本 真佐樹

塚本 泰彦
辻郷 忠
土屋 直子
都築 岳真
津守 志奈
鶴島 正明
寺嶋 一成
照島 伸康
道幸 もも
東坂 亮佑
鶴田 祐一
十倉 圭太
戸田 成美
富田 直
富田 肇
友田 裕也
豊島 大樹
な
中岡 美賀
長澤 祐也
長澤 恵一
中島 巧
中西 進一
長沼 智史
中野 充孝
長浜 聡
中村 堅
中村 顕治
中村 純
中村 俊幸
仲本 隆
中山 智資
中山 貴浩
永山 定利
新館 力
新谷 信之介
西 良知
西岡 輝浩
西口 京佑
西留 裕司
西村 優花
西山 麻依子
野上 夏美
野林 大祐
能村 一憲
萩本 匡洋
は
橋本 海
長谷川 良治
馬場 春樹
濱口 玲
浜瀬 海
濱田 貴志
早川 美広
林 高弘
原沢 中

原田 栄一
原田 定宣
春田 浩司
春山 朗
半沢 惇
坂東 智信
樋川 健次
平泉 泰昭
平井 由紀子
平岡 恵利
平尾 哲明
平野 海童
平野 公彦
平野 智香
平野 勝也
平山 栄典
廣岡 隆幸
広瀬 正雄
深澤 孝博
深澤 智子
福田 空
福田 正樹
藤島 俊徳
藤田 健輔
藤田 祥輝
船越 涼太
古屋 俊一
平口 太一
別所 崇則
祝田 健一
堀井 創
堀川 友恵
ま
前島 茂雄
榎木 竜二
増川 達也
間杉 沙織
増田 大樹
松井 貴寛
松木 祐二
坪田 千里
松田 哲矢
松野 真一
松本 裕史
三浦 海斗
水口 有
水野 恵一
緑川 正章
峯 勝彦
宮 豊和
宮内 健次
宮川 一寿
宮川 英士
宮田 昌祢
宮地 悟郎

宮本 統雄
三好 全
向 勇太
村上 巧
村上 亜希子
森 香織
森重 輝隆
森島 健一
森 宣仁
請岡 亮
や
矢賀 健一
安田 佳奈子
安田 尚史
安田 誠
安田 瑞穂
藪野 孝浩
山内 健次
山崎 一樹
山崎 三郎
山崎 将嗣
山崎 美穂
山崎 協
山崎 大蔵
山下 剛
山下 智弘
山下 裕紀子
山田 圭子
山田 健一
山中海誠
山本 千代
山本 直人
山本 陽一
横澤 満樹夫
横田 昌之
横山 光晴
吉岡 奈美
吉川 萌
吉澤 めぐみ
吉田 泰
吉田 勝幸
吉田 淳也
吉留 拓磨
与那覇 裕康
米田 達司
わ
脇阪 義博
脇園 左執
脇園 僚人
脇山 通彦
植田 正道
渡邊 岳
渡邊 義久
渡邊 一洋
渡邊 大介
渡邊 智行

※公認ジャッジの皆様におかれましては、ご自身のNSAマイページで、お持ちの資格をご確認ください。(認定No.・有効期限)

コンテスト・アーカイブ

錚々たる名サーファーが名を連ねる、過去の主催大会結果

1966年から半世紀にわたり開催される伝統の全日本サーフィン選手権大会から国際派遣大会まで、日本サーフィン連盟の歴史を語る過去の主催大会の結果。誇り高き勇者たちの軌跡。

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 大会結果(2007～2019年)

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2019	
日時:令和元年11月16日(土)・17日(日)	
会場:茨城県日立市河原子北浜海岸	
出場選手合計:268名	
ジュニアオープン	安室弦
メンズオープン	藤沼佳太郎
マスタースオープン	鈴木重紀
ウィメンズオープン	宮城有沙
ロングボードメンズオープン	富永祥太
ロングボードウィメン	唐木麻貴
ボディボードメンズ	榎戸崇人
ボディボードウィメン	田村則子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2016	
日時:平成28年10月29日(土)～10月30日(日)	
会場:静岡県下田市白浜海岸	
出場選手合計:262名	
ジュニアオープン	大音澤太
メンズオープン	山本竜平
マスタースオープン	澤井基
ウィメンズオープン	加藤里菜
ロングボードメンズオープン	北村健一
ロングボードウィメン	前田沙紀
ボディボードメンズ	嵯岡拓斗
ボディボードウィメン	岡田吹羽子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2013	
日時:平成25年11月9日(土)～11月10日(日)	
会場:千葉県南房総市千倉海岸	
出場選手合計:207名	
ジュニアオープン	西修司
メンズオープン	松野陽斗
マスタースオープン	石田佳央
ウィメンズオープン	田代風沙
ロングボードメンズオープン	松澤秀人
ロングボードウィメン	岡澤紫穂
ボディボードメンズ	森川勝彦
ボディボードウィメン	相田桃

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2010	
日時:平成22年10月10日(日)～10月11日(月)	
会場:宮城県仙台市仙台新港	
出場選手合計:134名	
メンズオープン	大原洋人
ウィメンズオープン	村松爽香
ロングボードオープン	岡崎生水
ボディボードメンズ	糸総一郎
ボディボードウィメン	佐藤亜矢子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2007	
日時:平成19年11月17日(土)～11月18日(日)	
会場:福島県南相馬市北浜海岸	
出場選手合計:135名	
キッズ	大原洋人
メンズオープン	井上達貴
グランドマスター	平野武
ウィメン	金子藍
ロングボードメンズ	辻嶋司
ロングボードウィメン	広沢幸子
ボディボードメンズ	榎戸崇人
ボディボードウィメン	夾間康子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2018	
日時:平成30年10月27日(土)～10月28日(日)	
会場:宮城県宮崎市木崎浜海岸	
出場選手合計:220名	
ジュニアオープン	原田空雅
メンズオープン	武知虎南
マスタースオープン	井出牧雄
ウィメンズオープン	加藤里菜
ロングボードメンズオープン	市川貴大
ロングボードウィメン	川崎智子
ボディボードメンズ	榎戸崇人
ボディボードウィメン	山下海果

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2015	
日時:平成27年10月24日(土)～10月26日(日)	
会場:宮城県日向市お倉が浜海岸	
出場選手合計:226名	
ジュニアオープン	森友二
メンズオープン	山本竜平
マスタースオープン	猪又洋
ウィメンズオープン	鈴木姫七
ロングボードメンズオープン	上木達也
ロングボードウィメン	叶多和子
ボディボードメンズ	小松貴史
ボディボードウィメン	杉野胡桃

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2012	
日時:平成24年10月27日(土)～10月28日(日)	
会場:石川県羽咋市柴垣海岸	
出場選手合計:130名	
メンズオープン	村上舜
ウィメンズオープン	黒川日菜子
ロングボードメンズオープン	西崎公彦
ロングボードウィメン	叶多和子
ボディボードメンズ	秋山篤志
ボディボードウィメン	若林友恵

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2009	
日時:平成21年10月17日(土)～10月18日(日)	
会場:静岡県下田市白浜海岸	
出場選手合計:120名	
メンズオープン	新井洋人
ウィメン	大村奈央
ロングボードオープン	中山祐樹
ボディボードメンズ	榎戸崇人
ボディボードウィメン	鈴木彩加

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2008	
日時:平成20年11月15日(土)～11月16日(日)	
会場:静岡県下田市白浜海岸	
出場選手合計:122名	
メンズオープン	小嶋海生
ウィメン	大村奈央
ロングボードオープン	岡崎生水
ボディボードメンズ	榎戸崇人
ボディボードウィメン	永井那那

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2017	
日時:平成29年10月28日(土)～11月23日(祝)	
会場:高知県東洋町生見サーフィンビーチ	
出場選手合計:251名	
ジュニアオープン	小笠原由織
メンズオープン	古田龍之介
マスタースオープン	穴戸健太
ウィメンズオープン	中塩佳那
ロングボードメンズオープン	権守賢治
ロングボードウィメン	叶多和子
ボディボードメンズ	嵯岡拓斗
ボディボードウィメン	山下海果

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2014	
日時:平成26年10月25日(土)～10月26日(日)	
会場:宮城県仙台市仙台新港	
出場選手合計:189名	
ジュニアオープン	堀越力
メンズオープン	栗田海
マスタースオープン	菅谷洋
ウィメンズオープン	鈴木姫七
ロングボードメンズオープン	塚本将也
ロングボードウィメン	橋本梨花
ボディボードメンズ	多田憲由
ボディボードウィメン	相田桃

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2011	
日時:平成23年10月29日(土)～10月30日(日)	
会場:千葉県館山市平砂浦	
出場選手合計:137名	
メンズオープン	村上舜
ウィメンズオープン	岡本愛菜
ロングボードオープン	渡辺真通
ボディボードメンズ	糸総一郎
ボディボードウィメン	相田桃

全日本サーフィン選手権大会結果(1966～2022年)

*2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未開催

2022年度 第56回全日本サーフィン選手権大会			
日時:令和4年8月20日(土)～8月26日(金)			
会場:宮城県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計:1257名			
キッズ	宇野雅志	シニアウィメン	相原朝香
ボーイズ	宇仙太郎	ロングボードメンズ	土屋貴洋
ジュニア	小濃来波	ロングボードマスター	今泉正徳
メンズ	石川拳大	ボディボードウィメン	原田来愛
シニア	佐野由騎	ボディボードウィメン	榎戸崇人
マスター	崎村公彦	ボディボードウィメン	鶴澤白亜菜
グランドマスター	青山雄一	支部長クラス	一染弘徳
カフナ	平野太郎	ロイヤル	森園茂生
ガールズ	鈴木莉珠	ハドルリラー	徳島支部
ウィメン	芳田花畑	団体戦	宮崎支部

2018年度 第53回全日本サーフィン選手権大会			
日時:平成30年8月20日(月)～8月25日(土) 予備日26日(日)			
会場:三重県志摩市国府の浜海岸 出場選手合計:1030名			
キッズ	松永健新	シニアウィメン	前田きみか
ボーイズ	金沢昌偉	ロングボードメンズ	山下泰成
ジュニア	岡村晃友	ロングボードマスター	山崎市朗
メンズ	石川拳大	ボディボードウィメン	松下歩
シニア	佐野由騎	ボディボードメンズ	榎戸崇人
マスター	崎村公彦	ボディボードウィメン	山下海果
グランドマスター	豊田泰史	支部長クラス	森宣仁
カフナ	市川聡	ロイヤル	三石省賢
ガールズ	中塩佳那	ハドルリラー	湘南藤沢支部
ウィメン	伊藤ななみ	団体戦	三重支部

2015年度 第50回全日本サーフィン選手権大会			
日時:平成27年8月25日(火)～8月30日(日)			
会場:千葉県いすみ市～長生郡一宮町 釣ヶ崎海岸(志田) 出場選手合計:982名			
キッズ	小嶋歩夢	シニアウィメン	金井すみえ
ボーイズ	藤沼佳太郎	ロングボードメンズ	西崎公彦
ジュニア	田中大貴	ロングボードマスター	塚本真佐樹
メンズ	石川拳大	ボディボードウィメン	塚本友子
シニア	戸村孝幸	ボディボードウィメン	森川勝彦
マスター	青山雄一	ボディボードウィメン	相田桃
グランドマスター	高橋正人	支部長クラス	渡邊友輝
カフナ	三橋一夫	ロイヤル	岡野孝親
ガールズ	鈴木姫七	ハドルリラー	湘南茅ヶ崎支部
ウィメン	菜花つばさ	団体戦	宮崎支部

2021年度 第55回全日本サーフィン選手権大会			
日時:令和3年10月9日(土)～10月15日(金)			
会場:福島県南相馬市北浜海岸 出場選手合計:1083名			
キッズ	高井汰朗	シニアウィメン	清水亜希子
ボーイズ	渡邊孝孔	ロングボードメンズ	武川慎
ジュニア	鈴木一歩	ロングボードマスター	久保博泰
メンズ	石川拳大	ボディボードウィメン	田原あいら
シニア	中村光喜	ボディボードメンズ	佐藤海斗
マスター	青山雄一	ボディボードウィメン	我孫子 咲良
グランドマスター	坂本應尚	支部長クラス	田村隆之
カフナ	高橋 誠	ロイヤル	鈴木孝史
ガールズ	中塩佳那	ハドルリラー	未開催
ウィメン	芳田花畑	団体戦	千葉県東洋町支部

2017年度 第52回全日本サーフィン選手権大会			
日時:平成29年8月23日(火)～8月28日(日)			
会場:静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計:929名			
キッズ	渡邊孝孔	シニアウィメン	北川幸
ボーイズ	長谷川 颯汰	ロングボードメンズ	神田誠
ジュニア	三輪誠也	ロングボードマスター	伊藤雅雄
メンズ	小川葉良	ボディボードウィメン	山本志延
シニア	渡邊圭	ボディボードメンズ	加藤優来
マスター	宗政利夫	ボディボードウィメン	山下海果
グランドマスター	坂本應尚	支部長クラス	高橋雄治
カフナ	広原一樹	ロイヤル	鈴木正
ガールズ	中塩佳那	ハドルリラー	千葉東支部
ウィメン	山田麻由美	団体戦	湘南藤沢支部

2014年度 第49回全日本サーフィン選手権大会			
日時:平成26年8月26日(火)～8月30日(日)			
会場:宮城県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計:896名			
キッズ	平原颯馬	シニアウィメン	清水亜希子
ボーイズ	田中大貴	ロングボードメンズ	米本好希
ジュニア	西口京佑	ロングボードマスター	中田嘉直
メンズ	塚本勇太	ボディボードウィメン	塚本梨花
シニア	石川貴一郎	ボディボードメンズ	柳澤憲治
マスター	和田英明	ボディボードウィメン	岡澤紫穂
グランドマスター	三輪真一	支部長クラス	小野誠
カフナ	三橋一夫	ロイヤル	三石省賢
ガールズ	黒川日菜子	ハドルリラー	湘南藤沢支部
ウィメン	北郷夕翔	団体戦	千葉東

2019年度 第54回全日本サーフィン選手権大会			
日時:令和元年8月19日(月)～8月24日(土) 予備日25日(日)			
会場:高知県東洋町生見サーフィンビーチ 出場選手合計:1156名			
キッズ	足立海世	シニアウィメン	大江なぎさ
ボーイズ	堀越類	ロングボードメンズ	武川慎
ジュニア	大場玲蓮	ロングボードマスター	柳沢裕次
メンズ	藤沼佳太郎	ボディボードウィメン	木太久亜子
シニア	鈴木貴	ボディボードメンズ	榎戸崇人
マスター	磯部康典	ボディボードウィメン	廣小春
グランドマスター	坂本應尚	支部長クラス	高橋雄治
カフナ	久野孝	ロイヤル	武知和一
ガールズ	中塩佳那	ハドルリラー	湘南藤沢支部
ウィメン	小林麻衣子	団体戦	湘南茅ヶ崎支部

2016年度 第51回全日本サーフィン選手権大会			
日時:平成28年8月23日(火)～8月28日(日)			
会場:愛知県田原市赤羽根町大石海岸 其他 出場選手合計:921名			
キッズ	加藤翔平	シニアウィメン	北川幸
ボーイズ	大音澤太	ロングボードメンズ	山本誠徳
ジュニア	加藤優典	ロングボードマスター	塚本真佐樹
メンズ	高橋大道	ボディボードウィメン	堀越優希
シニア	馬嶋浩文	ボディボードメンズ	森川勝彦
マスター	澤井基	ボディボードウィメン	山下海果
グランドマスター	坂本應尚	支部長クラス	小野誠
カフナ	高橋一夫	ロイヤル	三股信夫
ガールズ	松田詩野	ハドルリラー	千葉東支部
ウィメン	加藤志穂里	団体戦	千葉東支部

2013年度 第48回全日本サーフィン選手権大会			
日時:平成25年8月21日(水)～8月25日(日)			
会場:高知県東洋町生見ビーチ 出場選手合計:938名			
キッズ	安室丈	シニアウィメン	清水亜希子
ボーイズ	西修司	ロングボードメンズ	西崎公彦
ジュニア	河谷佐佑	ロングボードマスター	鈴木弘章
メンズ	塚本勇太	ボディボードウィメン	岡澤紫穂
シニア	宗政利夫	ボディボードメンズ	滝元良太
マスター	坂本應尚	ボディボードウィメン	相田桃
グランドマスター	三輪真一	支部長クラス	渡邊友輝
カフナ	三橋敬一	ロイヤル	鈴木正
ガールズ	黒川日菜子	ハドルリラー	湘南藤沢支部
ウィメン	玉木アイ	団体戦	千葉東

2012年度 第47回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成24年8月22日(水)~8月26日(日)
会場:三重県志摩市国府の浜海岸 出場選手合計:894名

2011年度 第46回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成23年8月24日(水)~8月28日(日)
会場:宮城県日南市お倉ヶ浜海岸 出場選手合計:888名

2010年度 第45回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成22年8月25日(水)~8月29日(日)
会場:茨城県日立市河原子北浜海岸 出場選手合計:939名

2009年度 第44回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成21年8月26日(水)~8月30日(日)
会場:三重県志摩市国府の浜海岸 出場選手合計:884名

2008年度 第43回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成20年8月27日(水)~8月31日(日)
会場:福島県南相馬市北浜海岸 出場選手合計:876名

2007年度 第42回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成19年8月22日(水)~8月26日(日)
会場:東京都新島村シークレットポイント 出場選手合計:892名

2006年度 第41回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成18年9月28日(木)~10月1日(日)
会場:宮城県日南市お倉ヶ浜海岸 出場選手合計:405名

2005年度 第40回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成17年9月28日(水)~10月1日(土)
会場:神奈川県藤沢市鶴沼海岸 出場選手合計:388名

2004年度 第39回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成16年10月13日(水)~10月16日(土)
会場:福島県原町市北浜海岸 出場選手合計:391名

2003年度 第38回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成15年10月31日(金)~11月4日(火)
会場:鳥根県浜田市国府海岸 出場選手合計:361名

2002年度 第37回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成14年10月17日(木)~10月20日(日)
会場:東京都新島村羽伏浦海岸

2001年度 第36回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成13年10月5日(金)~10月8日(月)
会場:静岡県榛原町静波海岸

2000年度 第35回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成12年8月23日(水)~8月27日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町東浜海岸

1999年度 第34回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成11年8月25日(水)~8月29日(日)
会場:高知県東洋町生見海岸

1998年度 第33回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成10年8月26日(水)~8月30日(日)
会場:東京都新島村羽伏浦海岸

1997年度 第32回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成9年8月27日(水)~8月31日(日)
会場:静岡県榛原町静波海岸

1995年度 第30回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成7年8月21日(月)~8月27日(日)
会場:千葉県一宮町一宮海岸

1994年度 第29回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成6年8月24日(水)~8月28日(日)
会場:東京都新島村羽伏浦海岸

1993年度 第28回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成5年8月25日(水)~8月29日(日)
会場:千葉県一宮町一宮海岸

1992年度 第27回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成4年8月26日(水)~8月30日(日)
会場:静岡県榛原町静波海岸

1991年度 第26回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成3年8月21日(水)~8月25日(日)
会場:東京都新島村羽伏浦海岸

1990年度 第25回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成2年8月22日(水)~8月25日(土)
会場:東京都新島村羽伏浦海岸

1989年度 第24回全日本サーフィン選手権大会
日時:平成元年8月23日(水)~8月26日(土)
会場:宮城県宮崎市木崎浜海岸

1988年度 第23回全日本サーフィン選手権大会
日時:昭和63年8月24日(水)~8月27日(土)
会場:東京都新島村羽伏浦海岸

1987年度 第22回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和62年8月26日(水)~8月30日(日)
会場: 静岡県浜松市舞阪海岸

1982年度 第17回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和57年8月26日(木)~8月29日(日)
会場: 千葉県鴨川市鴨川海岸

1974年度 第9回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和49年9月15日(日)~9月16日(月)
会場: 静岡県御前崎市御前崎海岸

1986年度 第21回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和61年8月20日(水)~8月24日(日)
会場: 福島県鹿島町石田浜海岸

1981年度 第16回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和56年9月12日(土)~9月15日(火)
会場: 三重県阿児町国府ノ浜海岸

1973年度 第8回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和48年8月15日(水)~8月19日(日)
会場: 千葉県銚子市君ヶ浜海岸

1985年度 第20回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和60年8月21日(水)~8月25日(日)
会場: 東京都新島村羽伏浦海岸

1980年度 第15回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和55年9月12日(金)~9月15日(月)
会場: 静岡県下田市白浜海岸

1972年度 第7回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和47年8月13日(日)~8月15日(火)
会場: 茨城県日立市河原子海岸

1984年度 第19回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和59年8月23日(木)~8月26日(日)
会場: 高知県東洋町生見海岸

1979年度 第14回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和54年8月17日(金)~8月19日(日)
会場: 静岡県相良町相良海岸

1971年度 第6回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和46年8月15日(日)~8月16日(月)
会場: 愛知県瀬西市赤羽根海岸

1983年度 第18回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和58年8月25日(木)~8月28日(日)
会場: 茨城県那珂市阿字ヶ浦海岸

1978年度 第13回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和53年9月15日(金)~9月17日(日)
会場: 千葉県勝浦市部原海岸

1970年度 第5回全日本サーフィン選手権大会
日時: 昭和45年8月22日(土)~8月23日(日)
会場: 東京都新島村羽伏浦海岸

全日本級別サーフィン選手権大会結果(1983~2022年)

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未開催

2022年度 第39回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 令和4年7月14日(木)~7月17日(日)
会場: 福島県南相馬市北哀海岸 出場選手合計: 625名

2018年度 第36回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成30年5月11日(金)~5月13日(日)
会場: 愛知県田原市赤羽根町大石海岸 他 出場選手合計: 402名

2014年度 第32回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成26年5月9日(金)~5月11日(日)
会場: 静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計: 479名

2021年度 第38回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 令和3年7月9日(金)~7月11日(日)
会場: 福島県いわき市四倉海岸 出場選手合計: 504名

2017年度 第35回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成29年5月12日(金)~5月14日(日)
会場: 千葉県いすみ市太東海岸 出場選手合計: 504名

2013年度 第31回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成25年5月24日(金)~5月26日(日)
会場: 千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸(志田下) 出場選手合計: 617名

2019年度 第37回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成31年4月19日(金)~4月21日(日)
会場: 千葉県鴨川市東条海岸(マルキポイント) 出場選手合計: 523名

2016年度 第34回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成28年5月20日(金)~5月22日(日)
会場: 静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計: 404名

2012年度 第30回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成24年5月18日(金)~5月20日(日)
会場: 宮城県南相馬市昭秀町海岸 出場選手合計: 258名

2015年度 第33回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成27年5月15日(金)~5月17日(日)
会場: 愛知県田原市赤羽根町大石海岸(クワビーチ) 出場選手合計: 505名

2011年度 第29回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成23年9月23日(金)~9月25日(日)
会場: 静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計: 405名

2010年度 第28回全日本級別サーフィン選手権大会
日時: 平成22年9月23日(金)~9月25日(日)
会場: 静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計: 405名

2010年度 第28回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成22年5月13日(木)～5月16日(日)
会場：静岡県浜松市中区中島海岸 出場選手合計：361名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 大森海夏人, ボディボードメン, 瀧場友子, etc.

2009年度 第27回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成21年4月24日(金)～4月27日(月)
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：227名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 加藤嵐, ボディボードメン, 大塚純, etc.

2008年度 第26回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成20年4月25日(金)～4月28日(月)
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：291名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 井上達貴, ボディボードメン, 中野宏昭, etc.

2007年度 第25回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成19年4月19日(木)～4月22日(日)
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：311名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 山田通明, ボディボードメン, 堀川彰, etc.

2006年度 第24回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成18年4月21日(金)～4月23日(日)
会場：鹿児島県南種子町竹崎海岸 出場選手合計：175名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 井出牧雄, ボディボードメン, 川名祐介, etc.

2005年度 第23回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成17年5月19日(木)～5月21日(土)
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：271名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 川越章吾, ボディボードメン, 榎戸崇人, etc.

2004年度 第22回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成16年4月30日(金)～5月2日(日)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：262名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 寺村智紀, ボディボードメン, 田中慎悟, etc.

2001年度 第19回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成13年4月27日(金)～4月29日(日)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：413名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 加藤孝紀, ボディボードメン, 名高佑樹, etc.

2000年度 第18回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成12年4月28日(金)～4月30日(日)
会場：鹿児島県南種子町竹崎海岸・鉄浜海岸 出場選手合計：281名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 田嶋鉄兵, ボディボードメン, 京谷雄策, etc.

1999年度 第17回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成11年5月1日(土)～5月3日(月)
会場：福島県鹿島町島浜海岸 出場選手合計：531名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 石川秀樹, ボディボードメン, 近藤義忠, etc.

1998年度 第16回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成10年4月25日(土)～4月27日(月)
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：604名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 佐々木宏, ボディボードメン, 滝沢典史, etc.

1997年度 第15回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成9年4月26日(土)～4月28日(月)
会場：秋田県西目町西目海岸 出場選手合計：262名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 石川秀樹, ボディボードメン, 高木啓一, etc.

1996年度 第14回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成8年4月27日(土)～4月29日(月)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：258名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 大野山雅, ボディボードメン, 高木聖臣, etc.

1995年度 第13回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成7年5月5日(金)～5月6日(土)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：319名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 大野修聖, ボディボードメン, 利川雅人, etc.

1992年度 第10回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成4年5月3日(日)～5月5日(火)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 小川啓, レディース, 蓮田泰子, etc.

1991年度 第9回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成3年5月18日(土)～5月19日(日)
会場：茨城県波崎町波崎海岸

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 小川啓, レディース, 安藤恵太, etc.

1990年度 第8回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成2年4月28日(土)～4月30日(月)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 塩坂信康, 4th, 松下泰紀, etc.

1989年度 第7回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：平成元年5月3日(水)～5月5日(金)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：360名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 進藤晃, レディース, 橋村聖明, etc.

1988年度 第6回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：昭和63年5月1日(日)～5月3日(火)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：450名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 小畑智昭, ボディボードAクラス, 杉野聖明, etc.

1987年度 第5回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：昭和62年5月3日(日)～5月5日(火)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：356名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 河野正和, 4th, 河村正美, etc.

1986年度 第4回全日本級別サーフィン選手権大会

日時：昭和61年4月26日(土)～4月28日(月)
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：255名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 工藤吉尚, 3rd, 渡辺正広, etc.

ジュニアオープンサーフィン選手権大会結果(1993～2021年)

2022年度 第30回ジュニアオープンサーフィン選手権大会

日時：令和4年4月16日(土)～4月17日(日)
会場：千葉県南房総市千倉海岸 出場選手合計：222名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 宮原雷斗, ベストライディング賞, 川瀬大(ガールズ), etc.

2021年度 第29回ジュニアオープンサーフィン選手権大会

日時：令和3年10月29日(金)～10月31日(日)
会場：茨城県日立市河原子北浜海岸 出場選手合計：222名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 高井達朗, ベストライディング賞, 遊里天(ボーイズ), etc.

2019年度 第27回ジュニアオープンサーフィン選手権大会

日時：令和元年6月14日(金)～6月16日(日)、22日(土)
会場：静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計：174名

Table with 4 columns: Rank, Name, Category, and Winner. Includes winners like 山本来夢, ベストライディング賞, 上山キアヌ里朱, etc.

2017年度 第25回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成29年6月16日(金)~16日(日)
会場:宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計:142名

2016年度 第24回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成28年6月17日(金)~17日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸 出場選手合計:138名

2015年度 第23回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成27年6月19日(金)~19日(日)
会場:静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計:154名

2014年度 第22回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成26年6月21日(土)~21日(日)
会場:静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計:153名

2013年度 第21回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成25年6月22日(土)~22日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:140名

2012年度 第20回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成24年6月23日(土)~23日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:124名

2011年度 第19回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成23年6月25日(土)~25日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:121名

2010年度 第18回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成22年7月18日(日)~18日(月)
会場:宮城県仙石沼子小泉海岸 出場選手合計:111名

マスターズオープンサーフィン選手権大会(2004~2022)

2022年度 第18回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:令和4年9月30日(金)~10月2日(日)
会場:静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計:284名

2021年度 第17回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:令和3年11月26日(金)~11月28日(日)
会場:高知県東洋町生見サーフビーチ 出場選手合計:184名

2020年度 第16回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:令和元年6月14日(金)~16日(日)、22日(土)
会場:静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計:225名

2019年度 第15回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成30年6月15日(金)~17日(日)
会場:千葉県南房総市千倉海岸 出場選手合計:183名

2018年度 第14回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成29年6月16日(金)~18日(日)
会場:宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計:137名

2017年度 第13回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成28年6月17日(金)~19日(日)
会場:宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計:120名

2016年度 第12回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成27年7月19日(土)~20日(日)
会場:茨城県日立市河原北浜海岸 出場選手合計:120名

2009年度 第17回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成21年7月19日(日)~20日(月)
会場:茨城県日立市河原北浜海岸 出場選手合計:120名

2008年度 第16回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成20年7月19日(土)~20日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:101名

2007年度 第15回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成19年7月28日(土)~29日(日)
会場:高知県四万十市平野海岸 出場選手合計:76名

2006年度 第14回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成18年4月1日(土)~2日(日)
会場:高知県四万十市平野海岸 出場選手合計:74名

2005年度 第13回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成17年4月2日(土)~3日(日)
会場:高知県中村市平野海岸 出場選手合計:55名

2004年度 第12回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成16年4月10日(土)~11日(日)
会場:静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計:83名

2003年度 第11回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成15年4月26日(土)~27日(日)
会場:高知県東洋町生見海岸 出場選手合計:45名

2002年度 第10回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成14年5月11日(土)~12日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町一宮海岸 出場選手合計:60名

2001年度 第9回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成13年5月26日(土)~27日(日)
会場:静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計:60名

2000年度 第8回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成12年5月27日(土)~28日(日)
会場:愛知県渥美郡赤羽根ロングビーチ・赤羽根ロコポイント

1999年度 第7回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成11年5月22日(土)~23日(日)
会場:千葉県和田町白浜海岸・千葉県神町浜海岸 出場選手合計:45名

1998年度 第6回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成10年6月13日(土)~14日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町東浪見海岸・太東海岸 出場選手合計:82名

1997年度 第5回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成9年5月25日(日)
会場:千葉県倉町千倉海岸

1996年度 第4回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成8年6月9日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町一宮海岸・東浪見海岸

1995年度 第3回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成7年5月21日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町一宮海岸

1994年度 第2回ジュニアオープンサーフィン選手権大会
日時:平成6年6月5日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸

2011年度 第8回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成23年6月25日(土)~26日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:156名

2010年度 第7回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成22年7月18日(日)~19日(月)
会場:宮城県仙石沼子小泉海岸 出場選手合計:75名

2009年度 第6回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成21年7月19日(日)~20日(月)
会場:茨城県日立市河原北浜海岸 出場選手合計:61名

2008年度 第5回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成20年7月19日(土)~20日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:63名

2007年度 第4回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成19年7月28日(土)~29日(日)
会場:高知県四万十市平野海岸 出場選手合計:31名

2006年度 第3回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成18年4月1日(土)~2日(日)
会場:高知県四万十市平野海岸 出場選手合計:14名

2005年度 第2回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成17年4月2日(土)~3日(日)
会場:高知県中村市平野海岸 出場選手合計:6名

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未開催
*のカテゴリはデモンストラレーション競技になります。

2016年度 第13回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成28年6月17日(金)~19日(日)
会場:千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸 出場選手合計:233名

2015年度 第12回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成27年6月19日(金)~21日(日)
会場:静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計:234名

2014年度 第11回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成26年6月21日(土)~22日(日)
会場:静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計230名

2013年度 第10回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成25年6月22日(土)~23日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:191名

2012年度 第9回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成24年6月23日(土)~24日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:166名

2011年度 第8回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成23年6月25日(土)~26日(日)
会場:静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計:156名

2010年度 第7回マスターズオープンサーフィン選手権大会
日時:平成22年7月18日(日)~19日(月)
会場:宮城県仙石沼子小泉海岸 出場選手合計:75名

シニアマスター
グランドマスター&カフナ
シニアウィメン
ロングボードマスター
ロングボードシニアマスター
ロングボードグランドマスター
ロングボードシニアウィメン
ベストライディング賞
敢闘賞

シニアマスター
グランドマスター&カフナ
シニアウィメン
ロングボードマスター
磐田市体育協会長賞

シニアマスター
グランドマスター
シニアウィメン
敢闘賞
磐田市体育協会長賞

東日本サーフィン選手権大会結果(1992～2006年)

2006年度 第15回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成18年8月24日(木)～8月27日(日)
 会場:宮城県名取市開上海岸 出場選手合計:645名

キッズ	大森海夏人	ロングボードマスター	安住真悦
ボーイズ	大橋浩人	ロングボードウィメン	古市陽子
ジュニア	高貴佑麻	ボディボードメン	榎戸輝
メン	早稲田暁生	ボディボードウィメン	佐藤亜矢子
シニア	菅谷洋	ベストライディング	大森海夏人
マスター	青山雄一	取調賞	佐藤亜矢子
グラッドマスター	坂本鷹尚	ベストジャッジ	宮本篤
ウィメン	橋本小百合	ハドルレース	湘南藤沢支部
ロングボードメン	辻嶋司		

2005年度 第14回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成17年8月24日(水)～8月27日(土) 予備日28日(日)
 会場:福島県原町市北泉海岸 出場選手合計:656名

ボーイズ	松岡慧斗	ロングボードウィメン	橋本小百合
ジュニア	黒沢賢一	ボディボードメン	榎戸崇人
メン	関田秀俊	ボディボードウィメン	岸里美
シニア	山田ユウジ	ベストライディング	松岡慧斗
マスター	磯部康典	取調賞	橋本小百合
グラッドマスター	松並和重	ベストジャッジ	小川文夫
ウィメン	熊澤友紀	ハドルレース	湘南藤沢支部
ロングボードメン	辻嶋司		

2004年度 第13回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成16年8月25日(水)～8月29日(日)、10月12日(火)
 会場:東京都新島村羽伏浦海岸、福島県原町市北泉海岸 出場選手合計:660名

ボーイズ	松岡慧斗	ウィメン	中村恵子
ジュニア	深川達哉	ロングボードメン	辻嶋司
メン	金田輝士	ロングボードウィメン	小野春美
シニア	村上英介	ボディボードメン	相原法央
マスター	伊東勝彦	ボディボードウィメン	塚本昌代
グラッドマスター	石籠賢一	ハドルレース	千葉東支部

2003年度 第12回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成15年8月20日(水)～8月23日(土)
 会場:東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計:646名

ボーイズ	中村昭太	ロングボード	鈴木剛
ジュニア	深川達哉	ボディボードメン	八手廻一
メン	清水慈	ボディボードウィメン	熊谷真由美
シニア	田村隆之	ベストライディング	深川達哉
マスター	磯部康典	取調賞	新井陽子
グラッドマスター	佐々木淳一	ベストジャッジ	岡島宏盛
ウィメン	新井陽子	ハドルレース	千葉東支部

2002年度 第11回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成14年8月23日(金)～8月27日(火)
 会場:東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計:701名

ボーイズ	大沢伸幸	ロングボード	堀野稔
ジュニア	小川幸男	ボディボードメン	八手廻一
メン	山本陽一	ボディボードウィメン	奥山千晶
シニア	加藤孝紀	ベストライディング	酒井正海
マスター	田村誠	取調賞	高橋誠
グラッドマスター	細井隆	ベストジャッジ	残間祥夫
ウィメン	志賀美千代	ハドルレース	千葉東支部

2001年度 第10回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成13年8月22日(水)～8月26日(日)
 会場:千葉県長生郡一宮町東浪見海岸 出場選手合計:700名

ボーイズ	深川達哉	ロングボード	尾頭信弘
ジュニア	酒井正海	ボディボードメン	京谷雄策
メン	飛田剛	ボディボードウィメン	山本由美
シニア	中嶋誠	ベストライディング	渡辺知
マスター	田村誠	取調賞	山本恭平
グラッドマスター	高梨一夫	ベストジャッジ	平本利明
ウィメン	岡部亜紀		

2000年度 第9回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成12年10月27日(金)～10月29日(日)
 会場:茨城県波崎町波崎海岸 出場選手合計:358名

ボーイズ	酒井正海	ロングボード	尾頭信弘
ジュニア	田中樹	ボディボードメン	山本雅春
メン・シニア	飛田剛	ボディボードウィメン	長沢佳代子
マスター	豊田泰史	ベストライディング	酒井正海
グラッドマスター	高梨一夫	取調賞	深川達哉
レディース	権田光世	ベストジャッジ	廣瀬雅也

1999年度 第8回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成11年10月22日(金)～10月24日(日)
 会場:宮城県七ヶ浜町昌浦浜海岸 出場選手合計:355名

ボーイズ	中浦重	ロングボード	杉浦重章
ジュニア	田中樹	ボディボードメン	清野浩之
メン・シニア	佐藤一徳	ボディボードウィメン	芝原美
マスター	高梨一夫	ベストライディング	中浦重
グラッドマスター	佐藤伸夫	取調賞	越後耕平
レディース	福谷周子	ベストジャッジ	安部長広

1998年度 第7回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成10年10月2日(金)～10月4日(日)
 会場:福島県いわき市豊間海岸 出場選手合計:352名

ボーイズ	田中樹	ロングボード	土屋昌平
ジュニア	小川和之	ボディボードメン	柴田泰之
メン・シニア	吉川共久	ボディボードウィメン	杉山玲子
マスター	権野睦彦	ベストライディング	小川和之
グラッドマスター	高橋誠	取調賞	渡辺学
レディース	福谷周子	ベストジャッジ	高岡好信

1997年度 第6回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成9年10月11日(土)～10月12日(日)
 会場:宮城県本吉郡小泉海岸

ボーイズ	進士剛光	ロングボード	足名昭浩
ジュニア	土屋元	ボディボードメン	久根崎修
メン・シニア	河野重寿	ボディボードウィメン	高橋直美
マスター	高橋誠	ベストライディング	小山光男
グラッドマスター	高梨一夫	ベストジャッジ	佐藤謙郎
レディース	石井啓子		

1996年度 第5回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成8年10月26日(土)～10月27日(日)
 会場:千葉県長生郡一宮町東浪見海岸 出場選手合計:170名

ボーイズ	渡辺将人	ロングボード	相良進
ジュニア	佐藤和也	ボディボードメン	柴田泰之
メン・シニア	加藤孝紀	ボディボードウィメン	長沢佳代子
マスター	高橋誠	ベストライディング	牧野俊介
グラッドマスター	高田賢示	ベストジャッジ	備前貴晶
レディース	高橋すみえ		

1995年度 第4回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成7年9月30日(土)～10月1日(日)
 会場:北海道恵山町の浜海岸 出場選手合計:170名

ボーイズ・ジュニア	吉井祐吾	ボディボードメン	高木聖岳
メン・シニア	市村清	ボディボードウィメン	小池葵
マスター・グラッドマスター	高橋誠	ベストライディング	市村清
レディース	佐々木真日	ベストジャッジ	田中敏之
ロングボード	高木聖岳		

1994年度 第3回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成6年10月29日(土)～10月30日(日)
 会場:宮城県亶理町荒浜海岸 出場選手合計:235名

ボーイズ・ジュニア	小野嘉夫	ロングボード	山崎市朗
メン・シニア	高梨一夫	ボディボードメン	友田晴司
マスター・グラッドマスター	高梨一夫	ボディボードウィメン	小池葵
レディース	杉田悦子	ベストライディング	佐藤和也

1993年度 第2回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成5年11月13日(土)～11月14日(日)
 会場:茨城県日立市河原子海岸 出場選手合計:235名

ボーイズ・ジュニア	小野嘉夫	ロングボード	宮内謙至
メン・シニア	市村清	ボディボードメン	野崎久司
マスター・グラッドマスター	清水裕之	ボディボードウィメン	小池葵
レディース	堀田和美		

1992年度 第1回東日本サーフィン選手権大会
 日時:平成4年11月22日(日)～11月23日(月)
 会場:千葉県鴨川市前原海岸 出場選手合計:361名

ボーイズ	大野修聖	グラッドマスター	福岡義一
ジュニア	桜井運弘	レディース	蓮田泰子
メン	市村清	ロングボード	宮内謙至
シニア	三輪真一	ボディボードメン	加藤康典
マスター	高橋誠	ボディボードウィメン	瀧沢和弥

西日本サーフィン選手権大会結果(1992～2006年)

2006年度 第18回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成18年8月24日(木)～8月27日(日)
 会場:静岡県御前崎市御前崎海岸 出場選手合計:408名

キッズ	仲村拓久未	ロングボードマスター	野田雅生
ボーイズ	田中海周	ロングボードウィメン	吉田このみ
ジュニア	栗須輝	ボディボードメン	櫻根進吾
メン	高木勇二	ボディボードウィメン	渡辺晴
シニア	相馬盛行	ベストライディング	小椋晴
マスター	大沼潤一	取調賞	安田玲香
グラッドマスター	久野孝	ベストジャッジ	高木好則
ウィメン	強力音乃	ハドルレース	徳島支部
ロングボードメン	那須憲治		

2005年度 第17回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成17年8月24日(水)～8月27日(土) 予備日28日(日)
 会場:高知県東洋町生見海岸 出場選手合計:419名

ボーイズ	田中海周	ロングボードウィメン	玉木里津子
ジュニア	小山渚	ボディボードメン	曾根進吾
メン	鈴木勝大	ボディボードウィメン	渡辺明
シニア	黒木雄一	ベストライディング	渡辺明
マスター	和田英明	取調賞	渡辺寛
グラッドマスター	B.Backland	ベストジャッジ	奈須信夫
ウィメン	増田弘美	ハドルレース	徳島支部
ロングボードメン	秋本祥平		

2004年度 第16回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成16年8月25日(水)～8月27日(金)
 会場:宮崎県宮崎市木崎浜海岸・青島海岸 出場選手合計:455名

ボーイズ	栗須輝	ロングボードメン	阿隈寛典
ジュニア	栗須聖	ボディボードメン	稲垣真木子
メン	切詰英利	ボディボードウィメン	小林経史
シニア	金指清尚	ボディボードウィメン	京谷佳奈
マスター	テビド・ハクト	ベストライディング	切詰英利
グラッドマスター	森泉徳彦	取調賞	押川美智子
ウィメン	松本裕子	ベストジャッジ	西川久美

2003年度 第15回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成15年8月21日(木)～8月24日(日)
 会場:静岡県相良町片浜海岸、御前崎御前崎海岸 出場選手合計:447名

ボーイズ	間屋口峻英	ロングボード	阿隈寛典
ジュニア	川越章吾	ボディボードメン	名高佑樹
メン	樋口賢	ボディボードウィメン	二宮千津
シニア	黒木雄一	ベストライディング	中田高直
マスター	中田高直	取調賞	平野武
グラッドマスター	三輪真一	ベストジャッジ	浅井賢治
ウィメン	松尾理咲	ハドルレース	鹿児島支部

2002年度 第14回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成14年8月24日(水)～8月27日(日)
 会場:高知県東洋町生見海岸 出場選手合計:464名

ボーイズ	林亨	ロングボード	鈴木康弘
ジュニア	塚山勇生	ボディボードメン	川越太一
メン	久木田亮太	ボディボードウィメン	高野進吾
シニア	上村徹	ベストライディング	上村徹
マスター	西川徹	取調賞	新居美保
グラッドマスター	瀧野水	ベストジャッジ	井本公文
ウィメン	萩原水紀	ハドルレース	鹿児島支部

2001年度 第13回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成13年8月23日(木)～8月26日(日)
 会場:愛知県赤羽根町赤羽根海岸 出場選手合計:499名

ボーイズ	栗栖聖	ロングボード	嘉良直三
ジュニア	林健太	ボディボードメン	柴田英人
メン	鈴木章浩	ボディボードウィメン	二宮千津
シニア	松下清	ベストライディング	林健太
マスター	飯田衆一	取調賞	浜国康
グラッドマスター	内藤直樹	ベストジャッジ	金森寛
ウィメン	川崎茜		

2000年度 第12回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成12年11月10日(金)～11月12日(日)
 会場:鳥根県浜田市国府海岸 出場選手合計:264名

ボーイズ	辻裕次郎	ロングボード	嘉良直三
ジュニア	林健太	ボディボードメン	池田雄一
メン	黒木雄一	ボディボードウィメン	一葉梨世
シニア	外立徹一郎	ベストライディング	黒木雄一
マスター	西川徹	取調賞	内藤直樹
グラッドマスター	新谷信行	ベストジャッジ	谷口比呂志
レディース	松本典子		

1999年度 第11回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成11年11月12日(金)～11月14日(日)
 会場:宮崎県日向市お倉ヶ浜海岸 出場選手合計:571名

ボーイズ	林健太	ロングボード	浦和直俊
ジュニア	森若太	ボディボードメン	宮脇賢行
メン	黒木雄一	ボディボードウィメン	夏井幸子
シニア	森見嶺	ベストライディング	森見嶺
マスター	B.Backland	取調賞	黒木秀幸
グラッドマスター	藤井辰緒	ベストジャッジ	廣田健志
レディース	岩田弘子		

1998年度 第10回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成10年10月9日(金)～10月11日(日)
 会場:三重県阿児町国府の浜海岸 出場選手合計:530名

ボーイズ	仲野仁人	ロングボード	藤井辰緒
ジュニア	森若太	ボディボードメン	池田雄一
メン	黒木雄一	ボディボードウィメン	梅田知智子
シニア	森見嶺	ベストライディング	森若太
マスター	塚本秀久	取調賞	川村昌久
グラッドマスター	内藤直樹	ベストジャッジ	松本公宏
レディース	杉浦麻里衣		

1997年度 第9回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成9年9月27日(土)～9月28日(日)
 会場:鹿児島県南種子町崎崎海岸

ボーイズ	仲野仁人	レディース	谷口絵里葉
ジュニア	甲斐俊作	ロングボード	板垣光雄
メン	三木正行	ボディボードメン	杉山展行
シニア	中田高直	ボディボードウィメン	甲斐貴美子
マスター	鈴木弘章	ベストライディング	中田高直
グラッドマスター	小林隆	ベストジャッジ	竹中省悟

1996年度 第8回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成8年10月26日(土)～10月27日(日)
 会場:高知県東洋町生見海岸

ボーイズ	森若太	レディース	松原靖子
ジュニア	甲斐公祐	ロングボード	内田周作
メン	西田弘人	ボディボードメン	辻誠志
シニア	東海二郎	ボディボードウィメン	北原美代
マスター	鈴木弘章	ベストライディング	西田弘人
グラッドマスター	内藤直樹	ベストジャッジ	仲野芳孝

1995年度 第7回西日本サーフィン選手権大会
 日時:平成7年10月14日(土)～10月15日(日)
 会場:宮崎県宮崎市木崎浜海岸

ボーイズ	川畑匠平	レディース	松原靖子
ジュニア	北岡光太郎	ロングボード	松本佳久
メン	氏原智一	ボディボードメン	豊川勝俊
シニア	青木茂広	ボディボードウィメン	関和枝
マスター	小林隆	ベストライディング	西田弘人
グラッドマスター	武知和一	ベストジャッジ	大沢裕子

1994年度 第6回西日本サーフィン選手権大会		
日時：平成6年11月12日(土)～11月13日(日)		
会場：鳥取県浜田市国府海岸 出場選手合計：310名		
ボーイズ	木村悠	鈴木多島
ジュニア	水元公志	明松輝社
メン	森晃三	平山理恵
シニア	テビド・ハウン	出水淳一
マスター	猪塚弘史	新居昌也
グランドマスター	内藤直樹	
レディース	谷口絵里菜	

1993年度 第5回西日本サーフィン選手権大会		
日時：平成5年11月13日(土)～11月14日(日)		
会場：鳥取県泊村石脇海岸 出場選手合計：258名		
ボーイズ	木村悠	内藤直樹
ジュニア	原田正規	菊川佳子
メン	久保英明	竹尾社平
シニア	渡辺勝幸	明松輝社
マスター	小島正司	ヴィヴィアネ・V

1992年度 第4回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成4年11月22日(日)～11月23日(月)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：252名			
ボーイズ	北岡光太郎	グランドマスター	吉田和幸
ジュニア	吉田武史	レディース	多貝里美
メン	東海二郎	ロングボード	浅川裕之
シニア	中井利幸	ボディボードメン	豊川勝俊
マスター	小林隆	ボディボードレディース	V.B.シルベira

派遣大会

世界選手権大会・日本人選手順位

第34回 アメリカ(2022年)	
オープンメン	
1位	五十嵐カノア
11位	村上舜
25位	上山キア又久里夫
オープンウィメン	
17位	都筑有夢路
29位	松田詩野
41位	前田マヒナ
国別	5位
ALOHA CUP(TEAM RELAY)	
5位	

第33回 エルサルバル(2021年)	
オープンメン	
2位	五十嵐カノア
4位	大原洋人
6位	村上舜
オープンウィメン	
8位	前田マヒナ
9位	都筑有夢路
41位	松田詩野
国別	2位

第32回 日本(宮崎県)(2019年)	
オープンメン	
4位	村上舜
11位	大原洋人
13位	五十嵐カノア
オープンウィメン	
15位	松田詩野
21位	前田マヒナ穂乃香
41位	脇田紗良
国別	3位
ALOHA CUP(TEAM RELAY)	
4位	

第31回 日本(愛知県)(2018年)	
オープンメン	
2位	五十嵐カノア
4位	村上舜
9位	大原洋人
オープンウィメン	
11位	黒川日菜子
13位	橋本恋
16位	川合美乃里
国別	1位
ALOHA CUP(TEAM RELAY)	
2位	

第30回 フランス(2017年)	
オープンメン	
17位	小笠原由織
17位	田中大貴
33位	大音凜太
33位	堀越力
オープンウィメン	
7位	大村奈央
17位	野中美波
国別	5位

第29回 コスタリカ(2016年)	
オープンメン	
7位	仲村拓久未
8位	新井洋人
19位	大野修聖
37位	石川孝太
オープンウィメン	
16位	田代風沙
25位	大村奈央
団体	7位

第28回 ニカラガア(2015年)	
オープンメン	
37位	堀越力
49位	中塩裕貴
49位	田中大貴
61位	中川雅崇
オープンウィメン	
13位	大村奈央
25位	鈴木姫七
団体	12位

第27回 (ISAS0周年記念 ヘルー)(2014年)	
オープンメン	
25位	松下諒大
43位	渡邊寛
43位	河谷佐助
61位	大世戸洋司
オープンウィメン	
5位	大村奈央
9位	黒川日菜子
団体	9位

第26回 パナマ(2013年)	
オープンメン	
31位	大橋海人
31位	村上舜
49位	大世戸洋司
73位	仲村一智
オープンウィメン	
5位	大村奈央
25位	森敬恵
団体	14位

第25回 パナマ(2011年)	
オープンメン	
61位	鈴木智喜
61位	井上達貴
65位	田中樹
25位	阿住聡子
37位	清水亜希子
ロングボードオープン	
25位	岡崎生水
37位	中山祐樹
団体	20位

第24回 ヘルー(2010年)	
オープンメン	
49位	田中謙
57位	斎藤要
65位	田中樹
113位	磯部康典
オープンウィメン	
17位	田代風沙
33位	庵原美穂
ロングボードオープン	
21位	尾頭信弘
41位	中山祐樹
団体	18位

第23回 コスタリカ(2009年)	
オープンメン	
57位	小嶋海生
65位	加藤周平
81位	大世戸洋司
81位	小林祐樹
オープンウィメン	
13位	大村奈央
29位	高橋みなど
ロングボードオープン	
33位	岡崎生水
33位	森本雄大
団体	18位

第22回 ポルトガル(2008年)	
オープンメン	
33位	大世戸洋司
49位	井上達貴
57位	小嶋海生
81位	増山裕亮
オープンウィメン	
13位	山田宏美
31位	金子藍
BBメン	
8位	榎戸崇人
13位	加治賢和
BBウィメン	
6位	栗間康子
ロングボード	
11位	辻嶋司
団体	12位

第21回 アメリカ(2006年)	
オープンメン	
57位	高津敏幸
65位	榎島竜也
81位	高木勇二
97位	井上達貴
オープンウィメン	
11位	熊澤友紀
21位	小柳江梨
BBメン	
17位	榎戸崇人
29位	榎戸輝
BBウィメン	
5位	渡辺萌
ロングボード	
11位	辻嶋司
団体	17位

第20回 エクアドル(2004年)	
メンズ	
49位	椎葉順
61位	中村昭太
73位	酒井正海
73位	沼田裕一
オープンウィメン	
31位	松尾理映
31位	小池美紀子
ロングボード	
13位	阿陽寛典
BBメン	
19位	相原法夫
25位	嶋田綱吉
BBレディース	
8位	西村優花
団体	16位

第19回 南アフリカ(2002年)	
メンズ	
29位	高梨直人
41位	飛田剛
49位	村上英介
49位	黒木雄一
ジュニア	
8位	林健太
13位	仲野仁人
25位	酒井正海
31位	中浦章
ウィメン	
11位	間屋口香
16位	萩原水紀
ロングボード	
13位	尾頭信弘
BBメン	
25位	柴田英人
33位	京谷雄策
BBウィメン	
3位	奥山千晶
団体	9位

第18回 ブラジル(2000年)	
メンズ	
49位	吉岡温三
65位	進士剛光
65位	小川和之
65位	土屋元
ジュニア	
13位	森哲太
17位	田嶋鉄兵
21位	高梨直人
29位	田中樹
ウィメン	
17位	杉浦麻里衣
21位	福谷周子
ニーボード	
17位	飯野秀文
ロングボード	
13位	藤井辰緒
BBメン	
17位	近藤義忠
33位	山田亨
BBウィメン	
6位	角田恵
11位	

第17回 ポルトガル(1998年)	
メンズ	
21位	吉川共久
29位	石川秀樹
49位	林究
65位	加藤孝紀
ジュニア	
11位	渡辺将人
21位	田中樹
29位	進士剛光
33位	小川和之
ウィメン	
21位	谷口絵里菜
21位	佐々木社由美
ニーボード	
11位	飯野秀文
ロングボード	
15位	山崎市朗
BBメン	
13位	山口幸平
15位	前山剛志
BBウィメン	
11位	高橋直美
団体	9位

第16回 アメリカ(1996年)	
メンズ	
8位	福地孝行
27位	牧野優介
48位	小川直久
48位	西田弘人
75位	北岡光太郎
92位	小野嘉夫
ジュニア	
15位	大野修聖
29位	牧野優介
21位	大野仙雅
33位	土屋元
65位	佐藤和也
ウィメン	
17位	高橋すみえ
21位	谷口絵里菜
ニーボード	
11位	前川純
ロングボード	
9位	宮内謙至
BBメン	
41位	野崎久司
BBウィメン	
21位	小池葵
団体	11位

第15回 ブラジル(1994年)	
メンズ	
33位	松本克也
41位	酒井邦彦
49位	池村佳紀
57位	樋口高之
ジュニア	
15位	原田正規
25位	小野嘉夫
29位	牧野優介
65位	大野仙雅
ウィメン	
21位	矢野順子
21位	阿辺深雪
ニーボード	
21位	前川純
ロングボード	
9位	宮内謙至
BBメン	
41位	野崎久司
BBウィメン	
21位	小池葵
団体	11位

第14回 フランス(1992年)	
メンズ	
9位	脇田貴之
17位	辻浩二
21位	上條将美
33位	安藤孝太
ジュニア	
4位	渡辺広樹
21位	小川啓
57位	金指清尚
65位	松本克也
ウィメン	
13位	蓮田泰子
25位	藤沼由紀
ニーボード	
7位	前川純
ロングボード	
13位	山崎一朗
BBメン	
33位	加藤勝典
33位	新井徹
団体	8位

第13回 日本(1990年)	
メンズ	
7位	福地孝行
27位	鈴木敏
28位	小川直久
53位	鈴木一也
61位	緒方申八
95位	新野剛
ジュニア	
15位	渡辺広樹
16位	上條将美
ウィメン	
7位	上滝恭子
19位	細谷照美
ニーボード	
7位	前川純
ロングボード	
11位	佐久間等
BBメン	
9位	作道雅明
団体	6位

第12回 エルトリコ(1988年)	
メンズ	
33位	小畑智昭
38位	河野正和
42位	沼尻和則
52位	西井浩治
53位	鈴木直人
69位	小野寺裕幸
ジュニア	
22位	進藤晃
22位	小野寺裕幸
ウィメン	
7位	細谷照美
14位	山本孝子
ニーボード	
12位	前川純
ロングボード	
7位	佐久間等
BBメン	
10位	作道雅明
団体	9位

第11回 イギリス(1986年)	
メンズ	
32位	沼尻和則
52位	鈴木直人
61位	工藤吉尚
68位	平山孝継
70位	栗原昭二
74位	久田友彦
78位	森孝也
90位	鈴木秀哉
ジュニア	
9位	沼尻和則
20位	鈴木秀哉
ウィメン	
11位	佐久間三枝
12位	藤沼由紀
ニーボード	
22位	川南正
22位	斎藤雅章
団体	9位

第10回 アメリカ(1984年)	
メンズ	
33位	遠藤隆久
37位	鈴木康弘
58位	栗原昭二
67位	本荘睦
ジュニア	
15位	遠藤隆久
ウィメン	
17位	山田絵里
ニーボード	
10位	川南正
団体	7位

世界ジュニア選手権大会・日本人選手順位

※第12回南アフリカ(2003年)大会は情勢不安により日本選手団不参加。

第29回エルサルバドル(2022年) ボーイズ U16 5位 渡邊啓孔 21位 長沢侑磨 33位 寺田文太 ボーイズ U18 17位 岩見天獅 33位 鈴木一歩 49位 佐藤利希 ガールズ U16 3位 池田美来 16位 鈴木莉珠 43位 高橋花音 ガールズ U18 6位 中塩佳那 19位 松岡亜音 22位 川瀬心那 国別 6位	第28回 アメリカ(2019年) ボーイズ U16 6位 松原渚生 8位 石見天獅 21位 矢作紋乃丞 ボーイズ U18 4位 安室丈 13位 上山キアス久里朱 33位 金沢呂偉 ガールズ U16 9位 中塩佳那 19位 都築虹帆 61位 松岡亜音 ガールズ U18 2位 野中美波 4位 脇田紗良 5位 松田詩野 国別 3位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 3位	第27回 アメリカ(2018年) ボーイズ U16 4位 伊東李安琉 11位 金沢呂偉 29位 平原颯馬 ボーイズ U18 1位 上山キアス久里朱 2位 安室丈 11位 森友二 ガールズ U16 2位 松田詩野 3位 脇田紗良 13位 中塩佳那 ガールズ U18 3位 野中美波 9位 西元ジュリア梨乃 16位 川合美乃里 国別 3位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 3位	第26回日本(宮崎県)(2017年) ボーイズ U16 1位 安室丈 3位 上山キアス久里朱 8位 鈴木仁 17位 伊東李安琉 ボーイズ U18 9位 三輪結也 13位 小笠原由織 25位 大音凛太 ガールズ U16 7位 西優司 9位 中塩佳那 ガールズ U18 6位 川合美乃里 33位 加藤里菜 国別 3位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 1位	第25回ポルトガル(2017年) ボーイズ U16 3位 森友二 4位 西優司 10位 伊東李安琉 37位 藤沼佳太郎 ボーイズ U18 13位 田中大貴 25位 黒川楓海都 25位 中塩裕貴 49位 西慶司郎 ガールズ U16 5位 野中美波 17位 川合美乃里 ガールズ U18 9位 橋本恋 25位 松田詩野 国別 5位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 4位	第24回アメリカ(2015年) ボーイズ U16 17位 都築百斗 21位 伊東李安琉 21位 西優司 33位 安室丈 ボーイズ U18 4位 村上舜 15位 稲葉玲王 21位 中塩裕貴 57位 田中大貴 ガールズ U16 5位 川合美乃里 17位 野中美波 ガールズ U18 9位 鈴木姫七 11位 田代風沙 国別 5位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 2位	第23回エクアドル(2014年) ボーイズ U16 19位 安室丈 22位 中塩裕貴 37位 西優司 37位 野呂海利 ボーイズ U18 6位 仲村拓久未 16位 大原洋人 37位 西修司 61位 河谷佐助 ガールズ U16 16位 川合美乃里 19位 大矢ひいな ガールズ U18 11位 田代風沙 13位 黒川日菜子 国別 7位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 2位	第22回ニカラガ(2013年) ボーイズ U16 4位 稲葉玲王 25位 安井拓海 33位 野呂海利 41位 西優司 ボーイズ U18 7位 新井洋人 16位 小林直海 31位 仲村拓久未 49位 西修司 ガールズ U16 11位 田代風沙 13位 小山みなみ ガールズ U18 11位 黒川日菜子 13位 宮坂桃子 国別 5位	第21回パナマ(2012年) ボーイズ U16 2位 仲村拓久未 29位 安井拓海 49位 村上舜 81位 野呂海利 ボーイズ U18 6位 新井洋人 17位 小林直海 17位 山中海輝 41位 榎子夏輝 ガールズ U18 16位 野呂玲花 19位 黒川日菜子 31位 田代風沙 43位 岡本愛菜
---	---	---	---	---	---	--	--	--

第20回ペルー(2011年) ボーイズ U16 16位 仲村拓久未 61位 稲葉玲王 73位 佐藤魁 ボーイズ U18 41位 山中海輝 41位 大森海夏人 41位 渡邊藍 57位 松野陽人 ガールズ U18 43位 水野亜彩子 43位 野呂玲花 49位 高橋みなと 61位 村松爽香 国別 13位	第19回ニュージーランド(2010年) ボーイズ U16 4位 新井洋人 31位 榎子夏輝 46位 小林直海 46位 佐藤魁 ボーイズ U18 37位 高橋優人 37位 加藤嵐 55位 湯川正人 64位 金尾玲生 ガールズ U18 17位 大村奈央 33位 武知実波 33位 田代風沙 33位 村松爽香 国別 10位	第18回エクアドル(2009年) ボーイズ U16 31位 新井洋人 31位 石田銀二 49位 加藤嵐 61位 大森海夏人 ボーイズ U18 37位 黒越太気 41位 小嶋海生 49位 田中海周 65位 高橋優人 ガールズ U18 31位 高橋みなと 43位 大村奈央 43位 武知実波 49位 水野亜彩子 国別 12位	第17回フランス(2008年) ボーイズ U16 31位 金尾玲生 31位 小嶋海生 49位 小椋暁人 49位 田中海周 ボーイズ U18 37位 黒越太気 37位 中村光貴 43位 井上達貴 43位 菜花卓也 ガールズ U18 25位 大村奈央 31位 強力音乃 49位 武知実波 国別 11位	第16回ポルトガル(2007年) ボーイズ U16 11位 大橋海人 22位 加藤嵐 25位 小嶋海生 37位 桑浩平 ボーイズ U18 22位 中村光貴 22位 加藤周平 37位 小嶋聖 37位 井上達貴 ガールズ U18 22位 大村奈央 37位 橋本小百合 37位 武知実波 国別 9位	第15回ブラジル(2006年) ボーイズ U16 19位 高橋健人 25位 井上達貴 31位 田中海周 37位 黒越太気 ボーイズ U18 31位 黒澤賢一 31位 関本海渡 49位 小山渚 73位 榎野明弘 ガールズ U18 31位 今村カレン 37位 橋本小百合 国別 12位	第14回アメリカ(2005年) ボーイズ U16 19位 高橋健人 19位 松岡慧斗 25位 萩原周 49位 栗須輝 補欠 和光大 ボーイズ U18 31位 林亨 37位 榎野明弘 37位 高木勇二 61位 黒澤賢一 補欠 関本海渡 ガールズ U18 31位 今村カレン 国別 12位	第13回タヒチ(2004年) ボーイズ U16 17位 中村昭太 33位 松岡慧斗 41位 高貴祐麻 49位 間屋口峻英 補欠 小山渚 ボーイズ U18 28位 鈴木勝大 33位 梅野鋺聖 40位 高木勇二 40位 関田秀俊 補欠 増山裕亮 国別 14位	第11回オーストラリア(2002年) ボーイズ U16 深川達哉 中村昭太 関田秀俊 山田恭平 ボーイズ U18 野野仁人 岩田隆二 酒井正洋 酒井正海 ガールズ U19 萩原水紀
---	---	---	--	--	---	--	---	---

第10回オーストラリア(2001年) ボーイズ U16 仲野仁人 辻裕次郎 深川達哉 中村昭太 ボーイズ U18 林健太 一楽弘徳 中浦彰 高梨直人 ガールズ U19 間屋口香 萩原水紀	第9回バリ(2000年) ボーイズ U16 林健太 田嶋鉄兵 田中英義 仲野仁人 辻裕次郎 ボーイズ U18 森哲太 森哲太 進士剛光 佐藤正一郎 渡辺学 今田敬介 ガールズ U19 萩原水紀 植村未来	第8回オーストラリア(1999年) ボーイズ U16 田嶋鉄兵 田中樹 渡辺将人 川畑匠平 ボーイズ U18 森哲太 進士剛光 佐藤正一郎 渡辺学	第7回バリ(1998年) ボーイズ U16 森哲太 田中樹 田中樹 渡辺将人 ボーイズ U18 土屋元 山田裕介 西村博之 吉井祐吾 吉田忠左	第6回バリ(1997年) ボーイズ U16 田中樹 進士剛光 西村博之 堀口真平 ボーイズ U18 土屋元 吉井祐吾 小川和之 北浦裕也	第5回バリ(1996年) ボーイズ U16 大野仙雅 大野修聖 吉井祐吾 小川和之 ボーイズ U18 佐藤和也 田中信也 林究 山室昌平	第4回バリ(1995年) ボーイズ U16 大野仙雅 大野修聖 土屋元 小川和之 ボーイズ U18 北岡光太郎 鎌沢好敬 東川泰明 藤祐史	第3回バリ(1994年) ボーイズ U16 大野仙雅 大野修聖 土屋元 林究 ボーイズ U18 小野嘉夫 牧野優介 増田章司 吉田武史	第2回バリ(1993年) ボーイズ U16 北岡光太郎 小野嘉夫 大野修聖 佐藤和也 ボーイズ U18 牧野優介 相原吾郎 大木新次 大石昌和
---	--	--	---	---	---	--	--	--

第1回バリ(1992年) ボーイズ U16 北岡光太郎 鎌沢好敬 ボーイズ U18 松本克也 本田竜児 ガールズ 大城美和子

世界ボディボード選手権大会・日本人選手順位

第24回チリ(2015年) オープンメン 8位 榎戸崇人 22位 近藤義忠 31位 高橋広俊 オープンウイメン 4位 鈴木彩加 U18 9位 蛭間拓斗 ガールズ U18 優勝 岡澤紫織 ドロップニー 5位 富田和麻 国別 5位	第2回ベネズエラ(2012年) オープンメン 13位 榎戸崇人 16位 遠山純 19位 柳瀬憲治 オープンウイメン 優勝 大原沙莉 ガールズ U18 優勝 岡澤紫織 ドロップニー 8位 榎戸崇人	第1回スペイン(2011年) オープンメン 6位 近藤義忠 16位 榎戸崇人 オープンウイメン 9位 佐藤亜矢子 U18 11位 糸総一郎 ドロップニー 9位 川名祐介 国別 8位
---	--	---

世界マスター・日本人選手順位

第6回エクアドル(2013年) マスター 13位 渡辺広樹 16位 寺門剛 グランドマスター 9位 鈴木克己 19位 古賀政信 カフナ 19位 豊田泰史 25位 坂本應尚 グランドカフナ 9位 高橋誠 ウィメンズマスター 7位 清永亜希子 国別 11位	第5回ニカラガ(2012年) マスター 9位 渡辺広樹 16位 石田佳央 グランドマスター 11位 磯部康典 25位 原安澄 カフナ 9位 坂本應尚 11位 中村義浩 グランドカフナ 11位 三橋敬一 ウィメンズマスター 7位 清永亜希子
---	---

世界ロングボード選手権大会

第3回 フランス(2019年) オープンメン 17位 浜瀬海 22位 北村健一 オープンウイメン 5位 田岡なつみ 31位 梶沢実里 国別 7位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 2位	第2回 中国(2018年) オープンメン 6位 浜瀬海 22位 権守賢治 オープンウイメン 4位 田岡なつみ 29位 叶多和子 国別 7位	第1回ペルー(2013年) オープンメン 31位 西崎公彦 37位 中山祐樹 オープンウイメン 11位 岡澤紫穂 国別 15位
--	---	--

世界 SUP 選手権大会・日本人選手順位

第9回ベルトリコ (2022年)

SUP サーフィンメン	SUP サーフィンウィメン
4位 井上鷹	2位 井上楓
9位 堀越力	17位 井上桜
SUP テクニカルレースメン	SUP テクニカルレースウィメン
1位 荒木珠里	15位 橋ゆう
19位 杉山友厚	
SUP ディスタンスレースメン	SUP ディスタンスレースウィメン
1位 荒木珠里	DNS 橋ゆう
18位 杉山友厚	
SUP ジュニアテクニカルレースボーイズ	SUP ジュニアテクニカルレースガールズ
2位 島津成彰	4位 橋ゆう
ブロンディスタンスレースメン	ブロンディスタンスレースウィメン
8位 堀部雄大	1位 堀部 結里花
ブロンディテクニカルレースメン	国別 4位
7位 堀部雄大	TEAM RELAY
SUP スプリントレースメン	2位
9位 島津成彰	

第8回エルサルバドル (2019年)

SUP サーフィンメン	SUP サーフィンウィメン
4位 堀越力	6位 堀越優輝
25位 野村颯	19位 横山貴代
SUP テクニカルレースメン	SUP テクニカルレースウィメン
8位 田口類	3位 奥秋李果
SUP ディスタンスレースメン	10位 横山貴代
9位 田口類	SUP ディスタンスレースウィメン
14位 村田暁	3位 奥秋李果
SUP スプリントレースメン	SUP スプリントレースウィメン
5位 田口類	7位 奥秋李果
パドルボードテクニカルレースメン	パドルボードテクニカルレースウィメン
5位 山尾良寛	2位 三井結里花
パドルボードディスタンスレースメン	ジュニアテクニカルレースガールズ
5位 山尾良寛	8位 米村風夏
ジュニアテクニカルレースボーイズ	国別 6位
2位 田口類	TEAM RELAY
	4位

第7回中国 (2018年)

SUP サーフィンメン	SUP テクニカルレースウィメン
5位 堀越力	5位 佐藤優夏
25位 原田俊広	9位 横山貴代
SUP テクニカルレースメン	SUP ディスタンスレースウィメン
10位 金子ケニー	4位 佐藤優夏
17位 菅島宏太	13位 横山貴代
SUP ディスタンスレースメン	SUP スプリントレースウィメン
15位 金子ケニー	6位 佐藤優夏
21位 村田暁	パドルボードテクニカルレースウィメン
SUP スプリントレースメン	7位 大山玲奈
5位 金子ケニー	パドルボードディスタンスレースウィメン
パドルボードテクニカルレースメン	6位 大山玲奈
7位 高木惇嘩	U-18 テクニカルレースガールズ
パドルボードディスタンスレースメン	7位 小貝実佑
6位 高木惇嘩	国別 6位
U-18 テクニカルレースボーイズ	TEAM RELAY
9位 小松山勤	8位
SUP サーフィンウィメン	
4位 堀越優輝	
15位 井上楓	

第6回デンマーク (2017年)

SUP サーフィンメン	SUP サーフィンウィメン
7位 堀越弘修	5位 堀越優輝
17位 原田俊広	25位 金井すみえ
SUP テクニカルレースメン	SUP テクニカルレースウィメン
16位 金子ケニー	7位 佐藤優夏
26位 吉田竜平	16位 横山貴代
SUP ディスタンスレースメン	SUP ディスタンスレースウィメン
12位 金子ケニー	11位 佐藤優夏
20位 吉田竜平	16位 横山貴代
パドルボードテクニカルレースメン	スプリントウィメン
8位 菊池 遼太郎	4位 佐藤優夏
パドルボードディスタンスレースメン	国別 9位
8位 菊池 遼太郎	

第5回フィジー (2016年)

SUP サーフィンメン	スプリントメン
19位 原田俊広	3位 金子ケニー
25位 秋山健次郎	SUP サーフィンウィメン
SUP テクニカルレースメン	5位 堀越優輝
11位 金子ケニー	SUP テクニカルレースウィメン
SUP ディスタンスレースメン	8位 横山貴代
8位 金子ケニー	SUP ディスタンスレースウィメン
パドルボードテクニカルレースメン	7位 横山貴代
12位 小林海	パドルボードテクニカルレースウィメン
17位 落合慶二	7位 伊藤真央
パドルボードディスタンスレースメン	パドルボードディスタンスレースウィメン
12位 落合慶二	8位 伊藤真央
13位 小林海	国別 8位

世界パラ(アダプティブ)サーフィン選手権大会・日本人選手順位

第7回アメリカ (2022年)

メンズ STAND 1	SATAND 1
4位 近藤健太郎	5位 島川幹生
7位 奈良 優	STAND 3
ウィメンズ STAND 1	7位 勝倉直道
5位 高尾千香子	KNEEL
メンズ STAND 2	6位 小林征都
4位 伊藤建史郎	PRONE 2
メンズ STAND 3	4位 藤原智樹
4位 勝倉直道	VI 2
メンズ KNEEL	7位 藤崎 滋
5位 小林征都	STAND 1 ウィメン
メンズ V 12	4位 高尾 千香子
7位 藤崎 滋	国別 9位
メンズ PRONE 1	
5位 西山健悟	
7位 小嶋好宏	
メンズ PRONE 2	
3位 藤原智樹	
国別 8位	

第6回アメリカ (2021年)

SATAND 1	SATAND 1
7位 奈良優	7位 伊藤建史郎
SATAND 2	7位 山本力也
5位 伊藤建史郎	SATAND 3
7位 山本力也	3位 勝倉直道
KNEEL	7位 小林征都
7位 山本力也	PRONE 1
13位 小嶋好宏	4位 藤崎 滋
VISUALLY IMPAIRED 2	4位 藤崎 滋
4位 藤崎 滋	国別 8位
8位	

第5回アメリカ (2020年)

SATAND 1	SATAND 1
7位 奈良優	7位 伊藤建史郎
SATAND 2	7位 山本力也
5位 伊藤建史郎	SATAND 3
7位 山本力也	3位 勝倉直道
KNEEL	7位 小林征都
7位 山本力也	PRONE 1
13位 小嶋好宏	4位 藤崎 滋
VISUALLY IMPAIRED 2	4位 藤崎 滋
4位 藤崎 滋	国別 8位
8位	

第4回アメリカ (2018年)

AS-1 オープン	AS-1 オープン
9位 伊藤建史郎	1位 内田一音
13位 山本力也	AS-2 オープン
AS-1 ウィメン	4位 小林征都
1位 内田一音	7位 勝倉直道
AS-2 オープン	AS-4 ウィメン
4位 小林征都	10位 鈴木志穂
7位 勝倉直道	AS-5 オープン
AS-4 ウィメン	7位 藤原智貴
10位 鈴木志穂	AS-VI オープン
AS-5 オープン	12位 葭原滋男
7位 藤原智貴	国別 8位
AS-VI オープン	
12位 葭原滋男	
国別 8位	

第3回アメリカ (2017年)

メンズ AS-1	メンズ AS-1
3位 伊藤建史郎	4位 伊藤建史郎
24位 本田博之	メンズ AS-2
ウィメン AS-1	7位 小林征都
1位 内田一音	国別 13位
メン AS-2	
7位 小林征都	
10位 勝倉直道	
メン AS-5	
4位 藤原智貴	
国別 9位	

第2回アメリカ (2016年)

メンズ AS-1	メンズ AS-1
4位 伊藤建史郎	4位 伊藤建史郎
メンズ AS-2	7位 小林征都
7位 小林征都	国別 13位
国別 13位	

アジアサーフィンチャンピオンシップ

第1回中国 (2019)

メンズショートボードオープン	1位 上山キアヌ久里朱
1位 上山キアヌ久里朱	2位 松原渚生
2位 松原渚生	メンズU20ショートボードオープン
1位 上山キアヌ久里朱	1位 上山キアヌ久里朱
2位 松原渚生	2位 松原渚生
ウィメンズショートボードオープン	1位 中塩佳那
1位 中塩佳那	2位 松岡亜音
2位 松岡亜音	ウィメンズU20ショートボードオープン
1位 中塩佳那	1位 中塩佳那
2位 松岡亜音	2位 松岡亜音
メンズロングボードオープン	2位 浜瀬海
2位 浜瀬海	ウィメンズロングボードオープン
ウィメンズロングボードオープン	1位 田岡なつみ
1位 田岡なつみ	

BOOK・OFF®×SURF

次の乗り手へ 「受け継ぐ」

ブックオフは、スポーツ用品の取り扱いを始めて20年以上。
中古のサーフボード・ウェットスーツなどの販売・買取を行っております。

「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を企業ミッションとして掲げ、
「本」以外にも、様々なモノのリユースにチャレンジしてきました。

モノを「捨てる」という行為は心苦しいですがリユースを通じて、「捨てずにすんだ」という気持ちの豊かさを提供したいと考えております。

次の乗り手へ受け継がれることで
サーフィンをこれから始めようとしている人たちのお手伝いをしたい。

私たちは、そう願っています。



【北海道】5号札幌宮の沢店、札幌川沿店【東北】仙台松森店、仙台泉古内店、286号仙台鉤取店【関東】407号太田飯塚店、17号鴻巣吹上店、17号前橋リリカ店、PAPA上尾店、イトーヨーカドー一流山店、大宮ステラタウン店、東千葉祐光店、14号千葉幕張店、ショップス市川店、ピビット南船橋店、50号水戸元吉田店、荒川沖店、千葉仁戸名店、日立駅前店、ノースポート・モール店、409号川崎港町店、網島樽町店、国道1号多摩川大橋店、横浜東戸塚オリンピック店、横浜瀬谷南台店、多摩永山店、16号相模原上鶴間店、鎌倉大船店、田舎沼和通り店、茅ヶ崎駅北口店、藤沢大庭店、Luz湘南辻堂店、東所沢店、静岡横浜原店、ザビッグ昭島店、ブックオフ買取センタープレスボ八王子みなみ野店、甲府真川店【東海】カインズモール名古屋みなと店、西友高針店、西友鳴海店、岐阜オーキッドパーク店、258号イオン桑名店、1号四日市日永店、248号西友岡崎店、【関西】守ロジャータウン店、307号枚方池之宮店、25号八尾永畑店、171号尼崎西陽店、アグロガーデン神戸駒ヶ林店、1号京都伏見店【中国】54号広島八木店、広島段原店【九州】アクロスプラザ佐世保店



株式会社皇漢薬品研究所は、
日本サーフィン連盟の
オフィシャルパートナーです。



株式会社皇漢薬品研究所は、
日本サーフィン連盟
サーフィンスクールを
応援しています。

目指せ、自然

GO
NATURE®

株式会社皇漢薬品研究所

伝えたい、海のこと 自然のこと。

REEF SAFE

SAVE THE OCEAN

UV PRO SPF 50+/PA++++
サンスクリーンクリーム



安心安全設計
アレルギーテスト済



お肌に優しい
植物エキス配合



信頼の品質
日本製

海とサンゴ
を守る!



サンゴに有害な化学物質
「オキシベンゾン」「オクチノキサート」
を含みません。

皇漢薬品研究所が開発した
ハワイで使える
安全設計! ※

保湿美容クリームとしても使える

日焼け止め

人と自然への優しさを科学した安全設計

ノンケミカル処方 + サラッと伸びがいい! 自然環境への優しさを追求し、使用感にも妥協せず、体への負担を最小限に留めるよう最良の組み合わせを考え抜いて作り上げました。皇漢薬品研究所が独自に設計した、最高品質の日焼け止めです。

- パラベン(防腐剤) 不使用
- 合成着色料 不使用
- エタノール 不使用
- 鉱物油 不使用
- 香料 不使用

16種類の植物エキス

肌に優しい天然素材



水と汗に強い!

UVカット・ノンケミカル (UV吸収剤フリー)

べたつかない! 肌になじむ、サラッと伸びる軽い質感。

白浮きしにくい! 化粧下地としてご利用いただけます。

うるおい美肌! 保湿・美肌成分で透明感のある肌に。

※ハワイでは、海やサンゴの保全のために、一部化学物質を含む日焼け止めの販売が禁止となる法案が可決されました。「GO NATURE® サンスクリーン・クリーム」は、サンゴに有害な化学物質を含みません。

製品本体価格: 3,300円(税込)



商品詳細
はこちら



株式会社 皇漢薬品研究所

本社 / 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-1-3 TEL.03(3861)3843(代) FAX.03-3861-3716
E-mail: watanabe@kohkan.co.jp URL: http://www.kohkan.co.jp/

SEOに最適なもの

Web制作



私たちは、
企業様のオウンドメディア運用、SEOコンサルティング、
SNSマーケティングの支援をしています。



Piece Cre Fute

ピースクリフト



SEOの最前線でメディアを運営しています。
高い記事質とSEO対策のノウハウにより、
多数のキーワードで検索順位を上位表示させています。



ソーシャルネットワークサービスで
自社サービスの紹介を行なっております。
多数のインフルエンサー様と取引があります。



SEO最前線の情報をお客様へ提供しています。
検索順位の向上やCVRの改善など
多くの実績があります。



Piece Cre Fute



東京都目黒区中目黒 3丁目 6-2 FSビル6F
<https://www.piececrefute.com>

サーフィンに関する情報を発信する
FITNESS LABO を運営しています

JUST SNOWBOARD



Check out our SNS!

 YouTube @jsbaofficial

 @jsba_official

 @JSBA_Yukibouzu

 @jsba.official

JSBA
JAPAN SNOWBOARDING ASSOCIATION

**日本スノーボード協会は
すべての“ヨコリスト”を応援します！**

JSBA 会員特典

- ◆JSBA パートナーシップに加盟のスノーリゾート、ショップ、レストラン、治療院、宿泊施設等で JSBA 会員 / 資格割引サービスを受ける事ができます！
- ◆スノーボード賠償責任保険に自動的に加入されます！（対人対物賠償最高 500 万円まで、免責 1 万円）
- ◆会報誌「雪坊主」（年 2 回）と「JSBA YEARBOOK」（年 1 回）をお届けします！（Web 会員証会員の方には雪坊主は送付されません）
- ◆スノーボードパッジテストを 2 級から受験する事ができます！
- ◆スノーボードの公認資格（インストラクター等）を受験する事ができます！（各種受験資格有り）
- ◆会員登録をして公認大会に参加すると JSBA ポイントランキングに名前が記載されます！



「スノーボーダーの、スノーボーダーによる、スノーボーダーのための団体」

日本スノーボード協会 JAPAN SNOWBOARDING ASSOCIATION (JSBA)

170-0002 東京都豊島区巢鴨 5-14-6 TEL:03-5980-7245

日本スノーボード協会会員登録はこちらから www.jsba.or.jp





● **安心はサイズの合ったウェットスーツで**

ウェットスーツは採寸セミナー受講者(認定者)がいるお店で購入しましょう。
採寸セミナー受講者(認定者)がいるお店なら、それぞれのカラダに合った採寸ができるので安心です。

SHOPの皆さまへ

● **採寸セミナーを受講しよう!**

~わかりやすい採寸方法でトラブル防止を目指す~
オーダーメイドのウェットスーツではちょっとしたミスがお客様とのトラブルのもと。モデルを使って実践的な採寸方法をわかりやすく解説します。ジャストフィットの満足感を提供できるショップスタッフ必修の実践講座です。

お客様へ

● **採寸認定者のいるお店で、自分の身体にフィットした適正サイズのウェットスーツを購入しよう!**

適正サイズでないスーツは、首や手足から浸水したり、ウェット擦れをおこしたりするなど思わぬトラブルに繋がります。



正会員※順不同

- 有限会社トズマリンプロジェクト
- 有限会社モアモスト
- 株式会社モビーディック
- 株式会社サンコー
- 有限会社レイトフォーラップ
- 株式会社イナポリティディング
- ヌーベルバーグ・インターナショナルジャパン株式会社
- 株式会社ゼロ
- 株式会社シ・ワールド
- ワールドダイブ株式会社
- 株式会社福岡潜水
- 株式会社ホットライン
- 株式会社ネクストレベル
- シンギー株式会社

賛助会員※五十音順(2023年1月現在)

- 有限会社明石印刷
- 株式会社アサヒレイテックス
- エイプロス株式会社
- 株式会社キヌガワ
- 株式会社山陽化成
- 株式会社シーサー
- 株式会社ダイブウェイズ
- ダイバー株式会社
- 株式会社タバタ TUSA事業部
- 株式会社トータス
- 東ソー株式会社
- ナショナル護謨株式会社
- 南海合繊株式会社
- 日本アクアラング株式会社
- ノーテープ工業株式会社
- 株式会社パティ・アジア・バジフィック・ジャパン
- 有限会社フィールド
- 平和株式会社
- 株式会社マルカツ
- 山本化学工業株式会社
- YKK株式会社





SPECIAL THANKS
2024年オフィシャルパートナー



HANDCRAFTED NEAR CANADA IN THE USA
LIB TECH
アドバンス マーケティング株式会社
www.lib-tech.com/surfing/
※ P.010掲載



アルコインターナショナル株式会社
www.hydroflask.jp
※ P.015掲載



伊藤忠ファッションシステム株式会社
http://airwalk-jp.com/
※ P.066掲載



伊藤忠ファッションシステム株式会社
https://bodyglove.jp
※ P.087掲載



株式会社イナポリトレディング
www.rashwetsuits.com
※ P.004掲載



株式会社 with Ocean
www.westsuits-japan.com
※ P.008掲載



株式会社オッシュマンズ・ジャパン
www.oshmans.co.jp
※ P.012掲載



有限会社ガンブ
http://www.fullon-sg.com
※ P.045掲載



株式会社キャプス
http://www.streamtrail.tokyo
※ P.038掲載



株式会社クラフトワーク
http://www.craftwork-co.com/
※ P.054掲載



株式会社ケイズプロジェクト
https://www.whitebuffalo.jp
※ P.092掲載



株式会社皇漢薬品研究所
http://www.kohkan.co.jp/
※ P.121掲載



株式会社サンコー
www.bpd21.com
※ P.049掲載



株式会社大香
www.daiko-inc.co.jp
※ P.070掲載



有限会社ダブサーフィンウェットスーツ
www.dovewet.com
※ P.014掲載



東京海上日動
東京海上日動火災保険株式会社
https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/
※ P.030掲載



株式会社東京文化総業
https://www.bodyboardshop.com.au
※ P.091掲載



ニッキー株式会社
https://www.op-japan.com/
※ P.069掲載



日本ウェットスーツ工業会
www.jwma.gr.jp
※ P.124掲載



パタゴニア日本支社
www.patagonia.jp
※ P.071掲載



株式会社 Piece Cre Fute
https://www.piececrefute.com
※ P.122掲載



ファーストトレード株式会社
https://namiaru.com/
※ P.086掲載



ブックオフコーポレーション株式会社
www.bookoff.co.jp
※ P.120掲載



株式会社FF JAPAN
http://flexfit.com
※ P.089掲載



ボードライダーズジャパン株式会社
www.quiksilver.co.jp
※ P.078掲載



ボードライダーズジャパン株式会社
https://billabongstore.jp
※ P.020掲載



マルハニチロ株式会社
https://www.maruha-nichiro.co.jp
※ P.002掲載



株式会社マニューバーライン
www.maneverline.co.jp
※ P.044掲載



株式会社ムラサキスポーツ
www.murasaki.co.jp
※ P.079掲載



株式会社室原サーフボード製作所
www.msp-japan.com
※ P.068掲載



有限会社モアームスト
www.maxim-craft.com
※ P.006掲載



株式会社ライズシステム
www.bcm-surfpatrol.com
※ P.056掲載



株式会社来夢
http://www.ezup.co.jp
※ P.088掲載



有限会社ラス オラス
www.luvsurf.co.jp



有限会社レイトフォーラップ
www.latewrap.com
※ P.67掲載



株式会社ワイティーエス
www.ytsamuse.com
※ P.055掲載



株式会社ワンワールド
http://1world.co.jp
※ P.048掲載

発行：一般社団法人
日本サーフィン連盟
〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
10階
TEL. 03-6434-7341
FAX. 03-6434-7795
E-MAIL : info@nsa-surf.org
HP: https://www.nsa-surf.org

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ

